

第 21 回
文京区政に関する世論調査

平成 21 年 12 月

文 京 区

はじめに

文京区では、平成13年7月に『「文の京」の明日を創る文京区基本構想』を策定し、これに沿って総合的かつ計画的な区政運営を進めてまいりました。

現在、現状と将来を見据えた個性ある独自の施策を展開していくために、本区の将来の姿を区民の皆様とともに創り上げ、その実現に向けた基本的な姿勢を示す「新たなる基本構想」の策定に向け検討を進めております。

このため、区では、区政を話し合う集い、広聴はがき、区民の声（ホームページ）など各種の広聴活動を行い、区民の皆様のご意見、ご要望の把握に努めております。

今回、この広聴活動の一環として、第21回の世論調査を実施いたしました。今回の調査では、「定住意向」「区の施策」「財政」「協働・協治」「防災」「町会・自治会」「商店会、消費者相談」「高齢者」「子育て支援」「喫煙」「公園」「地域環境」「生涯学習」「電子化」「議会」「広報・広聴」の16項目について調査しました。この調査結果につきましては、今後の区政運営の貴重な基礎資料として活用させていただきます。

おわりに、調査にご協力いただきました区民の皆様にご心からお礼申し上げます。

平成21年12月

文京区長 成澤 廣修

目次

| | |
|------------------------------------|----|
| . 調査の概要 | |
| 1 . 調査の目的 | 3 |
| 2 . 調査の内容 | 3 |
| 3 . 調査の設計 | 3 |
| 4 . 調査方法 | 3 |
| 5 . 回収結果 | 3 |
| 6 . 地区区分 | 4 |
| 7 . 集計にあたって | 4 |
| 8 . 分析にあたって | 5 |
| 9 . 母集団との比較 | 5 |
| 10 . 回答者の特性 | 6 |
| . 調査結果の分析 | |
| 1 . 定住意向 | |
| 1 - 1 居住年数 | 11 |
| 1 - 2 定住・転出意向 | 12 |
| 1 - 3 住み続けたい理由 | 14 |
| 2 . 区の施策 | |
| 2 - 1 満足に感じている区の施策 | 19 |
| 2 - 2 不満に感じている区の施策 | 22 |
| 2 - 3 さらに力を入れてほしい区の施策 | 25 |
| 2 - 4 「文の京」の明日を創る 文京区基本構想の認知度 | 27 |
| 2 - 5 10年後の文京区のイメージ | 29 |
| 3 . 財政 | |
| 3 - 1 区の財政状況に対する関心 | 35 |
| 3 - 2 区の財政状況に対する印象 | 39 |
| 3 - 3 区の財政状況についての広報をわかりやすくする方法 | 43 |
| 3 - 4 安定的かつ健全な財政基盤を確立・維持するために必要なこと | 46 |
| 4 . 協働・協治 | |
| 4 - 1 文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の認知度 | 51 |
| 4 - 2 参加したい協働の事業 | 53 |
| 5 . 防災 | |
| 5 - 1 最寄りの避難所の認知度 | 59 |
| 5 - 2 力を入れていくべき防災施策 | 62 |
| 6 . 町会・自治会 | |
| 6 - 1 町会・自治会への加入状況 | 67 |
| 6 - 2 町会・自治会活動への参加意向 | 70 |
| 6 - 3 町会・自治会に期待すること | 73 |

| | |
|--|-----|
| 7 . 商店会、消費者相談 | |
| 7 - 1 商店会にあるとよいサービス | 79 |
| 7 - 2 消費者相談コーナーの認知度 | 82 |
| 8 . 高齢者 | |
| 8 - 1 さらに充実すべき高齢者施策 | 87 |
| 8 - 2 地域包括支援センターの認知度 | 90 |
| 9 . 子育て支援 | |
| 9 - 1 少子化が進んでいる原因 | 95 |
| 9 - 2 子育て支援のために取り組むべき施策 | 98 |
| 9 - 3 青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきこと | 102 |
| 10 . 喫煙 | |
| 10 - 1 喫煙習慣の有無 | 107 |
| 10 - 2 飲食店に望む受動喫煙対策 | 109 |
| 10 - 3 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度 | 112 |
| 10 - 4 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」を知ったきっかけ | 114 |
| 11 . 公園 | |
| 11 - 1 区立公園・児童遊園などの利用頻度 | 119 |
| 11 - 2 あるとよいと思う公園 | 122 |
| 11 - 3 今後の公園との関わり方 | 125 |
| 12 . 地域環境 | |
| 12 - 1 地域生活での環境について関心のあるテーマ | 131 |
| 12 - 2 ごみ減量のために重点的に行うべき施策 | 133 |
| 13 . 生涯学習 | |
| 13 - 1 最近1年間の生涯学習活動の実施頻度 | 137 |
| 13 - 2 生涯学習活動を行う場所 | 139 |
| 13 - 3 生涯学習活動を行う理由 | 141 |
| 14 . 電子化 | |
| 14 - 1 電子化により実現するとよい区のサービス | 145 |
| 14 - 2 区の電子申請で利用したいサービス | 148 |
| 15 . 議会 | |
| 15 - 1 区議会の活動の認知媒体 | 153 |
| 15 - 2 区議会の活動として期待すること | 155 |
| 15 - 3 区議会ホームページの閲覧頻度 | 157 |
| 16 . 広報・広聴 | |
| 16 - 1 区役所本庁の窓口の利用状況 | 161 |
| 16 - 2 区役所本庁の窓口での職員対応の印象 | 163 |
| 16 - 3 職員の接遇向上のために大切なこと | 165 |
| . 使用した調査票 | 169 |

. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、区民の区政に対する意識や意向、意見や要望等を統計的手法によつて的確に把握することを目的として行った。

2. 調査の内容

第21回文京区政に関する世論調査は、「区政全般」をテーマとし、次の16項目について調査した。

- | | | |
|------------|---------------|------------|
| (1) 定住意向 | (7) 商店会、消費者相談 | (13) 生涯学習 |
| (2) 区の施策 | (8) 高齢者 | (14) 電子化 |
| (3) 財政 | (9) 子育て支援 | (15) 議会 |
| (4) 協働・協治 | (10) 喫煙 | (16) 広報・広聴 |
| (5) 防災 | (11) 公園 | |
| (6) 町会・自治会 | (12) 地域環境 | |

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 文京区全域
- (2) 調査対象 文京区在住の満20歳以上の個人
- (3) 標本数 1,300サンプル
- (4) 調査対象者の抽出
 - 母集団 … 文京区住民基本台帳（区の電算機により個人まで抽出）
 - 地点数 … 130地点（1地点10票）
 - 抽出方法 … 層化2段無作為抽出法（層化 地点抽出 対象者抽出）
 - 層化 … 次のページの5地区に層化
 - 地点数配分 … 1地点が10票となるように、各地区の調査対象者に応じて地点数を比例配分した（合計130地点）。
 - 地点抽出 … 各地区ごとの地点数に応じてインターバルを定め、等サイズブロック抽出法にしたがい、無作為系統的に各地点の抽出スタート点を決めて地点を抽出した。
 - 対象者抽出 … 抽出された各地点のスタート点より、1地点10票ずつのサンプルを無作為系統的に抽出した。
- (5) 調査期間 平成21年8月25日～9月10日
- (6) 調査機関 株式会社エスピー研

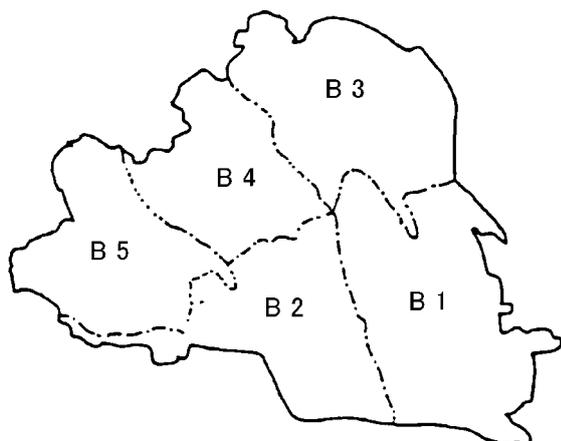
4. 調査方法

- (1) 調査方法 郵送留置配布・調査員による訪問回収
- (2) 調査票 巻末に折り込んだ調査票を使用した。

5. 回収結果

| | 満20歳以上人口（構成比） | 地点数 | 標本数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|------|-----------------|-----|-------|-------|-------|
| 区全体 | 162,294（100.0%） | 130 | 1,300 | 960 | 73.8% |
| B1地区 | 39,320（24.2%） | 31 | 310 | 227 | 73.2% |
| B2地区 | 30,537（18.8%） | 24 | 240 | 183 | 76.3% |
| B3地区 | 42,021（25.9%） | 34 | 340 | 250 | 73.5% |
| B4地区 | 26,698（16.5%） | 21 | 210 | 154 | 73.3% |
| B5地区 | 23,718（14.6%） | 20 | 200 | 146 | 73.0% |

6. 地区区分



| 地区 | 該当町(丁目)名 |
|-----|--|
| B 1 | 根津、弥生、本郷、湯島、西片、白山(一丁目)、向丘(一丁目) |
| B 2 | 後楽、春日、水道、小石川(一、二、三、四丁目)、関口(一丁目)、小日向(一丁目)、白山(二丁目) |
| B 3 | 千駄木、本駒込、向丘(二丁目)、白山(五丁目) |
| B 4 | 千石、白山(三、四丁目)、大塚(三、四丁目)、小石川(五丁目) |
| B 5 | 音羽、目白台、大塚(一、二、五、六丁目)、関口(二、三丁目)、小日向(二、三、四丁目) |

7. 集計にあたって

- (1) 図表中の「n」(number of caseの略)は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。したがって、複数回答の設問では、すべての比率を合計すると100.0%を超える。
- (2) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても100%ちょうどにならず、1%の範囲で増減することがある。
- (3) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (4) 集計は、単純集計、フェイスシートとのクロス集計、設問間のクロス集計の3種類を行った。
- (5) 標本誤差(b)は次式で得られ、比率算出の基数(n)、回答の比率(P)によって誤差幅が異なる。

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

{

N = 母集団数

n = 回答者数

P = 回答の比率

今回の調査結果の場合、誤差および信頼の範囲は下表のとおりであり、「ある設問の回答者数が960人で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、最高でも±4.5%である」というようにみる。

| 回答の比率(P) 基数(n) | 10%または 90%前後 | 20%または 80%前後 | 30%または 70%前後 | 40%または 60%前後 | 50%前後 |
|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------|
| 960 | ±2.7% | ±3.7% | ±4.2% | ±4.5% | ±4.6% |
| 800 | ±3.0% | ±4.0% | ±4.6% | ±4.9% | ±5.0% |
| 600 | ±3.5% | ±4.6% | ±5.3% | ±5.7% | ±5.8% |
| 400 | ±4.2% | ±5.7% | ±6.5% | ±6.9% | ±7.1% |
| 200 | ±6.0% | ±8.0% | ±9.2% | ±9.8% | ±10.0% |
| 100 | ±8.5% | ±11.3% | ±13.0% | ±13.9% | ±14.1% |

注) $\frac{N-n}{N-1}$ 1 として計算した。

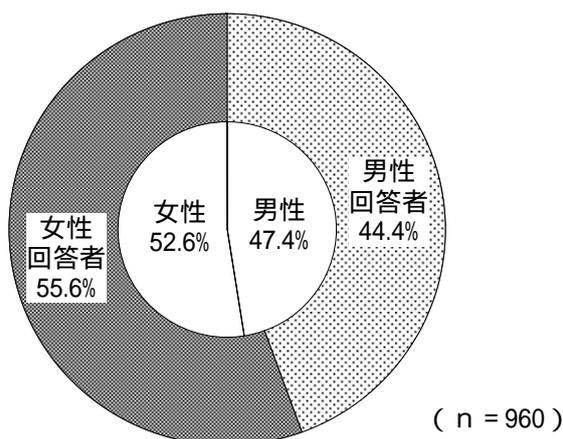
8. 分析にあたって

- (1) グラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (2) クロス結果の帯グラフや表について、表側（分析の軸）となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、表側のカテゴリーの件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。
- (3) 複数回答の設問におけるクロス結果の棒グラフは、上位 10 項目に限定している場合があり、その際、「その他」は対象から除き表示していない。
- (4) ライフステージの分類は以下のとおりである。
 - A. 独身期 40歳未満の独身者
 - B. 家族形成期 40歳未満の子どもがいない夫婦、または一番上の子どもが入学前の人
 - C. 家族成長前期 一番上の子どもが小・中学生の人
 - D. 家族成長後期 一番上の子どもが高校・大学生の人
 - E. 家族成熟期 64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
 - F. 老齢期 65歳以上の人
 - G. その他 40歳～64歳の独身者、40歳～64歳の子どもがいない夫婦など

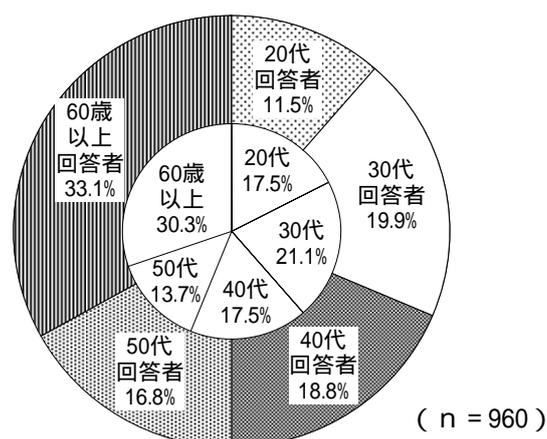
9. 母集団との比較

母集団（文京区住民基本台帳上の満 20 歳以上の人）と比べた調査回答者の男女構成は、ほぼ同じ傾向となった。また、調査回答者の年代構成をみると、20代が少なく、50代が多い結果となった。

(1) 性別構成



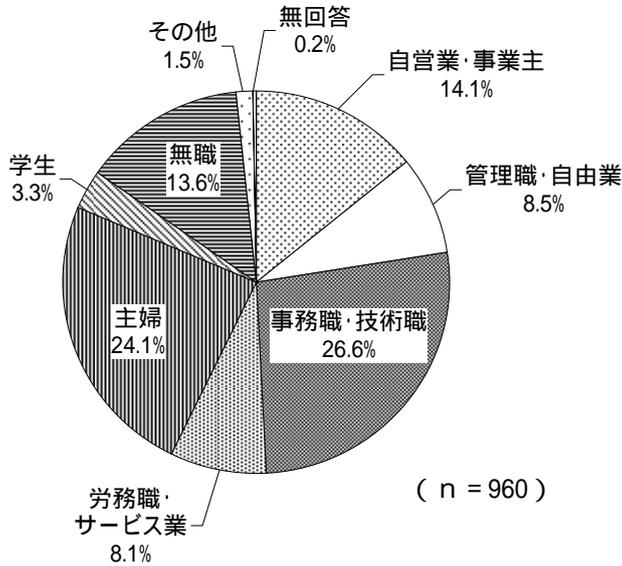
(2) 年代構成



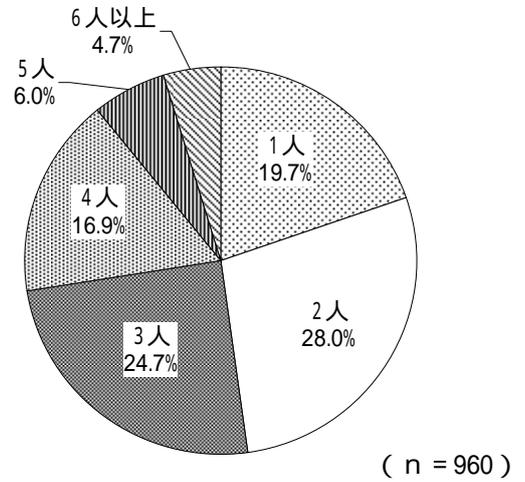
(注) 内円は母集団、外円は調査回答者の構成比を示している。

10. 回答者の特性

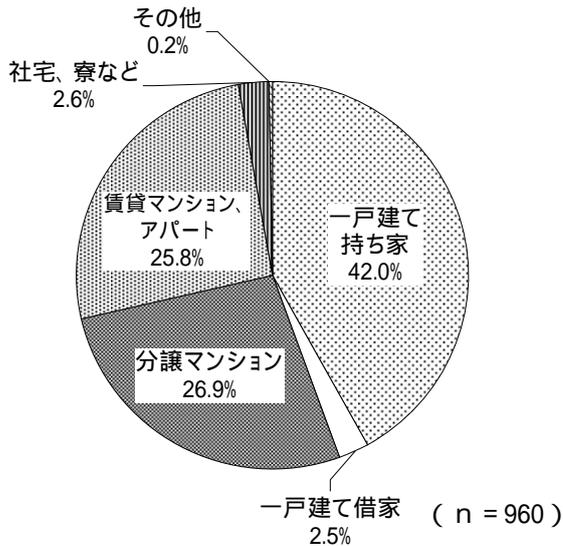
(1) 職業



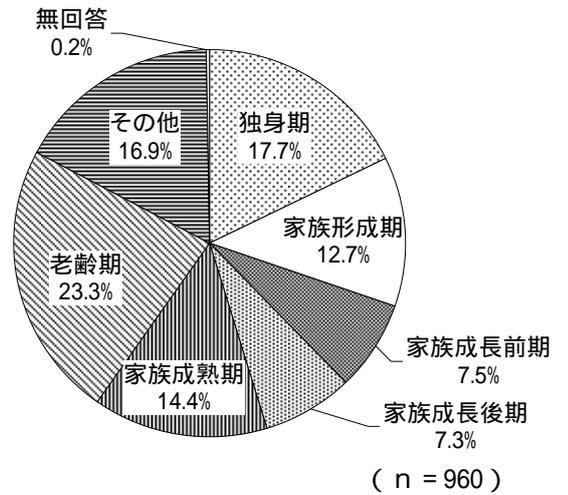
(2) 家族人数



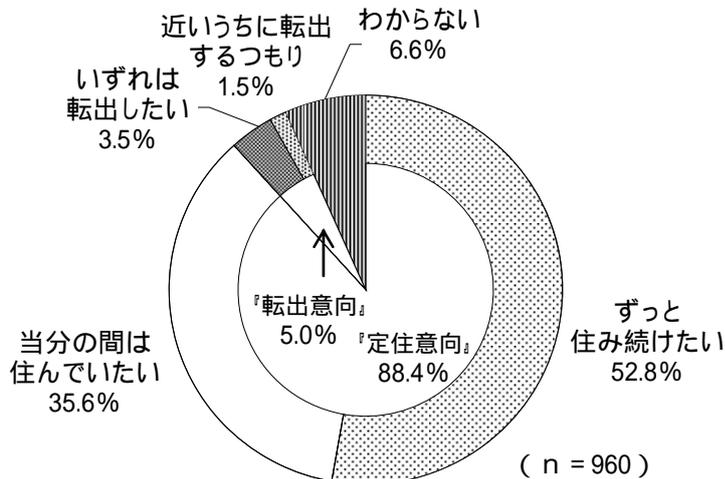
(3) 住居形態



(4) ライフステージ



(5) 定住意向



. 調査結果の分析

1 . 定住意向

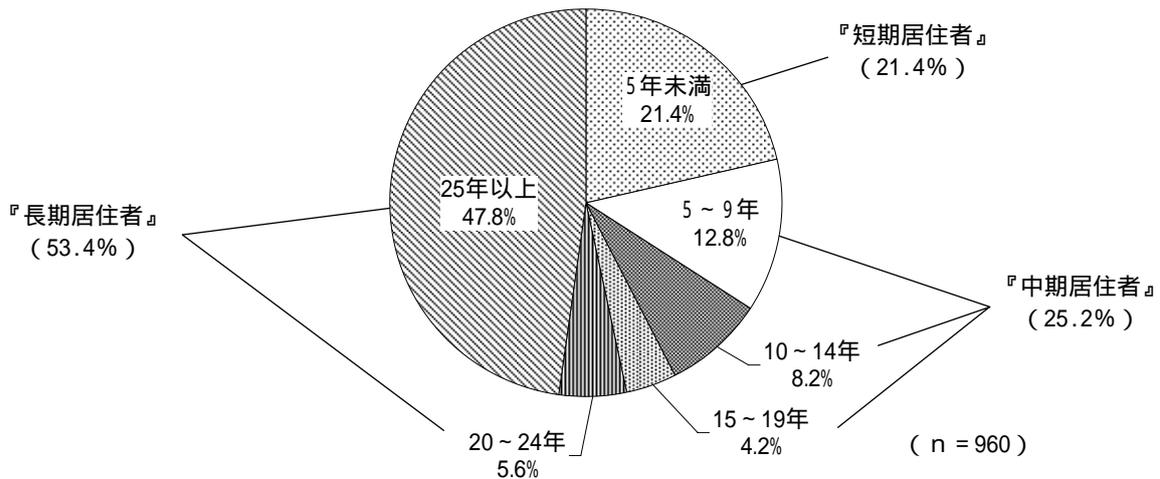
-
- 1 - 1 居住年数
 - 1 - 2 定住・転出意向
 - 1 - 3 住み続けたい理由
-

1. 定住意向

1-1 居住年数

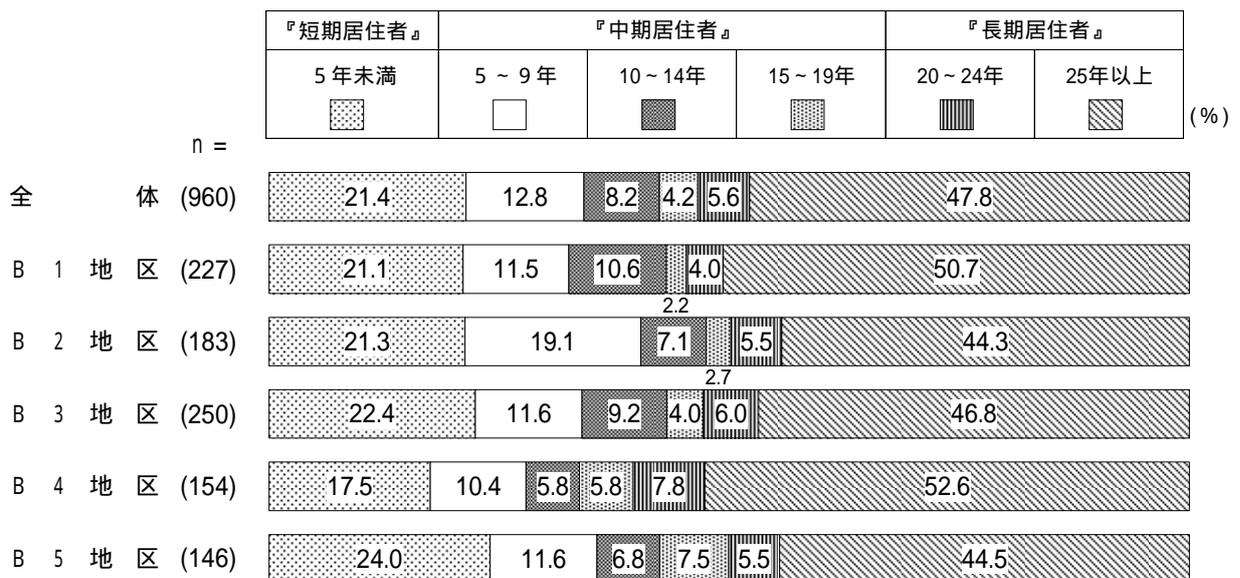
| | | | | | |
|-------------------------------------|-------|-----------|------|-----------|-------|
| 問1 あなたは、文京区にお住まいになって何年になりますか。(は1つ) | | | | | |
| (n = 960) | | | | | |
| 1. 5年未満 | 21.4% | 3. 10～14年 | 8.2% | 5. 20～24年 | 5.6% |
| 2. 5～9年 | 12.8% | 4. 15～19年 | 4.2% | 6. 25年以上 | 47.8% |

図1-1-1 居住年数



居住年数を聞いたところ、「5年未満」の『短期居住者』(21.4%)が2割を超え、「5～9年」(12.8%)、「10～14年」(8.2%)、「15～19年」(4.2%)を合わせた『中期居住者』(25.2%)が2割半ば、「20～24年」(5.6%)と「25年以上」(47.8%)を合わせた『長期居住者』(53.4%)が5割を超えている。(図1-1-1)

図1-1-2 居住年数 - 地区別

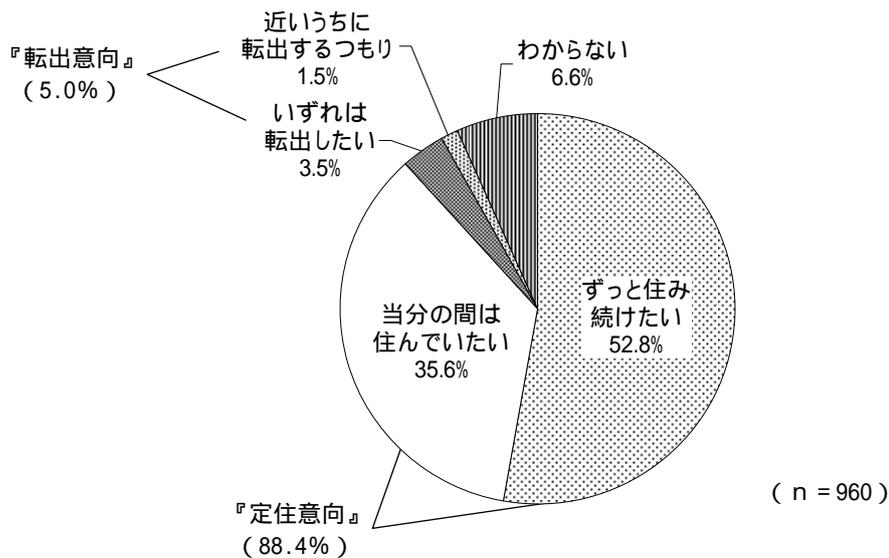


地区別にみると、『中期居住者』はB2地区で3割近く、『長期居住者』はB4地区で6割を超え多くなっている。(図1-1-2)

1 - 2 定住・転出意向

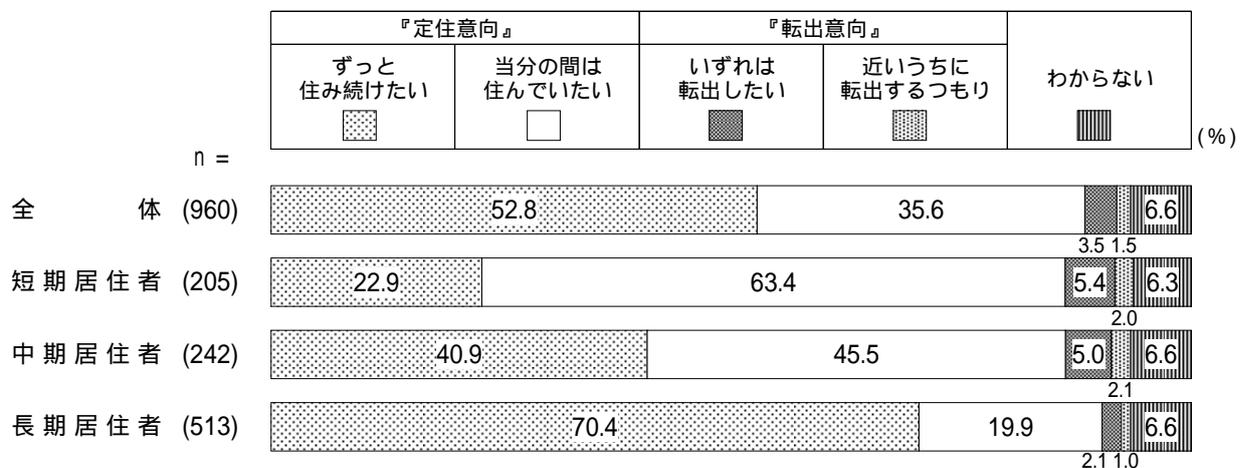
| | | | | |
|--------------------------------------|-------|-----------------|------|--|
| 問2 あなたは、これからも文京区に住み続けたいと思いますか。(は1つ) | | | | |
| (n = 960) | | | | |
| 1. ずっと住み続けたい | 52.8% | 4. 近いうちに転出するつもり | 1.5% | |
| 2. 当分の間は住んでいたい | 35.6% | 5. わからない | 6.6% | |
| 3. いずれは転出したい | 3.5% | | | |

図1 - 2 - 1 定住・転出意向



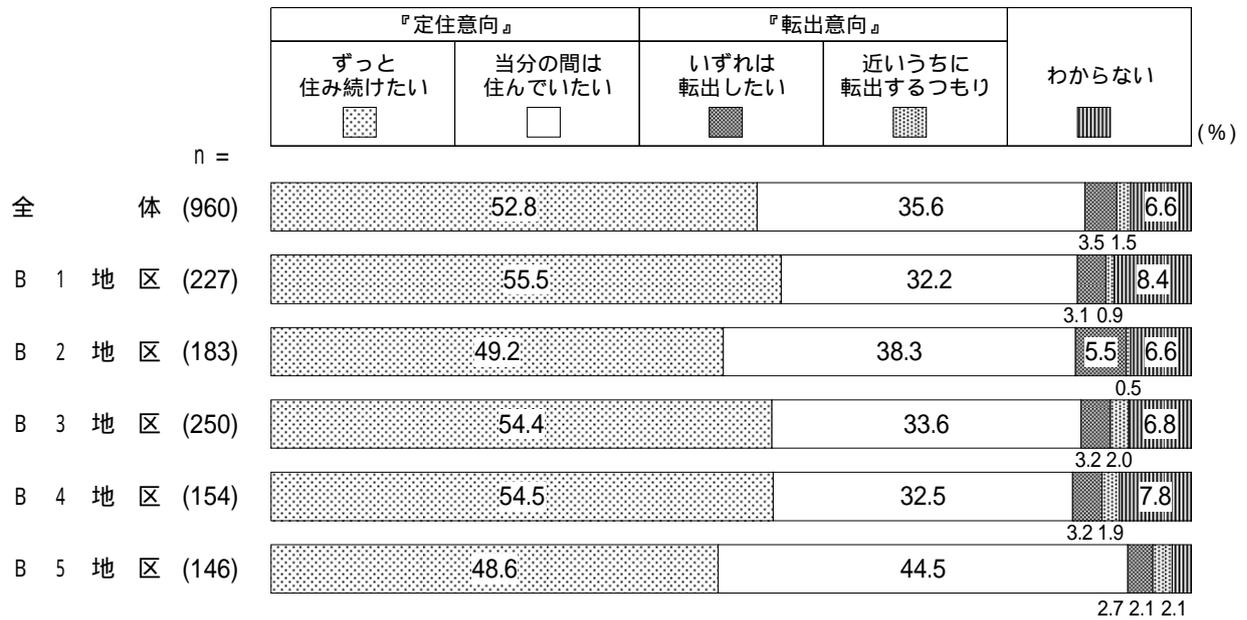
定住・転出意向を聞いたところ、これからも引き続き文京区に「ずっと住み続けたい」(52.8%)が5割を超え最も多く、これに「当分の間は住んでいたい」(35.6%)を合わせた『定住意向』(88.4%)が9割近くとなっている。一方、「いずれは転出したい」(3.5%)と「近いうちに転出するつもり」(1.5%)を合わせた『転出意向』(5.0%)は1割に満たない。(図1 - 2 - 1)

図1 - 2 - 2 定住・転出意向 - 居住年数別【3分類】



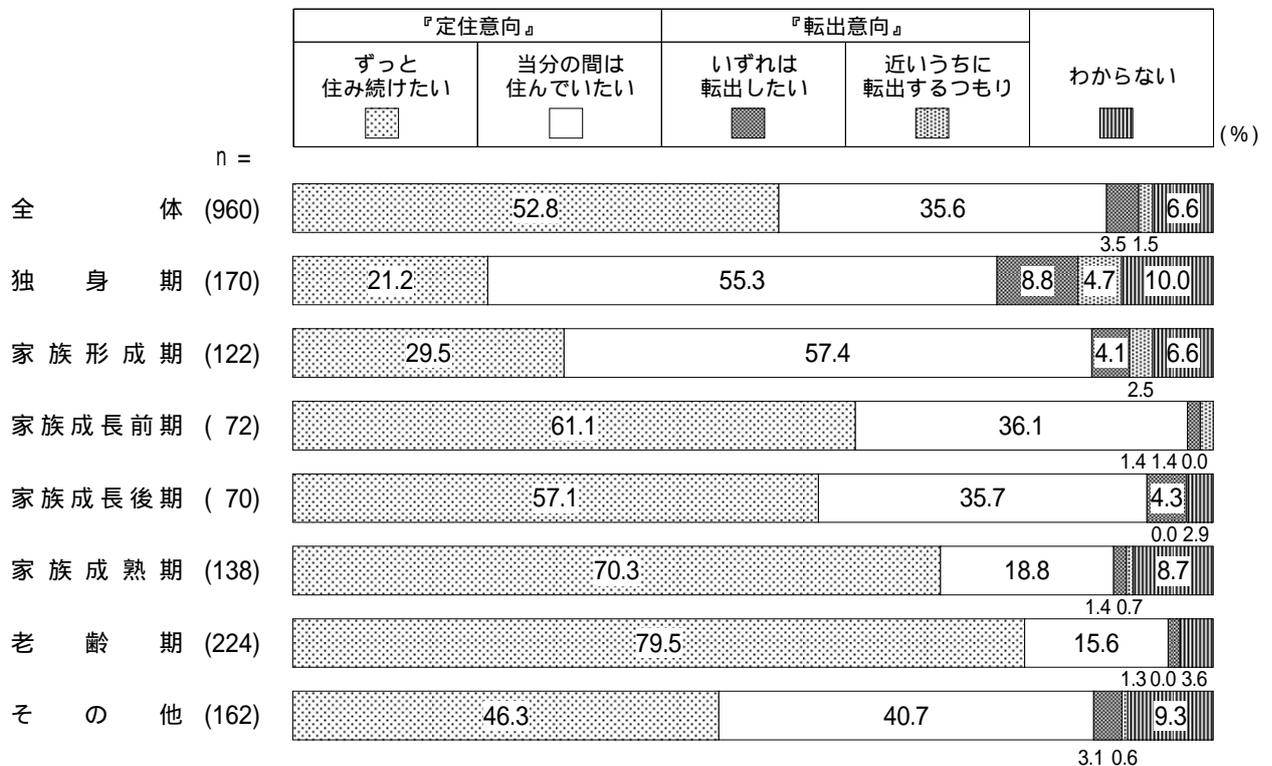
居住年数別にみると、「ずっと住み続けたい」は居住年数が長いほど割合が高い傾向にあり、長期居住者で7割を超え多くなっている。また、『定住意向』はいずれの居住年数でも8割以上を占めている。(図1 - 2 - 2)

図 1 - 2 - 3 定住・転出意向 - 地区別



地区別にみると、『定住意向』はB 5地区で9割を超え多くなっている。(図 1 - 2 - 3)

図 1 - 2 - 4 定住・転出意向 - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「ずっと住み続けたい」は老齡期で8割弱、家族成熟期で7割を超え多く、『定住意向』では家族成長前期でほぼ全員、老齡期で9割半ばと多くなっている。(図 1 - 2 - 4)

1 - 3 住み続けたい理由

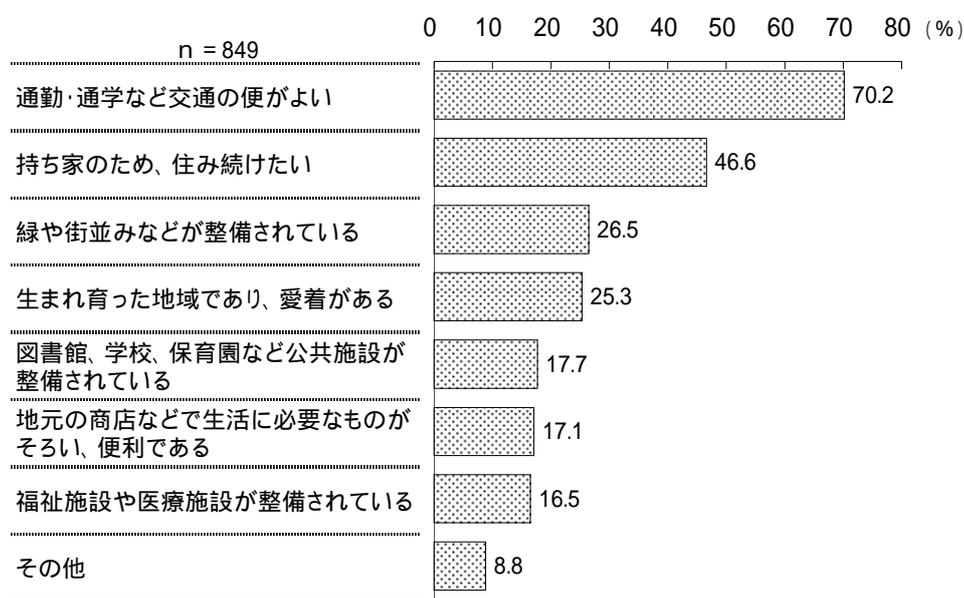
(問2で「1. ずっと住み続けたい」または「2. 当分の間は住んでいたい」とお答えの方
にうかがいます)

問2 - 1 住み続けたいと思う理由を3つ以内でお選びください。

(n = 849)

| | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 通勤・通学など交通の便がよい | 70.2% |
| 2. 緑や街並みなどが整備されている | 26.5% |
| 3. 図書館、学校、保育園など公共施設が整備されている | 17.7% |
| 4. 福祉施設や医療施設が整備されている | 16.5% |
| 5. 地元の商店などで生活に必要なものがそろい、便利である | 17.1% |
| 6. 生まれ育った地域であり、愛着がある | 25.3% |
| 7. 持ち家のため、住み続けたい | 46.6% |
| 8. その他 | 8.8% |

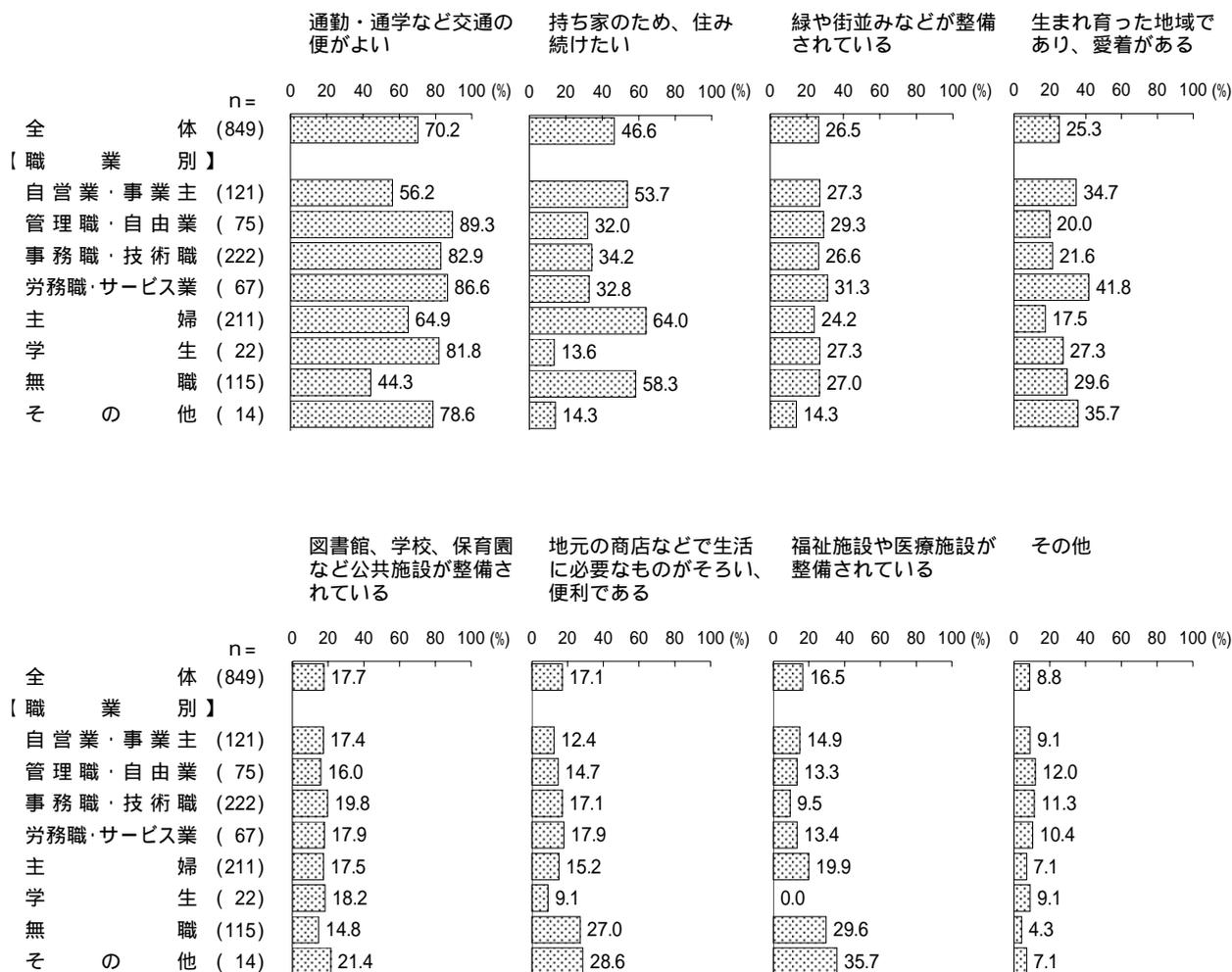
図1 - 3 - 1 住み続けたい理由



これからも文京区に「ずっと住み続けたい」または「当分の間は住んでいたい」と答えた人(849人)に、住み続けたい理由を聞いたところ、「通勤・通学など交通の便がよい」(70.2%)が7割と最も多く、次いで「持ち家のため、住み続けたい」(46.6%)、「緑や街並みなどが整備されている」(26.5%)、「生まれ育った地域であり、愛着がある」(25.3%)などの順となっている。

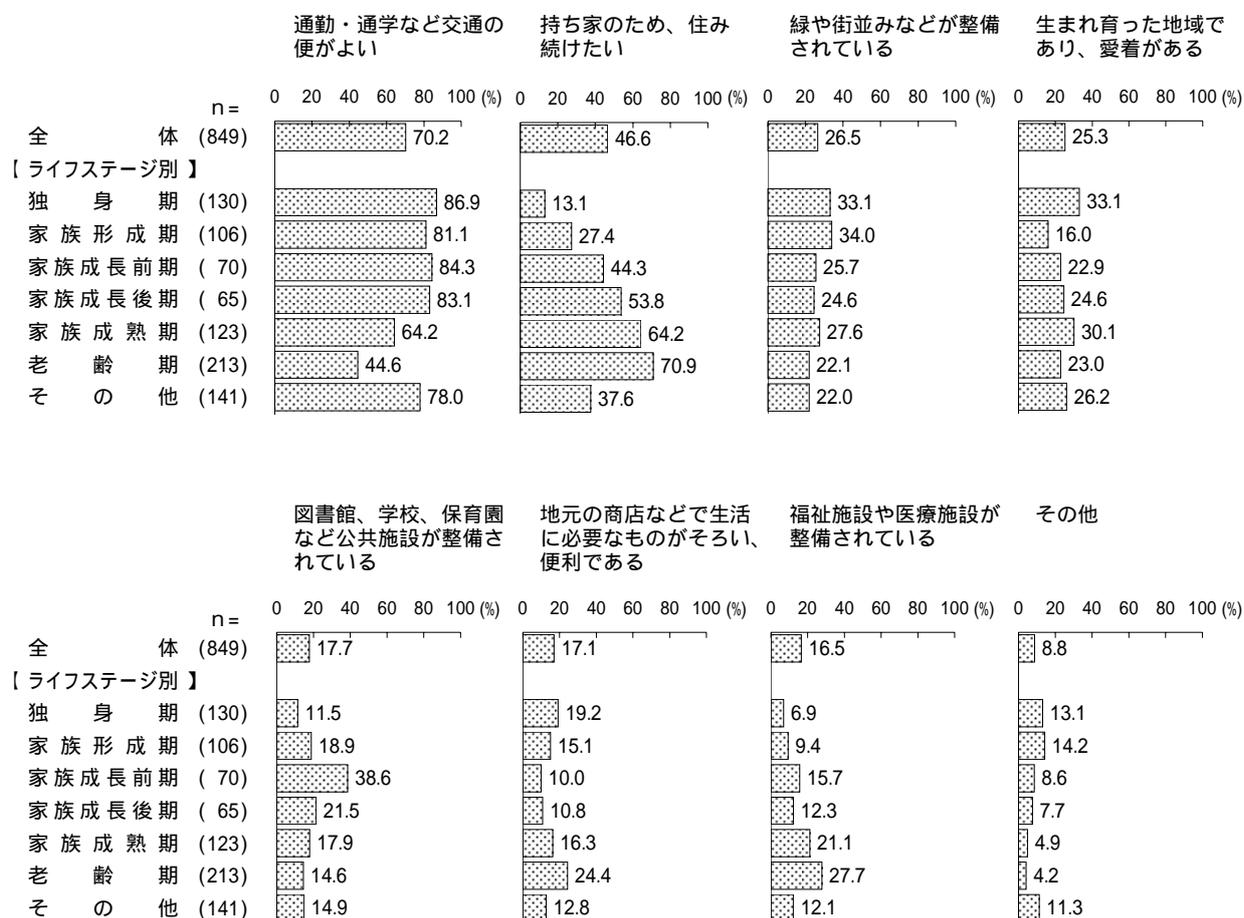
(図1 - 3 - 1)

図1-3-2 住み続けたい理由 - 職業別



職業別にみると、「通勤・通学など交通の便がよい」は管理職・自由業でほぼ9割、労務職・サービス業で9割近く、事務職・技術職と学生でともに8割を超え多くなっている。「持ち家のため、住み続けたい」は主婦で6割半ば、「生まれ育った地域であり、愛着がある」は労務職・サービス業で4割を超え多く、「地元の商店などで生活に必要なものがそろい、便利である」は無職で3割近く、「福祉施設や医療施設が整備されている」は無職で3割弱と多くなっている。(図1-3-2)

図 1 - 3 - 3 住み続けたい理由 - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「通勤・通学など交通の便がよい」は独身期で9割近く、「持ち家のため、住み続けたい」は老齢期でほぼ7割、家族成熟期で6割半ばと多くなっている。「図書館、学校、保育園など公共施設が整備されている」は家族成長前期で4割近く、「福祉施設や医療施設が整備されている」は老齢期で3割近くと多くなっている。(図1-3-3)

2 . 区 の 施 策

-
- 2 - 1 満足に感じている区の施策
 - 2 - 2 不満に感じている区の施策
 - 2 - 3 さらに力を入れてほしい区の施策
 - 2 - 4 「文の京」の明日を創る 文京区基本構想の認知度
 - 2 - 5 10年後の文京区のイメージ
-

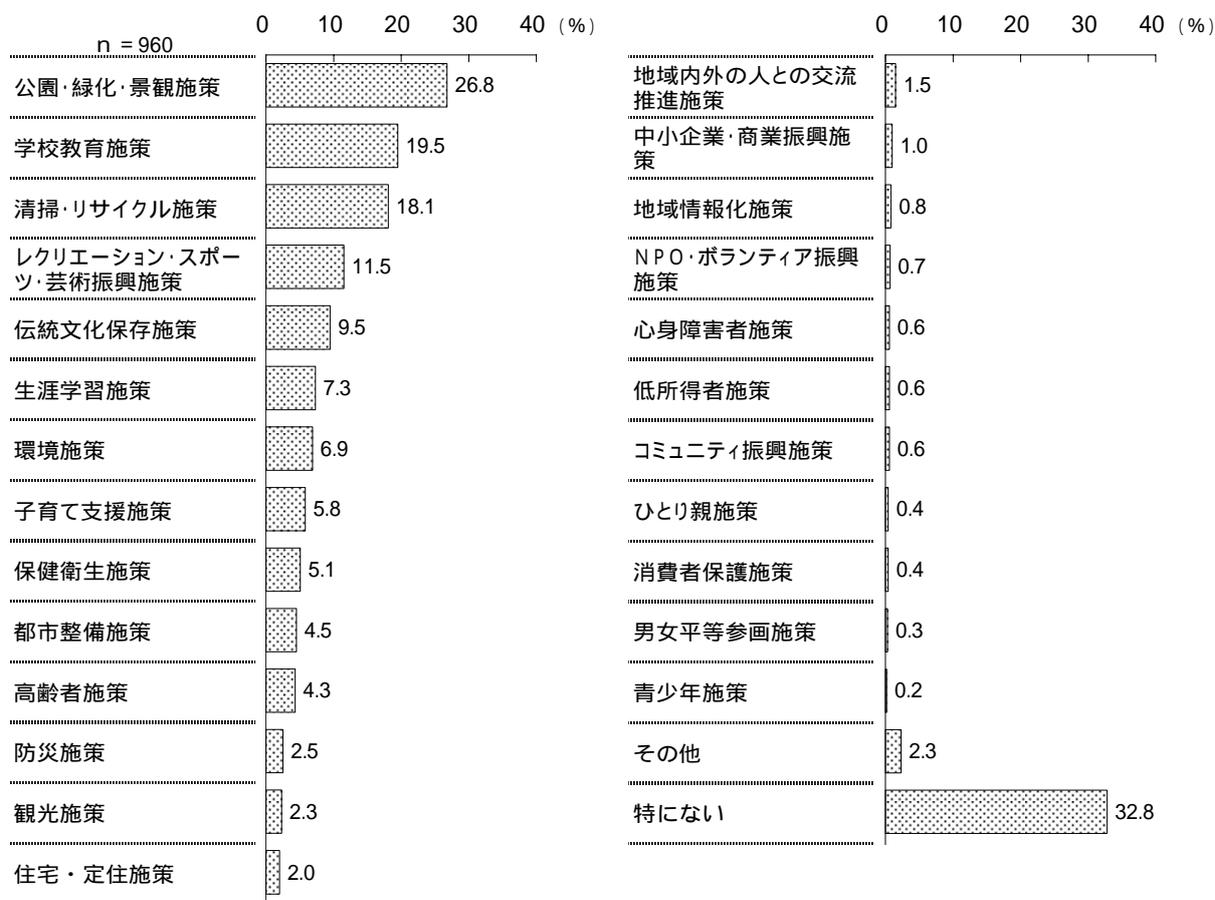
2. 区の施策

2-1 満足に感じている区の施策

問3 次の区の施策のうち、あなたが満足に感じているものを、3つ以内でお選びください。
(n = 960)

| | | | |
|-------------------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 学校教育施策 | 19.5% | 14. 都市整備施策 | 4.5% |
| 2. 生涯学習施策 | 7.3% | 15. 清掃・リサイクル施策 | 18.1% |
| 3. レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 | 11.5% | 16. 環境施策 | 6.9% |
| 4. 伝統文化保存施策 | 9.5% | 17. 住宅・定住施策 | 2.0% |
| 5. 地域内外の人との交流推進施策 | 1.5% | 18. 公園・緑化・景観施策 | 26.8% |
| 6. 保健衛生施策 | 5.1% | 19. 防災施策 | 2.5% |
| 7. 子育て支援施策 | 5.8% | 20. コミュニティ振興施策 | 0.6% |
| 8. 高齢者施策 | 4.3% | 21. NPO・ボランティア振興施策 | 0.7% |
| 9. 心身障害者施策 | 0.6% | 22. 中小企業・商業振興施策 | 1.0% |
| 10. ひとり親施策 | 0.4% | 23. 観光施策 | 2.3% |
| 11. 低所得者施策 | 0.6% | 24. 消費者保護施策 | 0.4% |
| 12. 青少年施策 | 0.2% | 25. 地域情報化施策 | 0.8% |
| 13. 男女平等参画施策 | 0.3% | 26. その他 | 2.3% |
| | | 27. 特にない | 32.8% |

図2-1-1 満足に感じている区の施策



満足に感じている区の施策について聞いたところ、「公園・緑化・景観施策」(26.8%)が3割近くと最も多く、次いで「学校教育施策」(19.5%)、「清掃・リサイクル施策」(18.1%)などの順となっている。また、「特にない」(32.8%)が3割を超えている。(図2-1-1)

表2 - 1 - 1 満足に感じている区の施策 - 性・年代別（上位5位）

| 属性 | | 順位 | n | 1 位 | 2 位 | 3 位 | 4 位 | 5 位 |
|-------|-------|----|-----|--------------------|--|-----------------------------|--|---------------------------------------|
| 全体 | | | 960 | 公園・緑化・景観施策 26.8 | 学校教育施策 19.5 | 清掃・リサイクル施策 18.1 | レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 11.5 | 伝統文化保存施策 9.5 |
| 男性（計） | | | 426 | 公園・緑化・景観施策 25.1 | 学校教育施策 18.8 | 清掃・リサイクル施策 15.3 | レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 12.7 | 伝統文化保存施策 8.9 |
| | 20代 | | 54 | 公園・緑化・景観施策 16.7 | 学校教育施策 / 清掃・リサイクル施策 / レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 14.8 | | 都市整備施策 5.6 | |
| | 30代 | | 100 | 公園・緑化・景観施策 25.0 | 学校教育施策 19.0 | 清掃・リサイクル施策 13.0 | レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 12.0 | 子育て支援施策 7.0 |
| | 40代 | | 78 | 公園・緑化・景観施策 23.1 | レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 21.8 | 学校教育施策 20.5 | 清掃・リサイクル施策 14.1 | 伝統文化保存施策 / 子育て支援施策 7.7 |
| | 50代 | | 69 | 公園・緑化・景観施策 29.0 | 学校教育施策 26.1 | 清掃・リサイクル施策 / 生涯学習施策 10.1 | | レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 8.7 |
| | 60歳以上 | | 125 | 公園・緑化・景観施策 28.0 | 清掃・リサイクル施策 20.8 | 学校教育施策 / 伝統文化保存施策 15.2 | | レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 / 保健衛生施策 8.8 |
| 女性（計） | | | 534 | 公園・緑化・景観施策 28.1 | 清掃・リサイクル施策 20.4 | 学校教育施策 20.0 | レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 10.5 | 伝統文化保存施策 9.9 |
| | 20代 | | 56 | 公園・緑化・景観施策 32.1 | 学校教育施策 16.1 | 清掃・リサイクル施策 14.3 | 都市整備施策 12.5 | レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 / 環境施策 8.9 |
| | 30代 | | 91 | 公園・緑化・景観施策 34.1 | 学校教育施策 20.9 | 清掃・リサイクル施策 13.2 | 子育て支援施策 12.1 | レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 8.8 |
| | 40代 | | 102 | 公園・緑化・景観施策 22.5 | 学校教育施策 20.6 | 清掃・リサイクル施策 18.6 | 子育て支援施策 12.7 | 環境施策 10.8 |
| | 50代 | | 92 | 公園・緑化・景観施策 25.0 | 清掃・リサイクル施策 21.7 | 学校教育施策 15.2 | レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 / 伝統文化保存施策 / 生涯学習施策 12.0 | |
| | 60歳以上 | | 193 | 公園・緑化・景観施策 28.5 | 清掃・リサイクル施策 25.9 | 学校教育施策 22.8 | 伝統文化保存施策 14.5 | レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 / 生涯学習施策 11.4 |

性・年代別に上位5位でみると、「公園・緑化・景観施策」は男女ともにすべての年代で1位、「学校教育施策」は3位以内、「清掃・リサイクル施策」は4位以内になっている。また、「レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策」は男性40代で2割を超え、2位となっている。

（表2 - 1 - 1）

表2 - 1 - 2 満足に感じている区の施策 - ライフステージ別 (上位5位)

| | | (%) | | | | |
|-------------|---------|------------------------|--------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 属性 | 順位 n | 1 位 | 2 位 | 3 位 | 4 位 | 5 位 |
| 全 体 | 960 | 公園・緑化・ 景観施策 26.8 | 学校教育施策 19.5 | 清 掃 ・ リサイクル施策 18.1 | レクリエーショ ン・スポーツ・ 芸術振興施策 11.5 | 伝 統 文 化 保 存 施 策 9.5 |
| 独 身 期 | 170 | 公園・緑化・ 景観施策 26.5 | 清 掃 ・ リサイクル施策 15.9 | 学 校 教 育 施 策 15.3 | レクリエーショ ン・スポーツ・ 芸術振興施策 10.0 | 都 市 整 備 施 策 7.6 |
| 家 族 形 成 期 | 122 | 公園・緑化・ 景観施策 29.5 | 学 校 教 育 施 策 16.4 | 子 育 て 支 援 施 策 14.8 | 清 掃 ・ リサイクル施策 13.1 | レクリエーショ ン・スポーツ・ 芸術振興施策 10.7 |
| 家 族 成 長 前 期 | 72 | 学 校 教 育 施 策 38.9 | 公園・緑化・ 景観施策 25.0 | レクリエーショ ン・スポーツ・ 芸術振興施策 / 子育て支援施策 16.7 | 伝 統 文 化 保 存 施 策 12.5 | |
| 家 族 成 長 後 期 | 70 | 学 校 教 育 施 策 31.4 | 公園・緑化・ 景観施策 21.4 | 清 掃 ・ リサイクル施策 15.7 | レクリエーショ ン・スポーツ・ 芸術振興施策 14.3 | 生 涯 学 習 施 策 12.9 |
| 家 族 成 熟 期 | 138 | 公園・緑化・ 景観施策 32.6 | 学 校 教 育 施 策 25.4 | 清 掃 ・ リサイクル施策 18.1 | レクリエーショ ン・スポーツ・ 芸術振興施策 15.2 | 環 境 施 策 10.9 |
| 老 齢 期 | 224 | 公園・緑化・ 景観施策 25.9 | 清 掃 ・ リサイクル施策 25.4 | 学 校 教 育 施 策 19.2 | 伝 統 文 化 保 存 施 策 15.6 | 保 健 衛 生 施 策 / 高 齢 者 施 策 10.3 |
| そ の 他 | 162 | 公園・緑化・ 景観施策 24.7 | 清 掃 ・ リサイクル施策 19.1 | 生 涯 学 習 施 策 9.9 | レクリエーショ ン・スポーツ・ 芸術振興施策 9.3 | 伝 統 文 化 保 存 施 策 8.6 |

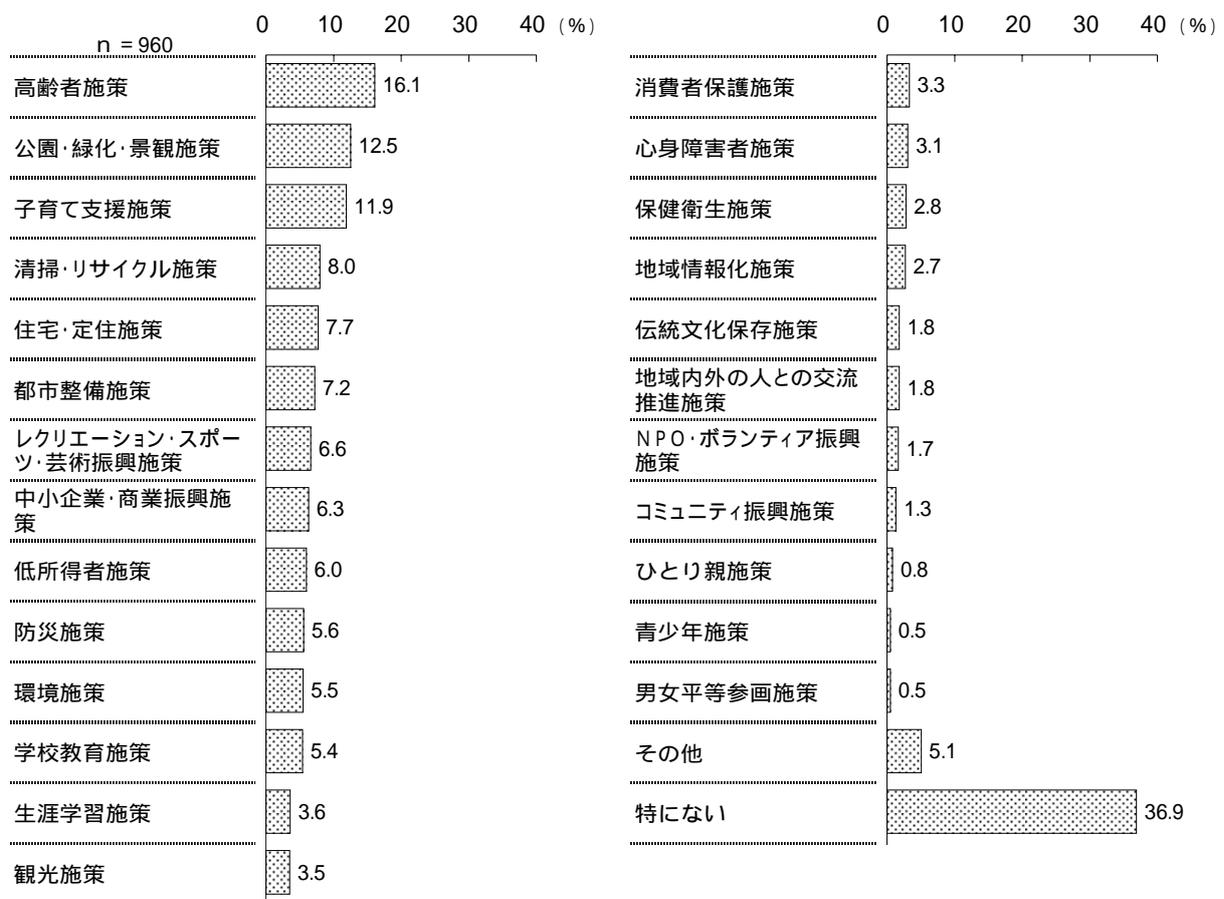
ライフステージ別に上位5位でみると、「公園・緑化・景観施策」はすべてのライフステージで2位以内になっており、家族成熟期では3割を超えている。「学校教育施策」は家族成長前期と後期で1位になっており、家族成長前期では4割近くと多くなっている。(表2 - 1 - 2)

2 - 2 不満に感じている区の施策

問4 次の区の施策のうち、あなたが不満に感じているものを、3つ以内でお選びください。
(n = 960)

| | | | |
|-----------------------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 学校教育施策 | 5.4% | 14. 都市整備施策 | 7.2% |
| 2. 生涯学習施策 | 3.6% | 15. 清掃・リサイクル施策 | 8.0% |
| 3. レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 | 6.6% | 16. 環境施策 | 5.5% |
| 4. 伝統文化保存施策 | 1.8% | 17. 住宅・定住施策 | 7.7% |
| 5. 地域内外の人との交流推進施策 | 1.8% | 18. 公園・緑化・景観施策 | 12.5% |
| 6. 保健衛生施策 | 2.8% | 19. 防災施策 | 5.6% |
| 7. 子育て支援施策 | 11.9% | 20. コミュニティ振興施策 | 1.3% |
| 8. 高齢者施策 | 16.1% | 21. NPO・ボランティア振興施策 | 1.7% |
| 9. 心身障害者施策 | 3.1% | 22. 中小企業・商業振興施策 | 6.3% |
| 10. ひとり親施策 | 0.8% | 23. 観光施策 | 3.5% |
| 11. 低所得者施策 | 6.0% | 24. 消費者保護施策 | 3.3% |
| 12. 青少年施策 | 0.5% | 25. 地域情報化施策 | 2.7% |
| 13. 男女平等参画施策 | 0.5% | 26. その他 | 5.1% |
| | | 27. 特にない | 36.9% |

図2 - 2 - 1 不満に感じている区の施策



不満に感じている区の施策について聞いたところ、「高齢者施策」(16.1%)が1割半ばと最も多く、次いで「公園・緑化・景観施策」(12.5%)、「子育て支援施策」(11.9%)などの順となっている。また、「特にない」(36.9%)が4割近くとなっている。(図2 - 2 - 1)

表 2 - 2 - 1 不満に感じている区の施策 - 性・年代別 (上位 5 位)

| | | (%) | | | | | |
|--------|-------|-----|---------------------------------------|---|--|---|---|
| 属性 | 順位 | n | 1 位 | 2 位 | 3 位 | 4 位 | 5 位 |
| | 全体 | | 960 | 高齢者施策 16.1 | 公園・緑化・ 景観施策 12.5 | 子育て 支援施策 11.9 | 清掃・ リサイクル施策 8.0 |
| 男性 (計) | | 426 | 高齢者施策 15.7 | 公園・緑化・ 景観施策 12.9 | 子育て 支援施策 12.7 | 清掃・ リサイクル施策 9.2 | レクリエーシ ョン・スポーツ・ 芸術振興施策 8.5 |
| | 20 代 | 54 | 公園・緑化・ 景観施策 11.1 | 子育て支援 リサイクル 施策 / 低所得者 施策 9.3 | 高齢者施策 / 都市整備施策 7.4 | | |
| | 30 代 | 100 | 子育て 支援施策 16.0 | 公園・緑化・ 景観施策 12.0 | 住宅・定住 施策 10.0 | 清掃・ リサイクル 施策 9.0 | 高齢者施策 / レクリエーシ ョン・スポーツ・ 芸術振興 施策 / 観光 施策 7.0 |
| | 40 代 | 78 | 公園・緑化・ 景観施策 / 子育て 支援 19.2 | 高齢者施策 / 清掃・リサイクル 施策 / 学校教育 施策 10.3 | | | |
| | 50 代 | 69 | 高齢者 施策 21.7 | 公園・緑化・ 景観 施策 14.5 | レクリエーシ ョン・スポーツ・ 芸術振興 施策 13.0 | 子育て 支援 施策 / 清掃・ リサイ クル 施策 11.6 | |
| | 60歳以上 | 125 | 高齢者 施策 26.4 | 公園・緑化・ 景観 施策 / 環境 施策 9.6 | 住宅・定住 施策 8.8 | 子育て 支援 施策 / 都市 整備 施策 / レクリエー ション・ スポーツ・ 芸術振興 施策 8.0 | |
| 女性 (計) | | 534 | 高齢者 施策 16.5 | 公園・緑化・ 景観 施策 12.2 | 子育て 支援 施策 11.2 | 都市整備 施策 7.9 | 住宅・定住 施策 7.7 |
| | 20 代 | 56 | 高齢者 施策 16.1 | 公園・緑化 / 子育て 支援 14.3 | 景観 施策 / 学校教育 施策 10.7 | レクリエーシ ョン・スポーツ・ 芸術振興 施策 10.7 | 低所得者 施策 8.9 |
| | 30 代 | 91 | 子育て 支援 施策 27.5 | 公園・緑化・ 景観 施策 19.8 | 学校教育 施策 12.1 | 都市整備 施策 11.0 | 住宅・定住 施策 8.8 |
| | 40 代 | 102 | 子育て 支援 施策 14.7 | 公園・緑化・ 景観 施策 12.7 | 学校教育 施策 10.8 | 高齢者 施策 8.8 | 清掃・ リサイ クル 施策 7.8 |
| | 50 代 | 92 | 高齢者 施策 16.3 | 公園・緑化・ 景観 施策 / 都市 整備 施策 9.8 | 住宅・定住 施策 8.7 | 清掃・リサイ クル 施策 / 中小 企業・ 商業 振興 施策 7.6 | |
| | 60歳以上 | 193 | 高齢者 施策 26.9 | 公園・緑化・ 景観 施策 / 住宅 ・定住 施策 8.8 | 清掃・リサイ クル 施策 / 都市 整備 施策 / 中小 企業・ 商業 振興 施策 7.8 | | |

性・年代別に上位 5 位でみると、「子育て支援施策」は男女ともに 40 代までの年代で 2 位以内になっており、特に女性 30 代で 3 割近くと多くなっている。一方、「高齢者施策」は男女ともに 50 代と 60 歳以上の年代で 1 位になっている。また、「公園・緑化・景観施策」は男女ともにすべての年代で 2 位以内になっている。(表 2 - 2 - 1)

表 2 - 2 - 2 不満に感じている区の施策 - ライフステージ別 (上位 5 位)

| | | (%) | | | | |
|-------------|---------|-----------------------|---|--|--|--|
| 属性 | 順位 n | 1 位 | 2 位 | 3 位 | 4 位 | 5 位 |
| 全 体 | 960 | 高 齢 者 施 策 16.1 | 公 園 ・ 緑 化 ・ 景 観 施 策 12.5 | 子 育 て 支 援 施 策 11.9 | 清 掃 ・ リ サ イ ク ル 施 策 8.0 | 住 宅 ・ 定 住 施 策 7.7 |
| 独 身 期 | 170 | 高 齢 者 施 策 11.2 | 公 園 ・ 緑 化 ・ 景 観 施 策 10.0 | 低 所 得 者 施 策 7.6 | 子 育 て 支 援 施 策 7.1 | 清 掃 ・ リ サ イ ク ル 施 策 / レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ ス ポ ー ツ ・ 芸 術 振 興 施 策 6.5 |
| 家 族 形 成 期 | 122 | 子 育 て 支 援 施 策 29.5 | 公 園 ・ 緑 化 ・ 景 観 施 策 18.0 | 住 宅 ・ 定 住 施 策 / 都 市 整 備 施 策 9.8 | | レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ ス ポ ー ツ ・ 芸 術 振 興 施 策 9.0 |
| 家 族 成 長 前 期 | 72 | 子 育 て 支 援 施 策 40.3 | 公 園 ・ 緑 化 ・ 景 観 施 策 31.9 | 学 校 教 育 施 策 22.2 | 清 掃 ・ リ サ イ ク ル 施 策 12.5 | 高 齢 者 施 策 8.3 |
| 家 族 成 長 後 期 | 70 | 高 齢 者 施 策 14.3 | レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ ス ポ ー ツ ・ 芸 術 振 興 施 策 12.9 | 子 育 て 支 援 施 策 / 住 宅 ・ 定 住 施 策 / 学 校 教 育 施 策 11.4 | | |
| 家 族 成 熟 期 | 138 | 高 齢 者 施 策 21.0 | 公 園 ・ 緑 化 ・ 景 観 施 策 13.0 | 子 育 て 支 援 施 策 11.6 | 中 小 企 業 ・ 商 業 振 興 施 策 10.1 | 都 市 整 備 施 策 / 環 境 施 策 8.7 |
| 老 齢 期 | 224 | 高 齢 者 施 策 27.2 | 低 所 得 者 施 策 9.4 | 住 宅 ・ 定 住 施 策 8.9 | 清 掃 ・ リ サ イ ク ル 施 策 / 都 市 整 備 施 策 7.6 | |
| そ の 他 | 162 | 高 齢 者 施 策 16.0 | 公 園 ・ 緑 化 ・ 景 観 施 策 13.0 | レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ ス ポ ー ツ ・ 芸 術 振 興 施 策 / 環 境 施 策 9.3 | | 清 掃 ・ リ サ イ ク ル 施 策 8.6 |

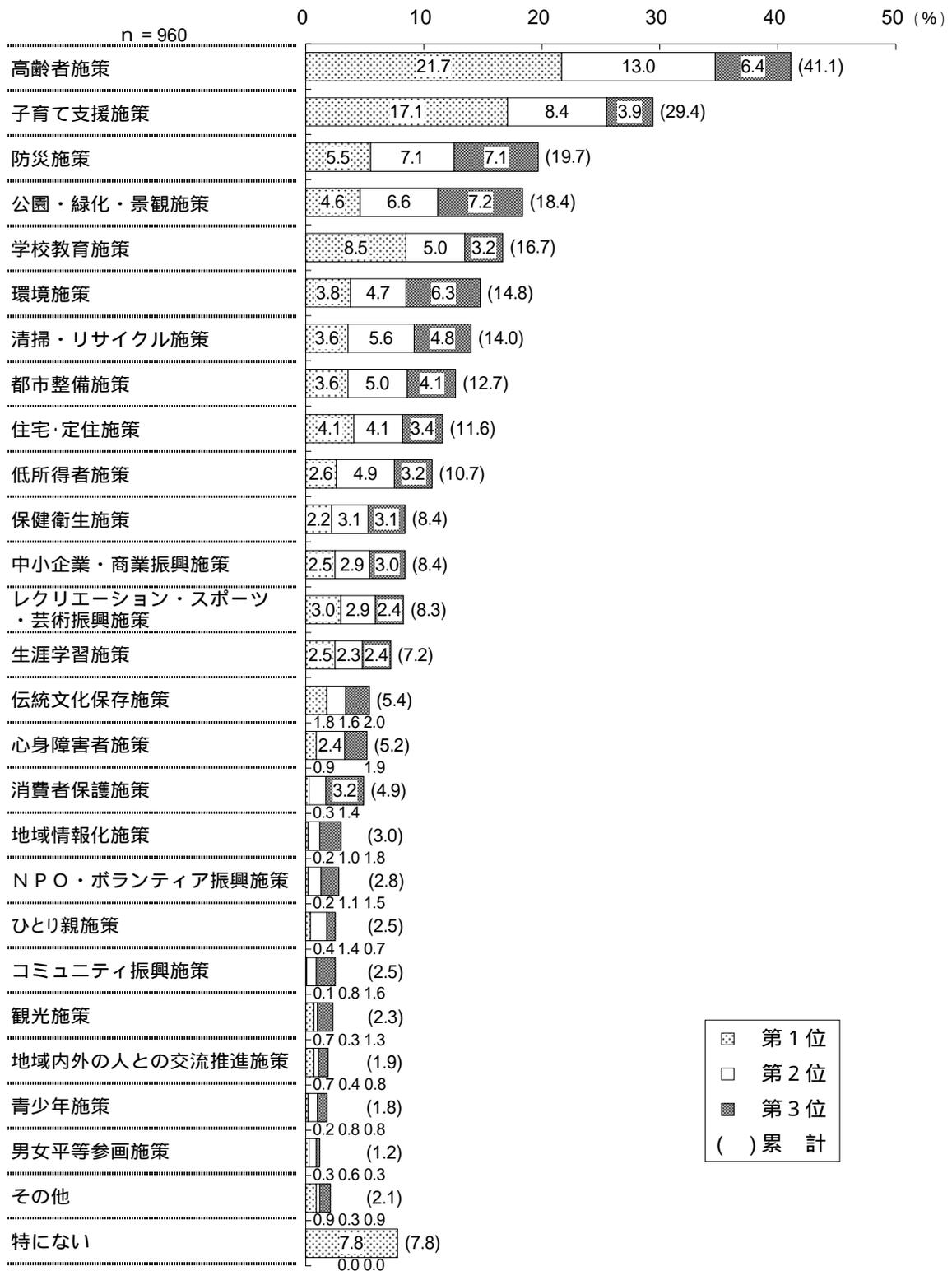
ライフステージ別に上位 5 位でみると、「高齢者施策」は独身期、家族成長後期、家族成熟期、老齢期で 1 位になっており、特に老齢期で 3 割近くと多くなっている。一方、「子育て支援施策」は家族形成期と家族成長前期で 1 位となっており、家族成長前期では 4 割と多くなっている。また、「公園・緑化・景観施策」は、特に家族成長前期で 3 割を超え多くなっている。(表 2 - 2 - 2)

2 - 3 さらに力を入れてほしい区の施策

問5 次の区の施策のうち、あなたがさらに力を入れるべきだと考えるものを、順位をつけて、3つ以内で選び、下の記入欄に番号をご記入ください。 (n = 960)

| | < 1 位 > | < 2 位 > | < 3 位 > |
|-----------------------------|---------|---------|---------|
| 1. 学校教育施策 | 8.5% | 5.0% | 3.2% |
| 2. 生涯学習施策 | 2.5% | 2.3% | 2.4% |
| 3. レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 | 3.0% | 2.9% | 2.4% |
| 4. 伝統文化保存施策 | 1.8% | 1.6% | 2.0% |
| 5. 地域内外の人との交流推進施策 | 0.7% | 0.4% | 0.8% |
| 6. 保健衛生施策 | 2.2% | 3.1% | 3.1% |
| 7. 子育て支援施策 | 17.1% | 8.4% | 3.9% |
| 8. 高齢者施策 | 21.7% | 13.0% | 6.4% |
| 9. 心身障害者施策 | 0.9% | 2.4% | 1.9% |
| 10. ひとり親施策 | 0.4% | 1.4% | 0.7% |
| 11. 低所得者施策 | 2.6% | 4.9% | 3.2% |
| 12. 青少年施策 | 0.2% | 0.8% | 0.8% |
| 13. 男女平等参画施策 | 0.3% | 0.6% | 0.3% |
| 14. 都市整備施策 | 3.6% | 5.0% | 4.1% |
| 15. 清掃・リサイクル施策 | 3.6% | 5.6% | 4.8% |
| 16. 環境施策 | 3.8% | 4.7% | 6.3% |
| 17. 住宅・定住施策 | 4.1% | 4.1% | 3.4% |
| 18. 公園・緑化・景観施策 | 4.6% | 6.6% | 7.2% |
| 19. 防災施策 | 5.5% | 7.1% | 7.1% |
| 20. コミュニティ振興施策 | 0.1% | 0.8% | 1.6% |
| 21. NPO・ボランティア振興施策 | 0.2% | 1.1% | 1.5% |
| 22. 中小企業・商業振興施策 | 2.5% | 2.9% | 3.0% |
| 23. 観光施策 | 0.7% | 0.3% | 1.3% |
| 24. 消費者保護施策 | 0.3% | 1.4% | 3.2% |
| 25. 地域情報化施策 | 0.2% | 1.0% | 1.8% |
| 26. その他 | 0.9% | 0.3% | 0.9% |
| 27. 特にない | 7.8% | 0.0% | 0.0% |
| 無回答 | 0.0% | 12.2% | 22.8% |

図 2 - 3 - 1 さらに力を入れてほしい区の施策



さらに力を入れてほしい区の施策について聞いたところ、1位にあげられた割合は、「高齢者施策」(21.7%)が2割を超え最も多く、次いで「子育て支援施策」(17.1%)、「学校教育施策」(8.5%)などの順となっている。

また、1位から3位までを合計すると、「高齢者施策」(41.1%)が4割を超え最も多く、次いで「子育て支援施策」(29.4%)、「防災施策」(19.7%)、「公園・緑化・景観施策」(18.4%)、「学校教育施策」(16.7%)などの順となっている。(図2-3-1)

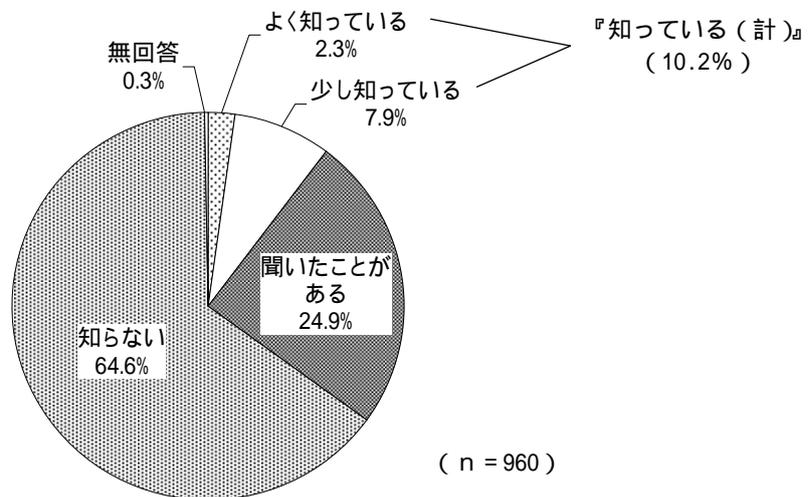
2 - 4 「文の京」の明日を創る 文京区基本構想の認知度

問6 区では、社会経済状況の変化等を踏まえ、現在、新たな基本構想の策定に取り組んでいるところですが、あなたは、平成13年7月に策定した現在の基本構想(『「文の京」の明日を創る』文京区基本構想)をご存知ですか。1つお選びください。

(n = 960)

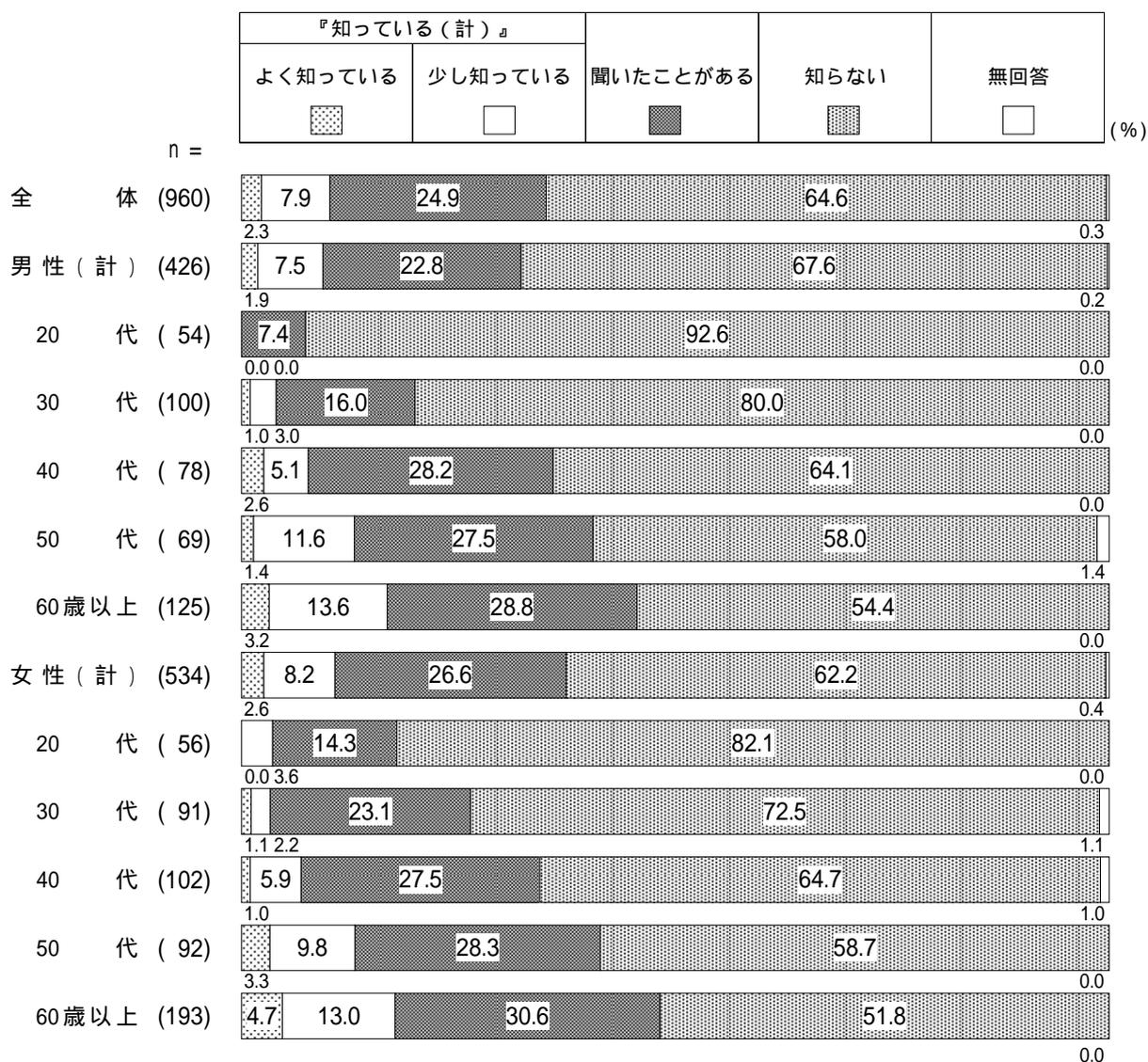
| | | | |
|------------|------|-------------|-------|
| 1. よく知っている | 2.3% | 3. 聞いたことがある | 24.9% |
| 2. 少し知っている | 7.9% | 4. 知らない | 64.6% |
| | | 無回答 | 0.3% |

図2 - 4 - 1 「文の京」の明日を創る 文京区基本構想の認知度



文京区基本構想の認知度について聞いたところ、「よく知っている」(2.3%)と「少し知っている」(7.9%)を合わせた『知っている(計)』(10.2%)が1割となっている。また、「聞いたことがある」(24.9%)が2割半ば、「知らない」(64.6%)が6割半ばとなっている。(図2 - 4 - 1)

図2 - 4 - 2 「文の京」の明日を創る 文京区基本構想の認知度 - 性・年代別



性別にみると、「知らない」は男性の方が5.4ポイント高くなっている。

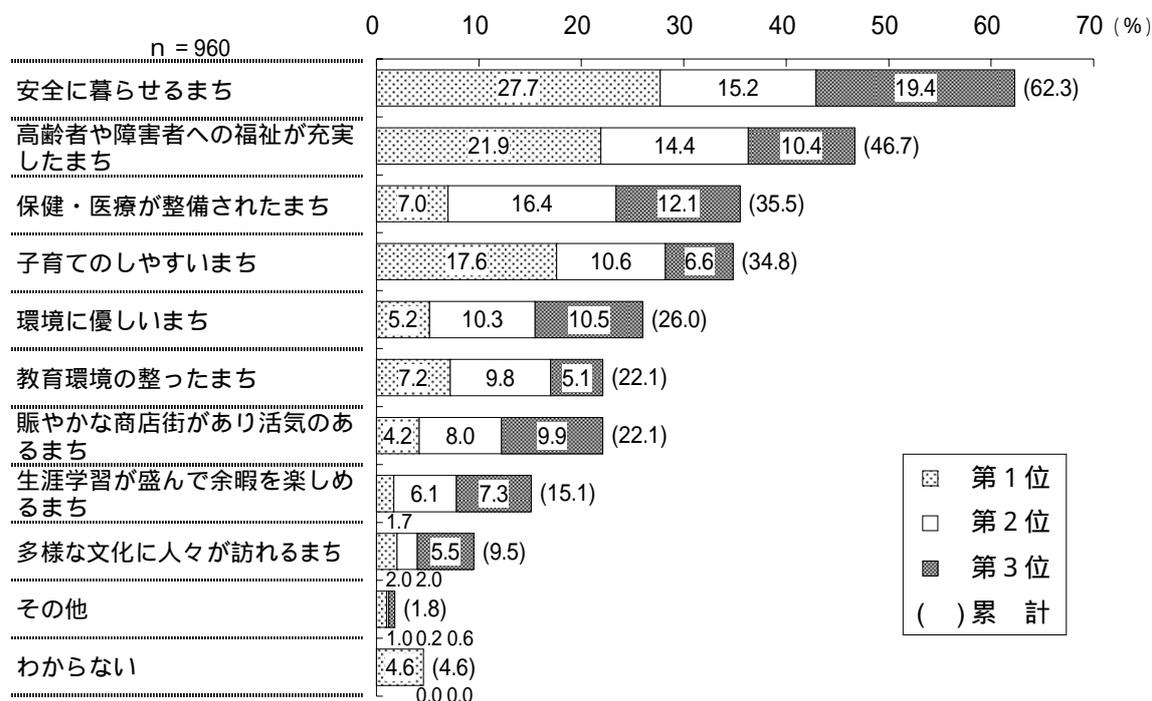
性・年代別にみると、「知らない」は男女ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に男性20代で9割を超え多くなっている。(図2 - 4 - 2)

2 - 5 10年後の文京区のイメージ

問7 区では、現在、新たな基本構想の策定に取り組んでいるところですが、あなたが望む10年後の文京区はどのようなまちですか。順位をつけて、3つ以内で選び、下の記入欄に番号をご記入ください。(n = 960)

| | < 1位 > | < 2位 > | < 3位 > |
|-----------------------|--------|--------|--------|
| 1. 子育てのしやすいまち | 17.6% | 10.6% | 6.6% |
| 2. 教育環境の整ったまち | 7.2% | 9.8% | 5.1% |
| 3. 高齢者や障害者への福祉が充実したまち | 21.9% | 14.4% | 10.4% |
| 4. 保健・医療が整備されたまち | 7.0% | 16.4% | 12.1% |
| 5. 生涯学習が盛んで余暇を楽しめるまち | 1.7% | 6.1% | 7.3% |
| 6. 多様な文化に人々が訪れるまち | 2.0% | 2.0% | 5.5% |
| 7. 賑やかな商店街があり活気のあるまち | 4.2% | 8.0% | 9.9% |
| 8. 環境に優しいまち | 5.2% | 10.3% | 10.5% |
| 9. 安全に暮らせるまち | 27.7% | 15.2% | 19.4% |
| 10. その他 | 1.0% | 0.2% | 0.6% |
| 11. わからない | 4.6% | 0.0% | 0.0% |
| 無回答 | 0.0% | 7.0% | 12.6% |

図2 - 5 - 1 10年後の文京区のイメージ



10年後の文京区のイメージについて聞いたところ、1位にあげられた割合は、「安全に暮らせるまち(27.7%)」が3割近くと最も多く、次いで「高齢者や障害者への福祉が充実したまち(21.9%)」「子育てのしやすいまち(17.6%)」などの順となっている。

また、1位から3位までを合計すると、「安全に暮らせるまち」(62.3%)が6割を超え最も多く、次いで「高齢者や障害者への福祉が充実したまち(46.7%)」「保健・医療が整備されたまち(35.5%)」「子育てのしやすいまち(34.8%)」などの順となっている。(図2 - 5 - 1)

表2 - 5 - 1 10年後の文京区のイメージ - 性・年代別（上位5位）

| 属性 | | 順位 | n | 1 位 | 2 位 | 3 位 | 4 位 | 5 位 |
|-------|-------|----|-----|----------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 全体 | | | 960 | 安全に暮らせるまち 62.3 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 46.7 | 保健・医療が整備されたまち 35.5 | 子育てのしやすいまち 34.8 | 環境に優しいまち 26.0 |
| 男性（計） | | | 426 | 安全に暮らせるまち 58.2 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 43.2 | 子育てのしやすいまち 37.1 | 保健・医療が整備されたまち 36.0 | 環境に優しいまち 25.1 |
| | 20代 | | 54 | 安全に暮らせるまち 63.0 | 子育てのしやすいまち 37.1 | 環境に優しいまち 35.2 | 教育環境の整ったまち 33.3 | 保健・医療が整備されたまち 27.8 |
| | 30代 | | 100 | 安全に暮らせるまち 62.0 | 子育てのしやすいまち 54.0 | 保健・医療が整備されたまち 43.0 | 賑やかな商店街があり活気のあるまち 31.0 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 27.0 |
| | 40代 | | 78 | 安全に暮らせるまち 57.7 | 子育てのしやすいまち 36.0 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 35.9 | 保健・医療が整備されたまち 29.5 | 教育環境の整ったまち 28.2 |
| | 50代 | | 69 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 60.8 | 安全に暮らせるまち 57.9 | 保健・医療が整備されたまち 37.6 | 子育てのしやすいまち 30.3 | 環境に優しいまち 28.9 |
| | 60歳以上 | | 125 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 58.4 | 安全に暮らせるまち 53.6 | 保健・医療が整備されたまち 36.8 | 子育てのしやすいまち 28.0 | 教育環境の整ったまち 20.8 |
| 女性（計） | | | 534 | 安全に暮らせるまち 65.6 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 49.5 | 保健・医療が整備されたまち 35.1 | 子育てのしやすいまち 32.9 | 環境に優しいまち 26.7 |
| | 20代 | | 56 | 安全に暮らせるまち 78.6 | 子育てのしやすいまち 55.3 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 34.0 | 保健・医療が整備されたまち 32.2 | 賑やかな商店街があり活気のあるまち 28.6 |
| | 30代 | | 91 | 安全に暮らせるまち 64.9 | 子育てのしやすいまち 53.9 | 保健・医療が整備されたまち 38.5 | 教育環境の整ったまち 31.9 | 環境に優しいまち 29.7 |
| | 40代 | | 102 | 安全に暮らせるまち 65.7 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 43.1 | 保健・医療が整備されたまち 42.1 | 環境に優しいまち 32.3 | 子育てのしやすいまち 30.4 |
| | 50代 | | 92 | 安全に暮らせるまち 73.9 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 60.9 | 保健・医療が整備されたまち 35.9 | 環境に優しいまち 32.6 | 賑やかな商店街があり活気のあるまち 21.7 |
| | 60歳以上 | | 193 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 62.6 | 安全に暮らせるまち 58.0 | 保健・医療が整備されたまち 30.0 | 子育てのしやすいまち 23.8 | 環境に優しいまち 20.2 |

性・年代別に上位5位でみると、「安全に暮らせるまち」は男女ともにすべての年代で2位以内になっており、特に女性20代で8割近くと多くなっている。「子育てのしやすいまち」は男性の40代以下、女性の30代以下の年代で2位、「高齢者や障害者への福祉が充実したまち」は男女ともに40代以上の年代で3位以内になっている。また、「保健・医療が整備されたまち」は男女ともにすべての年代で5位以内になっている。（表2 - 5 - 1）

表 2 - 5 - 2 10年後の文京区のイメージ - ライフステージ別 (上位5位)

| | | (%) | | | | | |
|--------|----|-----|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 属性 | 順位 | n | 1 位 | 2 位 | 3 位 | 4 位 | 5 位 |
| | 全体 | | 960 | 安全に暮らせるまち 62.3 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 46.7 | 保健・医療が整備されたまち 35.5 | 子育てのしやすいまち 34.8 |
| 独身期 | | 170 | 安全に暮らせるまち 68.8 | 子育てのしやすいまち 40.0 | 保健・医療が整備されたまち 38.2 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 33.0 | 環境に優しいまち 30.0 |
| 家族形成期 | | 122 | 子育てのしやすいまち 64.0 | 安全に暮らせるまち 61.5 | 保健・医療が整備されたまち 38.6 | 教育環境の整ったまち 34.4 | 賑やかな商店街があり活気のあるまち 24.6 |
| 家族成長期前 | | 72 | 安全に暮らせるまち 59.7 | 子育てのしやすいまち 55.6 | 教育環境の整ったまち 44.5 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 36.1 | 保健・医療が整備されたまち 27.8 |
| 家族成長期後 | | 70 | 安全に暮らせるまち 60.1 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 48.6 | 保健・医療が整備されたまち 32.8 | 生涯学習が盛んで余暇を楽しめるまち 31.4 | 環境に優しいまち 28.6 |
| 家族成熟期 | | 138 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 64.5 | 安全に暮らせるまち 60.8 | 子育てのしやすいまち 37.6 | 保健・医療が整備されたまち 33.4 | 環境に優しいまち 30.5 |
| 老齢期 | | 224 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 58.5 | 安全に暮らせるまち 54.5 | 保健・医療が整備されたまち 31.3 | 子育てのしやすいまち 22.8 | 教育環境の整ったまち 21.4 |
| その他 | | 162 | 安全に暮らせるまち 69.8 | 高齢者や障害者への福祉が充実したまち 53.1 | 保健・医療が整備されたまち 41.9 | 環境に優しいまち 30.8 | 賑やかな商店街があり活気のあるまち 24.1 |

ライフステージ別に上位5位でみると、「安全に暮らせるまち」はすべてのライフステージで2位以内になっている。また、「子育てのしやすいまち」は家族形成期が6割半ばで1位に、「高齢者や障害者への福祉が充実したまち」は家族成熟期が6割半ば、老齢期が6割近くでそれぞれ1位になっている。(表2-5-2)

3 . 財政

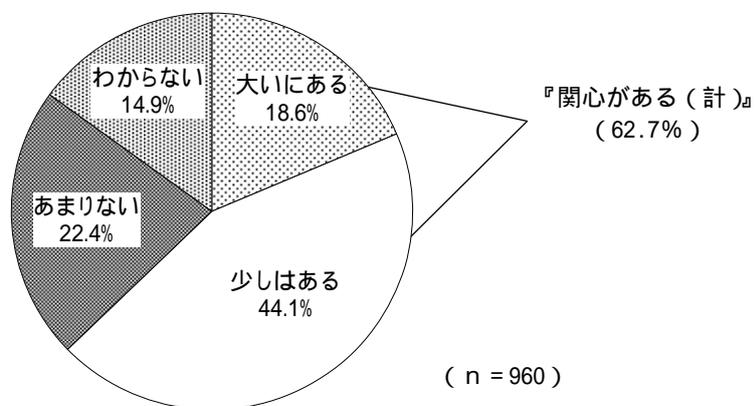
-
- 3 - 1 区の財政状況に対する関心
 - 3 - 2 区の財政状況に対する印象
 - 3 - 3 区の財政状況についての広報をわかりやすくする方法
 - 3 - 4 安定的かつ健全な財政基盤を確立・維持するために必要なこと
-

3 . 財政

3 - 1 区の財政状況に対する関心

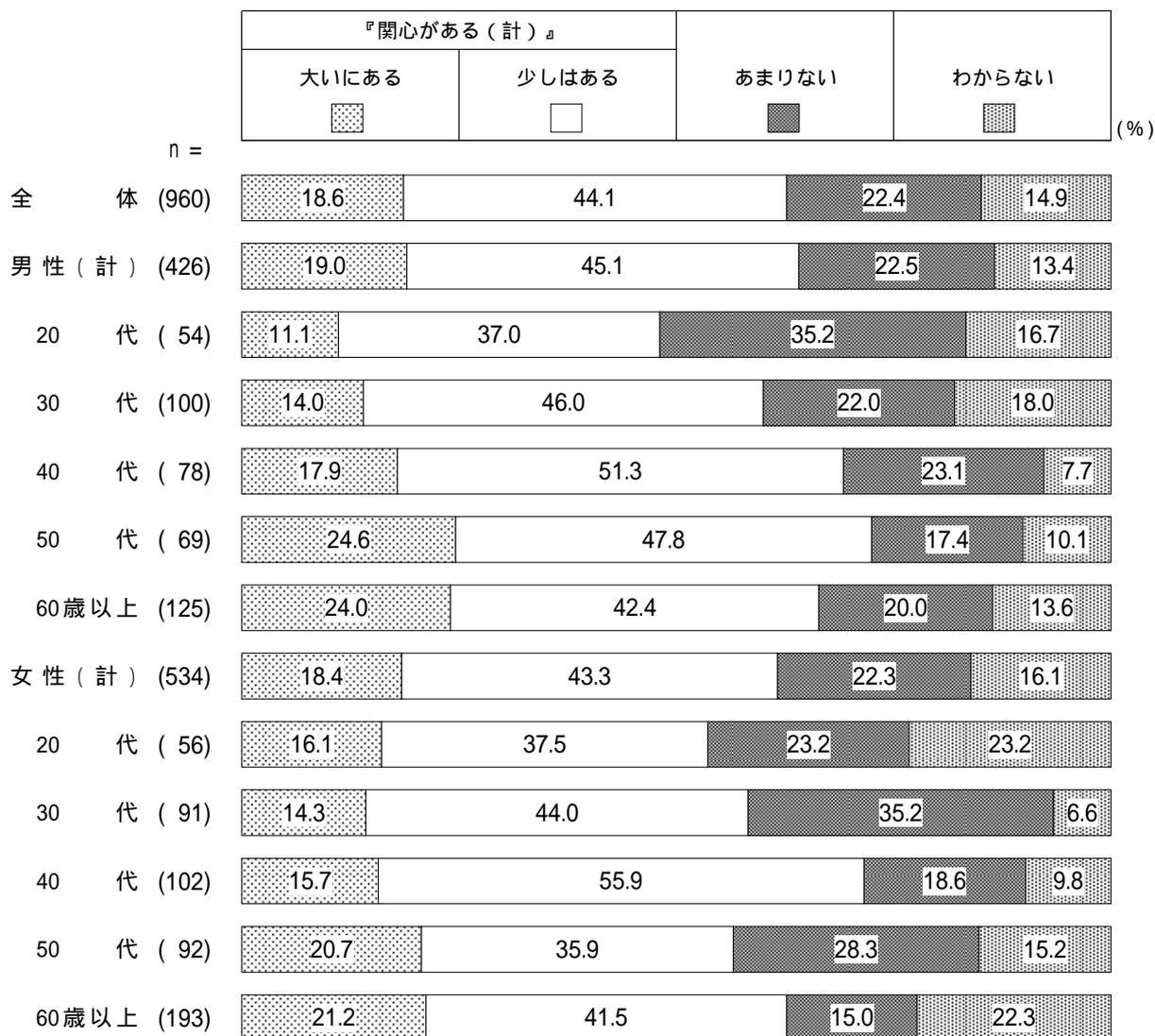
| | | | |
|------------------------------------|-------|-----------|-------|
| 問8 あなたは、区の財政状況に関心がありますか。1つお選びください。 | | | |
| (n = 960) | | | |
| 1 . 大いにある | 18.6% | 3 . あまりない | 22.4% |
| 2 . 少しはある | 44.1% | 4 . わからない | 14.9% |

図3 - 1 - 1 区の財政状況に対する関心



区の財政状況に対する関心について聞いたところ、「大いにある」(18.6%)と「少しはある」(44.1%)を合わせた『関心がある(計)』(62.7%)が6割を超えている。また、「あまりない」(22.4%)が2割を超え、「わからない」(14.9%)が1割半ばとなっている。(図3 - 1 - 1)

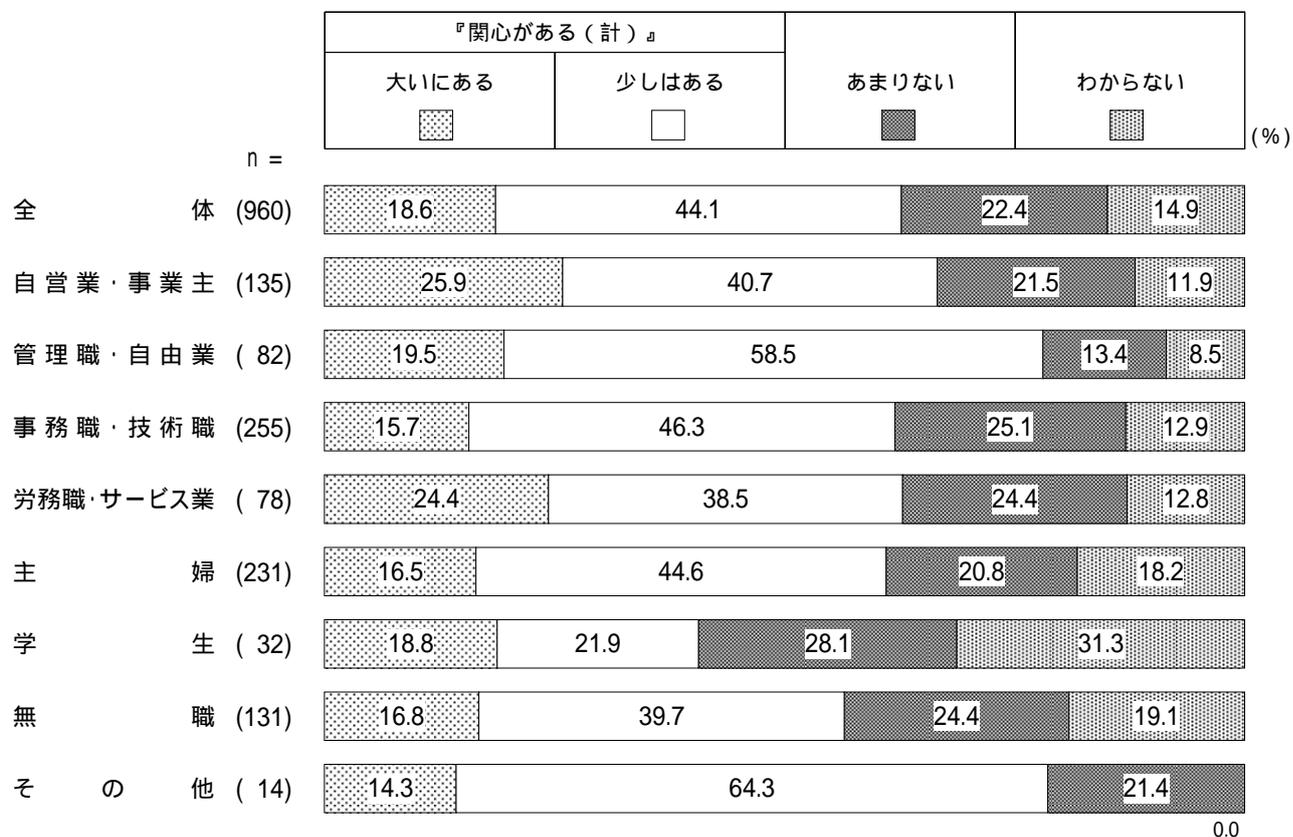
図3 - 1 - 2 区の財政状況に対する関心 - 性・年代別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

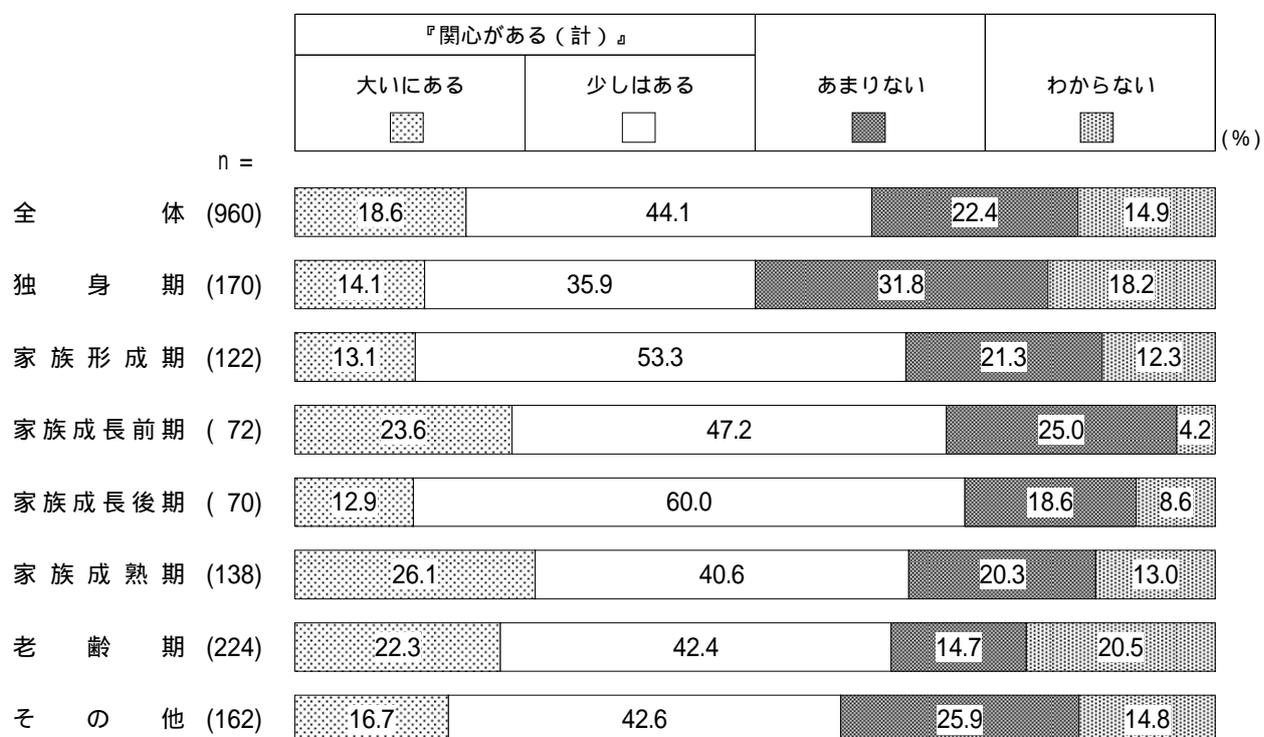
性・年代別にみると、『関心がある(計)』は男性50代と女性40代で7割を超え多くなっている。一方、「あまりない」は男性20代と女性30代で3割半ばと多くなっている。(図3 - 1 - 2)

図3 - 1 - 3 区の財政状況に対する関心 - 職業別



職業別にみると、『関心がある(計)』は管理職・自由業で8割近くと多くなっている。また、「わからない」は学生で3割を超え多くなっている。(図3 - 1 - 3)

図3 - 1 - 4 区の財政状況に対する関心 - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、『関心がある(計)』は家族成長後期で7割を超え、家族成長前期でほぼ7割と多くなっている。(図3 - 1 - 4)

3 - 2 区の財政状況に対する印象

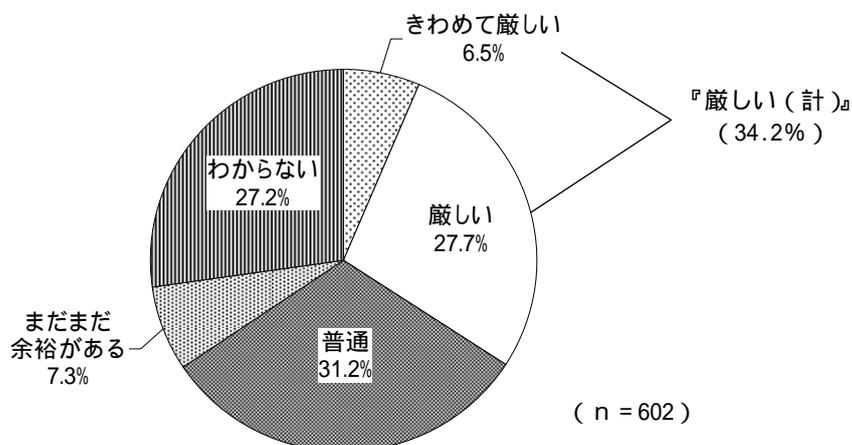
(問8で「1.大いにある」または「2.少しはある」とお答えの方にかがいます)

問8 - 1 あなたは、区の財政状況について、どのような印象をお持ちですか。1つお選びください。

(n = 602)

| | | | | | |
|-------------|-------|---------------|-------|-----------|-------|
| 1 . きわめて厳しい | 6.5% | 3 . 普通 | 31.2% | 5 . わからない | 27.2% |
| 2 . 厳しい | 27.7% | 4 . まだまだ余裕がある | 7.3% | | |

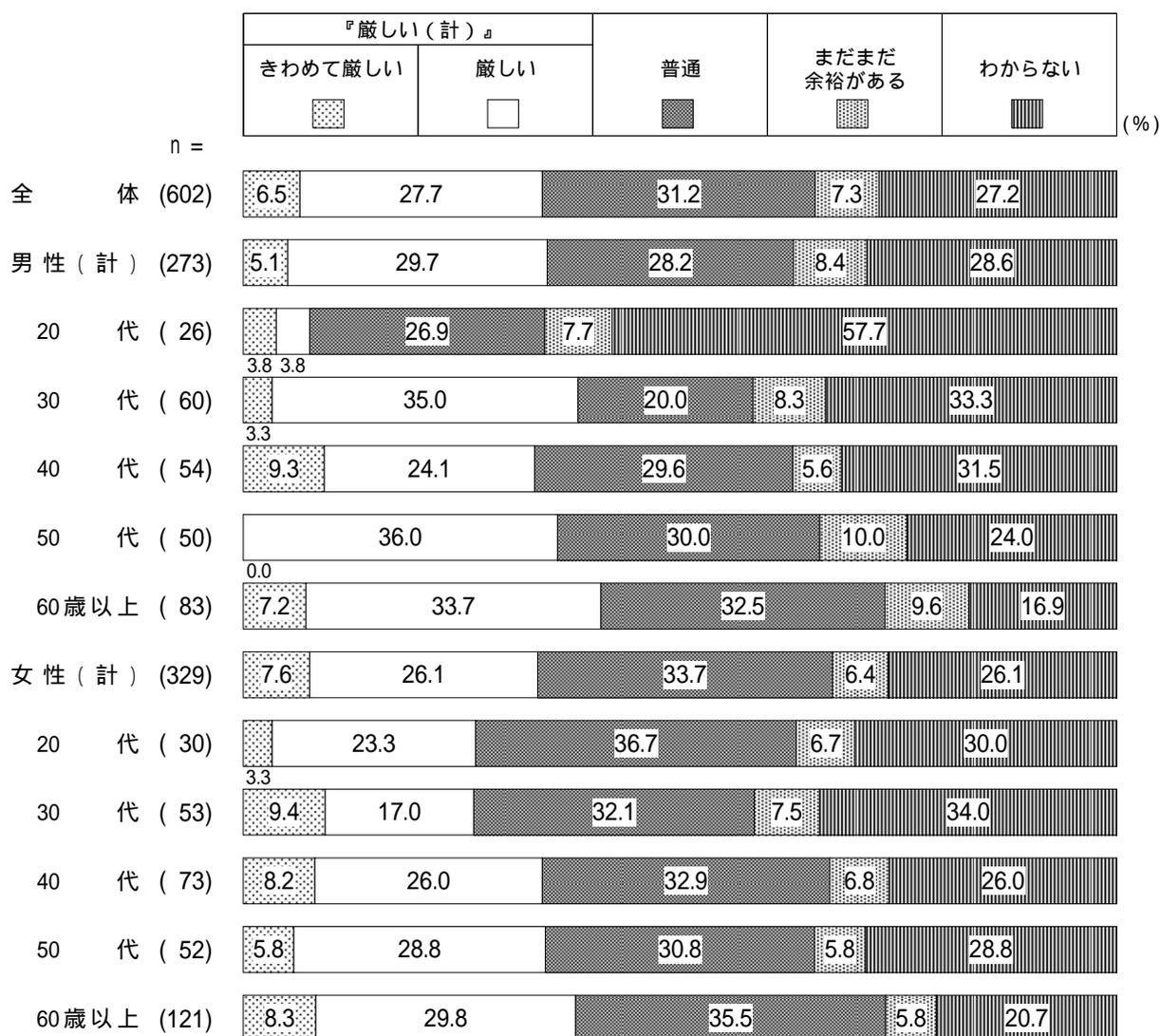
図3 - 2 - 1 区の財政状況に対する印象



区の財政状況に対する関心が「大いにある」または「少しはある」と答えた人(602人)に、区の財政状況に対する印象について聞いたところ、「きわめて厳しい」(6.5%)と「厳しい」(27.7%)を合わせた『厳しい(計)』(34.2%)が3割半ば、「普通」(31.2%)が3割を超え、「まだまだ余裕がある」(7.3%)が1割未満となっている。また、「わからない」(27.2%)が3割近くとなっている。

(図3 - 2 - 1)

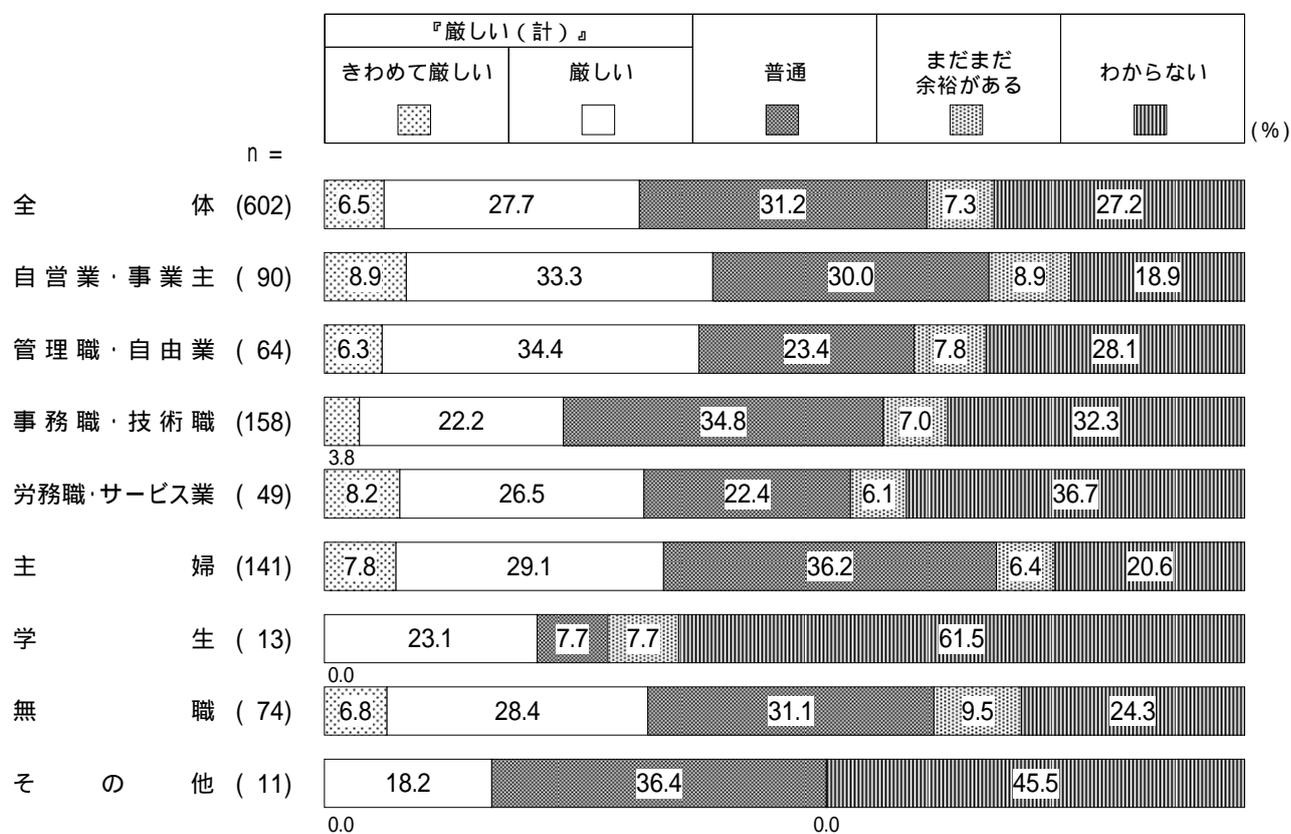
図3 - 2 - 2 区の財政状況に対する印象 - 性・年代別



性別にみると、「普通」は女性の方が5.5ポイント高くなっている。

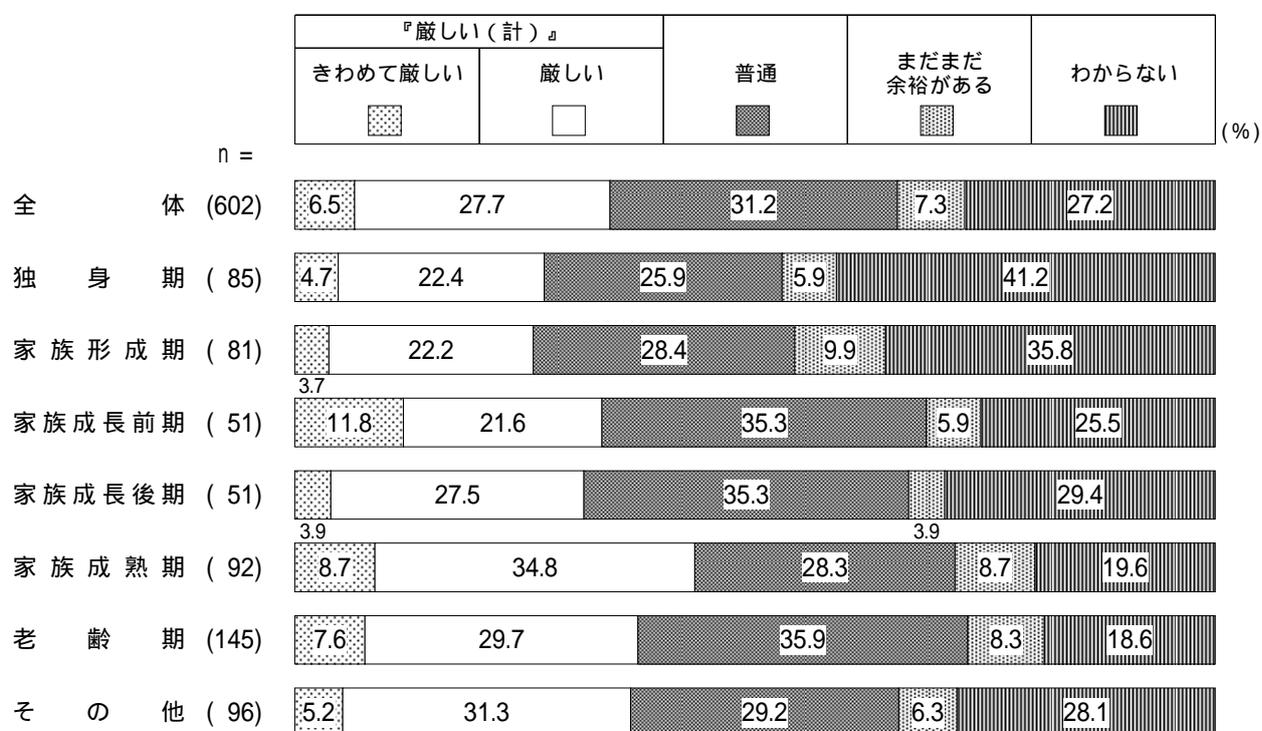
性・年代別にみると、『厳しい(計)』は男性30代と男女ともに60歳以上の年代で4割前後となっている。また、「わからない」は男性20代で6割近くと多くなっている。(図3 - 2 - 2)

図3 - 2 - 3 区の財政状況に対する印象 - 職業別



職業別にみると、『厳しい(計)』は自営業・事業主と管理職・自由業で4割以上を占めている。また、「わからない」は学生で6割を超えている。(図3 - 2 - 3)

図3 - 2 - 4 区の財政状況に対する印象 - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、『厳しい(計)』は家族成熟期で4割を超え多くなっている。また、「わからない」は独身期で4割を超え多くなっている。(図3 - 2 - 4)

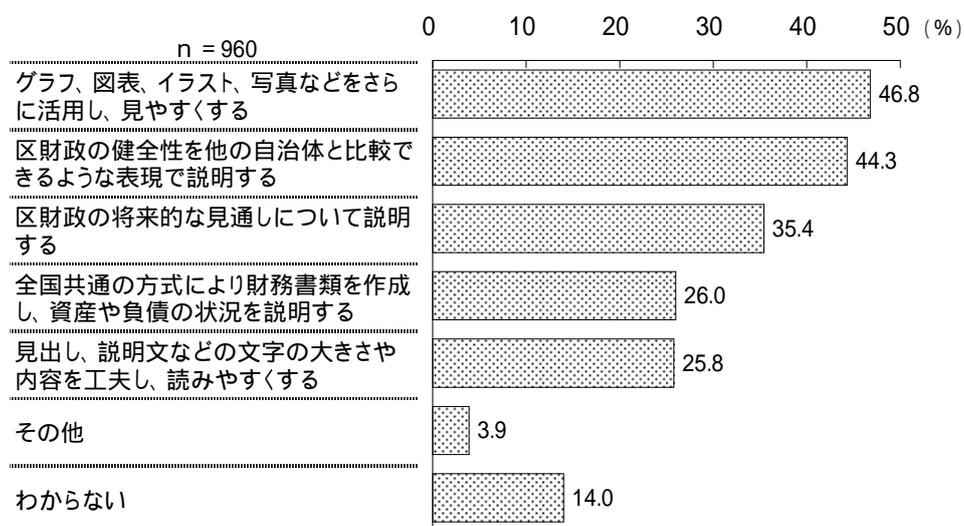
3 - 3 区の財政状況についての広報をわかりやすくする方法

問9 区の財政状況については、これまでも冊子（「文の京の財政状況」「文京区バランスシート」）、「区報ぶんきょう」、ホームページ、ケーブルテレビ等でお知らせしていますが、よりわかりやすいものとするためには、どのような方法でお知らせすればよいと思いますか。3つ以内でお選びください。

(n = 960)

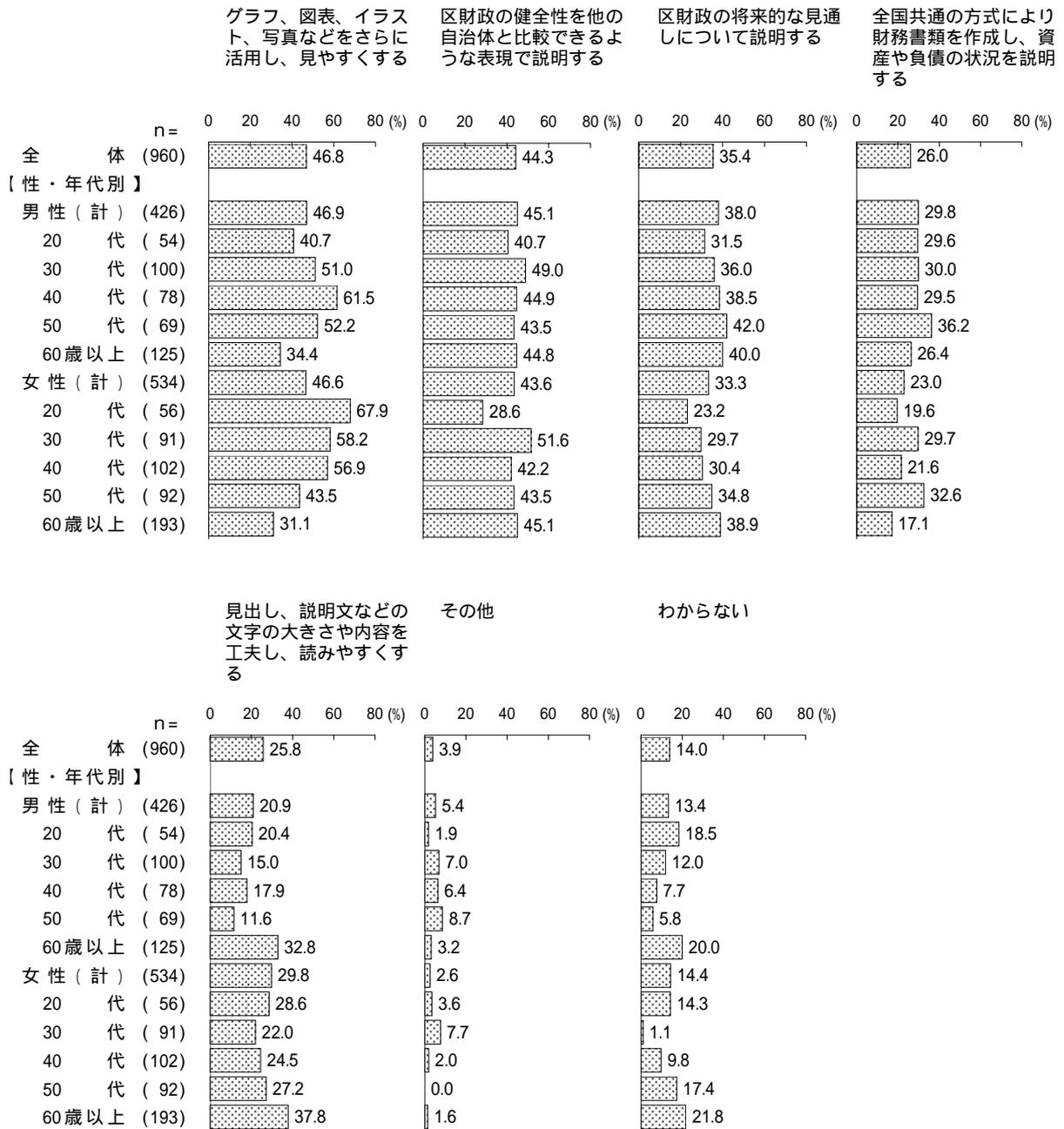
| | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 区財政の健全性を他の自治体と比較できるような表現で説明する | 44.3% |
| 2. 全国共通の方式により財務書類を作成し、資産や負債の状況を説明する | 26.0% |
| 3. 区財政の将来的な見通しについて説明する | 35.4% |
| 4. グラフ、図表、イラスト、写真などをさらに活用し、見やすくする | 46.8% |
| 5. 見出し、説明文などの文字の大きさや内容を工夫し、読みやすくする | 25.8% |
| 6. その他 | 3.9% |
| 7. わからない | 14.0% |

図3 - 3 - 1 区の財政状況についての広報をわかりやすくする方法



区の財政状況についての広報をわかりやすくする方法について聞いたところ、「グラフ、図表、イラスト、写真などをさらに活用し、見やすくする」(46.8%)が5割近くと最も多く、次いで「区財政の健全性を他の自治体と比較できるような表現で説明する」(44.3%)、「区財政の将来的な見通しについて説明する」(35.4%)、「全国共通の方式により財務書類を作成し、資産や負債の状況を説明する」(26.0%)、「見出し、説明文などの文字の大きさや内容を工夫し、読みやすくする」(25.8%)の順となっている。(図3 - 3 - 1)

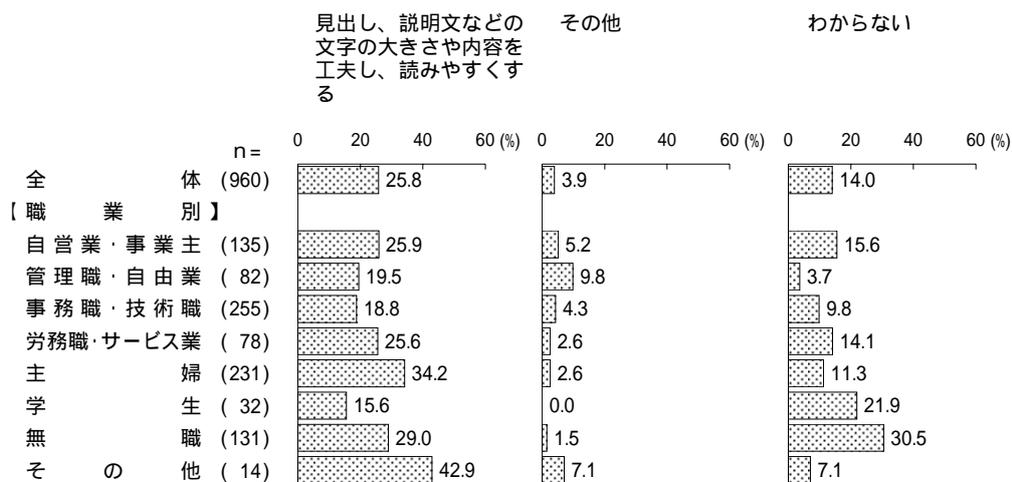
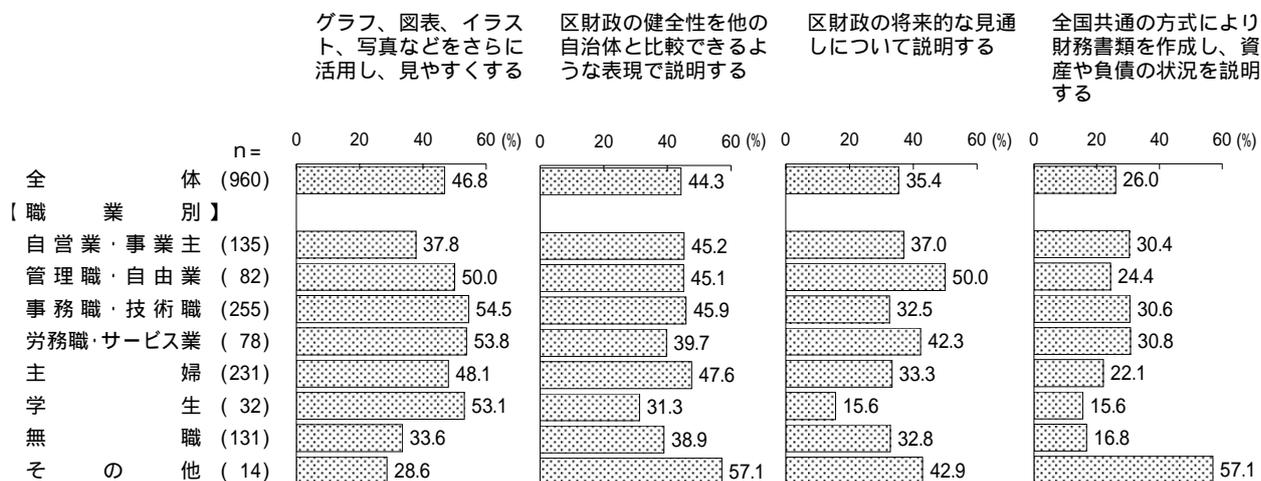
図3-3-2 区の財政状況についての広報をわかりやすくする方法 - 性・年代別



性別にみると、「見出し、説明文などの文字の大きさや内容を工夫し、読みやすくする」は女性の方が8.9ポイント高くなっている。一方、男性の方が「全国共通の方式により財務書類を作成し、資産や負債の状況を説明する」で6.8ポイント、「区財政の将来的な見通しについて説明する」で4.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「グラフ、図表、イラスト、写真などをさらに活用し、見やすくする」は女性では低い年代ほど割合が高い傾向にあり、女性20代で7割近く、また男性40代で6割を超え多くなっている。「見出し、説明文などの文字の大きさや内容を工夫し、読みやすくする」は女性60歳以上で4割近くと多くなっている。(図3-3-2)

図3 - 3 - 3 区の財政状況についての広報をわかりやすくする方法 - 職業別



職業別にみると、「区財政の将来的な見通しについて説明する」は管理職・自由業で5割と多くなっている。また、「わからない」は無職でほぼ3割となっている。(図3 - 3 - 3)

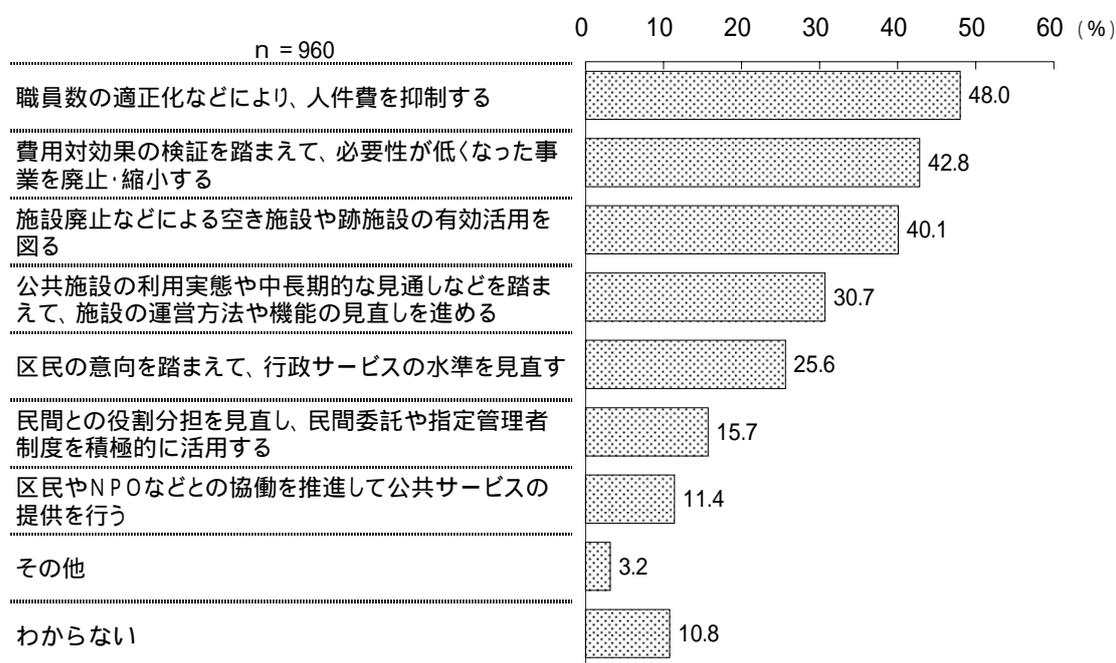
3 - 4 安定的かつ健全な財政基盤を確立・維持するために必要なこと

問 10 区は、これまで、効率的な財政運営を推し進めてきたことにより、歳入に見合った歳出規模を維持していますが、今後も安定的かつ健全な財政基盤を確立し、維持していくことが必要です。そこで、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。3つ以内でお選びください。

(n = 960)

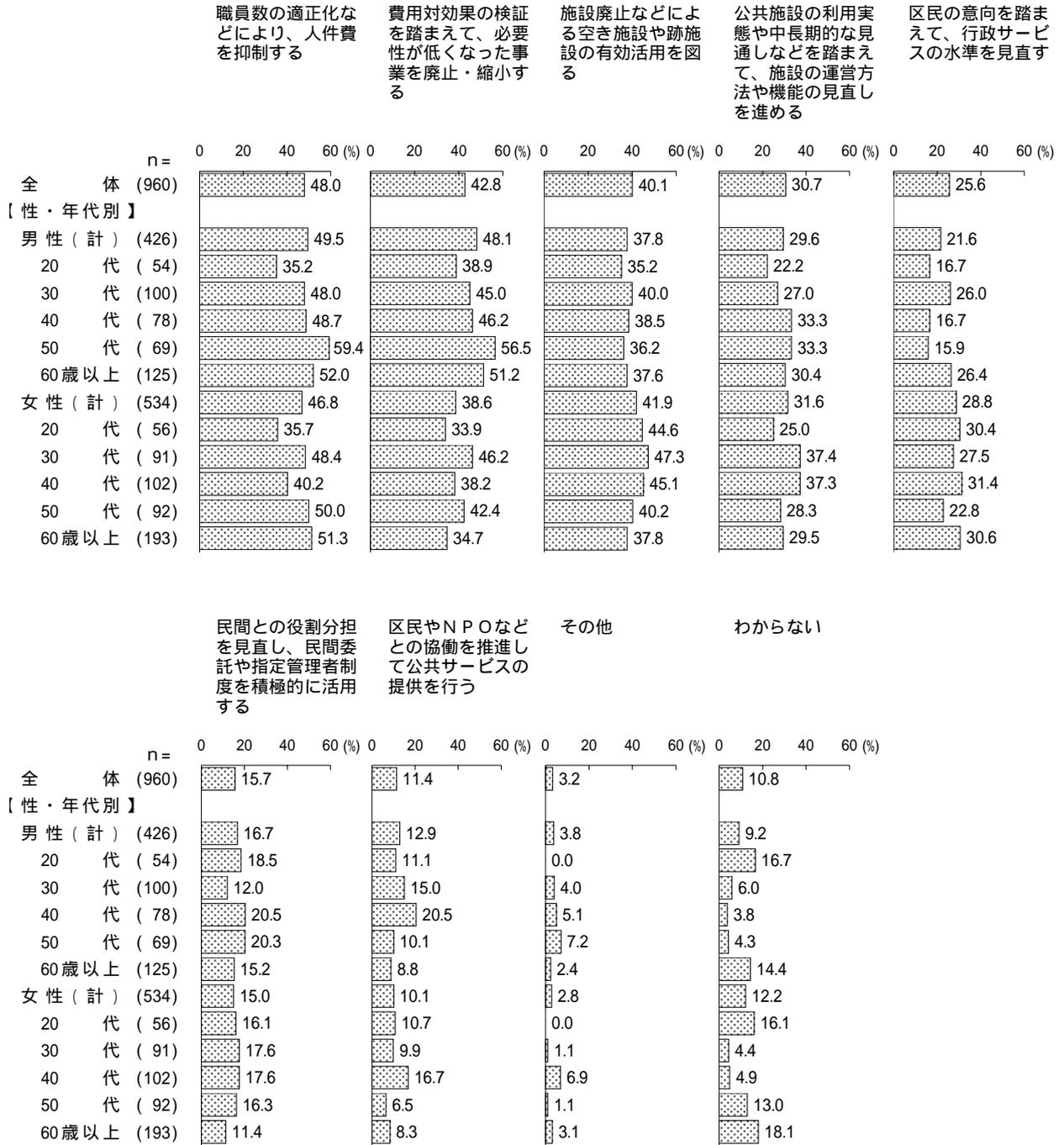
| | |
|---|-------|
| 1. 公共施設の利用実態や中長期的な見通しなどを踏まえて、施設の運営方法や機能の見直しを進める | 30.7% |
| 2. 職員数の適正化などにより、人件費を抑制する | 48.0% |
| 3. 費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する | 42.8% |
| 4. 施設廃止などによる空き施設や跡施設の有効活用を図る | 40.1% |
| 5. 民間との役割分担を見直し、民間委託や指定管理者制度を積極的に活用する | 15.7% |
| 6. 区民やNPOなどとの協働を推進して公共サービスの提供を行う | 11.4% |
| 7. 区民の意向を踏まえて、行政サービスの水準を見直す | 25.6% |
| 8. その他 | 3.2% |
| 9. わからない | 10.8% |

図 3 - 4 - 1 安定的かつ健全な財政基盤を確立・維持するために必要なこと



安定的かつ健全な財政基盤を確立・維持するために必要なことについて聞いたところ、「職員数の適正化などにより、人件費を抑制する」(48.0%)が5割近くと最も多く、次いで「費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する」(42.8%)、「施設廃止などによる空き施設や跡施設の有効活用を図る」(40.1%)、「公共施設の利用実態や中長期的な見通しなどを踏まえて、施設の運営方法や機能の見直しを進める」(30.7%)、「区民の意向を踏まえて、行政サービスの水準を見直す」(25.6%)などの順となっている。(図 3 - 4 - 1)

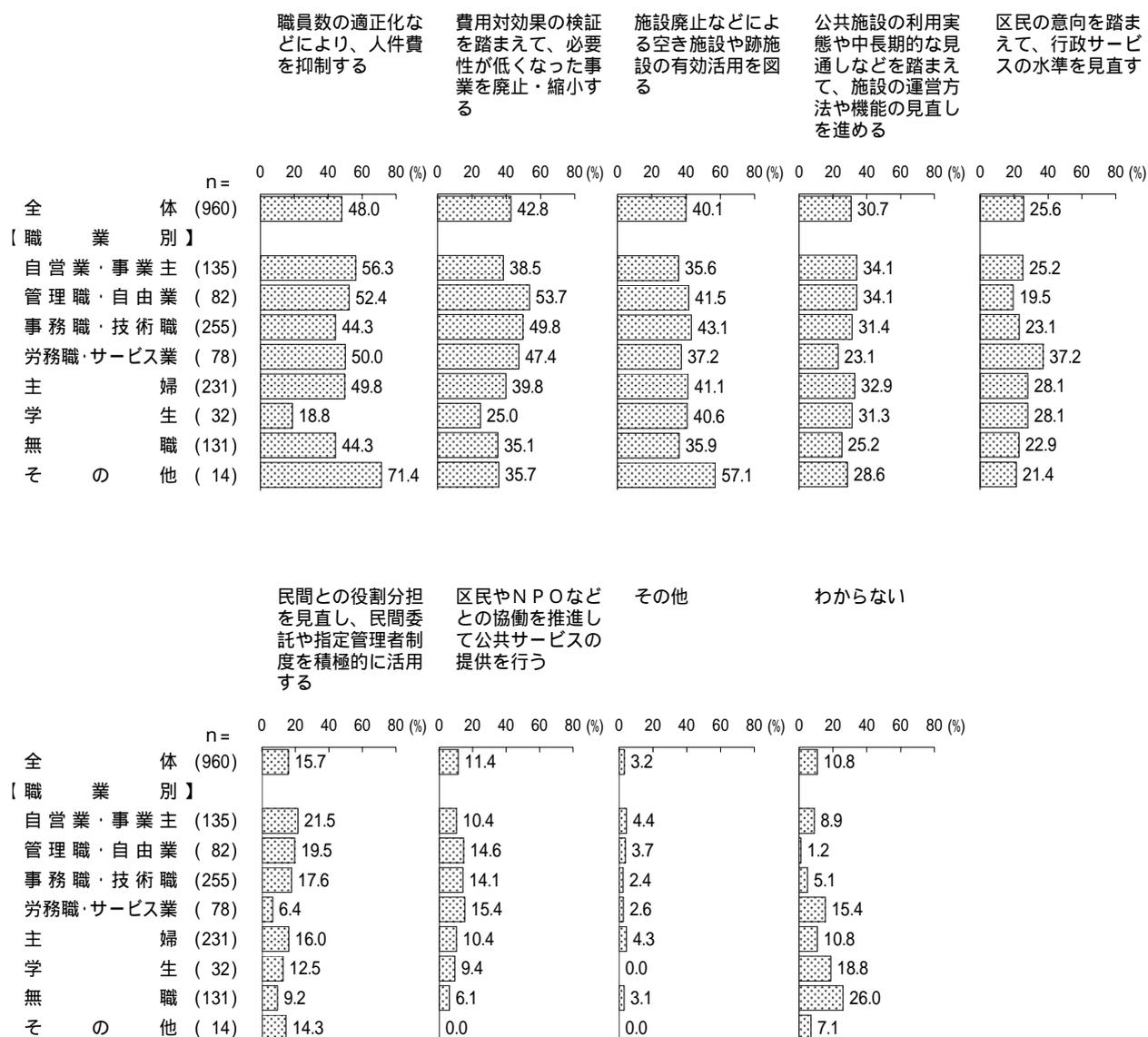
図3 - 4 - 2 安定的かつ健全な財政基盤を確立・維持するために必要なこと - 性・年代別



性別にみると、「費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する」は男性の方が9.5ポイント高く、「区民の意向を踏まえて、行政サービスの水準を見直す」は女性の方が7.2ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「職員数の適正化などにより、人件費を抑制する」は男性50代でほぼ6割、「費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する」は男性50代で6割近くと多くなっている。(図3 - 4 - 2)

図3 - 4 - 3 安定的かつ健全な財政基盤を確立・維持するために必要なこと - 職業別



職業別にみると、「費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する」は管理職・自由業で5割を超え、「区民の意向を踏まえて、行政サービスの水準を見直す」は労務職・サービス業で4割近くと多くなっている。また、「わからない」は無職で2割半ばと多くなっている。

(図3 - 4 - 3)

4 . 協働・協治

-
- 4 - 1 文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の認知度
 - 4 - 2 参加したい協働の事業
-

4 . 協働・協治

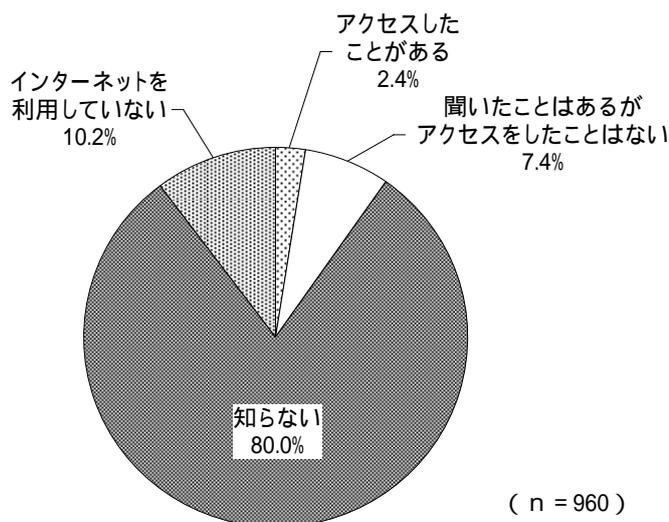
4 - 1 文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の認知度

問 11 区では、平成 19 年 12 月文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」を開設しました。このサイトは区内の N P O ・ボランティア団体、町会・自治会、社会教育団体等を支援し、活動の情報を提供するものです。このサイトをご存知ですか。1 つお選びください。

(n = 960)

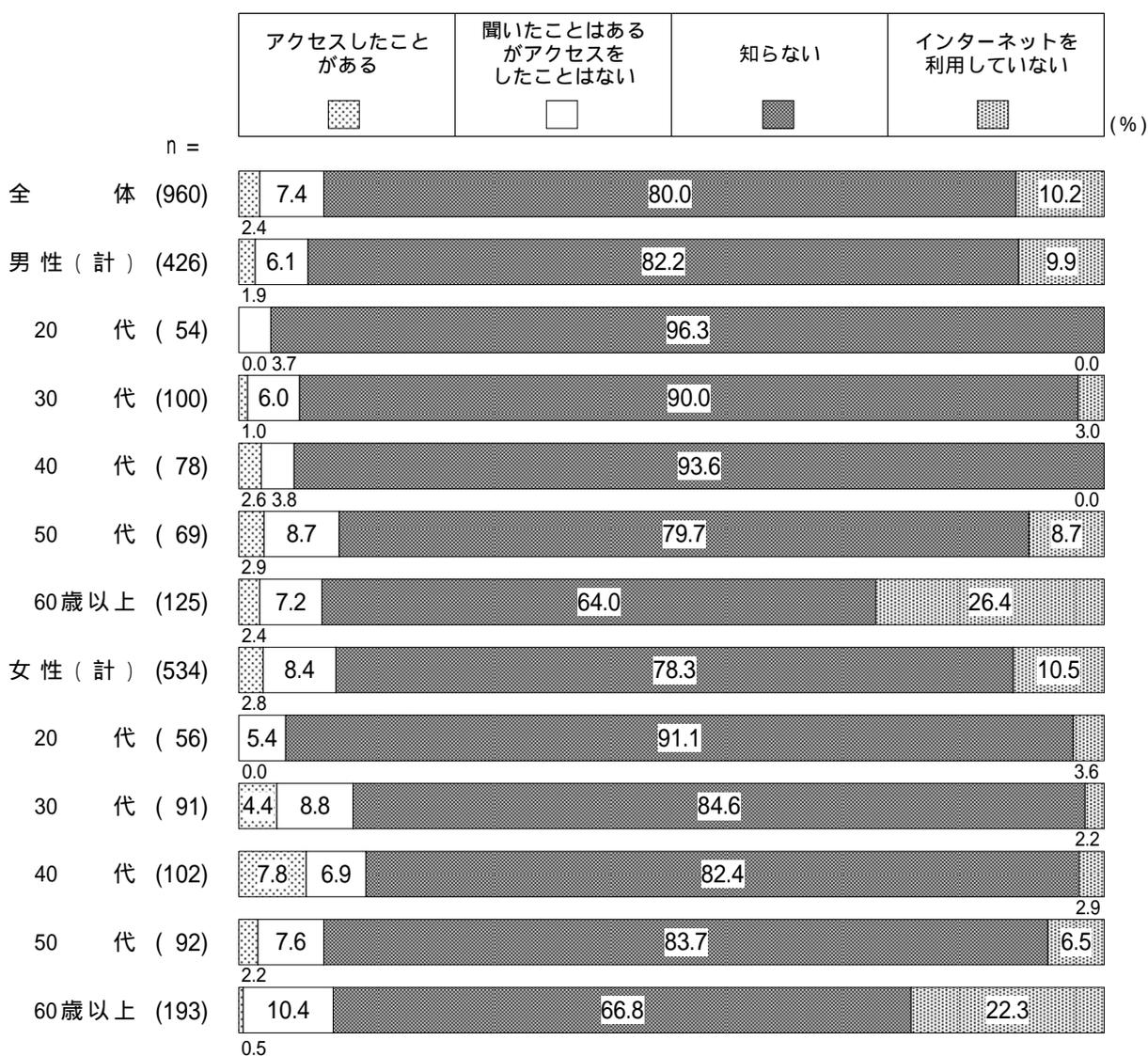
| | |
|---------------------------|-------|
| 1 . アクセスしたことがある | 2.4% |
| 2 . 聞いたことはあるがアクセスをしたことはない | 7.4% |
| 3 . 知らない | 80.0% |
| 4 . インターネットを利用していない | 10.2% |

図 4 - 1 - 1 文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の認知度



文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の認知度について聞いたところ、「知らない」(80.0%) が 8 割となっている。また、「アクセスしたことがある」(2.4%) と「聞いたことはあるがアクセスをしたことはない」(7.4%) がともに 1 割未満、「インターネットを利用していない」(10.2%) が 1 割となっている。(図 4 - 1 - 1)

図4 - 1 - 2 文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の認知度 - 性・年代別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性・年代別にみると、「知らない」は男性の20代から40代の年代、女性20代で9割以上を占めている。また、「インターネットを利用していない」は男性60歳以上で2割半ば、女性60歳以上で2割を超え多くなっている。(図4 - 1 - 2)

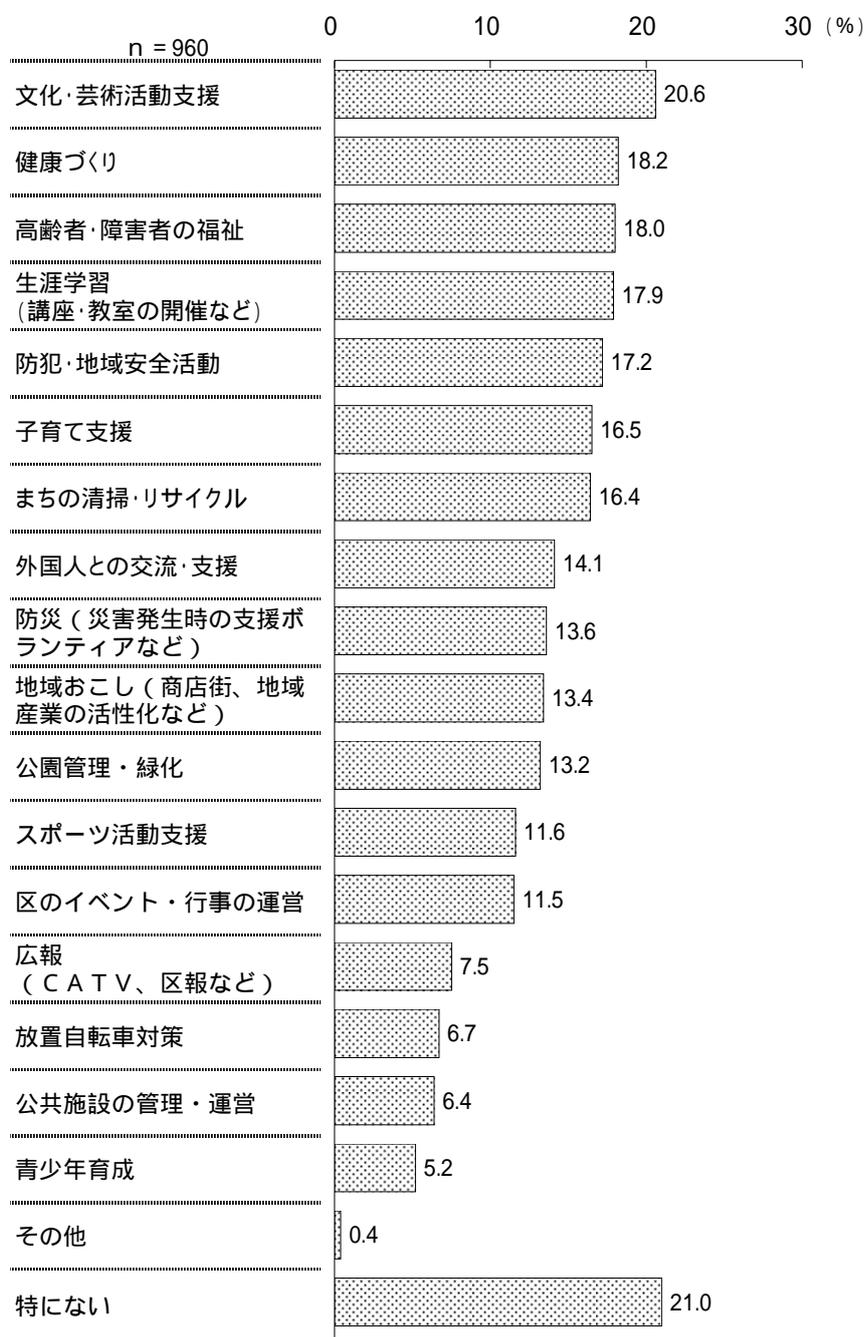
4 - 2 参加したい協働の事業

問 12 あなたが、区と協働して事業を行うとしたら、どのような事業に参加したいと思いますか。いくつかもお選びください。

(n = 960)

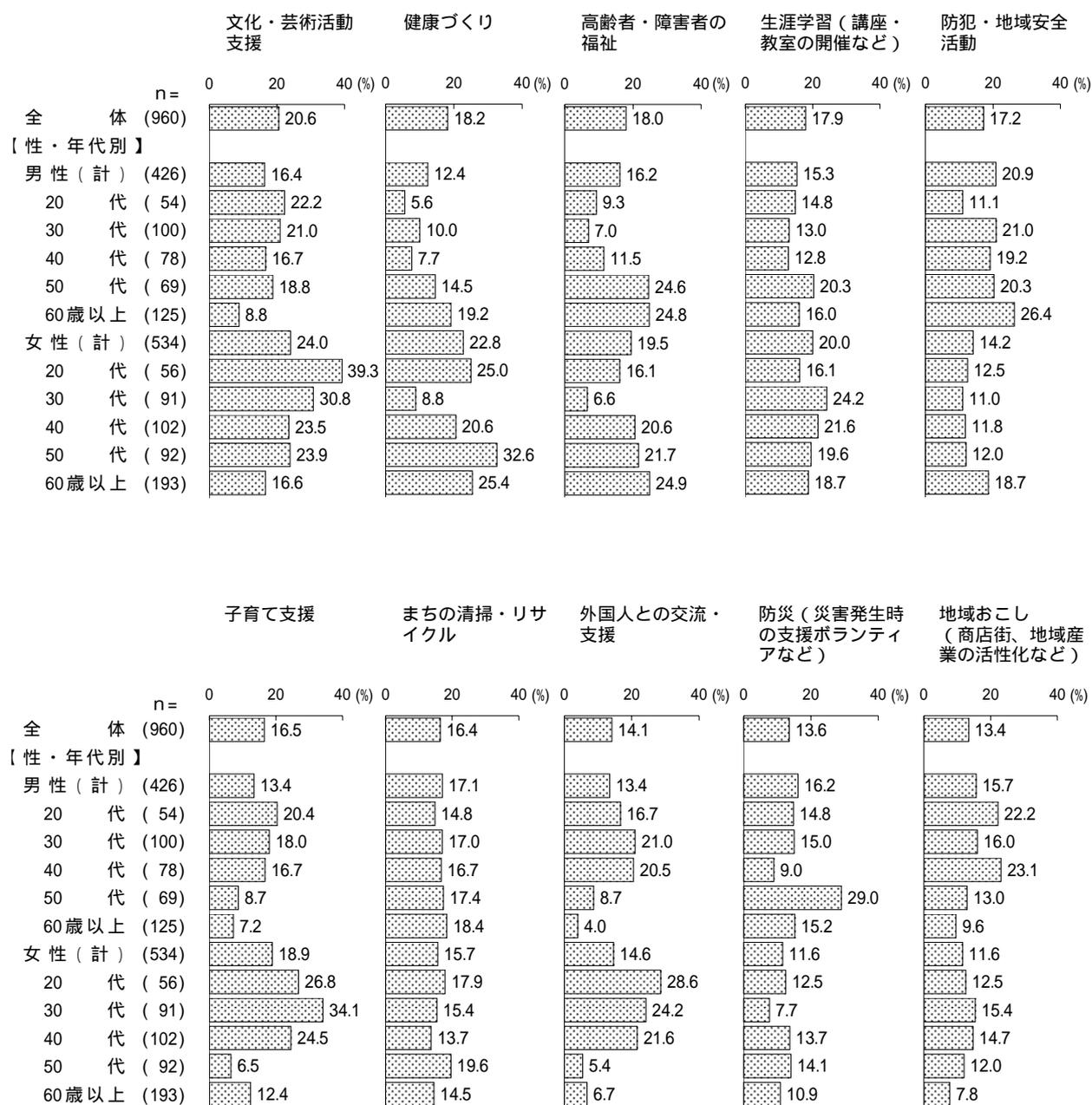
| | |
|---------------------------|-------|
| 1 . 区のイベント・行事の運営 | 11.5% |
| 2 . 広報（CATV、区報など） | 7.5% |
| 3 . 防犯・地域安全活動 | 17.2% |
| 4 . 防災（災害発生時の支援ボランティアなど） | 13.6% |
| 5 . 地域おこし（商店街、地域産業の活性化など） | 13.4% |
| 6 . 青少年育成 | 5.2% |
| 7 . 子育て支援 | 16.5% |
| 8 . 高齢者・障害者の福祉 | 18.0% |
| 9 . 健康づくり | 18.2% |
| 10 . 公園管理・緑化 | 13.2% |
| 11 . まちの清掃・リサイクル | 16.4% |
| 12 . 放置自転車対策 | 6.7% |
| 13 . 生涯学習（講座・教室の開催など） | 17.9% |
| 14 . 文化・芸術活動支援 | 20.6% |
| 15 . スポーツ活動支援 | 11.6% |
| 16 . 外国人との交流・支援 | 14.1% |
| 17 . 公共施設の管理・運営 | 6.4% |
| 18 . その他 | 0.4% |
| 19 . 特にない | 21.0% |

図 4 - 2 - 1 参加したい協働の事業



参加したい協働の事業について聞いたところ、「文化・芸術活動支援」(20.6%) がほぼ 2 割と最も多く、次いで「健康づくり」(18.2%)、「高齢者・障害者の福祉」(18.0%)、「生涯学習 (講座・教室の開催など)」(17.9%)、「防犯・地域安全活動」(17.2%)、「子育て支援」(16.5%)、「まちの清掃・リサイクル」(16.4%) などの順となっている。(図 4 - 2 - 1)

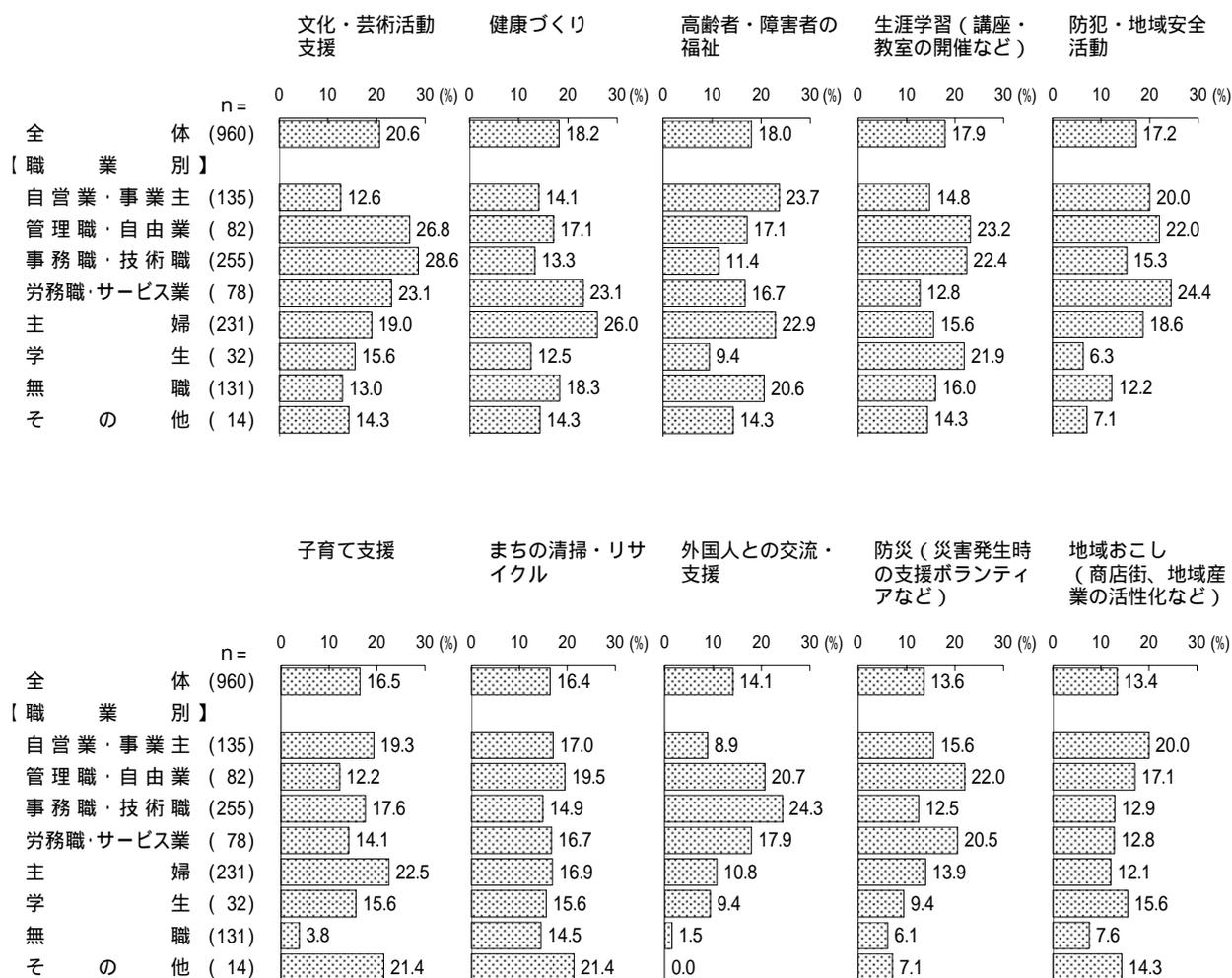
図4 - 2 - 2 参加したい協働の事業 - 性・年代別（上位10項目）



性別にみると、女性の方が「健康づくり」で10.4ポイント、「文化・芸術活動支援」で7.6ポイント高くなっている。一方、「防犯・地域安全活動」は男性の方が6.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「文化・芸術活動支援」は女性では低い年代ほど割合が高い傾向にあり、女性20代でほぼ4割と多くなっている。「健康づくり」は女性50代で3割を超え、「子育て支援」は女性30代で3割半ば、「外国人との交流・支援」は女性20代で3割近く、「防災（災害発生時の支援ボランティアなど）」は男性50代でほぼ3割と多くなっている。（図4 - 2 - 2）

図4 - 2 - 3 参加したい協働の事業 - 職業別 (上位 10 項目)



職業別にみると、「文化・芸術活動支援」は事務職・技術職と管理職・自由業で3割近く、「健康づくり」は主婦で2割半ばと多くなっている。「防犯・地域安全活動」は労務職・サービス業で2割半ば、「外国人との交流・支援」は事務職・技術職で2割半ばと多くなっている。(図4 - 2 - 3)

5 . 防災

5 - 1 最寄りの避難所の認知度

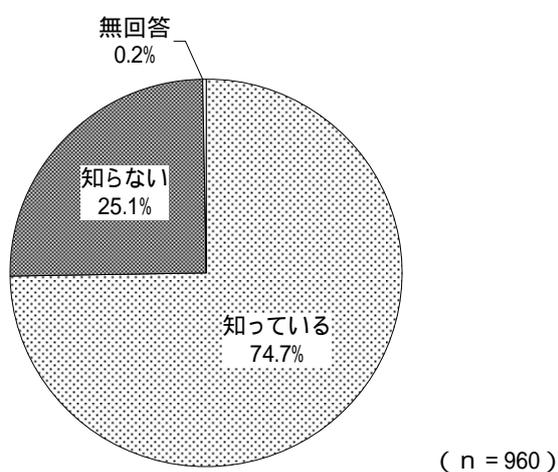
5 - 2 力を入れていくべき防災施策

5 . 防災

5 - 1 最寄りの避難所の認知度

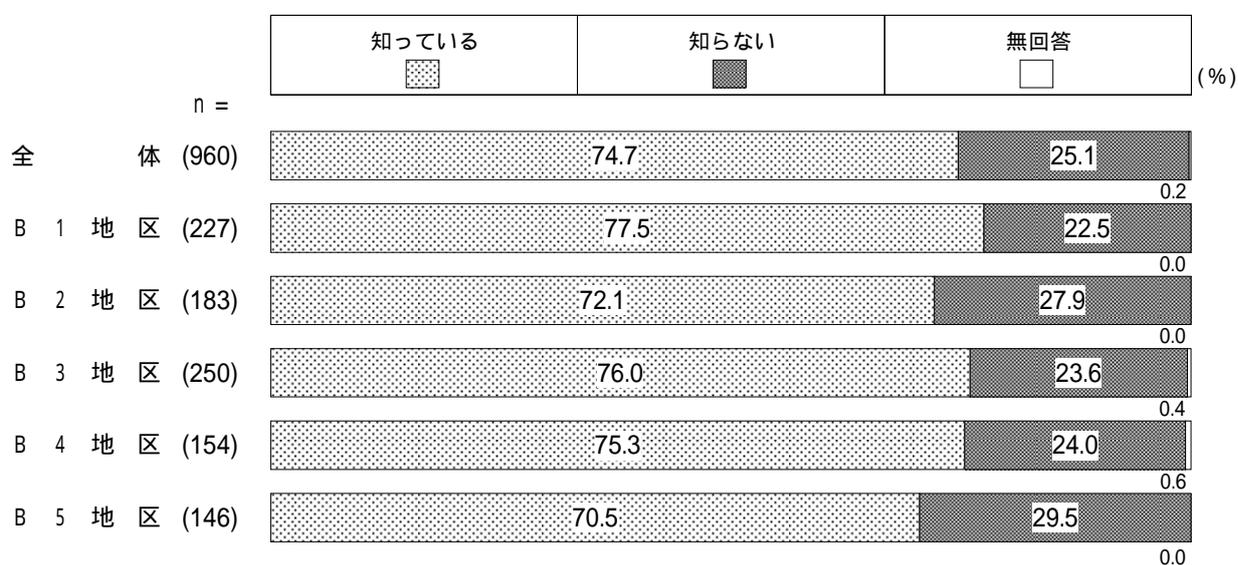
| | | | |
|---|-------|----------|-------|
| 問 13 大災害が発生し、家に住める状態でない場合の避難所は、区立小・中学校等となつていますが、どの避難所に避難するのがご存知ですか。1つお選びください。 | | | |
| (n = 960) | | | |
| 1 . 知っている | 74.7% | 2 . 知らない | 25.1% |
| | | 無回答 | 0.2% |

図 5 - 1 - 1 最寄りの避難所の認知度



最寄りの避難所の認知度について聞いたところ、「知っている」(74.7%)が7割半ば、「知らない」(25.1%)が2割半ばとなっている。(図5-1-1)

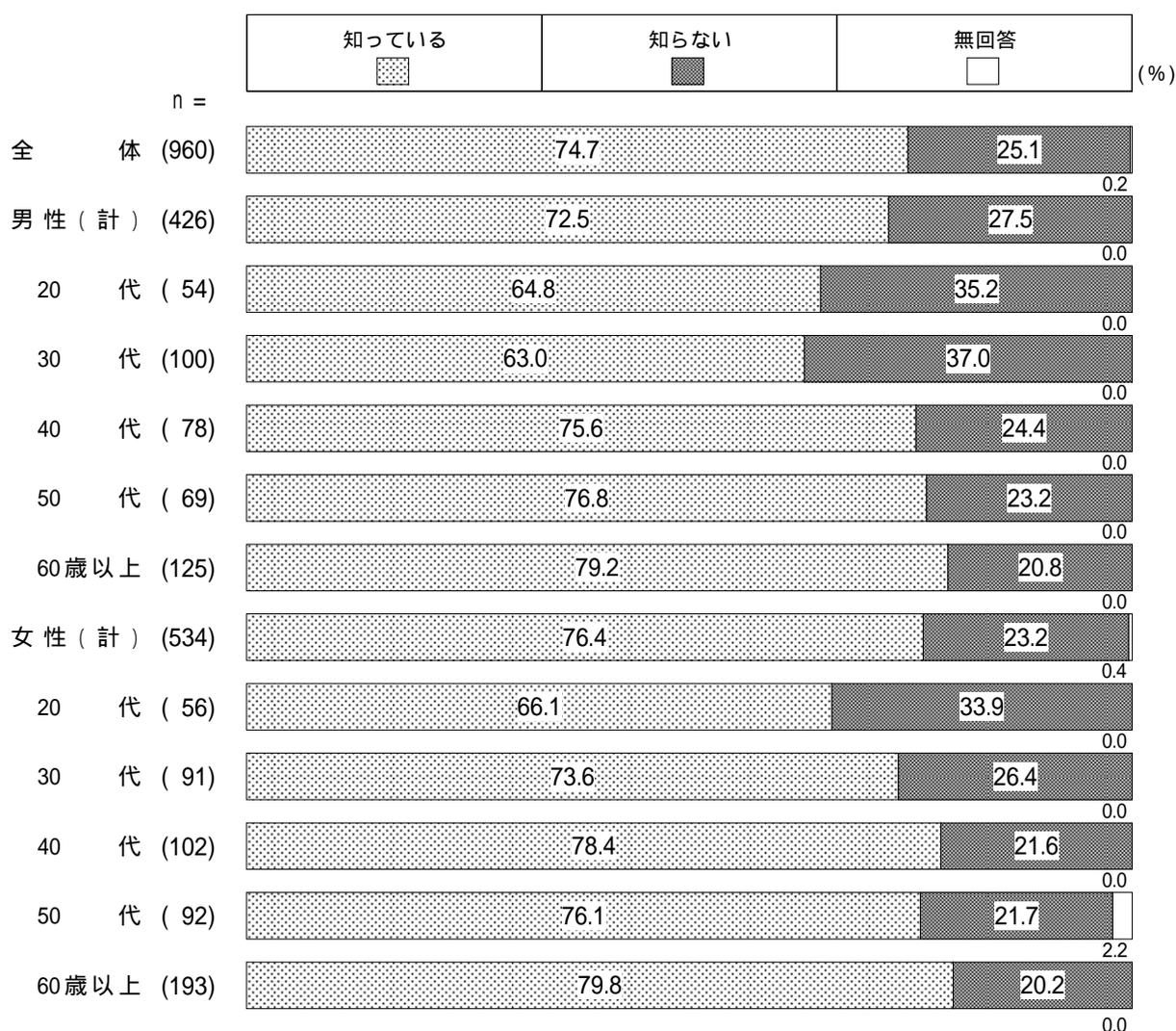
図5 - 1 - 2 最寄りの避難所の認知度 - 地区別



地区区分については4ページ参照

地区別にみると、「知っている」はすべての地区で7割以上を占めている。(図5 - 1 - 2)

図5 - 1 - 3 最寄りの避難所の認知度 - 性・年代別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性・年代別にみると、「知っている」は男性60歳以上、女性40代、女性60歳以上で8割手前と多くなっている。一方、「知らない」は男性30代で4割近く、男性20代で3割半ばと多くなっている。

(図5 - 1 - 3)

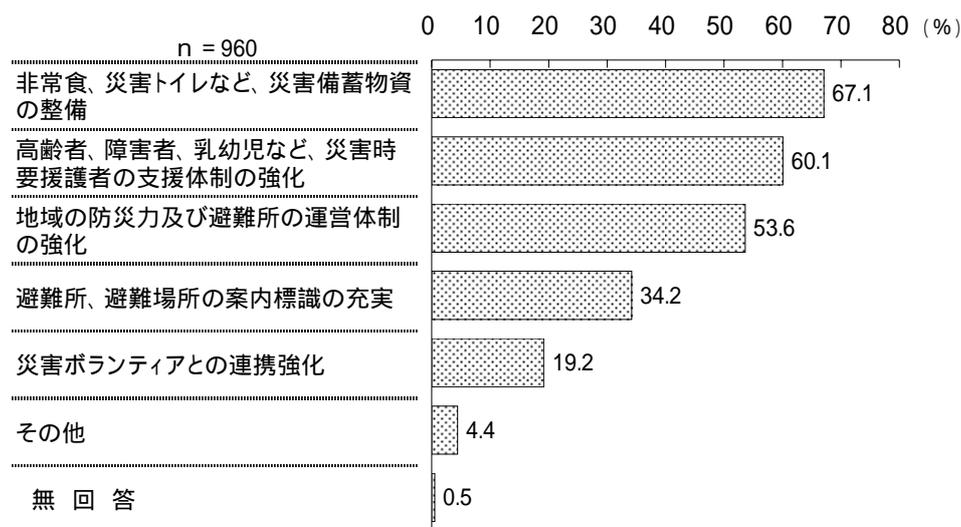
5 - 2 力を入れていくべき防災施策

問 14 区では、災害に強いまちづくりに向けて、様々な施策を行っています。今後、どのようなことに力を入れていくべきだとお考えですか。3つ以内でお選びください。

(n = 960)

| | |
|-----------------------------------|-------|
| 1 . 地域の防災力及び避難所の運営体制の強化 | 53.6% |
| 2 . 高齢者、障害者、乳幼児など、災害時要援護者の支援体制の強化 | 60.1% |
| 3 . 非常食、災害トイレなど、災害備蓄物資の整備 | 67.1% |
| 4 . 避難所、避難場所の案内標識の充実 | 34.2% |
| 5 . 災害ボランティアとの連携強化 | 19.2% |
| 6 . その他 | 4.4% |
| 無回答 | 0.5% |

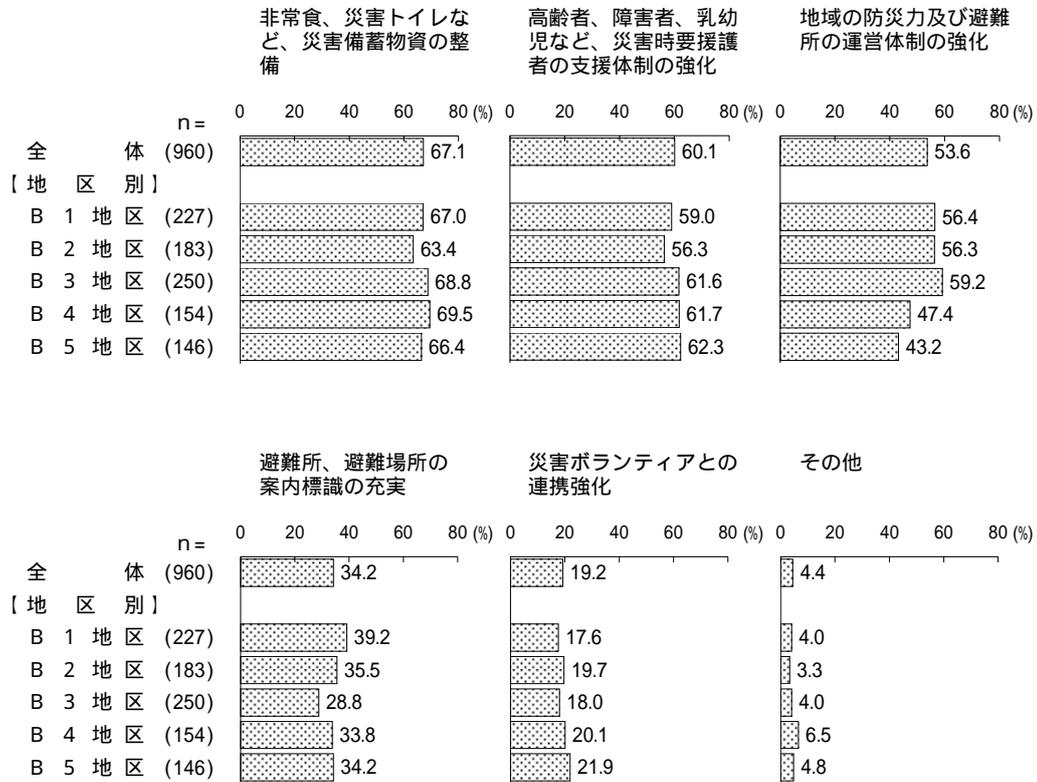
図 5 - 2 - 1 力を入れていくべき防災施策



力を入れていくべき防災施策について聞いたところ、「非常食、災害トイレなど、災害備蓄物資の整備」(67.1%)が7割近くと最も多く、次いで「高齢者、障害者、乳幼児など、災害時要援護者の支援体制の強化」(60.1%)、「地域の防災力及び避難所の運営体制の強化」(53.6%)、「避難所、避難場所の案内標識の充実」(34.2%)、「災害ボランティアとの連携強化」(19.2%)の順となっている。

(図 5 - 2 - 1)

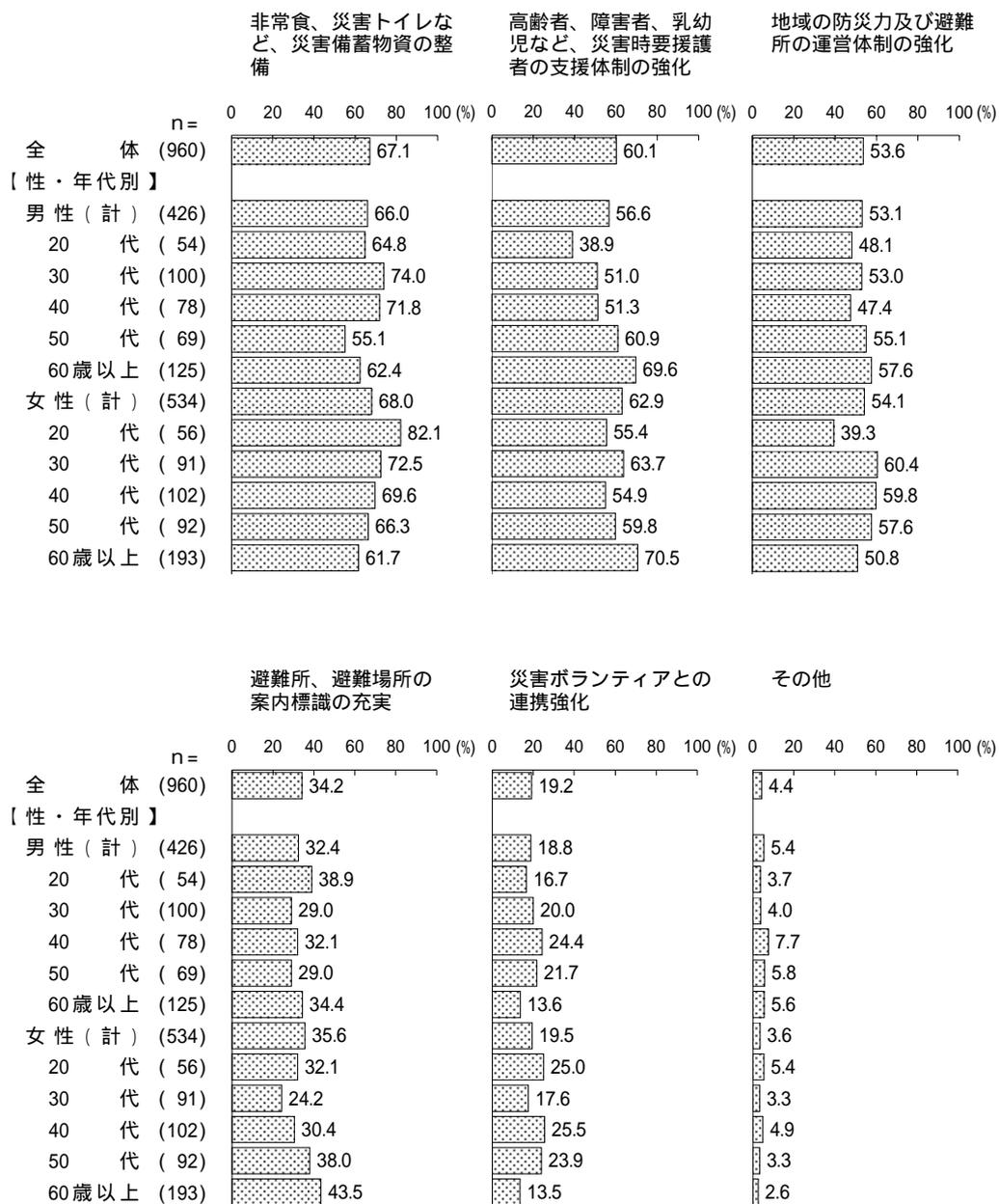
図5 - 2 - 2 力を入れていくべき防災施策 - 地区別



地区区分については4ページ参照

地区別にみると、「非常食、災害トイレなど、災害備蓄物資の整備」はすべての地区で最も多くなっており、6割以上を占めている。(図5 - 2 - 2)

図5 - 2 - 3 力を入れていくべき防災施策 - 性・年代別



性別にみると、「高齢者、障害者、乳幼児など、災害時要援護者の支援体制の強化」は女性の方が6.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「非常食、災害トイレなど、災害備蓄物資の整備」は女性では低い年代ほど割合が高い傾向にあり、女性20代で8割を超え多くなっている。「高齢者、障害者、乳幼児など、災害時要援護者の支援体制の強化」は男女ともに60歳以上で7割前後、「避難所、避難場所の案内標識の充実」は女性60歳以上で4割を超え多くなっている。(図5 - 2 - 3)

6 . 町会 ・ 自治会

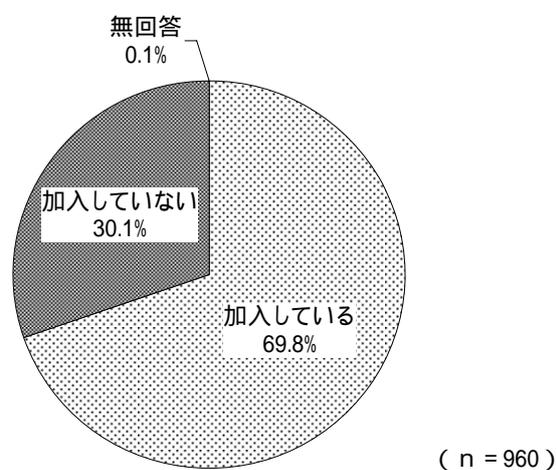
-
- 6 - 1 町会 ・ 自治会への加入状況
 - 6 - 2 町会 ・ 自治会活動への参加意向
 - 6 - 3 町会 ・ 自治会に期待すること
-

6 . 町会 ・ 自治会

6 - 1 町会 ・ 自治会への加入状況

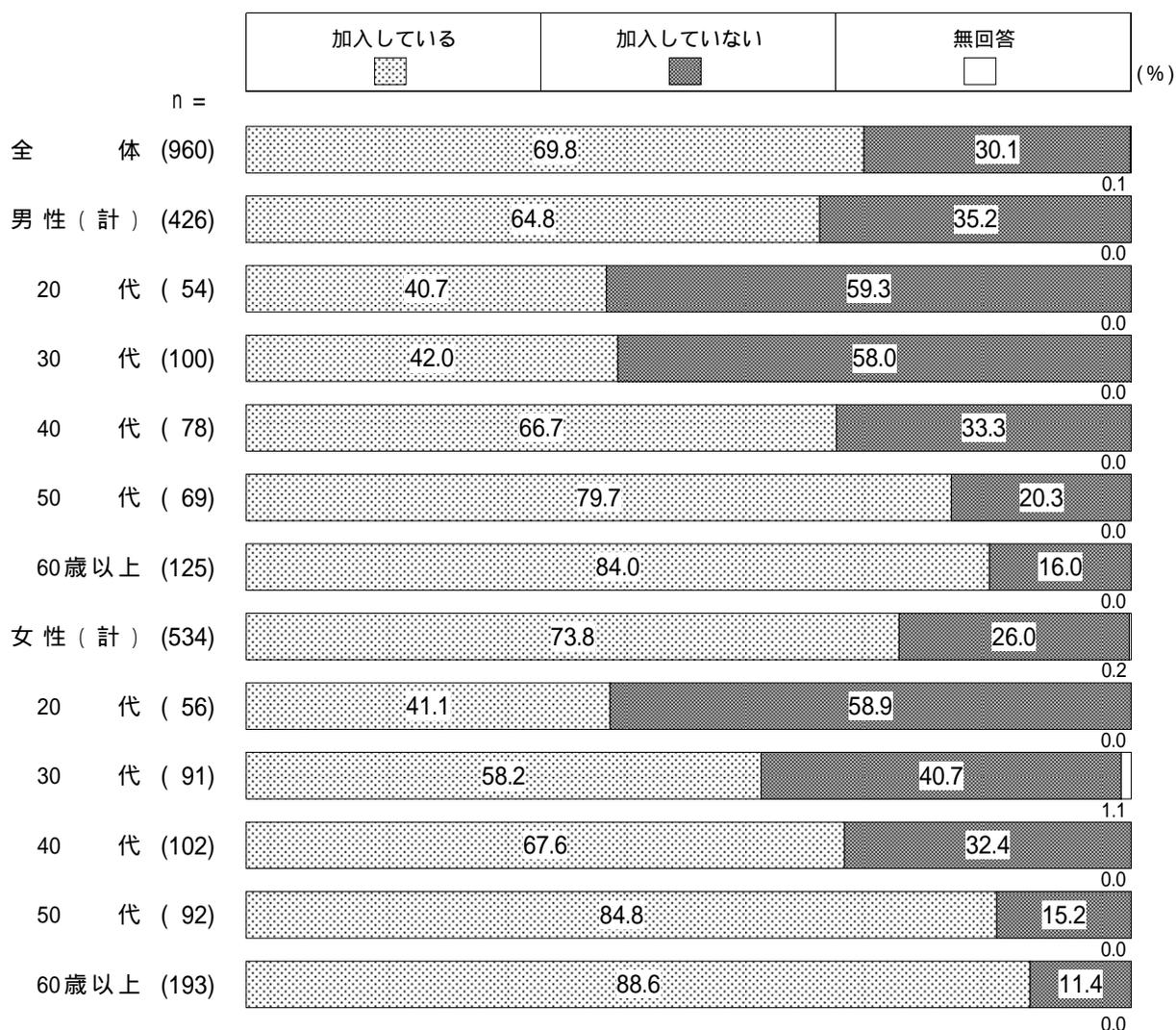
| | | | |
|---|-------|-------------|-------|
| 問 15 あなたの世帯は、町会や自治会に加入していますか。1つお選びください。 | | | |
| (n = 960) | | | |
| 1 . 加入している | 69.8% | 2 . 加入していない | 30.1% |
| | | 無回答 | 0.1% |

図 6 - 1 - 1 町会 ・ 自治会への加入状況



町会 ・ 自治会への加入状況について聞いたところ、「加入している」(69.8%) が 7 割、「加入していない」(30.1%) が 3 割となっている。(図 6 - 1 - 1)

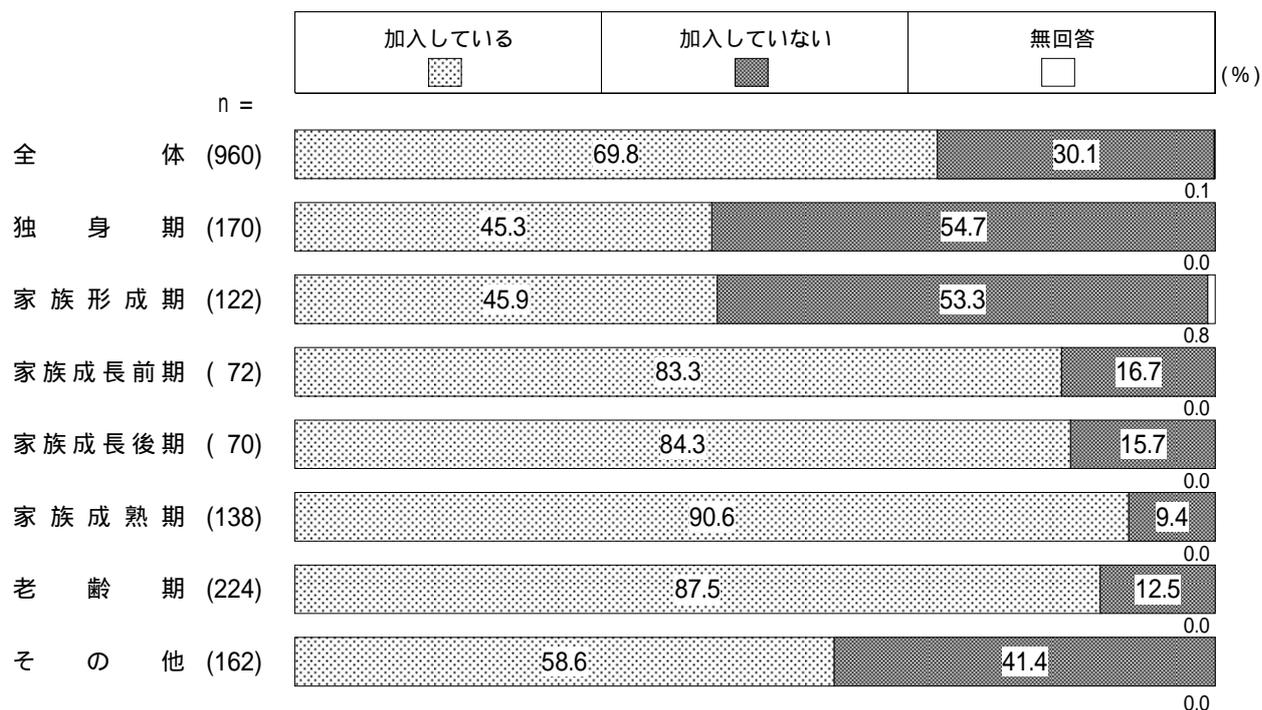
図6 - 1 - 2 町会・自治会への加入状況 - 性・年代別



性別にみると、「加入している」は女性の方が9.0ポイント高くなっている。

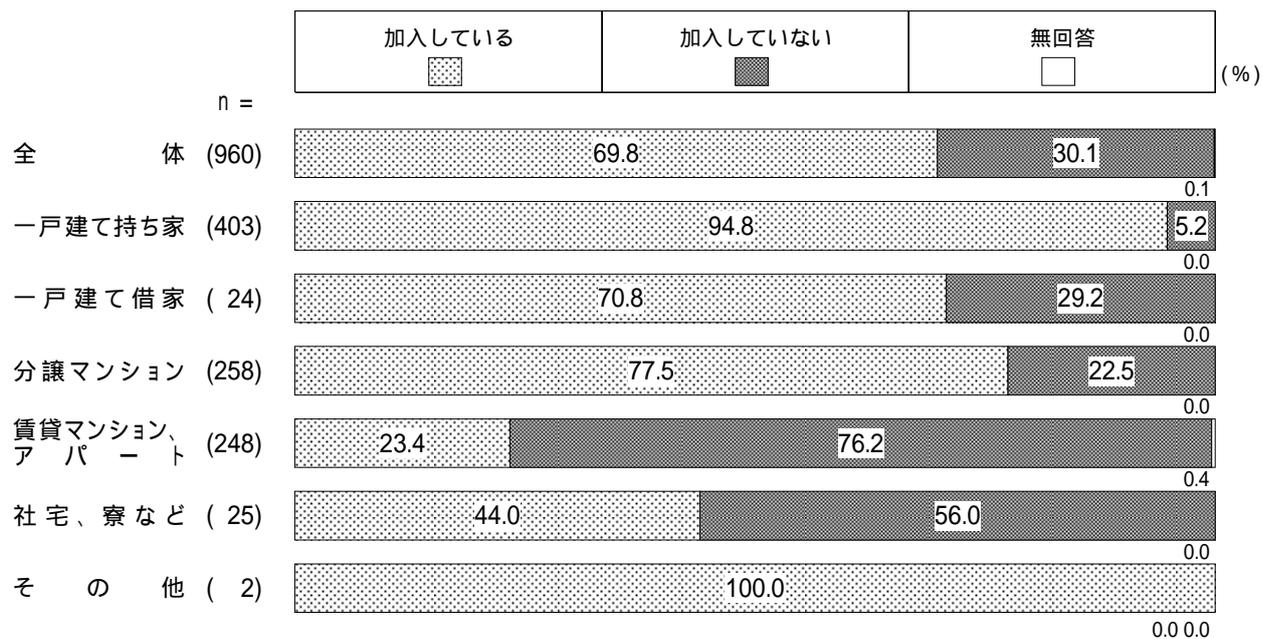
性・年代別にみると、「加入している」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性60歳以上と女性の50代以上の年代で8割以上と多くなっている。一方、「加入していない」は男性20代でほぼ6割、男性30代と女性20代で6割近くと多くなっている。(図6 - 1 - 2)

図6 - 1 - 3 町会・自治会への加入状況 - ライフステージ別



ライフステージ別に見ると、「加入している」は家族成熟期でほぼ9割、老齢期で9割近くと多くなっている。一方、「加入していない」は独身期で5割半ば、家族形成期で5割を超え多くなっている。(図6 - 1 - 3)

図6 - 1 - 4 町会・自治会への加入状況 - 住居形態別

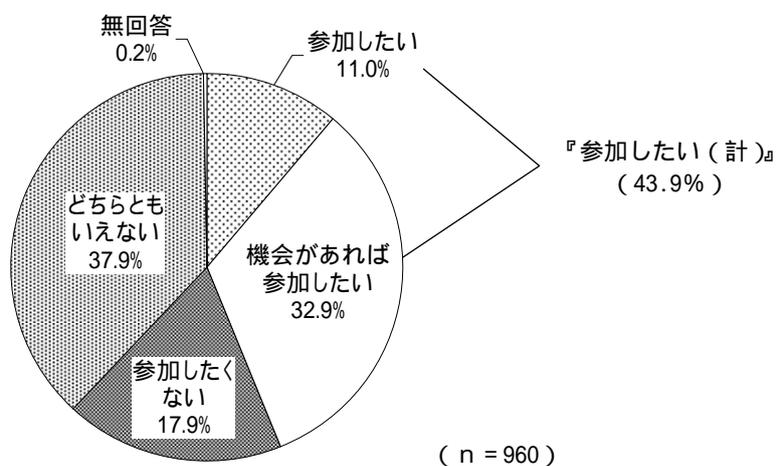


住居形態別に見ると、「加入している」は一戸建て持ち家で9割半ばと多くなっている。一方、「加入していない」は賃貸マンション、アパートで7割半ばと多くなっている。(図6 - 1 - 4)

6 - 2 町会・自治会活動への参加意向

| | | | |
|--|-------|---------------|-------|
| 問 16 あなたは、今後、町会や自治会活動に参加したいと思いますか。1つお選びください。 | | | |
| (n = 960) | | | |
| 1 . 参加したい | 11.0% | 3 . 参加したくない | 17.9% |
| 2 . 機会があれば参加したい | 32.9% | 4 . どちらともいえない | 37.9% |
| | | 無回答 | 0.2% |

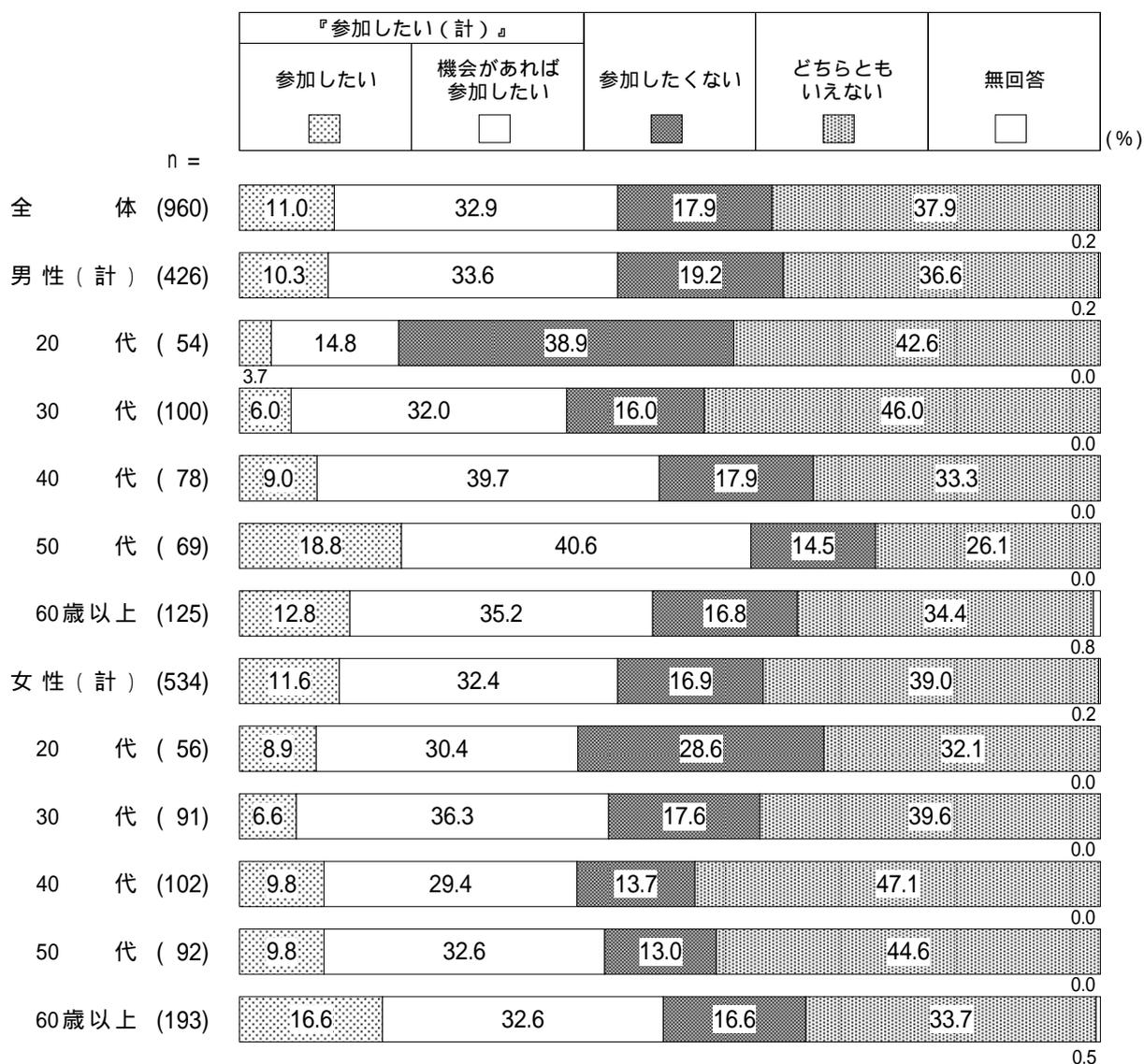
図 6 - 2 - 1 町会・自治会活動への参加意向



町会・自治会活動への参加意向について聞いたところ、「参加したい」(11.0%)と「機会があれば参加したい」(32.9%)を合わせた『参加したい(計)』(43.9%)が4割を超えている。また、「参加したくない」(17.9%)が2割近く、「どちらともいえない」(37.9%)が4割近くとなっている。

(図 6 - 2 - 1)

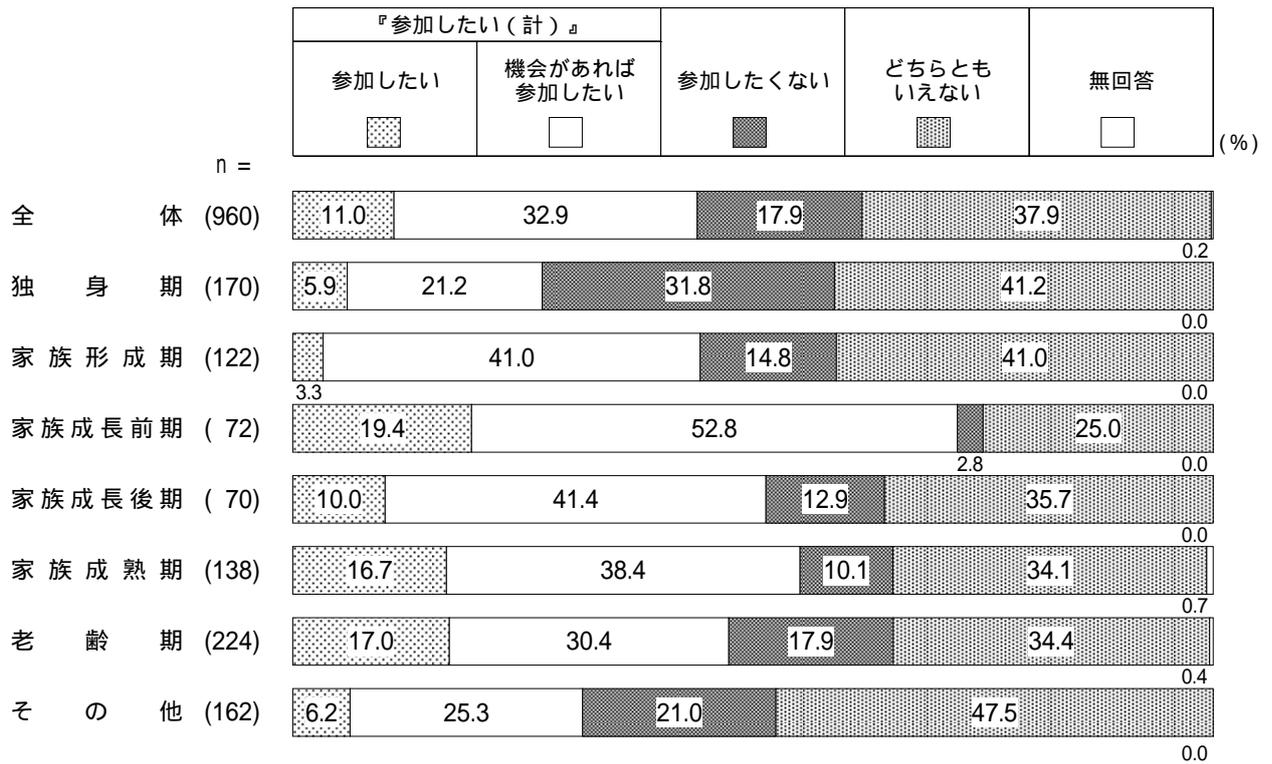
図6 - 2 - 2 町会・自治会活動への参加意向 - 性・年代別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

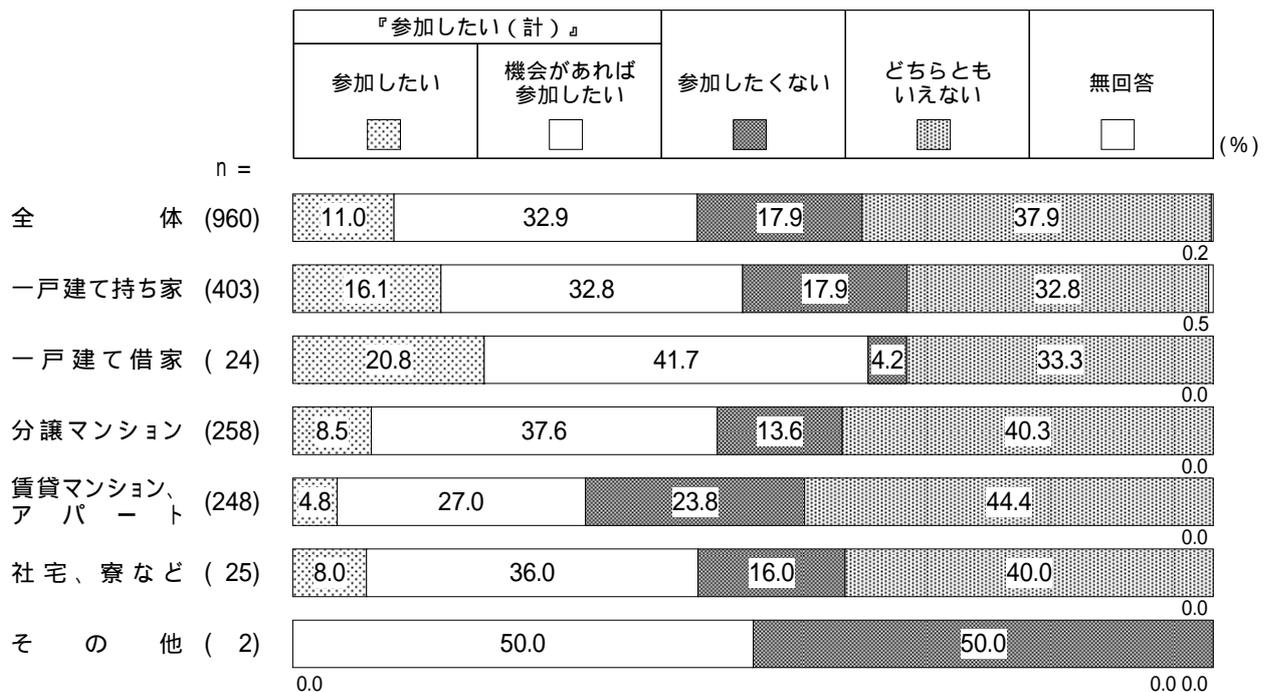
性・年代別にみると、『参加したい(計)』は男性50代でほぼ6割と多くなっている。一方、「参加したくない」は男性20代で4割近く、女性20代で3割近くと多くなっている。(図6 - 2 - 2)

図6 - 2 - 3 町会・自治会活動への参加意向 - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「機会があれば参加したい」は家族成長前期で5割を超え、これに「参加したい」を合わせた『参加したい(計)』でも7割を超え多くなっている。一方、「参加したくない」は独身期で3割を超え多くなっている。(図6 - 2 - 3)

図6 - 2 - 4 町会・自治会活動への参加意向 - 住居形態別



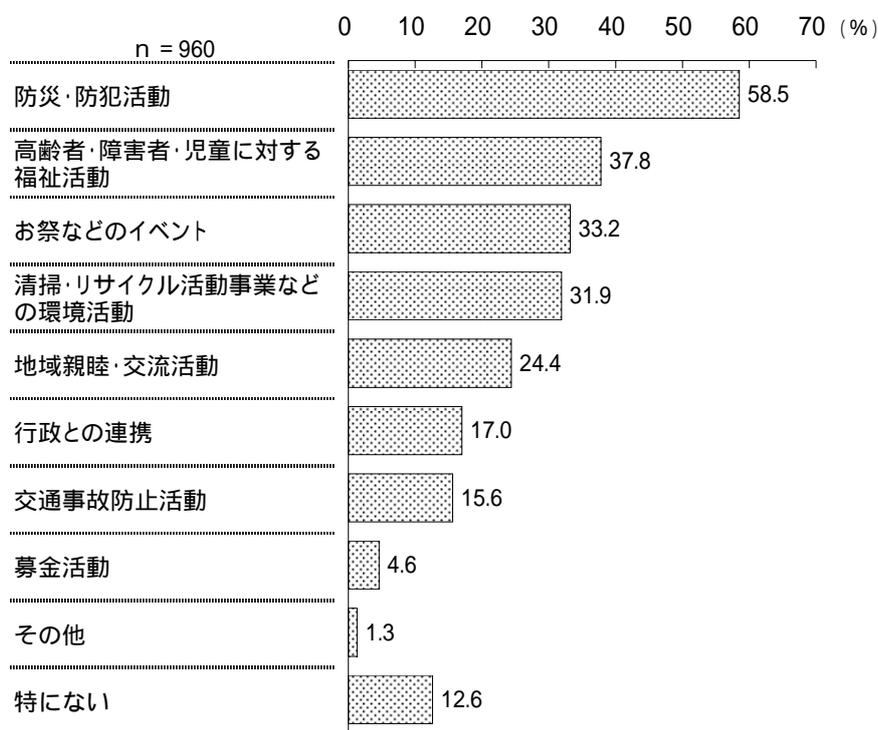
住居形態別にみると、『参加したい(計)』は一戸建て借家で6割を超え多くなっている。

(図6 - 2 - 4)

6 - 3 町会・自治会に期待すること

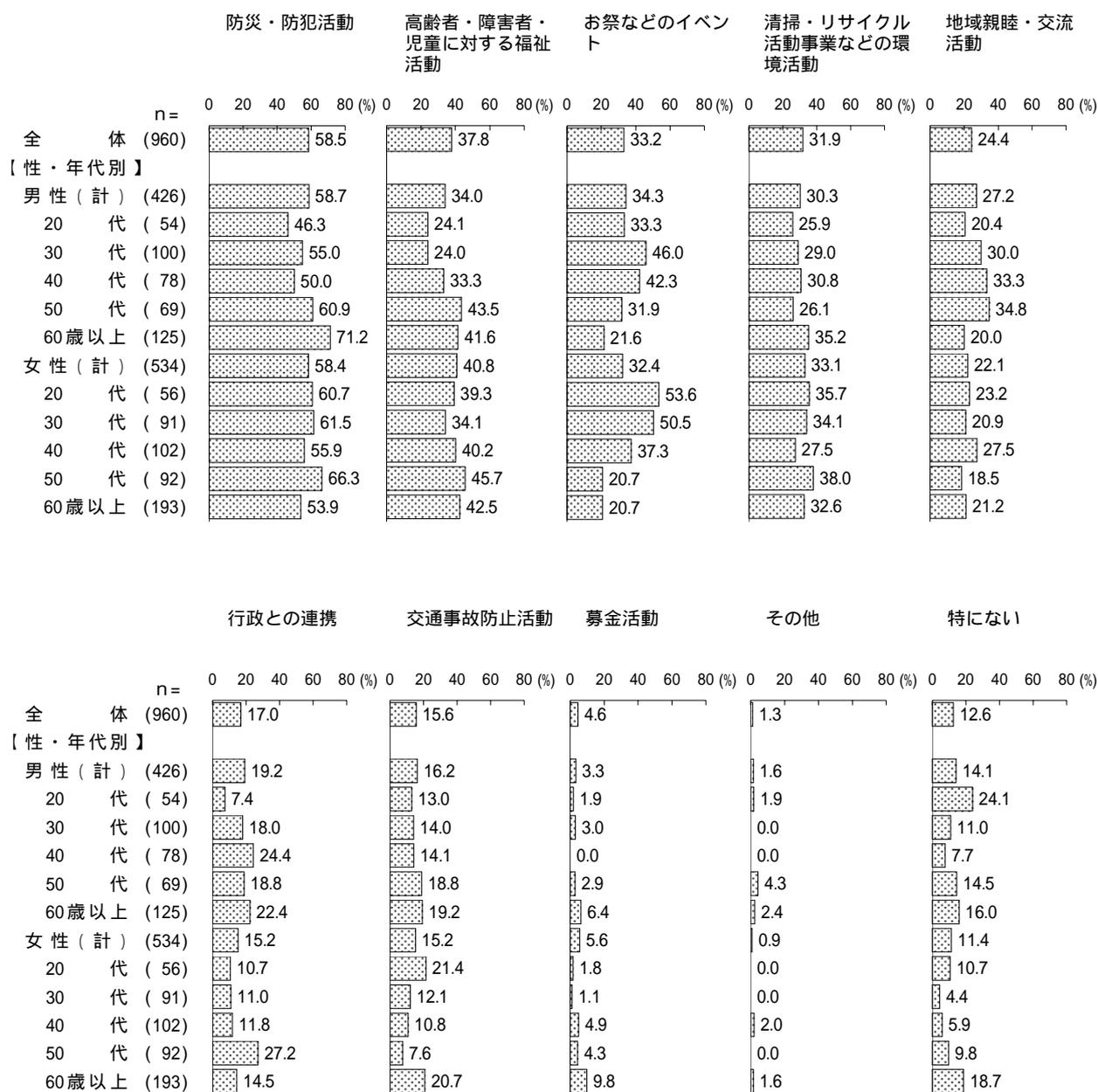
| 問 17 町会・自治会に期待する内容はどのようなことですか。いくつでもお選びください。 | |
|---|-------------|
| | (n = 960) |
| 1 . 防災・防犯活動 | 58.5% |
| 2 . 交通事故防止活動 | 15.6% |
| 3 . 清掃・リサイクル活動事業などの環境活動 | 31.9% |
| 4 . お祭などのイベント | 33.2% |
| 5 . 地域親睦・交流活動 | 24.4% |
| 6 . 高齢者・障害者・児童に対する福祉活動 | 37.8% |
| 7 . 行政との連携 | 17.0% |
| 8 . 募金活動 | 4.6% |
| 9 . その他 | 1.3% |
| 10 . 特にない | 12.6% |

図 6 - 3 - 1 町会・自治会に期待すること



町会・自治会に期待することについて聞いたところ、「防災・防犯活動」(58.5%)が6割近くと最も多く、次いで「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」(37.8%)、「お祭などのイベント」(33.2%)、「清掃・リサイクル活動事業などの環境活動」(31.9%)、「地域親睦・交流活動」(24.4%)などの順となっている。(図6-3-1)

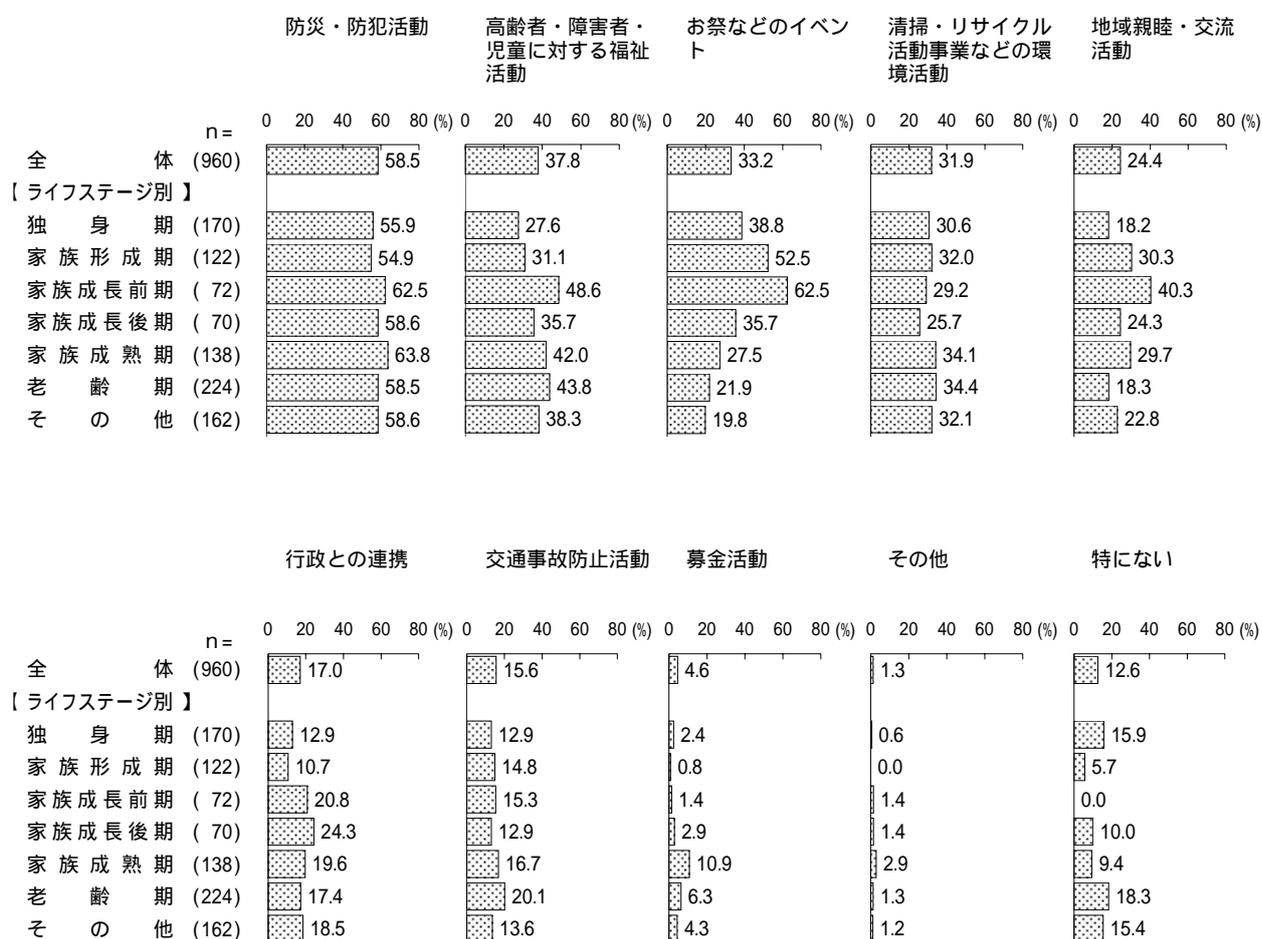
図6-3-2 町会・自治会に期待すること - 性・年代別



性別にみると、「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」は女性の方が6.8ポイント高く、「地域親睦・交流活動」は男性の方が5.1ポイント高くなっている。

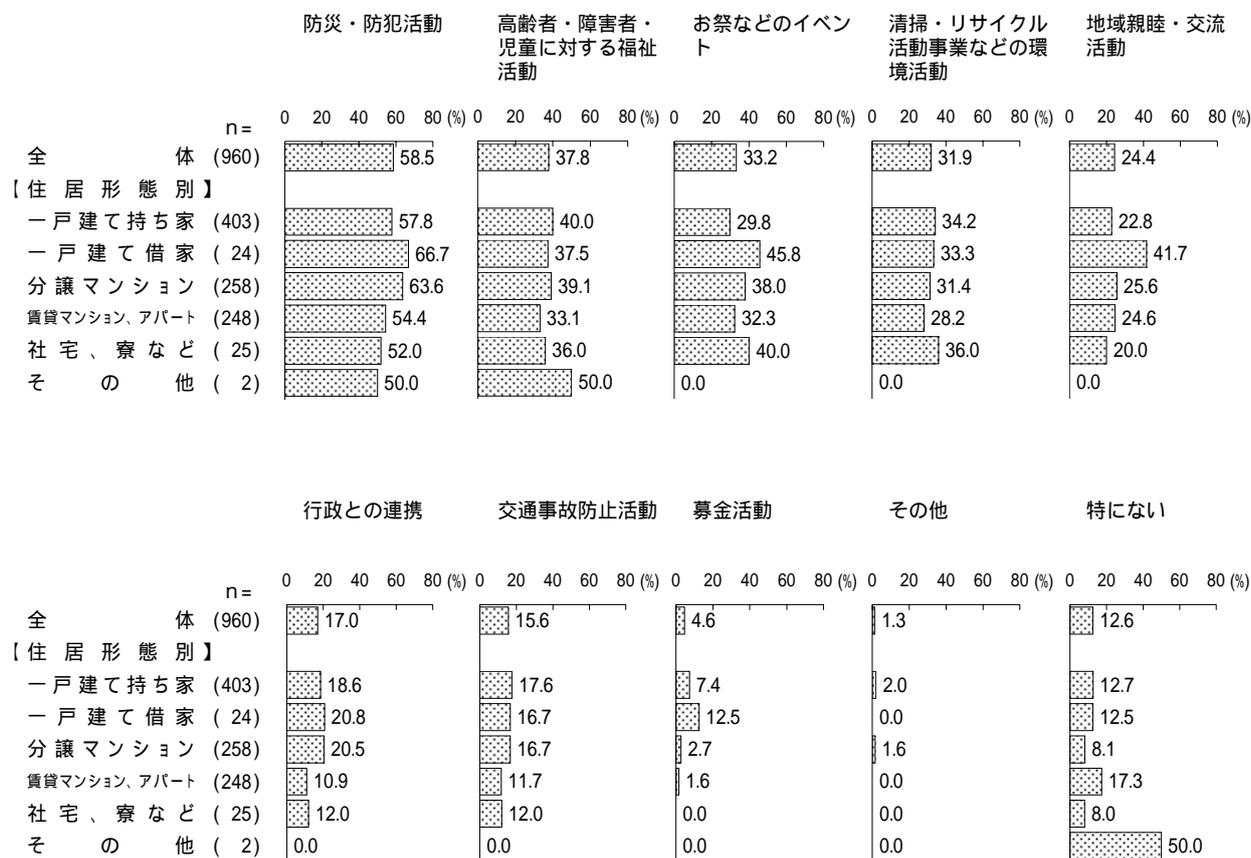
性・年代別にみると、「防災・防犯活動」は男性60歳以上で7割を超え、「お祭などのイベント」は女性では低い年代ほど割合が高い傾向にあり、女性20代で5割を超え、女性30代でほぼ5割と多くなっている。「行政との連携」は女性50代で3割近くと多くなっている。(図6-3-2)

図6-3-3 町会・自治会に期待すること - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「お祭などのイベント」は家族成長前期で6割を超え、家族形成期で5割を超え多く、「地域親睦・交流活動」は家族成長前期で4割と多くなっている。(図6-3-3)

図6-3-4 町会・自治会に期待すること - 住居形態別



住居形態別にみると、「お祭などのイベント」は一戸建て借家で4割半ば、「地域親睦・交流活動」は一戸建て借家で4割を超え多くなっている。(図6-3-4)

7 . 商店会、消費者相談

-
- 7 - 1 商店会にあるとよいサービス
 - 7 - 2 消費者相談コーナーの認知度
-

7. 商店会、消費者相談

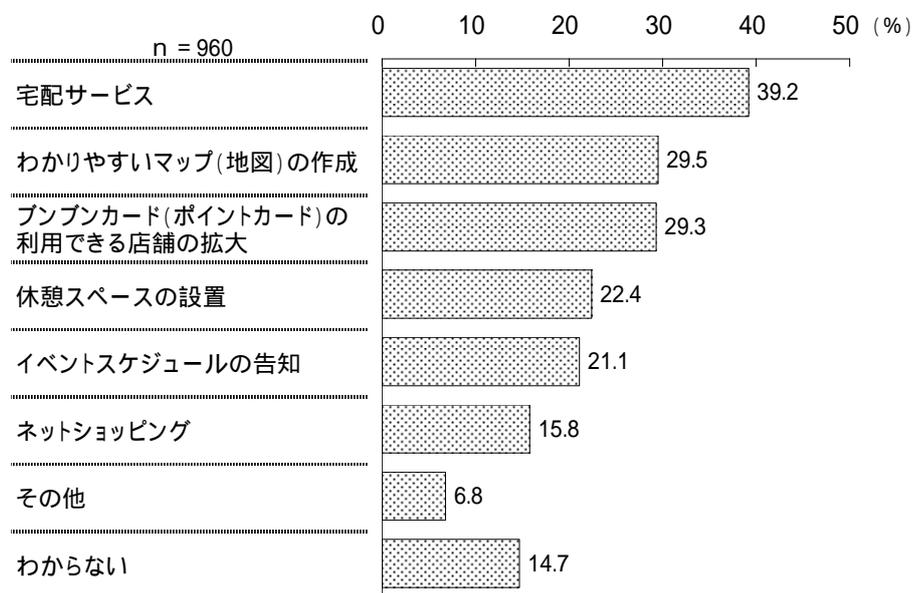
7 - 1 商店会にあるとよいサービス

問 18 あなたは、商店会にどのようなサービスがあれば買い物しやすくなると思いますか。いくつでもお選びください。

(n = 960)

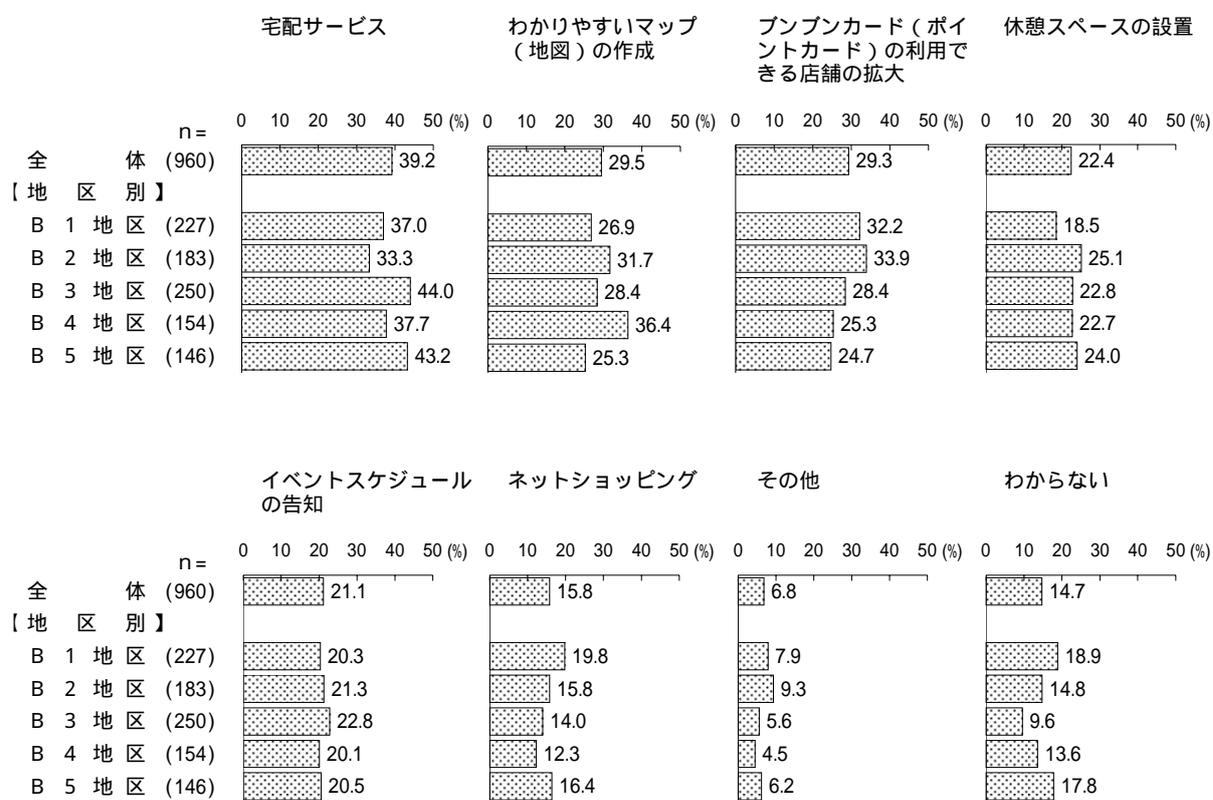
| | |
|--------------------------------|-------|
| 1. 宅配サービス | 39.2% |
| 2. ネットショッピング | 15.8% |
| 3. わかりやすいマップ(地図)の作成 | 29.5% |
| 4. イベントスケジュールの告知 | 21.1% |
| 5. プンブンカード(ポイントカード)の利用できる店舗の拡大 | 29.3% |
| 6. 休憩スペースの設置 | 22.4% |
| 7. その他 | 6.8% |
| 8. わからない | 14.7% |

図 7 - 1 - 1 商店会にあるとよいサービス



商店会にあるとよいサービスについて聞いたところ、「宅配サービス」(39.2%)がほぼ4割と最も多く、次いで「わかりやすいマップ(地図)の作成」(29.5%)、「ブンブンカード(ポイントカード)の利用できる店舗の拡大」(29.3%)、「休憩スペースの設置」(22.4%)、「イベントスケジュールの告知」(21.1%)、「ネットショッピング」(15.8%)の順となっている。(図7-1-1)

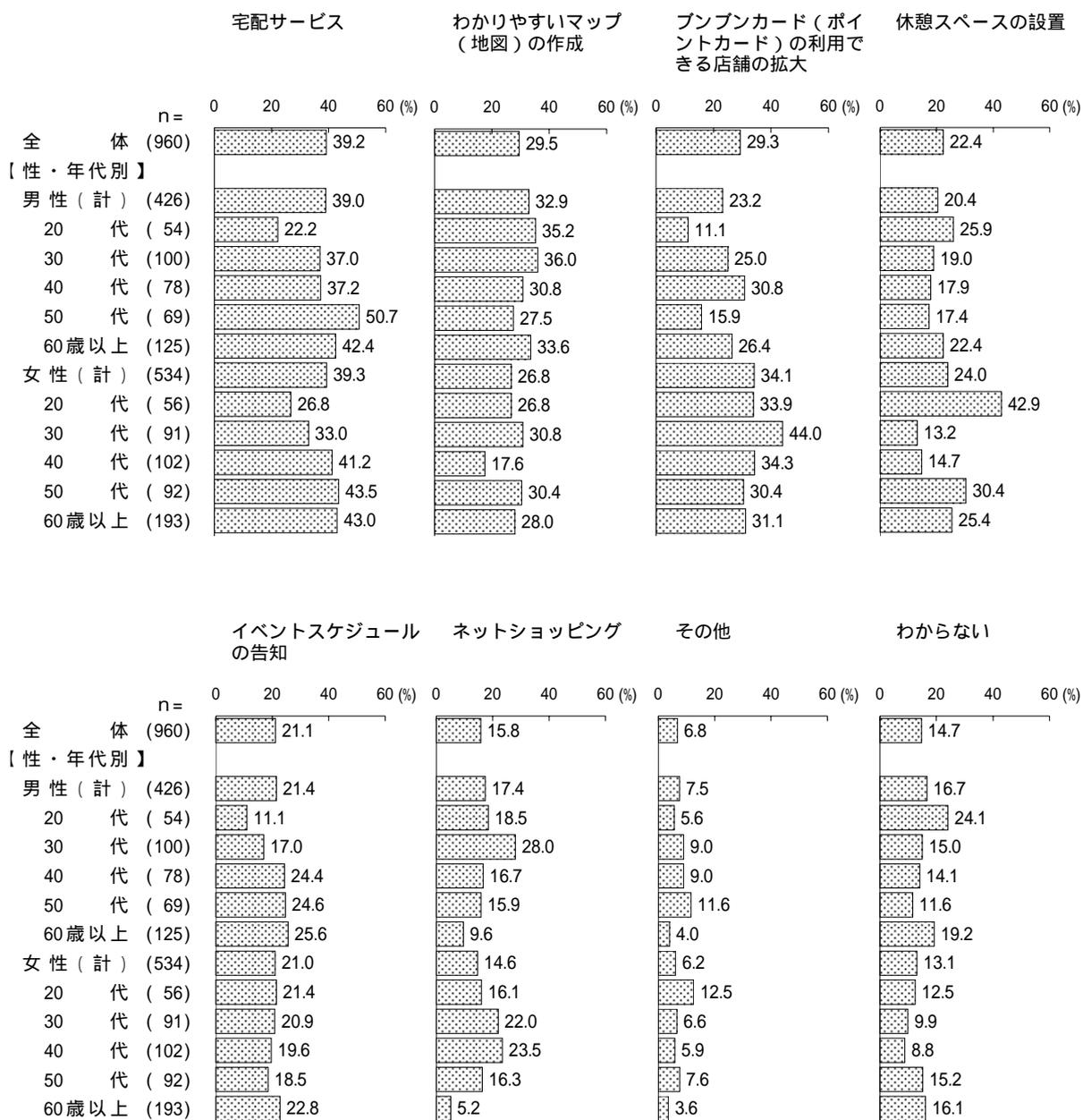
図7-1-2 商店会にあるとよいサービス - 地区別



地区区分については4ページ参照

地区別にみると、「宅配サービス」はB3地区で4割半ば、B5地区で4割を超え多く、「わかりやすいマップ(地図)の作成」はB4地区で3割半ばと多くなっている。(図7-1-2)

図7 - 1 - 3 商店会にあるとよいサービス - 性・年代別



性別にみると、「ブンブンカード(ポイントカード)の利用できる店舗の拡大」は女性の方が10.9ポイント高く、「わかりやすいマップ(地図)の作成」は男性の方が6.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「宅配サービス」は男性50代でほぼ5割、「ブンブンカード(ポイントカード)の利用できる店舗の拡大」は女性30代で4割半ばと多くなっている。「休憩スペースの設置」は女性20代で4割を超え、「ネットショッピング」は男性30代で3割近くと多くなっている。

(図7 - 1 - 3)

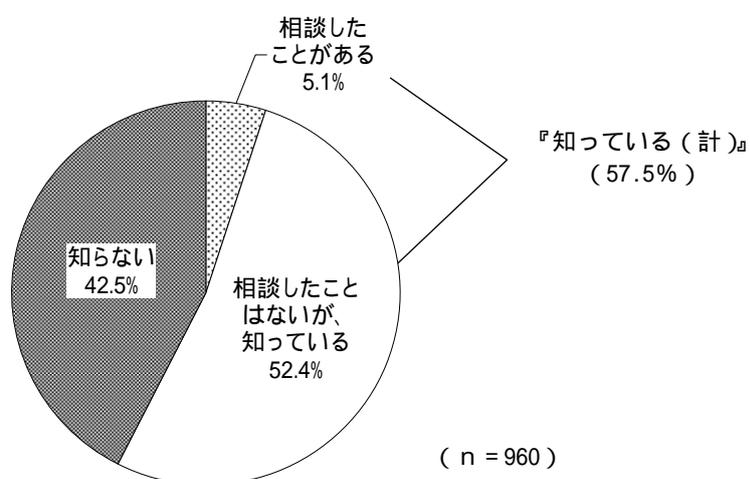
7 - 2 消費者相談コーナーの認知度

問 19 あなたは、消費生活センターに消費者と事業者との間に生じたトラブルを相談するコーナーがあることを知っていますか。1つお選びください。

(n = 960)

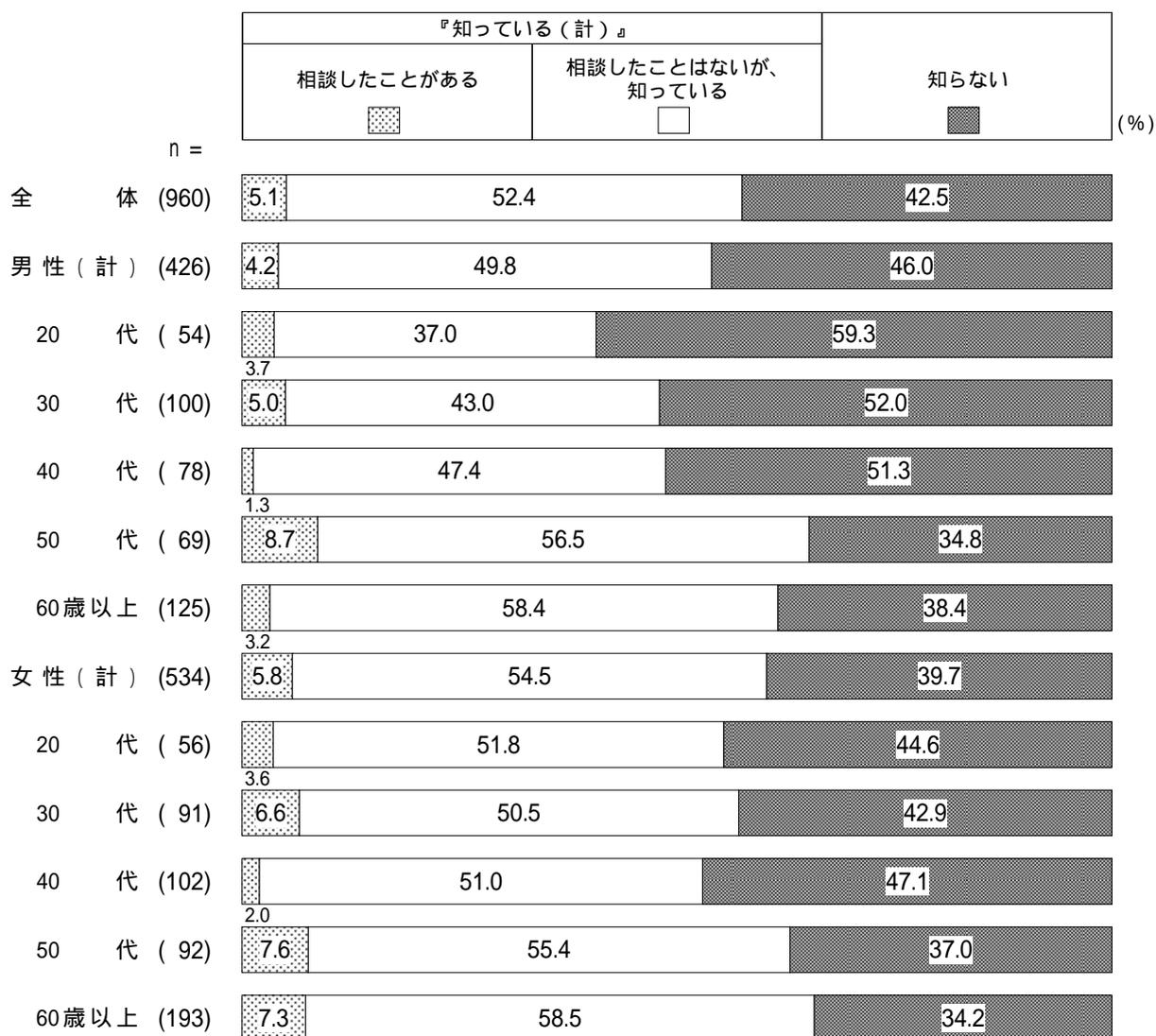
- | | | | |
|----------------------|-------|----------|-------|
| 1 . 相談したことがある | 5.1% | 3 . 知らない | 42.5% |
| 2 . 相談したことはないが、知っている | 52.4% | | |

図 7 - 2 - 1 消費者相談コーナーの認知度



消費者相談コーナーの認知度について聞いたところ、「相談したことがある」(5.1%)が1割未満、「相談したことはないが、知っている」(52.4%)が5割を超え、この2つを合わせた『知っている(計)』(57.5%)は6割近くとなっている。(図7 - 2 - 1)

図7 - 2 - 2 消費者相談コーナーの認知度 - 性・年代別



性別にみると、「知らない」は男性の方が6.3ポイント高くなっている。一方、女性の方が「相談したことはないが、知っている」で4.7ポイント高く、『知っている（計）』でも6.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『知っている（計）』は男性50代と女性60歳以上で6割半ばと多くなっている。一方、「知らない」は男性20代でほぼ6割と多くなっている。（図7 - 2 - 2）

8 . 高 齡 者

8 - 1 さらに充実すべき高齢者施策

8 - 2 地域包括支援センターの認知度

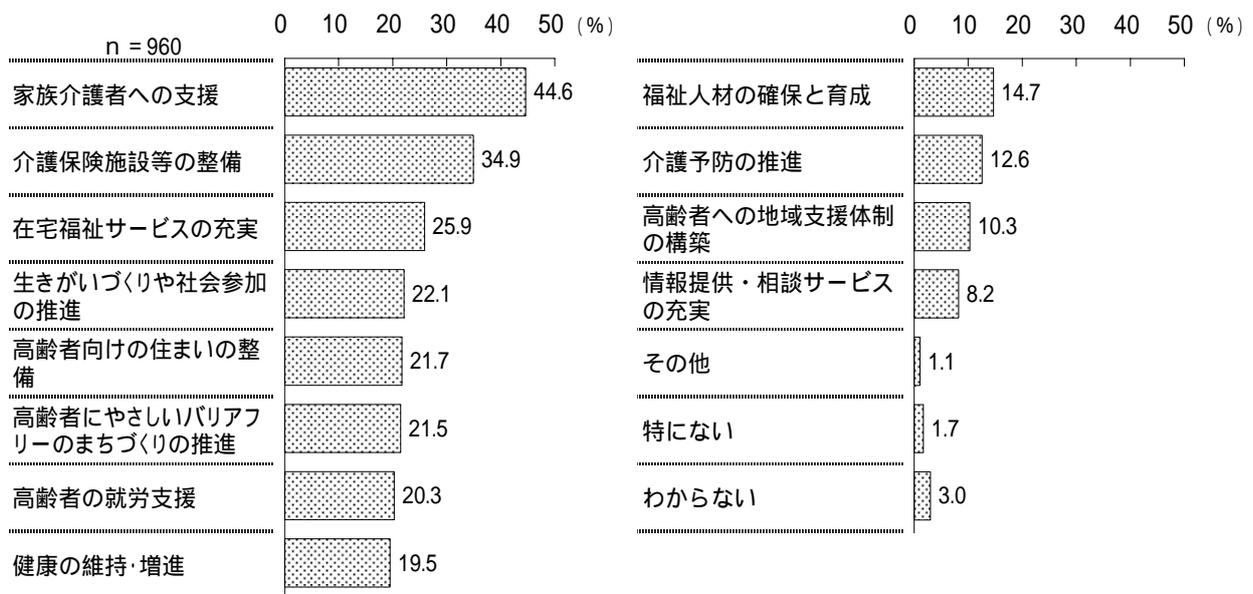
8 . 高齢者

8 - 1 さらに充実すべき高齢者施策

問 20 高齢者施策において、区がさらに充実すべきものを3つ以内でお選びください。
(n = 960)

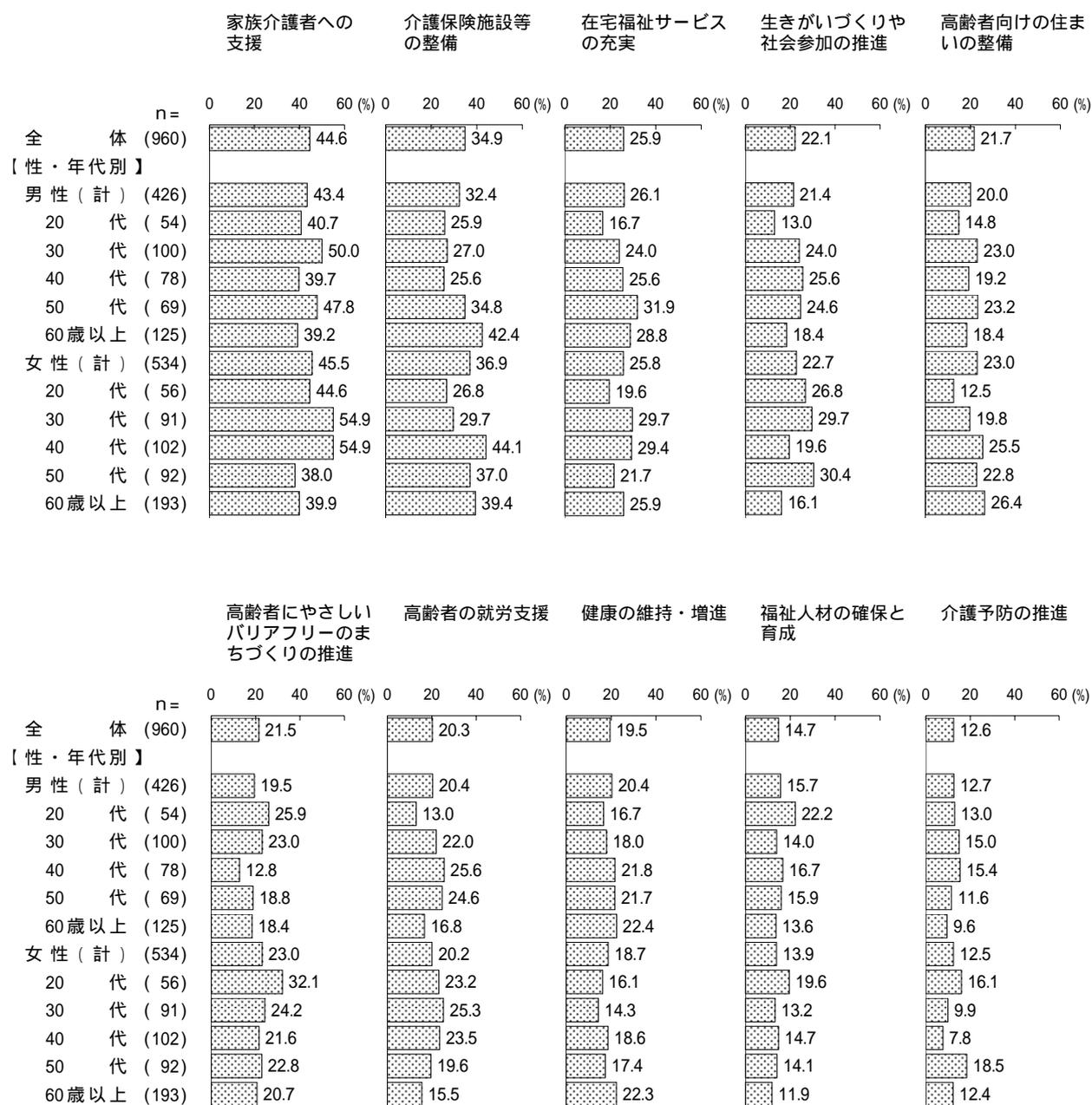
| | |
|--|-------|
| 1 . 健康の維持・増進 | 19.5% |
| 2 . 生きがいづくりや社会参加の推進 | 22.1% |
| 3 . 高齢者の就労支援 | 20.3% |
| 4 . 介護予防の推進 | 12.6% |
| 5 . 在宅福祉サービスの充実 | 25.9% |
| 6 . 介護保険施設等 (特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホームなど) の整備 | 34.9% |
| 7 . 家族介護者への支援 | 44.6% |
| 8 . 情報提供・相談サービスの充実 | 8.2% |
| 9 . 高齢者向けの住まい (有料老人ホーム、ケアハウス、高齢者専用賃貸住宅など) の整備 | 21.7% |
| 10 . 高齢者への地域支援体制の構築 | 10.3% |
| 11 . 福祉人材の確保と育成 | 14.7% |
| 12 . 高齢者にやさしいバリアフリーのまちづくりの推進 (道路の段差解消など) | 21.5% |
| 13 . その他 | 1.1% |
| 14 . 特にない | 1.7% |
| 15 . わからない | 3.0% |

図 8 - 1 - 1 さらに充実すべき高齢者施策



さらに充実すべき高齢者施策について聞いたところ、「家族介護者への支援」(44.6%)が4割半ばと最も多く、次いで「介護保険施設等の整備」(34.9%)、「在宅福祉サービスの充実」(25.9%)、「生きがいづくりや社会参加の推進」(22.1%)、「高齢者向けの住まいの整備」(21.7%)、「高齢者にやさしいバリアフリーのまちづくりの推進」(21.5%)などの順となっている。(図 8 - 1 - 1)

図 8 - 1 - 2 さらに充実すべき高齢者施策 - 性・年代別 (上位 10 項目)

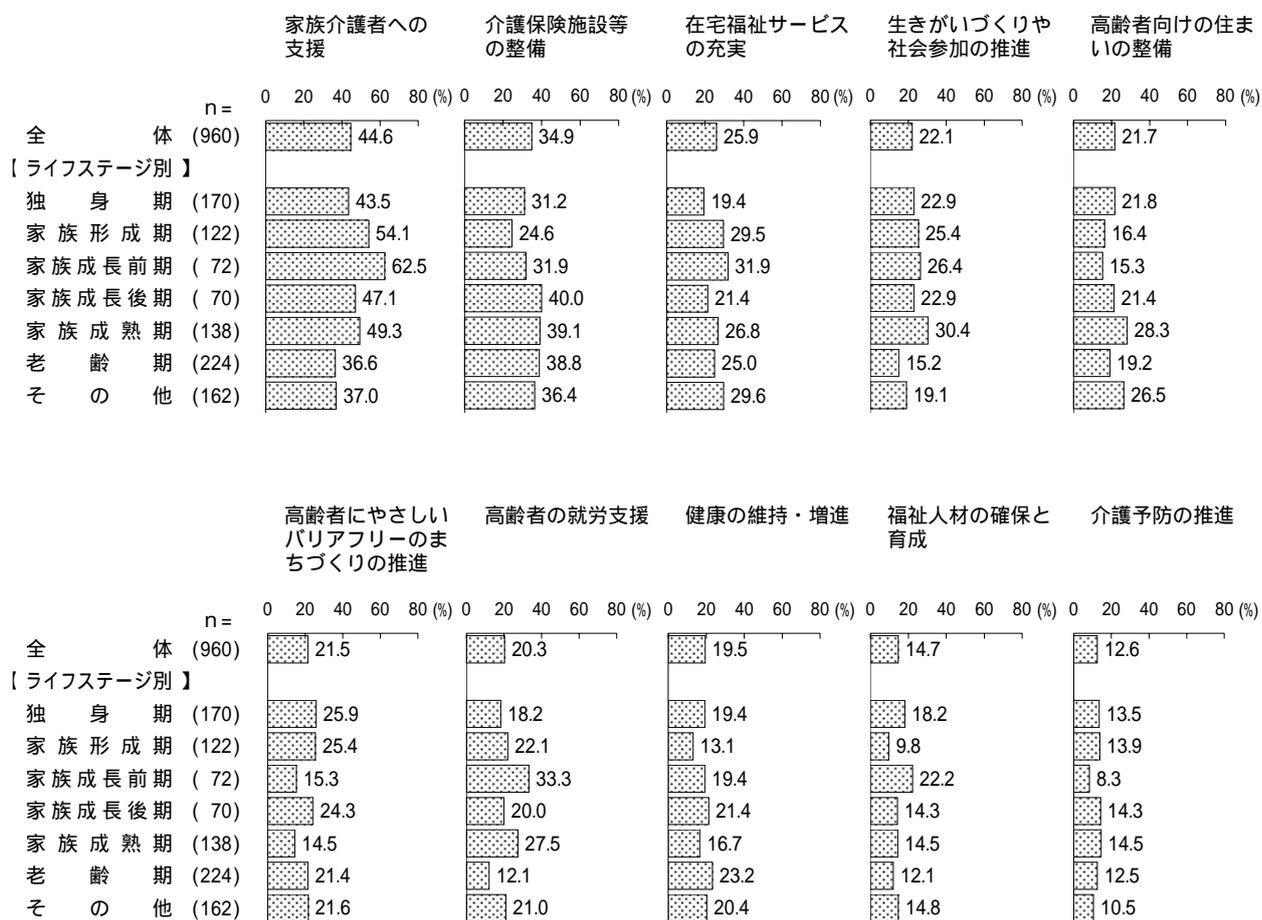


性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性・年代別にみると、「家族介護者への支援」は女性 30 代と女性 40 代で 5 割半ばと多く、「介護保険施設等の整備」は女性 40 代で 4 割半ば、男性 60 歳以上で 4 割を超え、「高齢者にやさしいバリアフリーのまちづくりの推進」は女性 20 代で 3 割を超え多くになっている。

(図 8 - 1 - 2)

図 8 - 1 - 3 さらに充実すべき高齢者施策 - ライフステージ別 (上位 10 項目)



ライフステージ別にみると、「家族介護者への支援」は家族成長前期で6割を超え、「高齢者の就労支援」は家族成長前期で3割を超え多くなっている。(図 8 - 1 - 3)

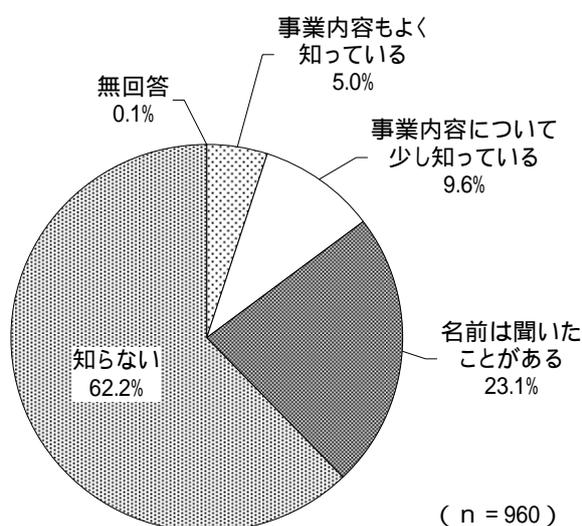
8 - 2 地域包括支援センターの認知度

問 21 あなたは、地域における高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターを知っていますか。1つお選びください。

(n = 960)

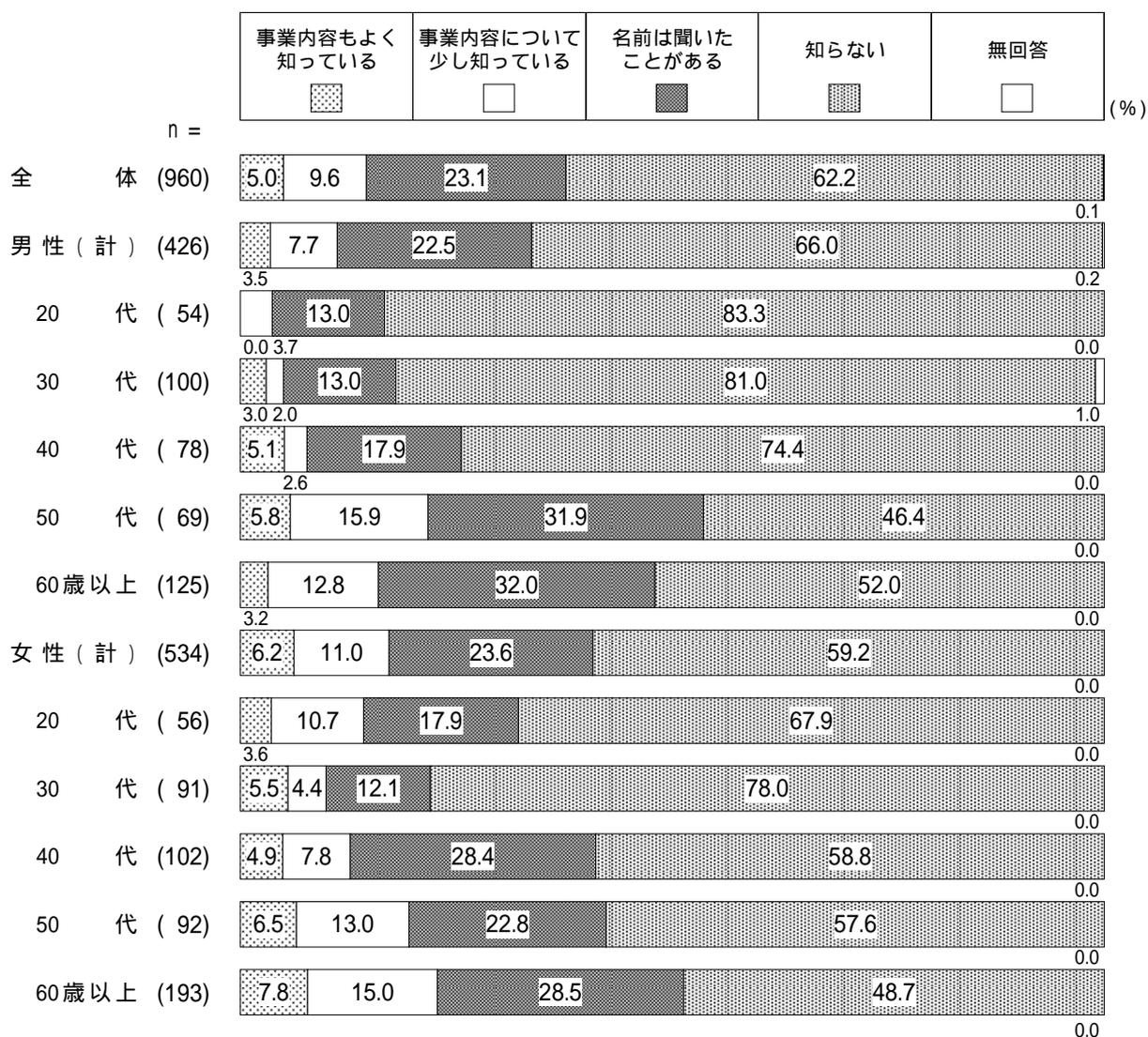
| | | | |
|---------------------|------|-----------------|-------|
| 1 . 事業内容もよく知っている | 5.0% | 3 . 名前は聞いたことがある | 23.1% |
| 2 . 事業内容について少し知っている | 9.6% | 4 . 知らない | 62.2% |
| | | 無回答 | 0.1% |

図 8 - 2 - 1 地域包括支援センターの認知度



地域包括支援センターの認知度について聞いたところ、「事業内容もよく知っている」(5.0%)と「事業内容について少し知っている」(9.6%)が1割未満、「名前は聞いたことがある」(23.1%)が2割を超えている。また、「知らない」(62.2%)が6割を超えている。(図8-2-1)

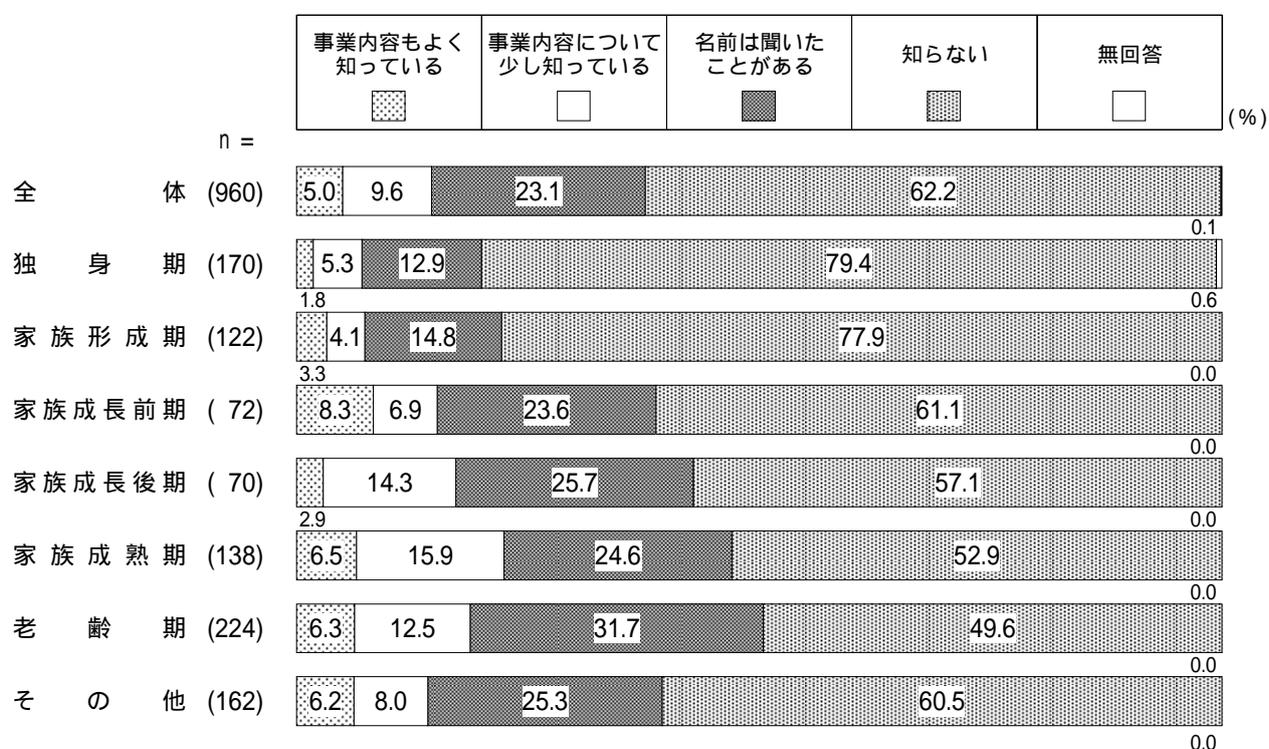
図8 - 2 - 2 地域包括支援センターの認知度 - 性・年代別



性別にみると、「知らない」は男性の方が6.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「知らない」は男性20代と男性30代で8割を超え、女性30代で8割近くと多くなっている。(図8 - 2 - 2)

図8 - 2 - 3 地域包括支援センターの認知度 - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「名前は聞いたことがある」は老齢期で3割を超え、「知らない」は独身期でほぼ8割、家族形成期で8割近くと多くなっている。(図8 - 2 - 3)

9 . 子育て支援

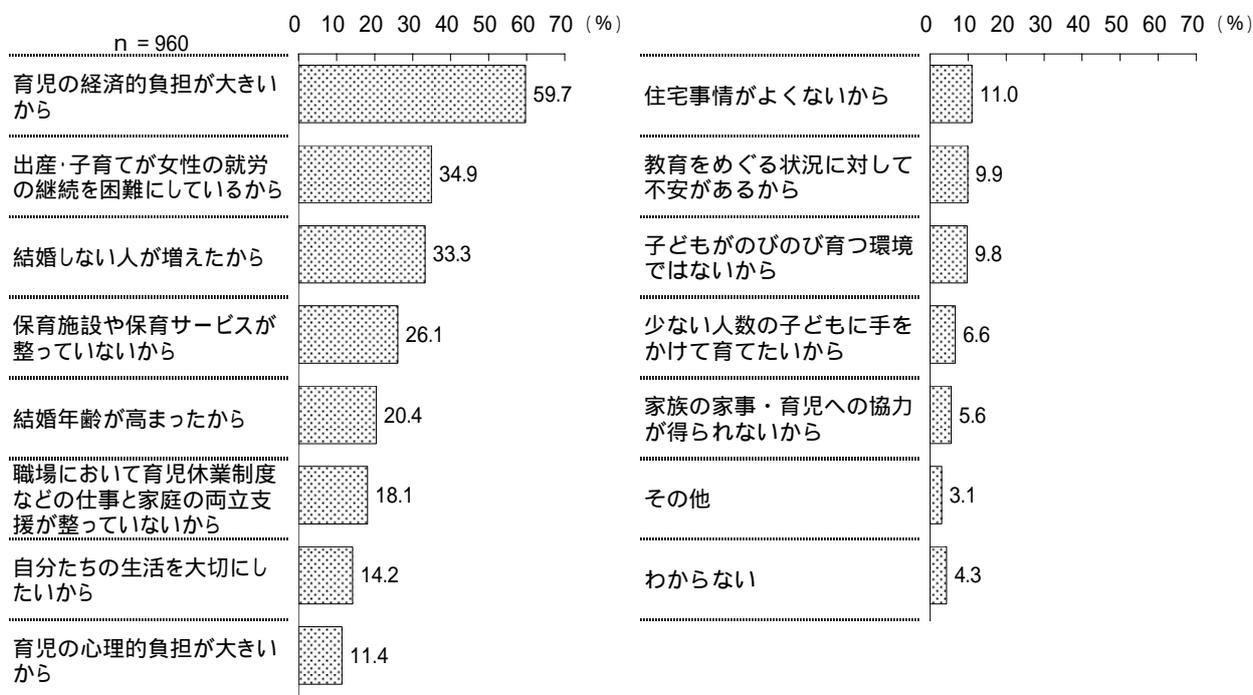
-
- 9 - 1 少子化が進んでいる原因
 - 9 - 2 子育て支援のために取り組むべき施策
 - 9 - 3 青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきこと
-

9. 子育て支援

9 - 1 少子化が進んでいる原因

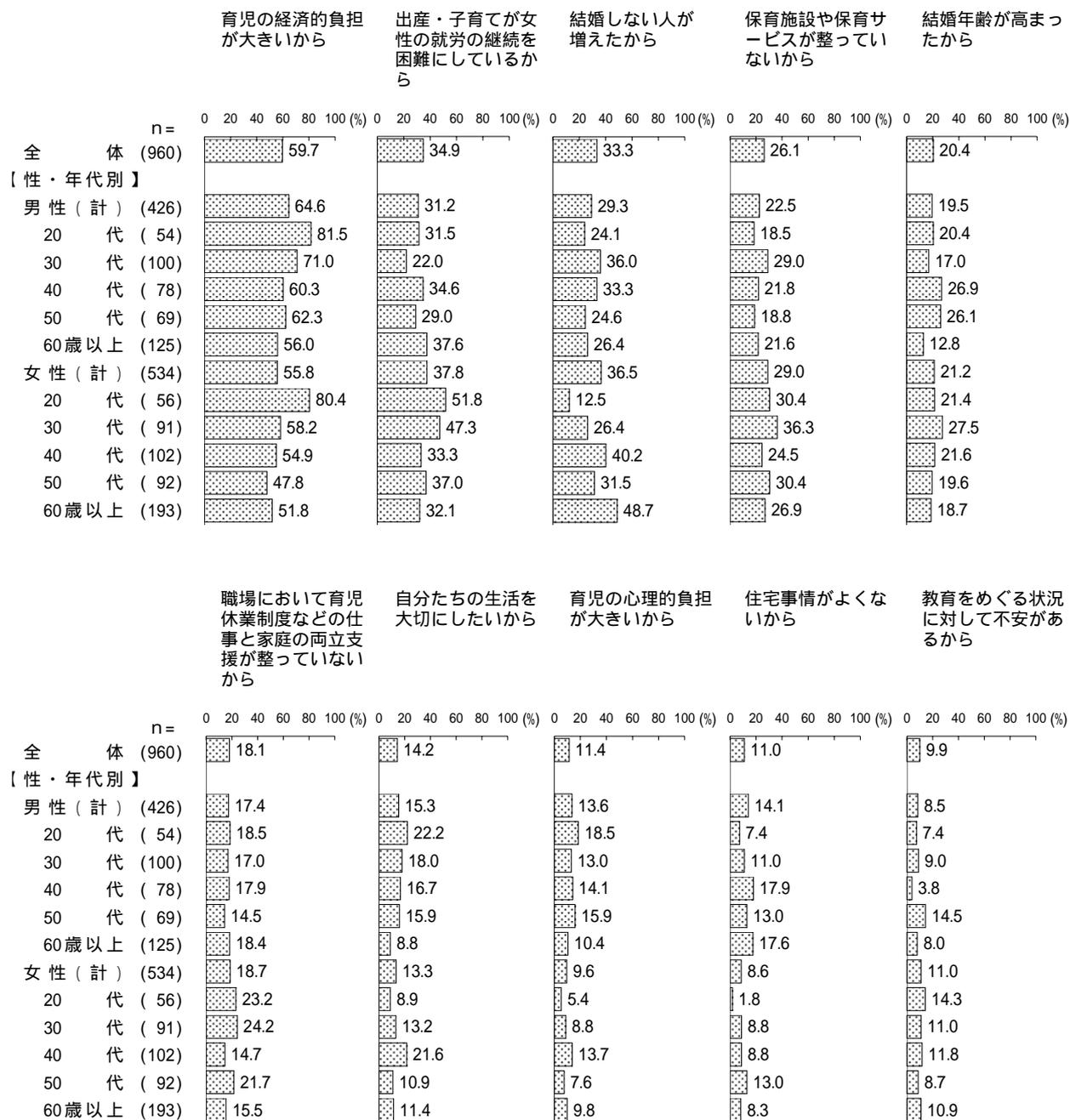
| 問 22 最近、生まれてくる子どもの数が減っています。それはなぜだと思いますか。 3つ以内でお選びください。 | | (n = 960) |
|---|-------|-------------|
| 1. 育児の経済的負担が大きいから | 59.7% | |
| 2. 育児の心理的負担が大きいから | 11.4% | |
| 3. 家族の家事・育児への協力が得られないから | 5.6% | |
| 4. 自分たちの生活を大切にしたいから | 14.2% | |
| 5. 子どもがのびのび育つ環境ではないから | 9.8% | |
| 6. 少ない人数の子どもに手をかけて育てたいから | 6.6% | |
| 7. 教育をめぐる状況に対して不安があるから | 9.9% | |
| 8. 住宅事情がよくないから | 11.0% | |
| 9. 結婚しない人が増えたから | 33.3% | |
| 10. 結婚年齢が高まったから | 20.4% | |
| 11. 出産・子育てが女性の就労の継続を困難にしているから | 34.9% | |
| 12. 保育施設や保育サービスが整っていないから | 26.1% | |
| 13. 職場において育児休業制度などの仕事と家庭の両立支援が整っていないから | 18.1% | |
| 14. その他 | 3.1% | |
| 15. わからない | 4.3% | |

図 9 - 1 - 1 少子化が進んでいる原因



少子化が進んでいる原因について聞いたところ、「育児の経済的負担が大きいから」(59.7%)が最も多く、次いで「出産・子育てが女性の就労の継続を困難にしているから」(34.9%)、「結婚しない人が増えたから」(33.3%)、「保育施設や保育サービスが整っていないから」(26.1%)、「結婚年齢が高まったから」(20.4%)などの順となっている。(図9-1-1)

図9 - 1 - 2 少子化が進んでいる原因 - 性・年代別（上位10項目）

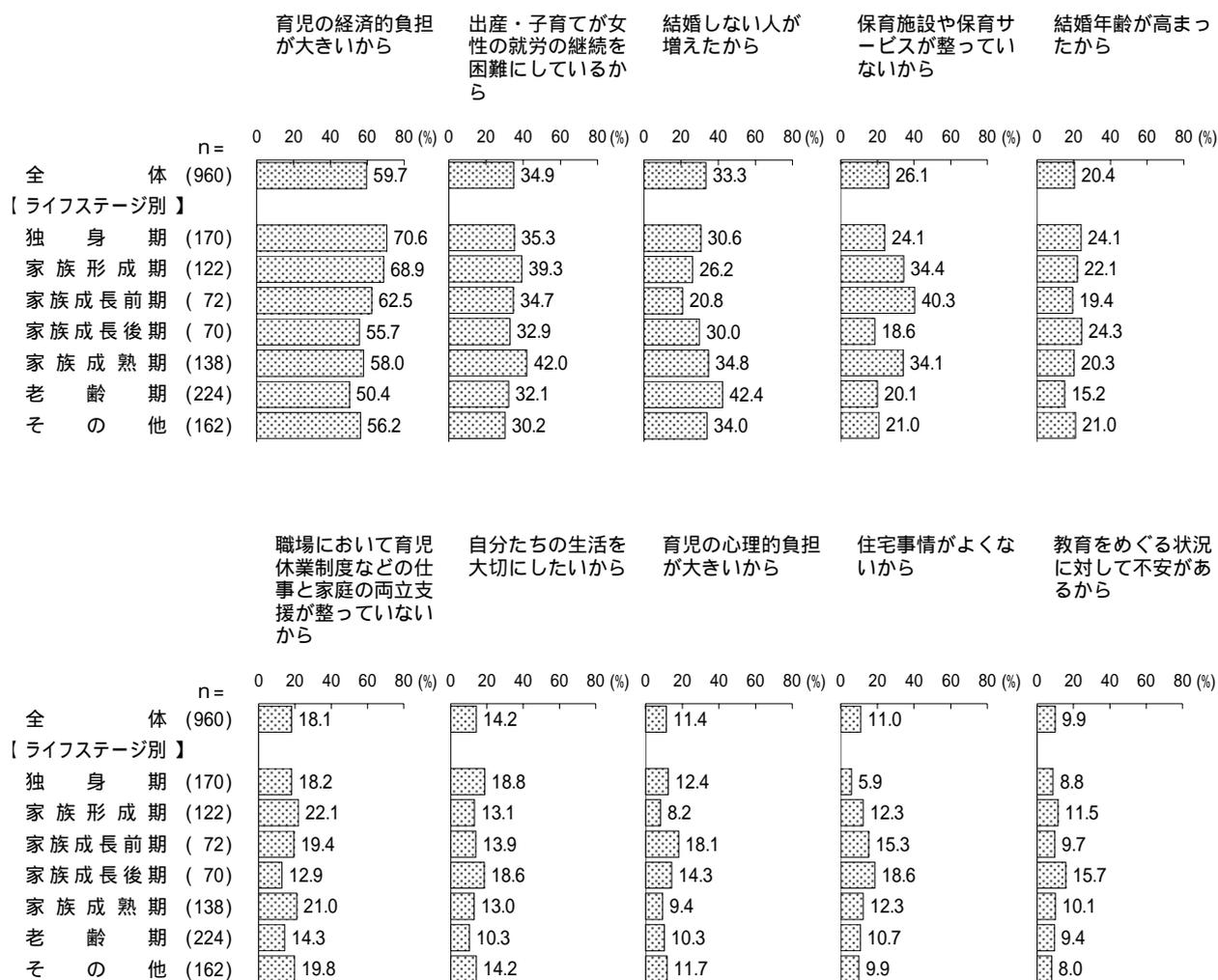


性別にみると、「育児の経済的負担が大きいから」は男性の方が8.8ポイント高くなっている。一方、女性の方が「出産・子育てが女性の就労の継続を困難にしているから」、「結婚しない人が増えたから」、「保育施設や保育サービスが整っていないから」でそれぞれ7ポイント程度高くなっている。

性・年代別にみると、「育児の経済的負担が大きいから」は男女ともに20代で8割以上と多くなっている。「出産・子育てが女性の就労の継続を困難にしているから」は女性20代で5割を超え、女性30代で5割近く、「結婚しない人が増えたから」は女性60歳以上で5割近くと多くなっている。

(図9 - 1 - 2)

図9 - 1 - 3 少子化が進んでいる原因 - ライフステージ別 (上位10項目)



ライフステージ別にみると、「育児の経済的負担が大きいから」は独身期でほぼ7割、家族形成期で7割近くと多くなっている。「結婚しない人が増えたから」は老齢期で4割を超え、「保育施設や保育サービスが整っていないから」は家族成長前期で4割と多くなっている。(図9 - 1 - 3)

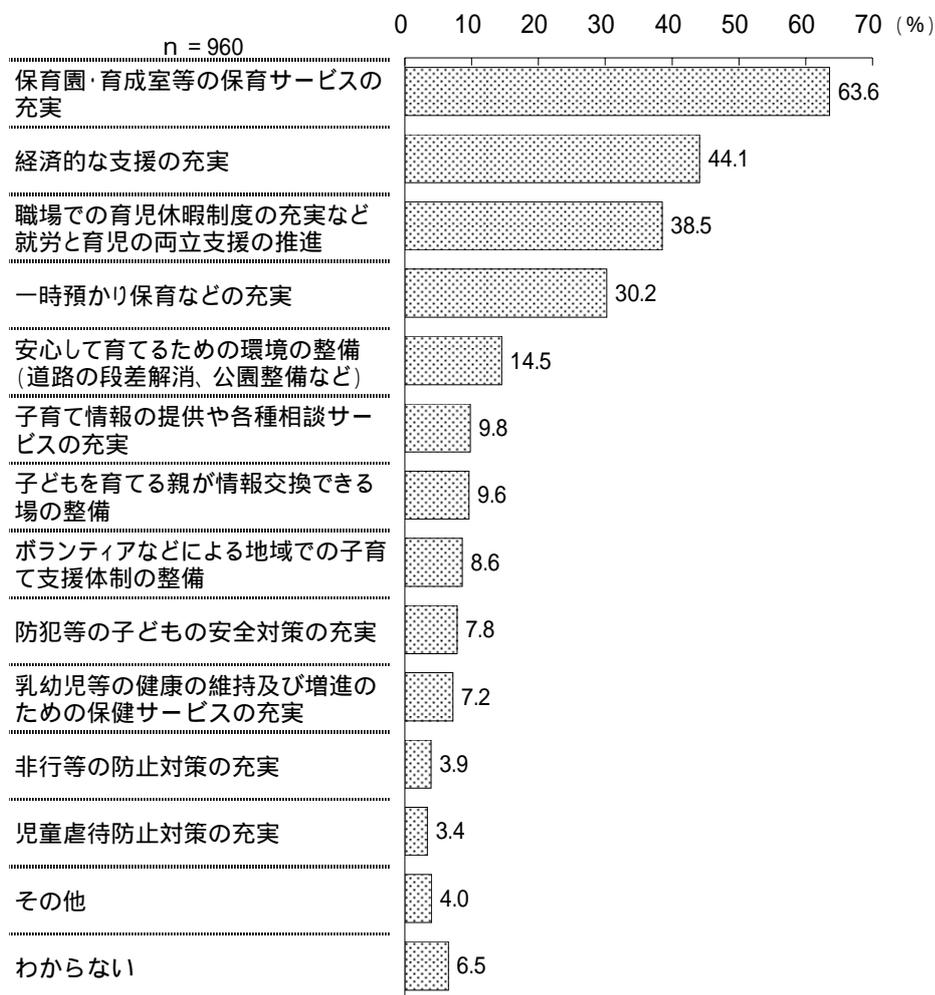
9 - 2 子育て支援のために取り組むべき施策

問 23 少子化への対応として、区はどのような施策を実施すべきでしょうか。3つ以内でお選びください。

(n = 960)

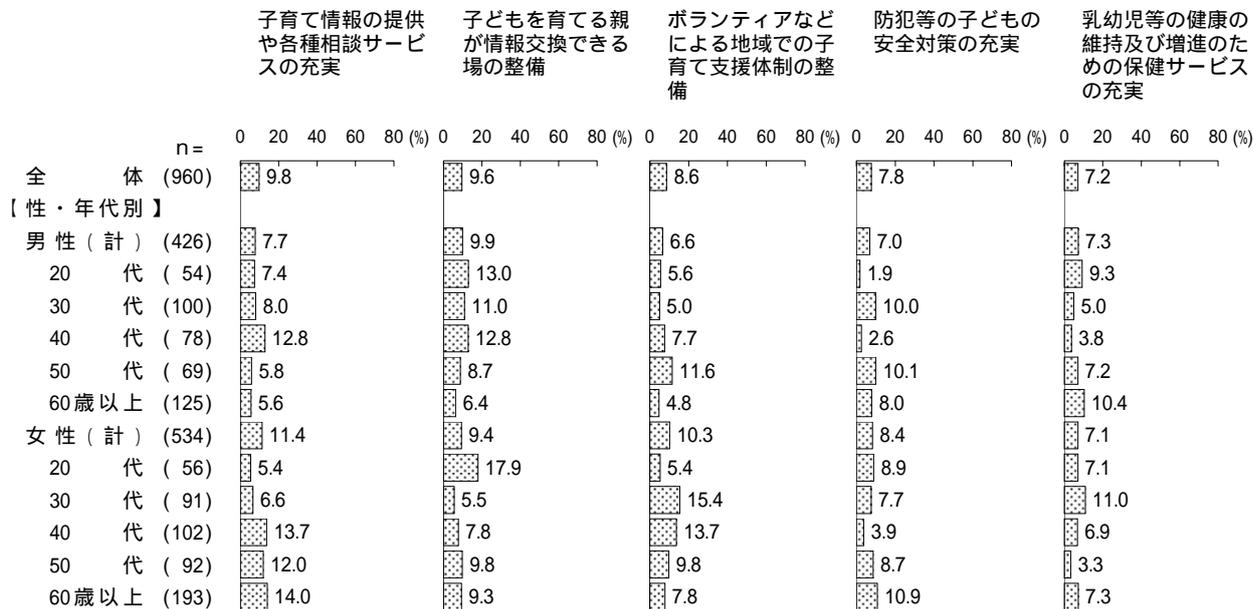
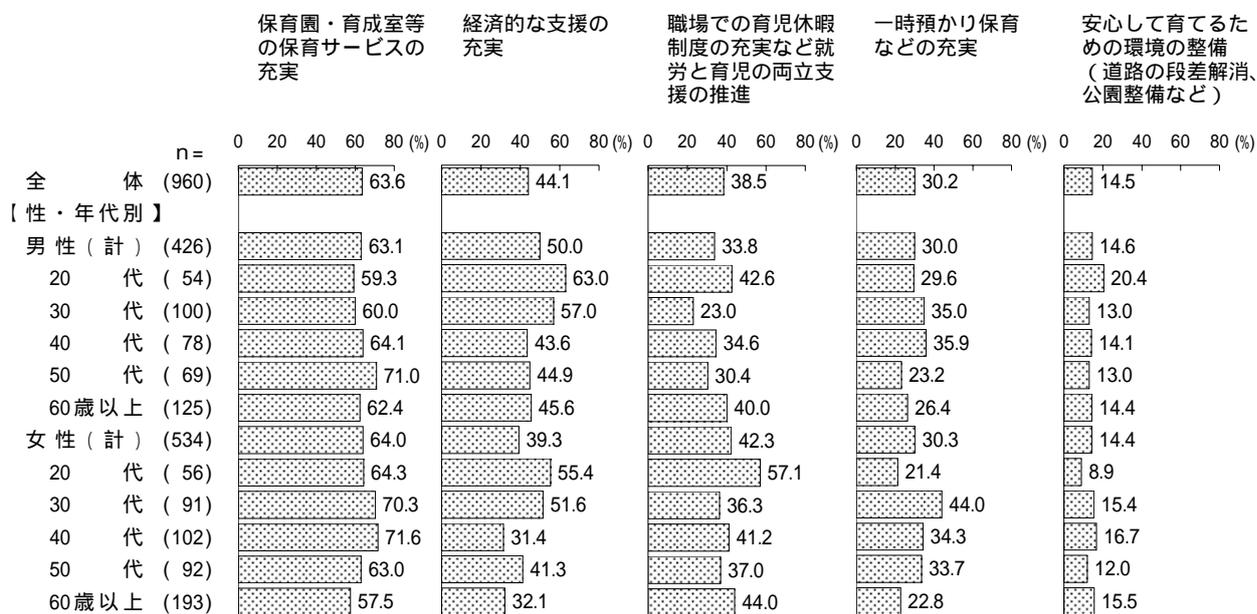
| | |
|-------------------------------------|-------|
| 1 . 保育園・育成室等の保育サービスの充実 | 63.6% |
| 2 . 職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進 | 38.5% |
| 3 . 安心して育てるための環境の整備（道路の段差解消、公園整備など） | 14.5% |
| 4 . 子どもを育てる親が情報交換できる場の整備 | 9.6% |
| 5 . 子育て情報の提供や各種相談サービスの充実 | 9.8% |
| 6 . 乳幼児等の健康の維持及び増進のための保健サービスの充実 | 7.2% |
| 7 . 経済的な支援の充実 | 44.1% |
| 8 . 一時預かり保育などの充実 | 30.2% |
| 9 . 児童虐待防止対策の充実 | 3.4% |
| 10 . 防犯等の子どもの安全対策の充実 | 7.8% |
| 11 . 非行等の防止対策の充実 | 3.9% |
| 12 . ボランティアなどによる地域での子育て支援体制の整備 | 8.6% |
| 13 . その他 | 4.0% |
| 14 . わからない | 6.5% |

図 9 - 2 - 1 子育て支援のために取り組むべき施策



子育て支援のために取り組むべき施策について聞いたところ、「保育園・育成室等の保育サービスの充実」(63.6%)が最も多く、次いで「経済的な支援の充実」(44.1%)、「職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進」(38.5%)、「一時預かり保育などの充実」(30.2%)などの順となっている。(図9-2-1)

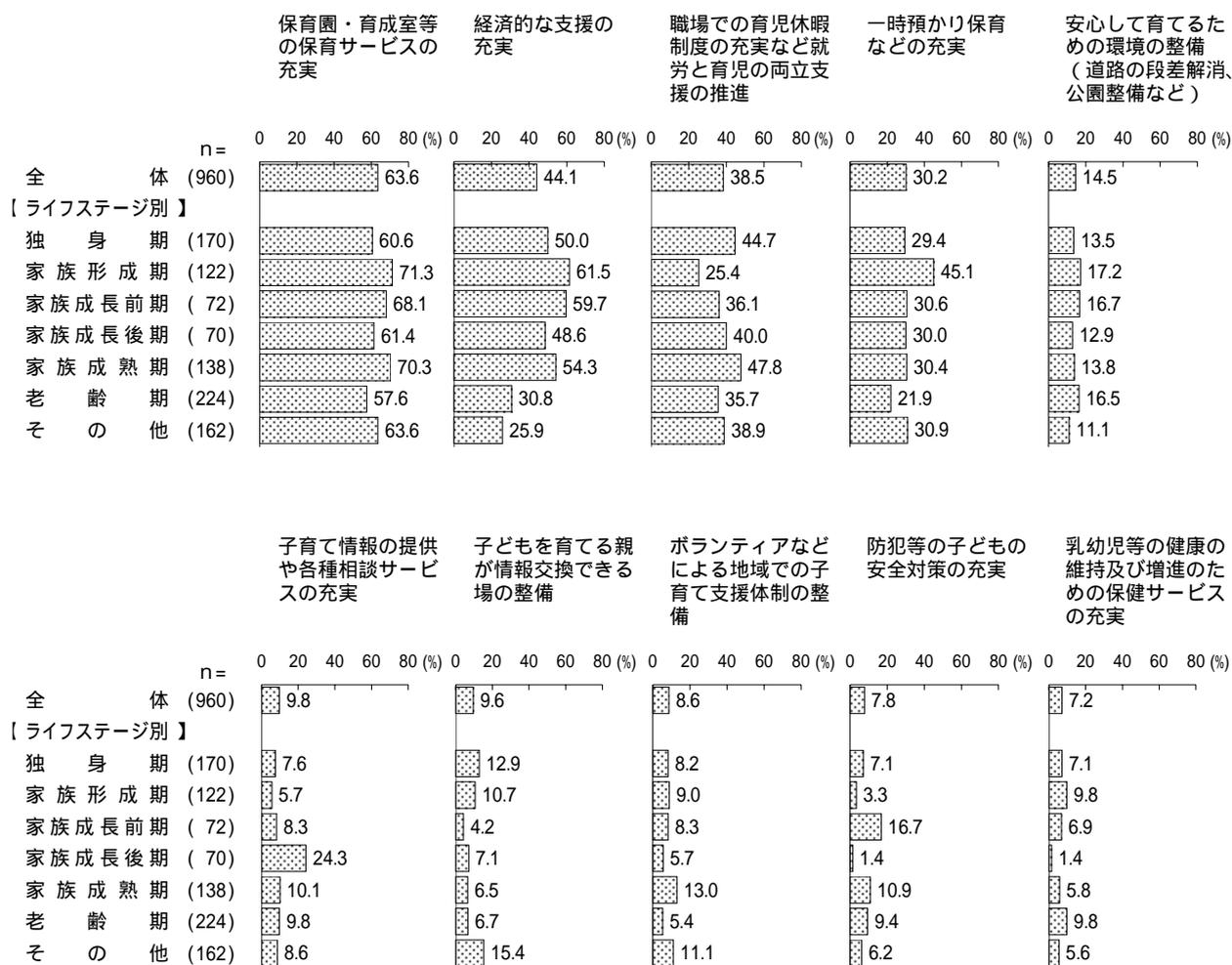
図9 - 2 - 2 子育て支援のために取り組むべき施策 - 性・年代別（上位10項目）



性別にみると、「経済的な支援の充実」は男性の方が10.7ポイント高く、「職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進」は女性の方が8.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「経済的な支援の充実」は男性20代で6割を超え、男性30代で6割近くと多くなっている。「職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進」は女性20代で6割近く、「一時預かり保育などの充実」は女性30代で4割半ばと多くなっている。(図9 - 2 - 2)

図9 - 2 - 3 子育て支援のために取り組むべき施策 - ライフステージ別（上位10項目）



ライフステージ別にみると、「経済的な支援の充実」は家族形成期で6割を超え、家族成長前期で6割弱と多くなっている。また、「一時預かり保育などの充実」は家族形成期で4割半ばとなっている。

(図9 - 2 - 3)

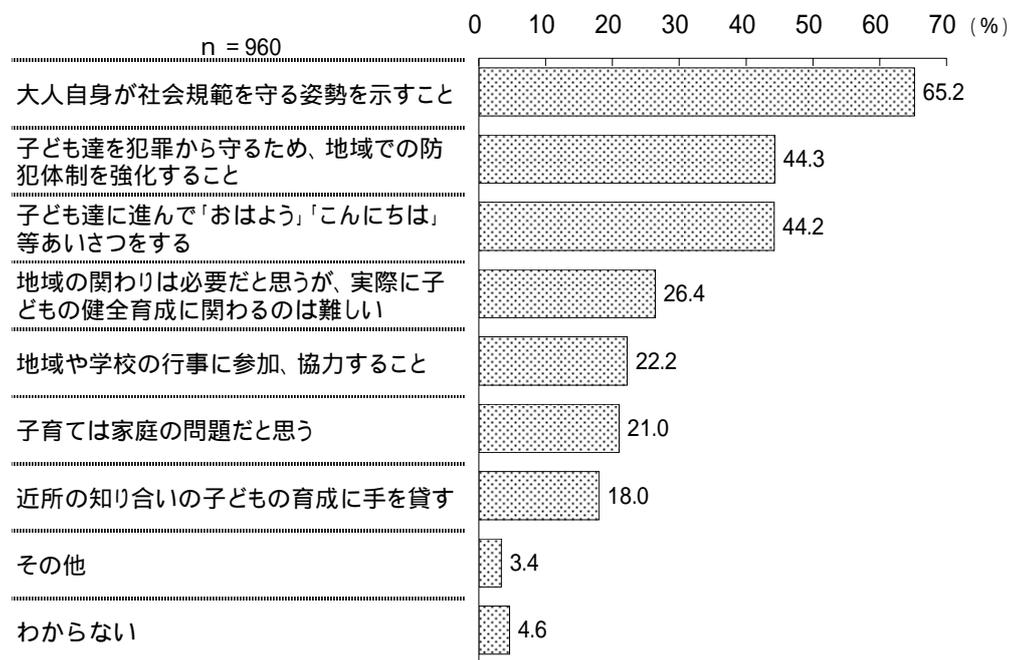
9 - 3 青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきこと

問 24 青少年健全育成に関して、地域の大人達ができること、またやるべきことは何だ
 と思いますか。いくつでもお選びください。

(n = 960)

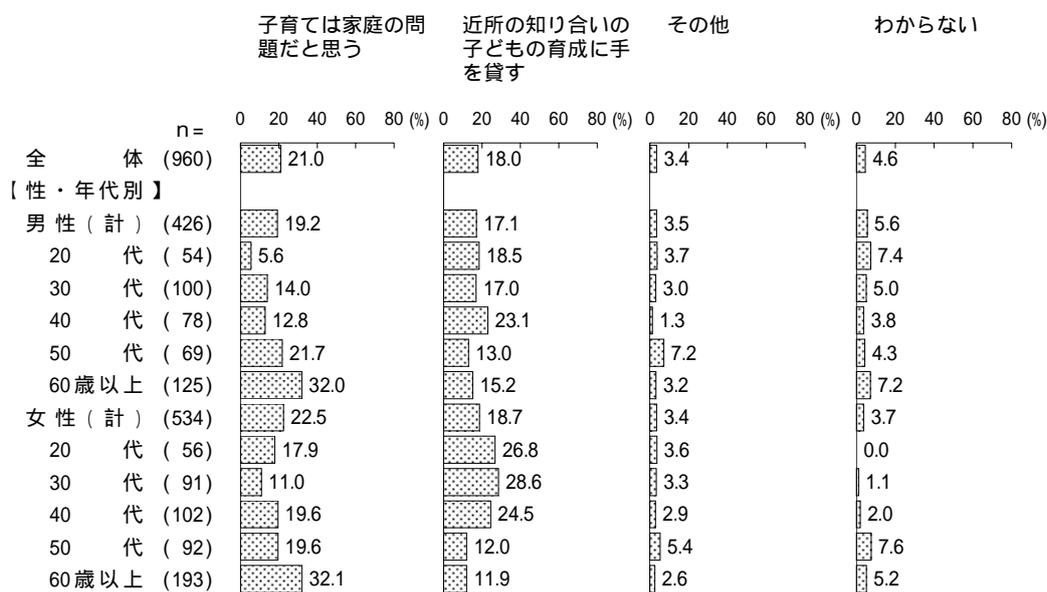
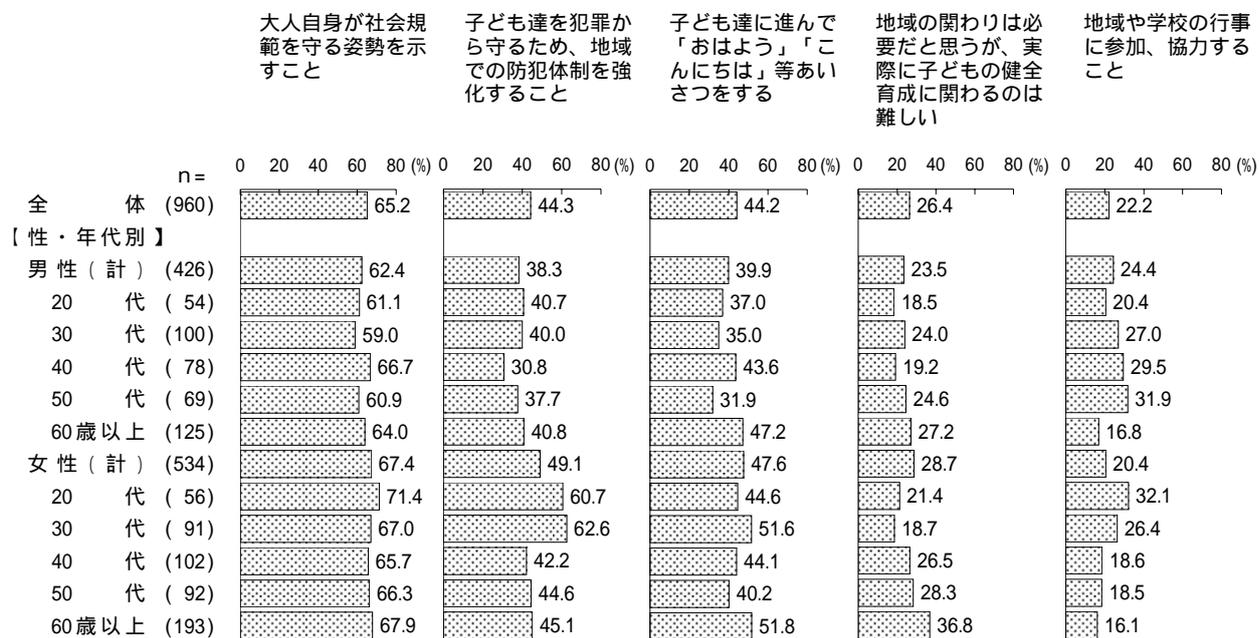
| | |
|---|-------|
| 1 . 大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと | 65.2% |
| 2 . 子ども達に進んで「おはよう」「こんにちは」等あいさつをする | 44.2% |
| 3 . 地域や学校の行事に参加、協力すること | 22.2% |
| 4 . 子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること | 44.3% |
| 5 . 近所の知り合いの子どもの育成に手を貸す | 18.0% |
| 6 . 地域の関わりは必要だと思うが、実際に子どもの健全育成に関わるのは難しい | 26.4% |
| 7 . 子育ては家庭の問題だと思う | 21.0% |
| 8 . その他 | 3.4% |
| 9 . わからない | 4.6% |

図 9 - 3 - 1 青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきこと



青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきことについて聞いたところ、「大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと」(65.2%)が6割半ばと最も多く、次いで「子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること」(44.3%)、「子ども達に進んで『おはよう』『こんにちは』等あいさつをする」(44.2%)などの順となっている。(図 9 - 3 - 1)

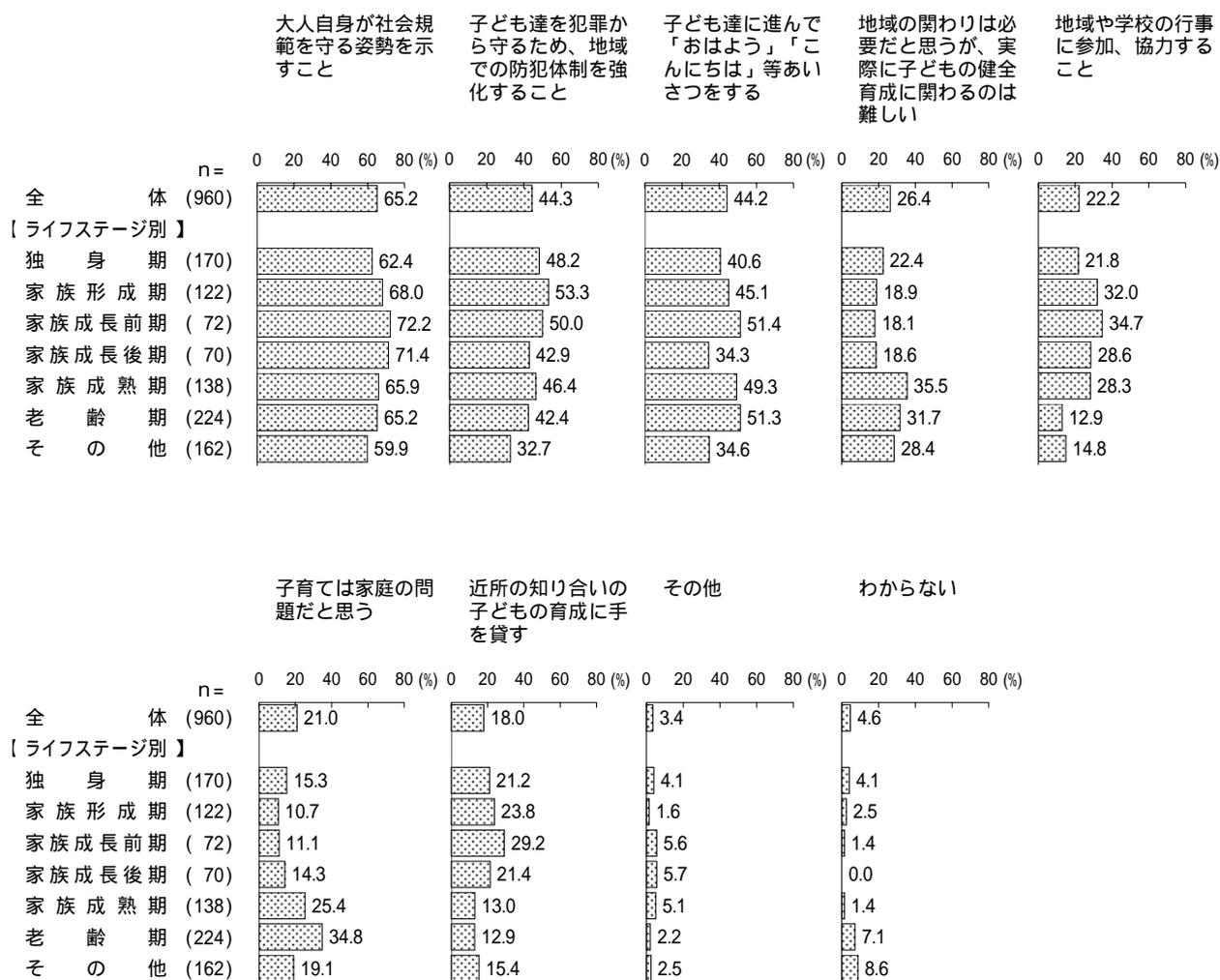
図9 - 3 - 2 青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきこと - 性・年代別



性別にみると、女性の方が「子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること」で10.8ポイント、「子ども達に進んで『おはよう』『こんにちは』等あいさつをする」で7.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること」は女性20代・30代で6割を超えている。「地域の関わりは必要だと思うが、実際に子どもの健全育成に関わるのは難しい」は女性60歳以上で4割近く、「子育ては家庭の問題だと思う」は男女ともに60歳以上で3割を超えている。(図9 - 3 - 2)

図9 - 3 - 3 青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきこと - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「地域や学校の行事に参加、協力すること」は家族成長前期、家族形成期で3割を超えている。「子育ては家庭の問題だと思う」は老齢期で3割半ばで、家族形成期からライフステージが進むにつれ高くなっている。また、「子ども達に進んで『おはよう』『こんにちは』等あいさつをする」が、家族成長後期で低くなっている。(図9 - 3 - 3)

10 . 喫煙

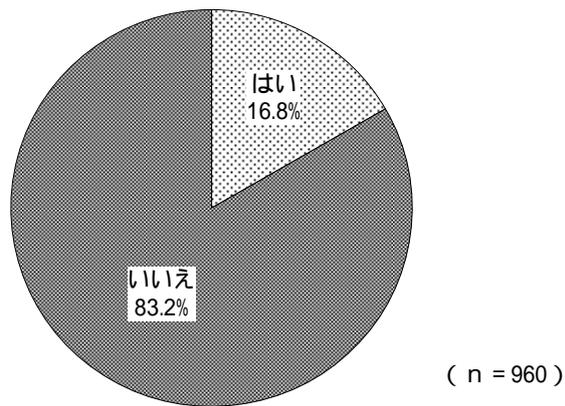
-
- 10 - 1 喫煙習慣の有無
 - 10 - 2 飲食店に望む受動喫煙対策
 - 10 - 3 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度
 - 10 - 4 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」を知ったきっかけ
-

10 . 喫煙

10 - 1 喫煙習慣の有無

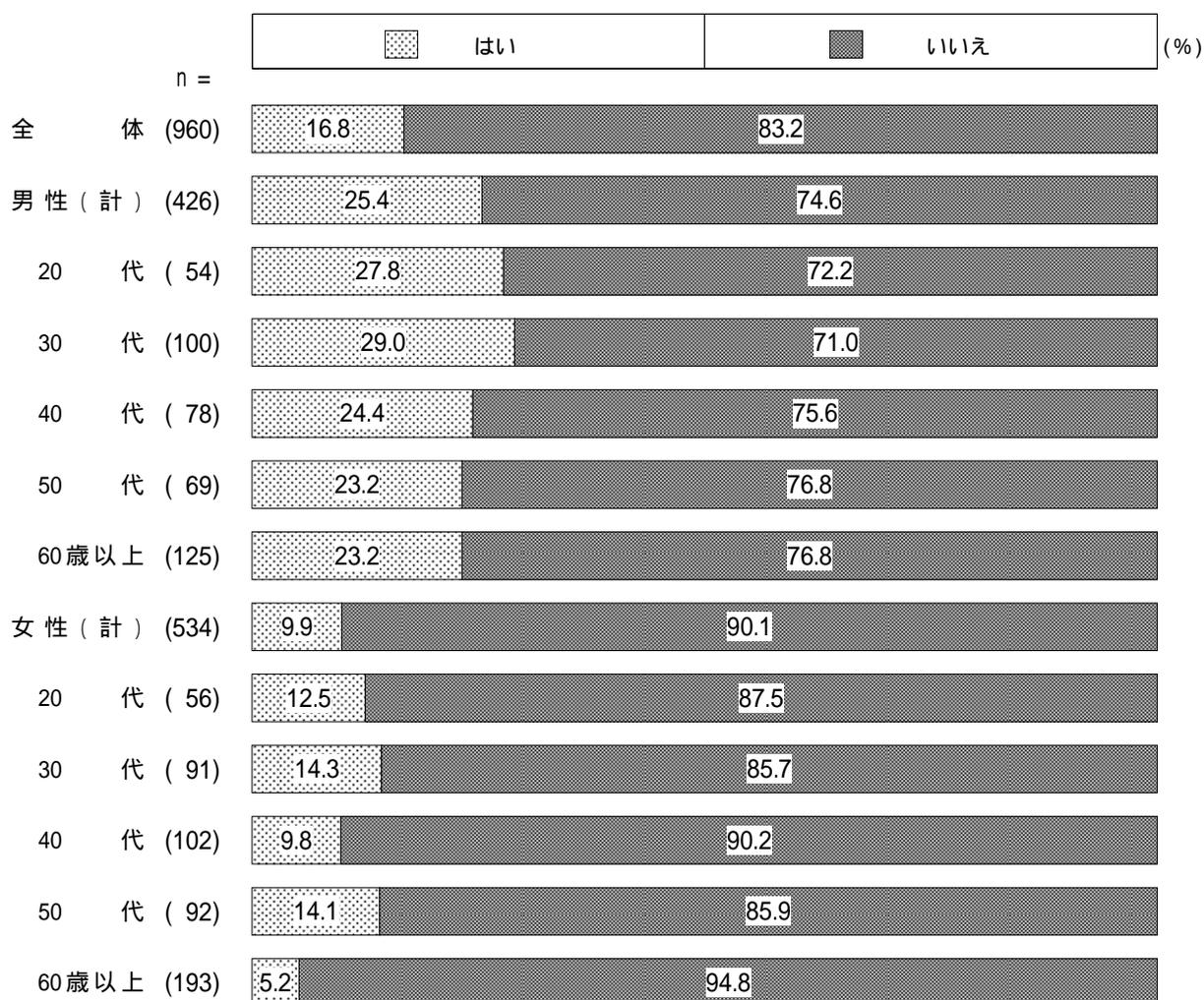
| | | |
|----------------------------|-------|---------------|
| 問 25 あなたは、日常的にたばこを吸っていますか。 | | (n = 960) |
| 1 . はい | 16.8% | 2 . いいえ 83.2% |

図 10 - 1 - 1 喫煙習慣の有無



喫煙習慣の有無について聞いたところ、「はい(喫煙している人)」(16.8%)が2割弱、「いいえ(喫煙していない人)」(83.2%)が8割を超えている。(図10-1-1)

図 10 - 1 - 2 喫煙習慣の有無 - 性・年代別



性別にみると、「はい(喫煙している人)」は男性の方が15.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「はい(喫煙している人)」は男性30代で3割、男性20代で3割近くと多くなっている。一方、「いいえ(喫煙していない人)」は女性60歳以上で9割半ば、女性40代で9割と多くなっている。(図10-1-2)

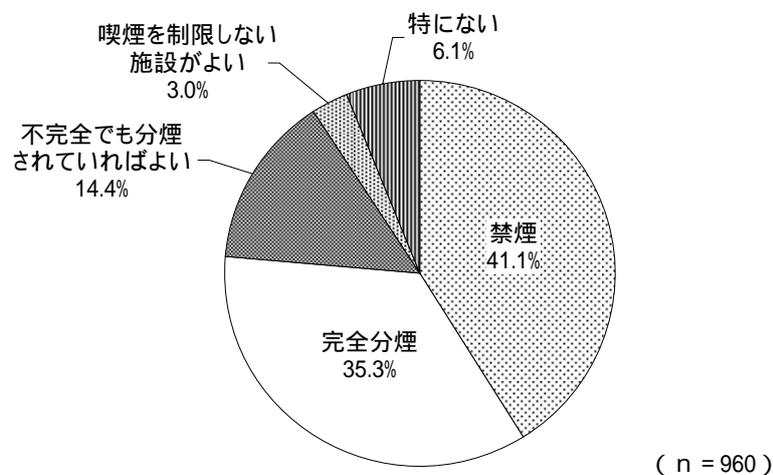
10 - 2 飲食店に望む受動喫煙対策

問26 あなたが飲食店に望む受動喫煙対策は次のうちどれですか。1つお選びください。

(n = 960)

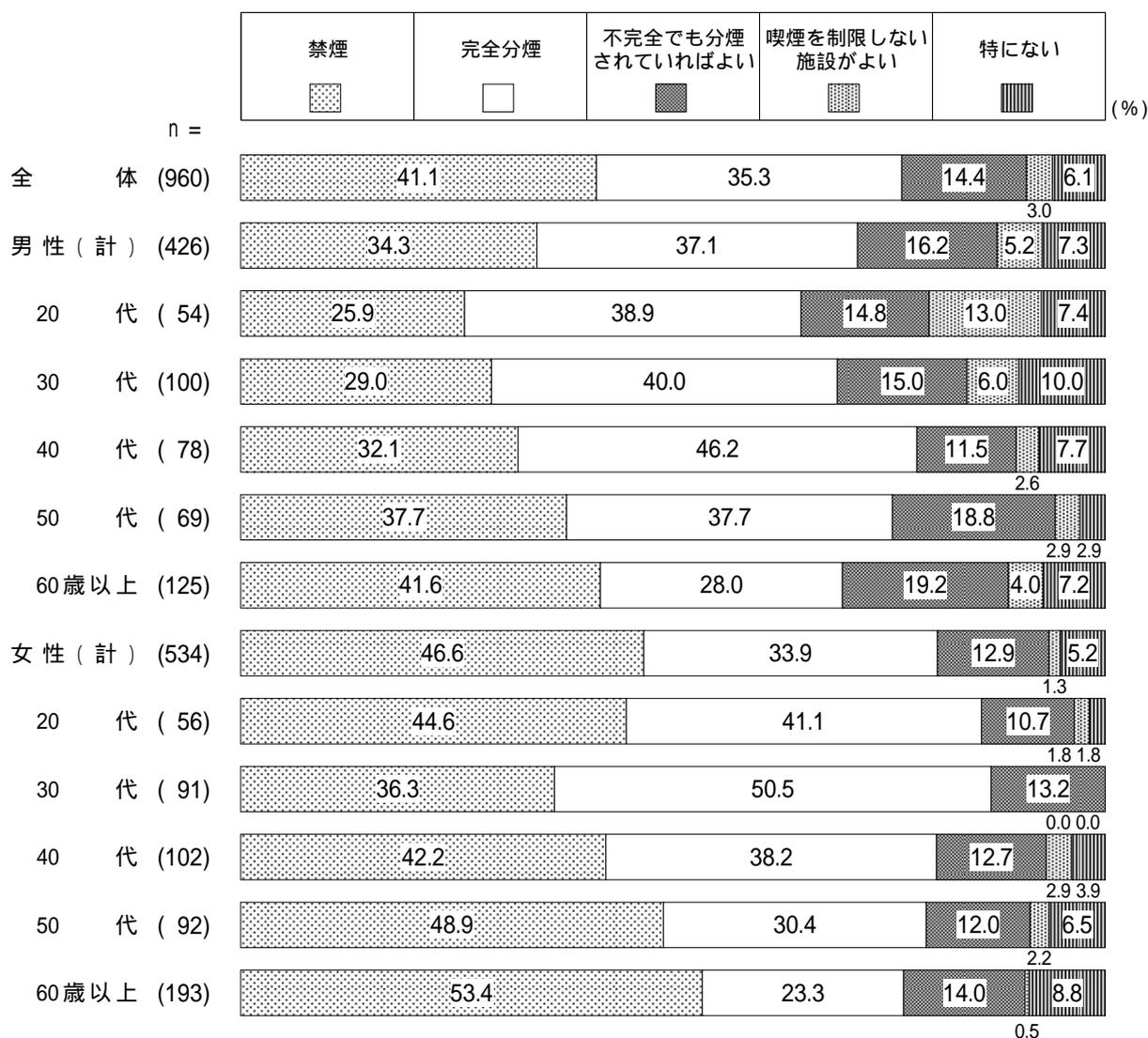
| | | | |
|---------------------|-------|-------------------|------|
| 1 . 禁煙 | 41.1% | 4 . 喫煙を制限しない施設がよい | 3.0% |
| 2 . 完全分煙 | 35.3% | 5 . 特にない | 6.1% |
| 3 . 不完全でも分煙されていればよい | 14.4% | | |

図 10 - 2 - 1 飲食店に望む受動喫煙対策



飲食店に望む受動喫煙対策について聞いたところ、「禁煙」(41.1%)が4割を超え最も多くなっている。また、「完全分煙」(35.3%)が3割半ば、「不完全でも分煙されていればよい」(14.4%)が1割半ば、「喫煙を制限しない施設がよい」(3.0%)が1割未満となっている。(図10-2-1)

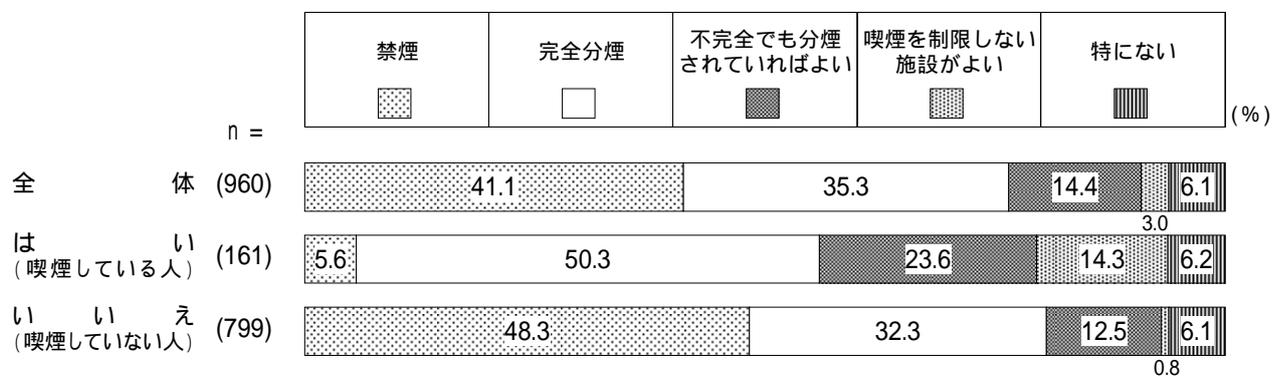
図 10 - 2 - 2 飲食店に望む受動喫煙対策 - 性・年代別



性別にみると、「禁煙」は女性の方が12.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「禁煙」は女性60歳以上で5割を超え、「完全分煙」は女性30代でほぼ5割、男性40代で4割半ばと多くなっている。一方、「喫煙を制限しない施設がよい」は各年代とも少数で、男性20代のみ1割を超えている。(図10-2-2)

図 10 - 2 - 3 飲食店に望む受動喫煙対策 - 喫煙習慣の有無別



喫煙習慣の有無別にみると、「はい(喫煙している人)」は「完全分煙」で5割と多くなっている。一方、「いいえ(喫煙していない人)」は「禁煙」で5割弱、「完全分煙」で3割強と多く、喫煙習慣の有無に関わらず、「禁煙」や「完全分煙」といった受動喫煙を防止する対策が望まれている。

(図 10 - 2 - 3)

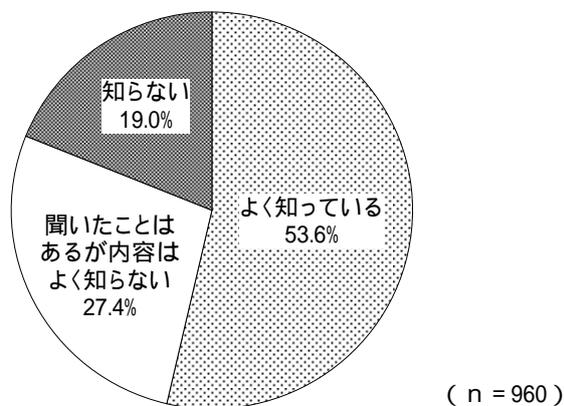
10 - 3 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度

問 27 区では、平成 21 年 4 月 1 日から「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」を施行し、区内の公共の場所（屋外に限る。）における歩きたばこポイ捨て及び駅出入口前などの重点地域での路上喫煙（指定の場所以外での喫煙）を禁止しています。このことをご存知ですか。1つお選びください。

(n = 960)

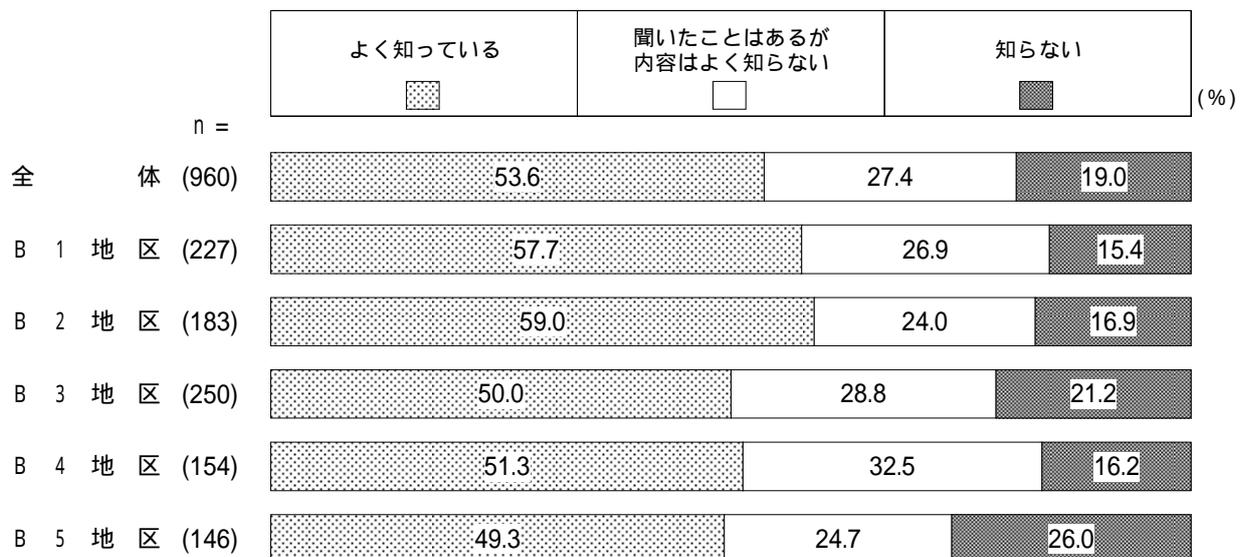
| | | | |
|------------------------|-------|----------|-------|
| 1 . よく知っている | 53.6% | 3 . 知らない | 19.0% |
| 2 . 聞いたことはあるが内容はよく知らない | 27.4% | | |

図 10 - 3 - 1 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度



「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度について聞いたところ、「よく知っている」と「聞いたことはあるが内容はよく知らない」を合わせると 8 割を超えている。(図 10 - 3 - 1)

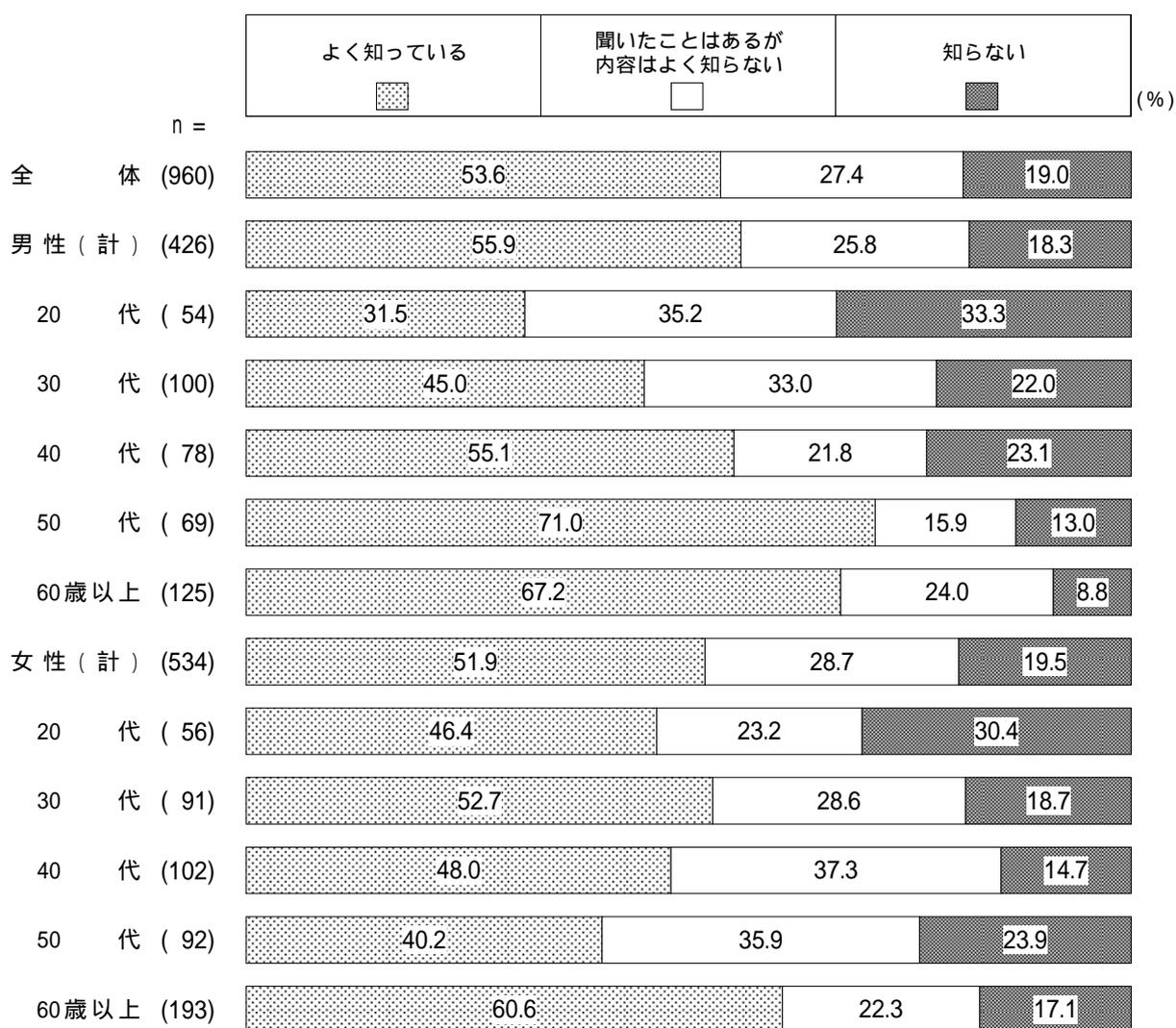
図 10 - 3 - 2 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度 - 地区別



地区区分については 4 ページ参照

地区別にみると、「知らない」は各地区とも 3 割未満となっている。(図 10 - 3 - 2)

図 10 - 3 - 3 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度 - 性・年代別



性・年代別にみると、「よく知っている」は男性40代以上で5割を超えている。男女とも20代は「知らない」が3割を超えているが、60歳以上は男女とも各年代に比べ低い値となった。

(図 10 - 3 - 3)

10 - 4 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」を知ったきっかけ

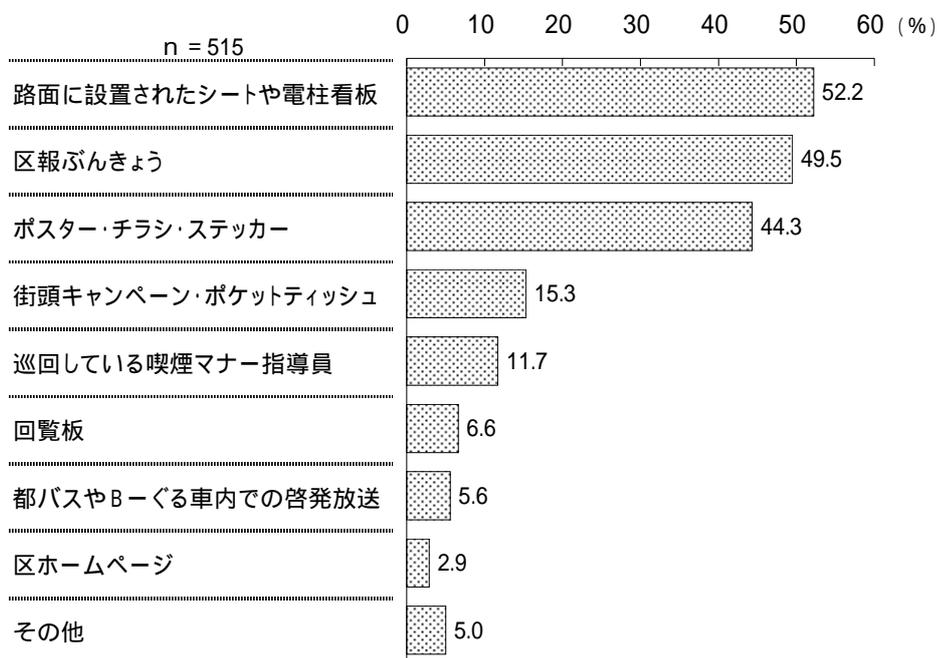
(問 27 で「 1 . よく知っている」とお答えの方にかがいます)

問 27 - 1 どのようにお知りになりましたか。いくつでもお選びください。

(n = 515)

| | |
|------------------------|-------|
| 1 . 区報ぶんきょう | 49.5% |
| 2 . ポスター・チラシ・ステッカー | 44.3% |
| 3 . 街頭キャンペーン・ポケットティッシュ | 15.3% |
| 4 . 回覧板 | 6.6% |
| 5 . 路面に設置されたシートや電柱看板 | 52.2% |
| 6 . 巡回している喫煙マナー指導員 | 11.7% |
| 7 . 都バスやBーぐる車内での啓発放送 | 5.6% |
| 8 . 区ホームページ | 2.9% |
| 9 . その他 | 5.0% |

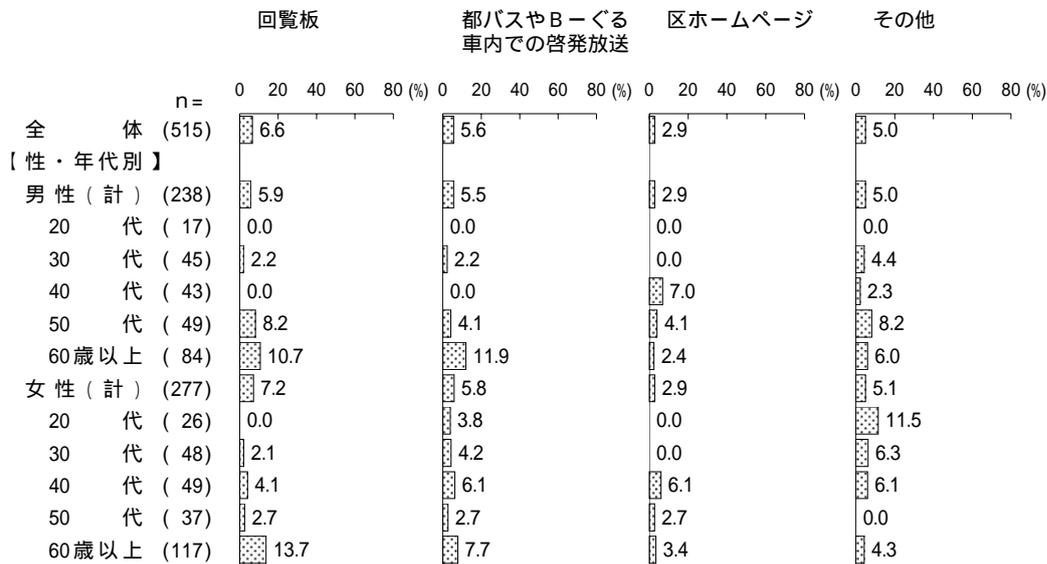
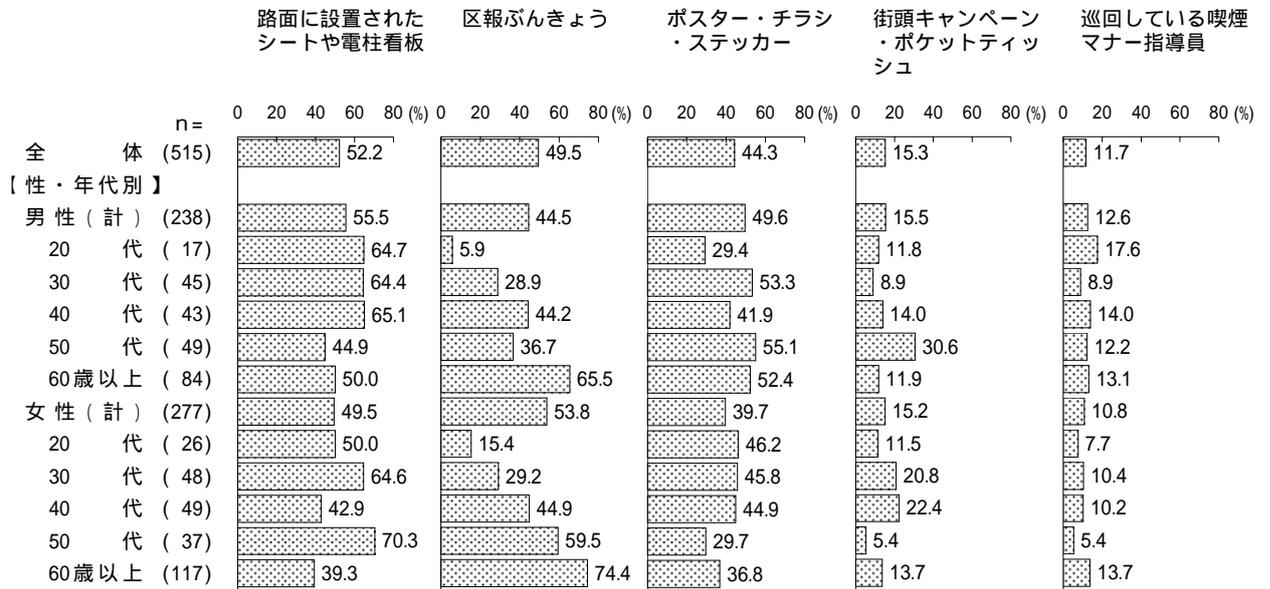
図 10 - 4 - 1 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」を知ったきっかけ



「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」を「よく知っている」と答えた人(515人)に、知ったきっかけについて聞いたところ、「路面に設置されたシートや電柱看板」「ポスター・チラシ・ステッカー」など掲示物によるものが多い。また、「区報ぶんきょう」は5割となっている。

(図 10 - 4 - 1)

図 10 - 4 - 2 「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」を知ったきっかけ - 性・年代別



性・年代別にみると、「区報ぶんきょう」は男女とも60歳以上が最も多い。「巡回している喫煙マナー指導員」は男女とも各年代でほぼ変化がない数値となっている。(図 10 - 4 - 2)

11 . 公園

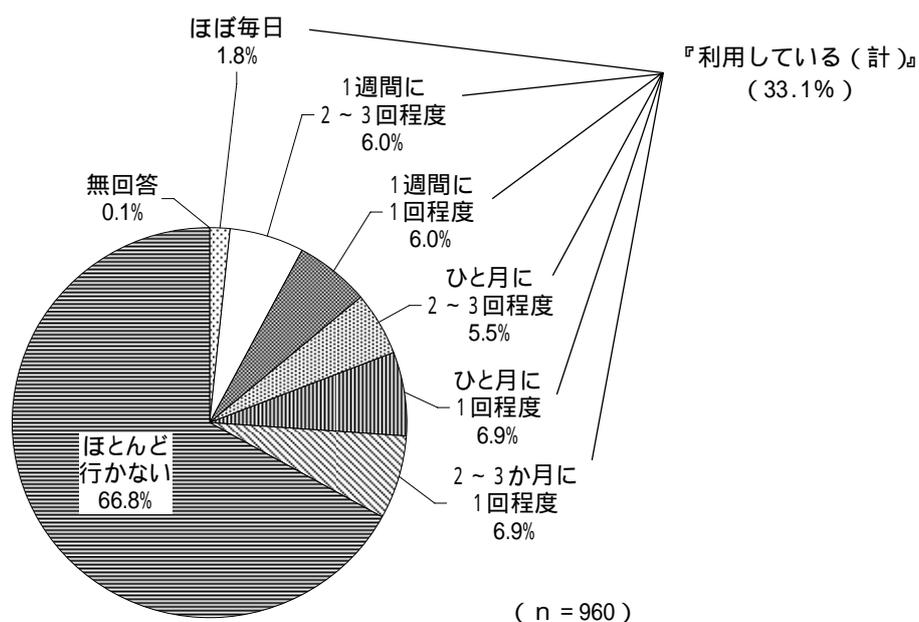
-
- 11 - 1 区立公園・児童遊園などの利用頻度
 - 11 - 2 あるとよいと思う公園
 - 11 - 3 今後の公園との関わり方
-

11. 公園

11-1 区立公園・児童遊園などの利用頻度

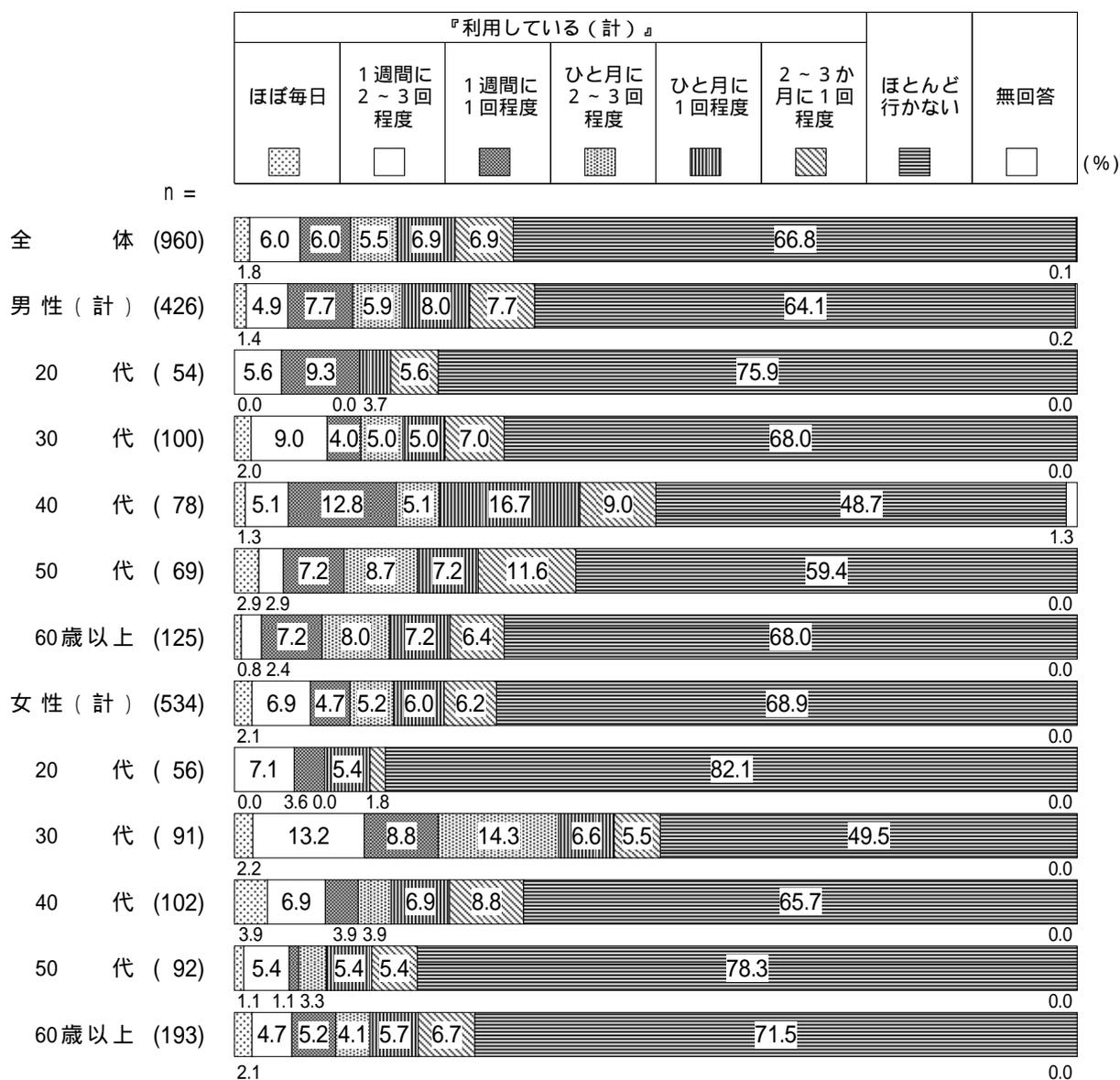
| | | | |
|---|------|---------------|-------|
| 問 28 あなたは日頃、区立公園や児童遊園などをどの程度利用していますか。1つお選びください。 | | | |
| (n = 960) | | | |
| 1. ほぼ毎日 | 1.8% | 5. ひと月に1回程度 | 6.9% |
| 2. 1週間に2～3回程度 | 6.0% | 6. 2～3か月に1回程度 | 6.9% |
| 3. 1週間に1回程度 | 6.0% | 7. ほとんど行かない | 66.8% |
| 4. ひと月に2～3回程度 | 5.5% | 無回答 | 0.1% |

図 11 - 1 - 1 区立公園・児童遊園などの利用頻度



区立公園・児童遊園などの利用頻度について聞いたところ、「ほぼ毎日」から「2～3か月に1回程度」は利用している人を合わせた『利用している(計)』(33.1%)は3割を超えている。一方、「ほとんど行かない」(66.8%)が7割近くとなっている。(図 11 - 1 - 1)

図 11 - 1 - 2 区立公園・児童遊園などの利用頻度 - 性・年代別

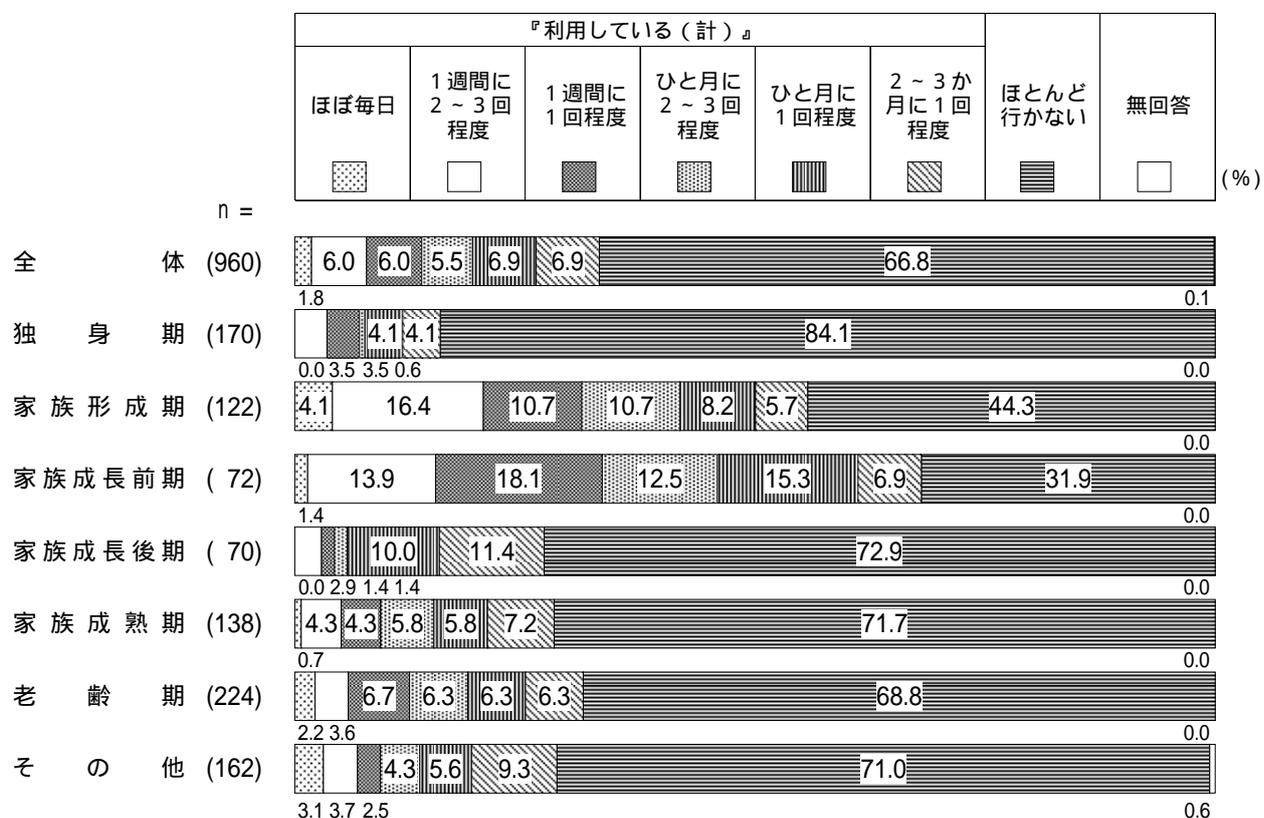


性別にみると、「ほとんど行かない」は女性の方が4.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「1週間に2～3回程度」は女性30代で1割を超え、「ひと月に2～3回程度」は女性30代で1割半ば、「ひと月に1回程度」は男性40代で2割近くと多くなっている。また、『利用している（計）』は女性30代でほぼ5割、男性40代で5割と多くなっている。一方、「ほとんど行かない」は女性20代で8割を超え、女性50代で8割近くと多くなっている。

(図 11 - 1 - 2)

図 11 - 1 - 3 区立公園・児童遊園などの利用頻度 - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「1週間に2~3回程度」は家族形成期で1割半ば、「1週間に1回程度」は家族成長前期で2割近くと多くなっている。また、『利用している(計)』は家族成長前期で7割近く、家族形成期で5割半ばと多くなっている。一方、「ほとんど行かない」は独身期で8割半ばと多くなっている。(図 11 - 1 - 3)

11 - 2 あるとよいと思う公園

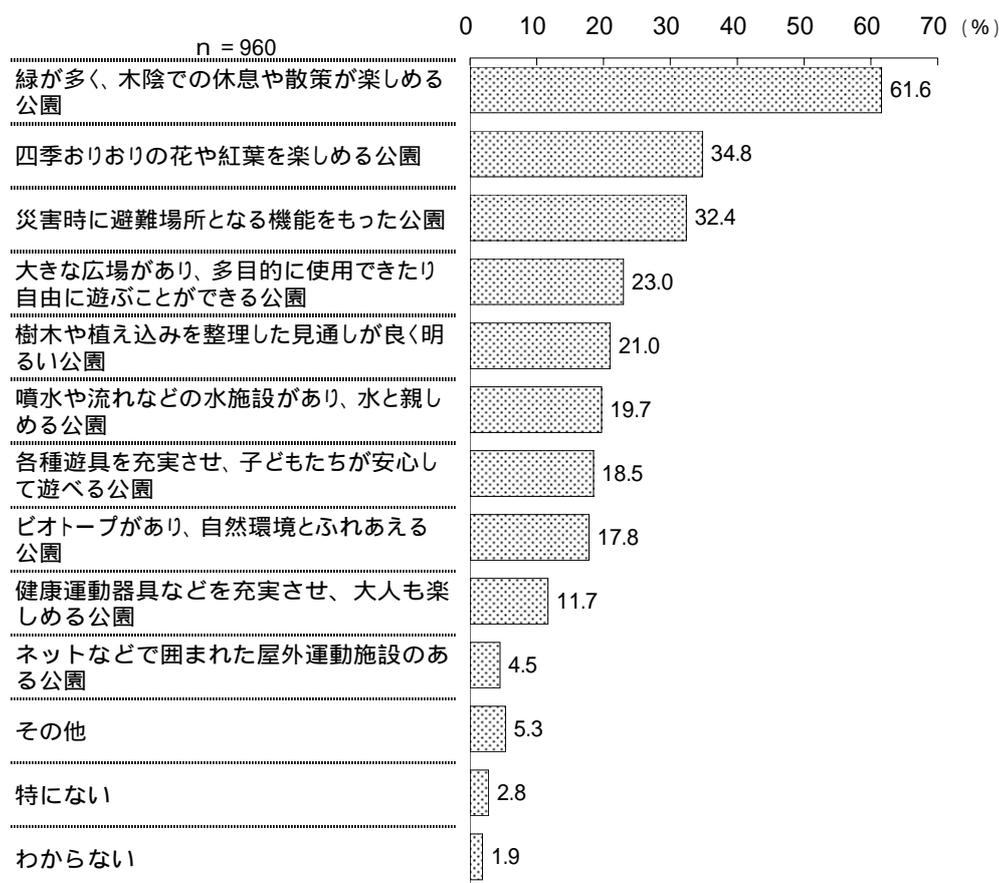
問 29 あなたは、どのような公園があるとよいと思いますか。3 つ以内でお選びください。

(n = 960)

| | |
|--------------------------------------|-------|
| 1 . 緑が多く、木陰での休息や散策が楽しめる公園 | 61.6% |
| 2 . ビオトープ () があり、自然環境とふれあえる公園 | 17.8% |
| 3 . 四季おりおりの花や紅葉を楽しめる公園 | 34.8% |
| 4 . 各種遊具を充実させ、子どもたちが安心して遊べる公園 | 18.5% |
| 5 . 健康運動器具などを充実させ、大人も楽しめる公園 | 11.7% |
| 6 . 大きな広場があり、多目的に使用できたり自由に遊ぶことができる公園 | 23.0% |
| 7 . ネットなどで囲まれた屋外運動施設のある公園 | 4.5% |
| 8 . 噴水や流れなどの水施設があり、水と親しめる公園 | 19.7% |
| 9 . 樹木や植え込みを整理した見通しが良く明るい公園 | 21.0% |
| 10 . 災害時に避難場所となる機能をもった公園 | 32.4% |
| 11 . その他 | 5.3% |
| 12 . 特にない | 2.8% |
| 13 . わからない | 1.9% |

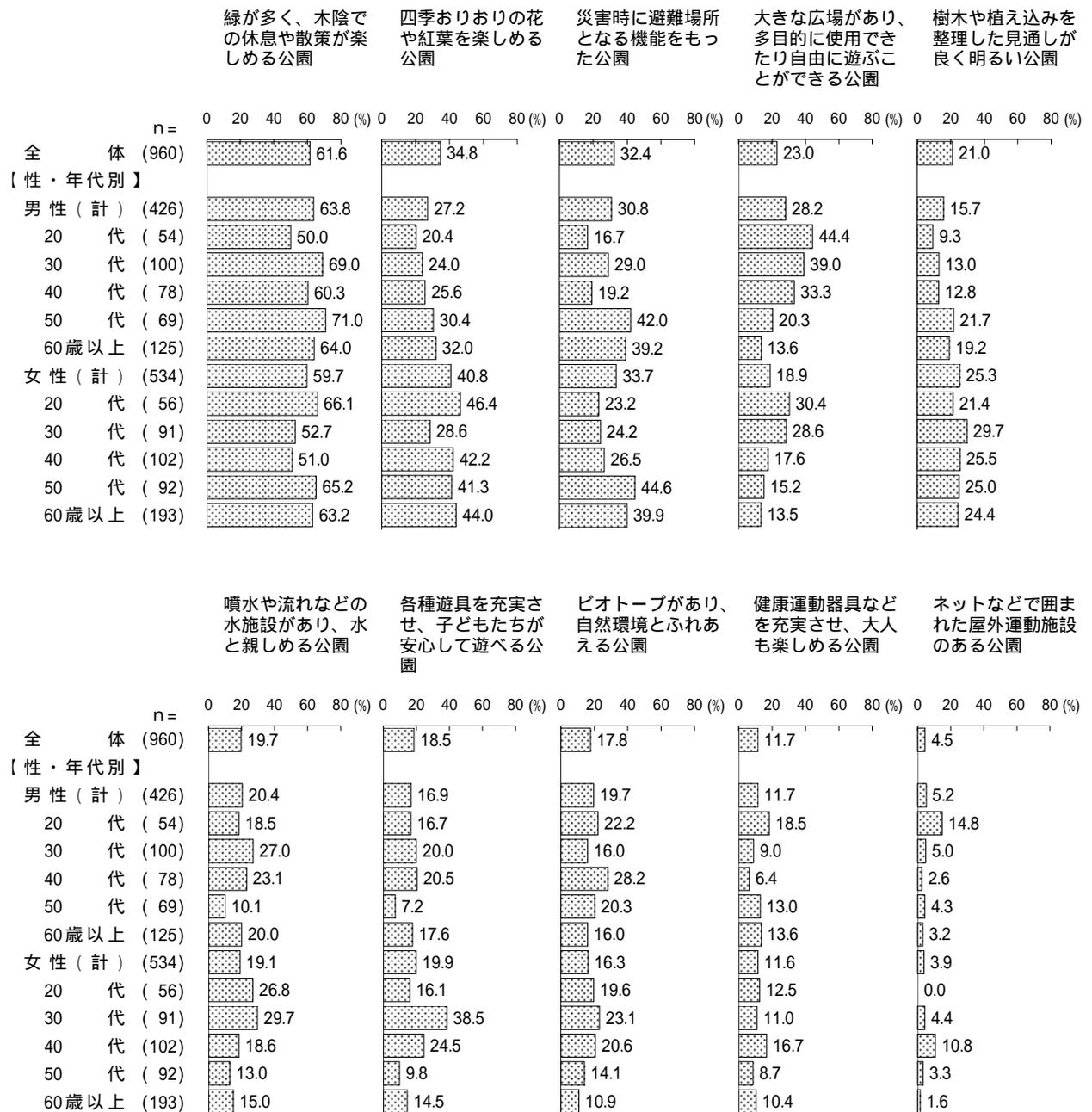
ビオトープとは、さまざまな野生生物が生息し、自然の生態系が機能する空間です。

図 11 - 2 - 1 あるとよいと思う公園



あるとよいと思う公園について聞いたところ、「緑が多く、木陰での休息や散策が楽しめる公園」(61.6%) が6割を超え最も多く、次いで「四季おりおりの花や紅葉を楽しめる公園」(34.8%)、「災害時に避難場所となる機能をもった公園」(32.4%)などの順となっている。(図 11 - 2 - 1)

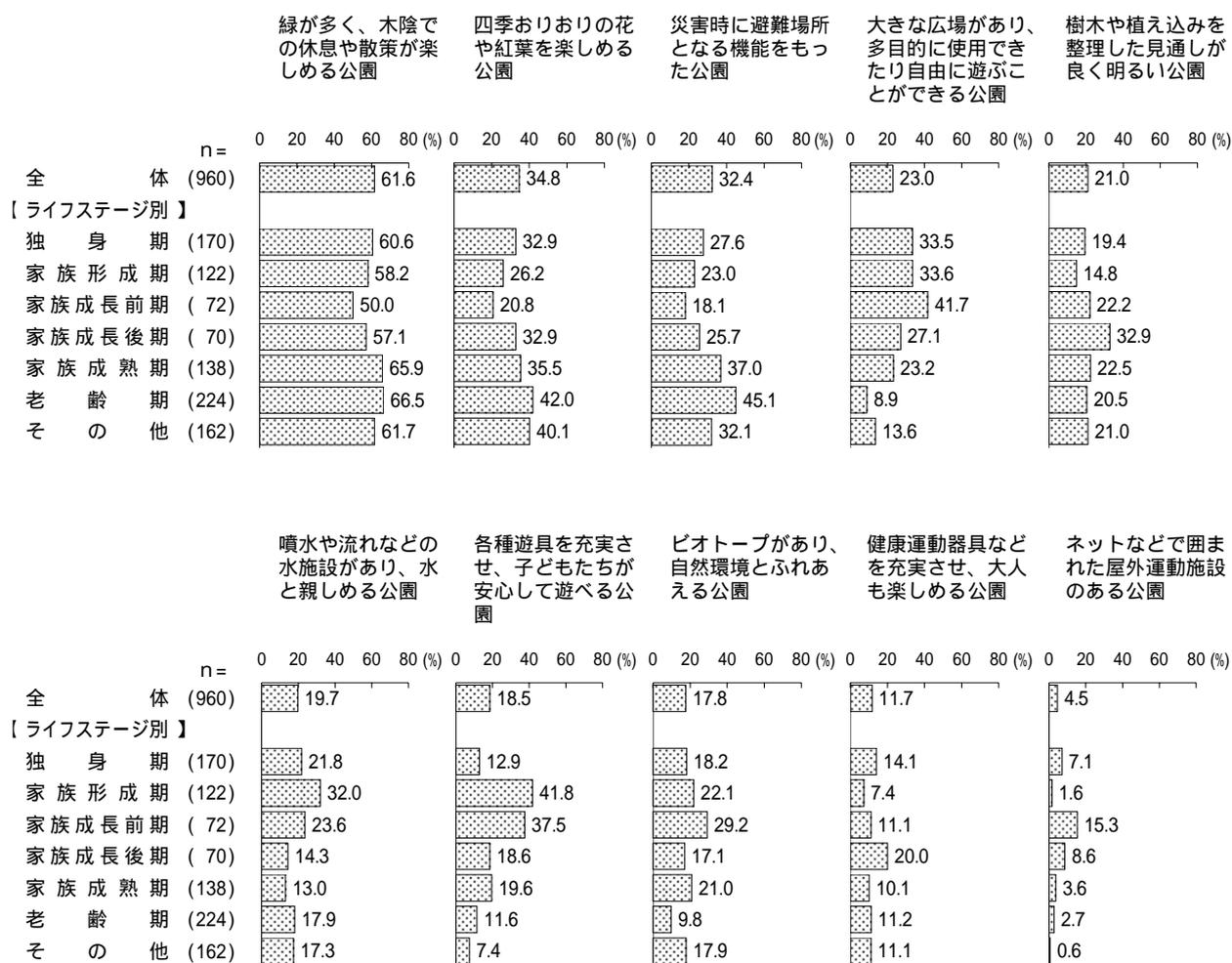
図 11 - 2 - 2 あるとよいと思う公園 - 性・年代別 (上位 10 項目)



性別にみると、女性の方が「四季おりおりの花や紅葉を楽しめる公園」で 13.6 ポイント、「樹木や植え込みを整理した見通しが良く明るい公園」9.6 でポイント高くなっている。一方、「大きな広場があり、多目的に使用できたり自由に遊ぶことができる公園」は男性の方が 9.3 ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「四季おりおりの花や紅葉を楽しめる公園」は女性 20 代と女性 60 歳以上で 4 割半ば、「大きな広場があり、多目的に使用できたり自由に遊ぶことができる公園」は男女ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に男性 20 代で 4 割半ばと多くなっている。「各種遊具を充実させ、子どもたちが安心して遊べる公園」は女性 30 代で 4 割近く、「ネットなどで囲まれた屋外運動施設のある公園」は男性 20 代で 1 割半ばと多くなっている。(図 11 - 2 - 2)

図 11 - 2 - 3 あるとよいと思う公園 - ライフステージ別 (上位 10 項目)



ライフステージ別にみると、「災害時に避難場所となる機能をもった公園」は高齢期で4割半ば、「大きな広場があり、多目的に使用できたり自由に遊ぶことができる公園」は家族成長前期で4割を超え多くなっている。「噴水や流れなどの水施設があり、水と親しめる公園」は家族形成期で3割を超え、「各種遊具を充実させ、子どもたちが安心して遊べる公園」は家族形成期で4割を超え多くなっている。(図 11 - 2 - 3)

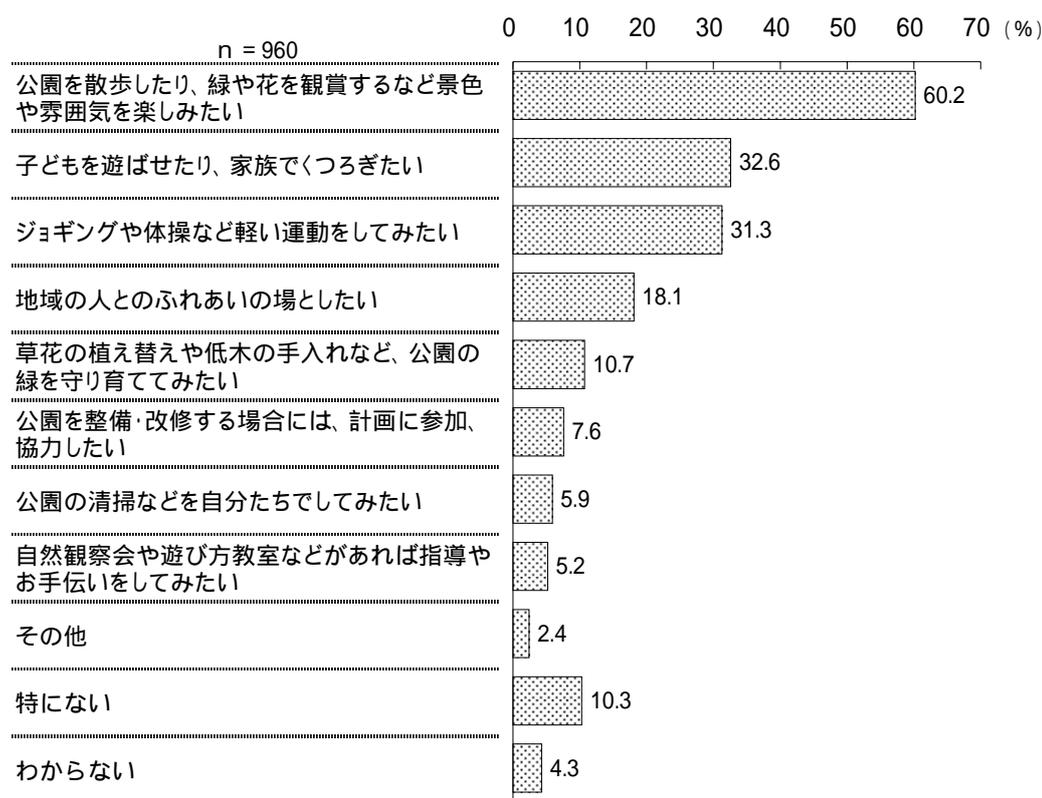
11 - 3 今後の公園との関わり方

問 30 公園は地域との関わりあいの深い施設です。あなたは公園と今後どのように関わっていきたいと思っていますか。3つ以内でお選びください。

(n = 960)

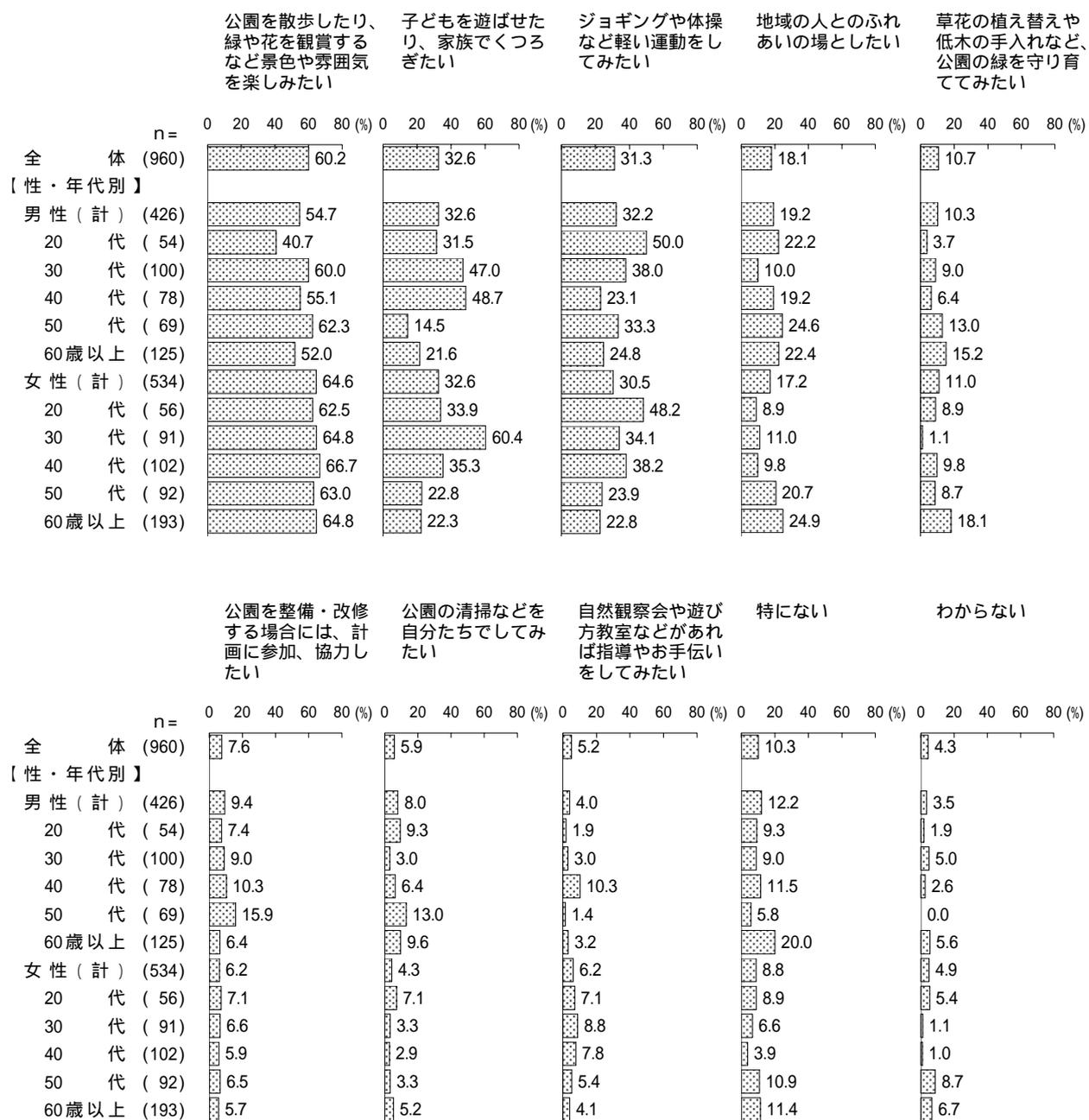
| | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 公園を整備・改修する場合には、計画に参加、協力したい | 7.6% |
| 2. 草花の植え替えや低木の手入れなど、公園の緑を守り育ててみたい | 10.7% |
| 3. 公園の清掃などを自分たちでしてみたい | 5.9% |
| 4. 自然観察会や遊び方教室などがあれば指導やお手伝いをしてみたい | 5.2% |
| 5. 公園を散歩したり、緑や花を觀賞するなど景色や雰囲気を楽しみたい | 60.2% |
| 6. ジョギングや体操など軽い運動をしてみたい | 31.3% |
| 7. 子どもを遊ばせたり、家族でくつろぎたい | 32.6% |
| 8. 地域の人とのふれあいの場としたい | 18.1% |
| 9. その他 | 2.4% |
| 10. 特にない | 10.3% |
| 11. わからない | 4.3% |

図 11 - 3 - 1 今後の公園との関わり方



今後の公園との関わり方について聞いたところ、「公園を散歩したり、緑や花を觀賞するなど景色や雰囲気を楽しみたい」(60.2%)が6割と最も多く、次いで「子どもを遊ばせたり、家族でくつろぎたい」(32.6%)、「ジョギングや体操など軽い運動をしてみたい」(31.3%)、「地域の人とのふれあいの場としたい」(18.1%)、「草花の植え替えや低木の手入れなど、公園の緑を守り育ててみたい」(10.7%)などの順となっている。(図 11 - 3 - 1)

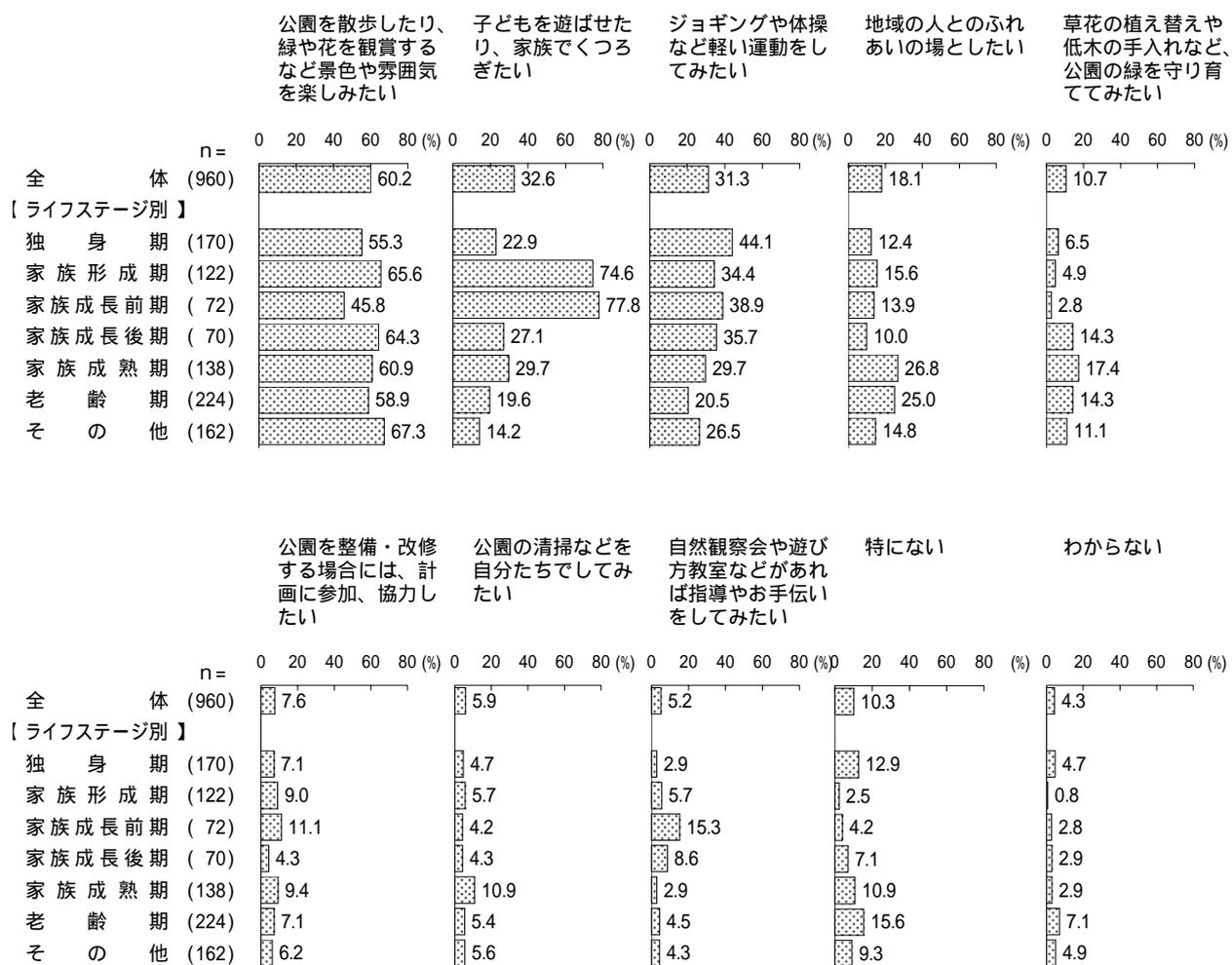
図 11 - 3 - 2 今後の公園との関わり方 - 性・年代別



性別にみると、「公園を散歩したり、緑や花を觀賞するなど景色や雰囲気を楽しみたい」は女性の方が9.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「子どもを遊ばせたり、家族でくつろぎたい」は女性30代で6割、男性30代と男性40代で5割近くと多く、「ジョギングや体操など軽い運動をしてみたい」は男性20代で5割、女性20代で5割近くと多くなっている。(図 11 - 3 - 2)

図 11 - 3 - 3 今後の公園との関わり方 - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「子どもを遊ばせたり、家族でくつろぎたい」は家族成長前期で8割近く、家族形成期で7割半ばと多くなっている。「ジョギングや体操など軽い運動をしてみたい」は独身期で4割半ば、「地域の人とのふれあいの場としたい」は家族成熟期で3割近く、老齢期で2割半ばと多くなっている。(図 11 - 3 - 3)

12 . 地域環境

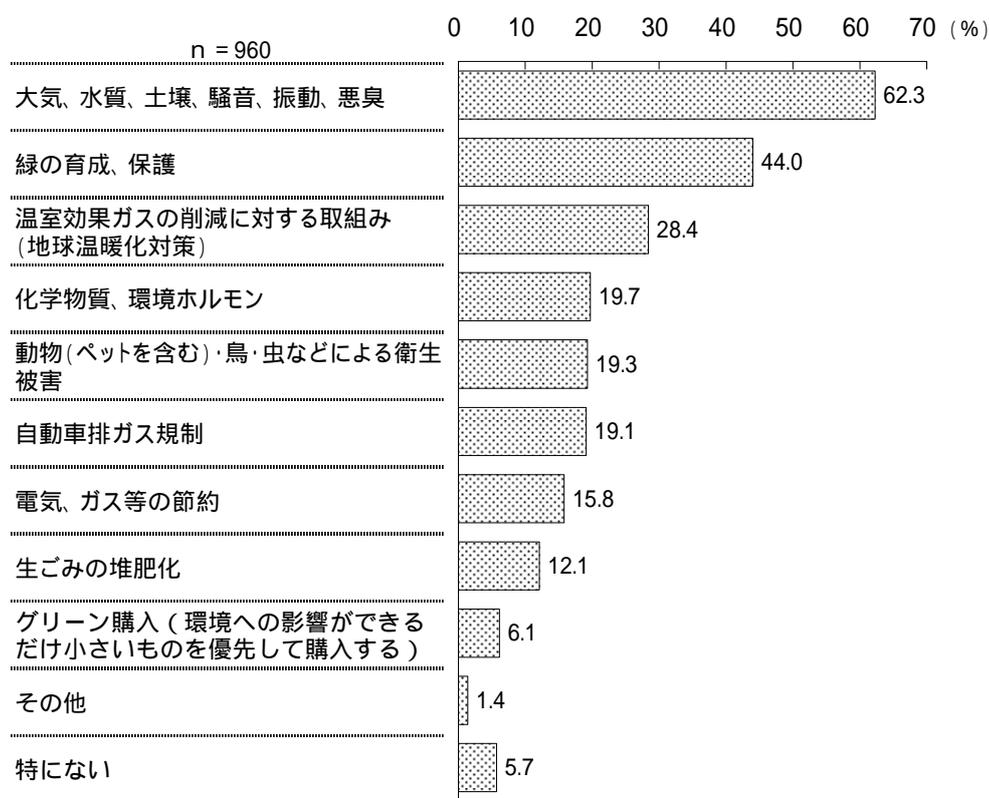
-
- 12 - 1 地域生活での環境について関心のあるテーマ
 - 12 - 2 ごみ減量のために重点的に行うべき施策
-

12. 地域環境

12 - 1 地域生活での環境について関心のあるテーマ

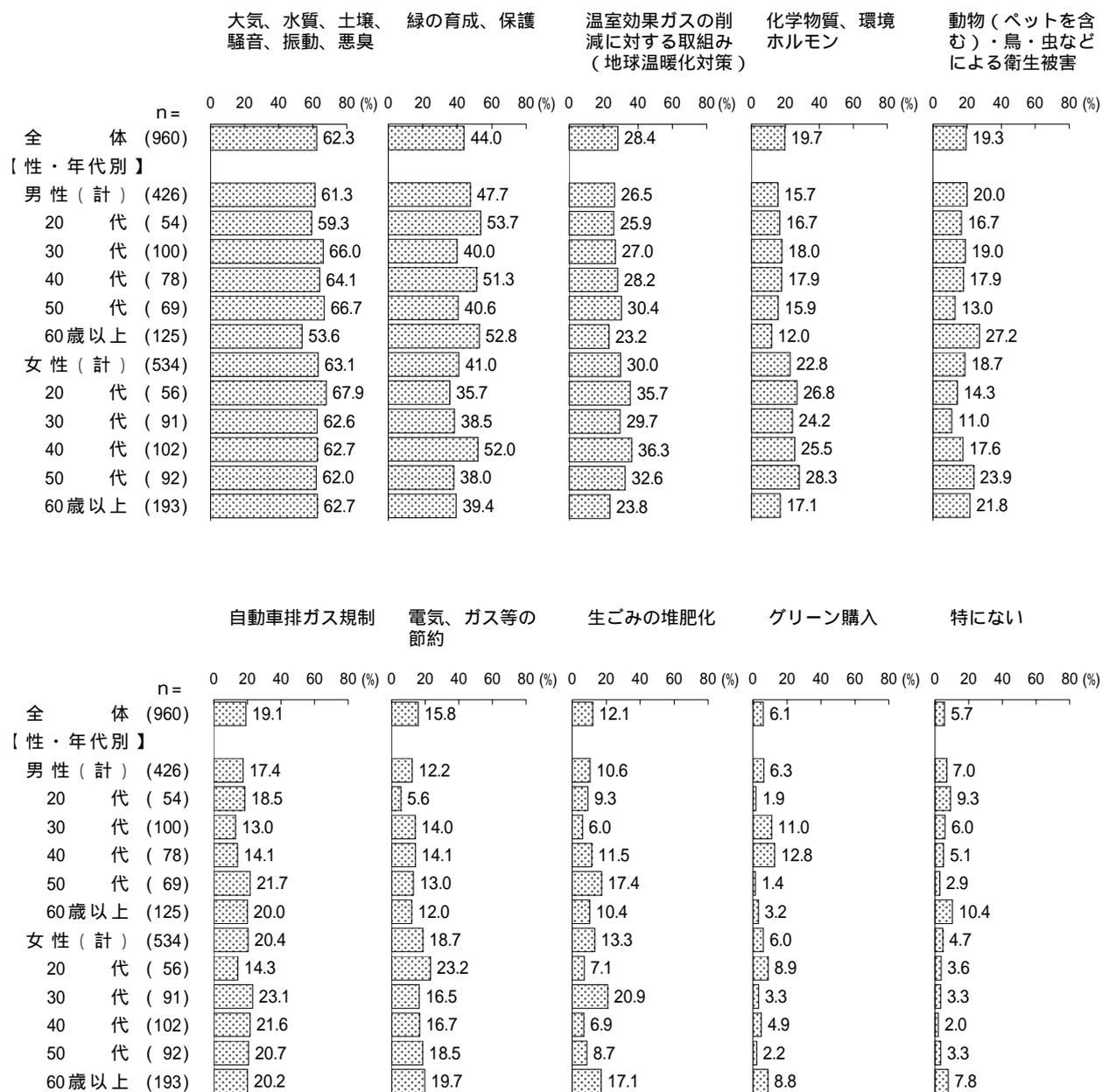
| 問 31 あなたが、地域生活での環境に関して最も関心のある事項は次のうちどれですか。3つ以内でお選びください。 | (n = 960) |
|---|-------------|
| 1. 大気、水質、土壌、騒音、振動、悪臭 | 62.3% |
| 2. 緑の育成、保護 | 44.0% |
| 3. 化学物質、環境ホルモン | 19.7% |
| 4. 動物(ペットを含む)・鳥・虫などによる衛生被害 | 19.3% |
| 5. 電気、ガス等の節約 | 15.8% |
| 6. 自動車排ガス規制 | 19.1% |
| 7. グリーン購入(環境への影響ができるだけ小さいものを優先して購入する) | 6.1% |
| 8. 生ごみの堆肥化 | 12.1% |
| 9. 温室効果ガスの削減に対する取組み(地球温暖化対策) | 28.4% |
| 10. その他 | 1.4% |
| 11. 特にない | 5.7% |

図 12 - 1 - 1 地域生活での環境について関心のあるテーマ



地域生活での環境について関心のあるテーマについて聞いたところ、「大気、水質、土壌、騒音、振動、悪臭」(62.3%)が最も多く、次いで「緑の育成、保護」(44.0%)、「温室効果ガスの削減に対する取組み(地球温暖化対策)」(28.4%)、「化学物質、環境ホルモン」(19.7%)、「動物(ペットを含む)・鳥・虫などによる衛生被害」(19.3%)、「自動車排ガス規制」(19.1%)などの順となっている。(図 12 - 1 - 1)

図 12 - 1 - 2 地域生活での環境について関心のあるテーマ - 性・年代別



性別にみると、全般的に顕著な差異はみられないが、女性の方が「化学物質、環境ホルモン」で7.1ポイント、「電気、ガス等の節約」で6.5ポイント高くなっている。一方、「緑の育成、保護」は男性の方が6.7ポイント高くなっている。

このほか関心の高かった「大気、水質、土壌、騒音、振動、悪臭」「温室効果ガスの削減に対する取組み(地球温暖化対策)」では、全体的に女性の方が高くなっている。(図 12 - 1 - 2)

12 - 2 ごみ減量のために重点的に行うべき施策

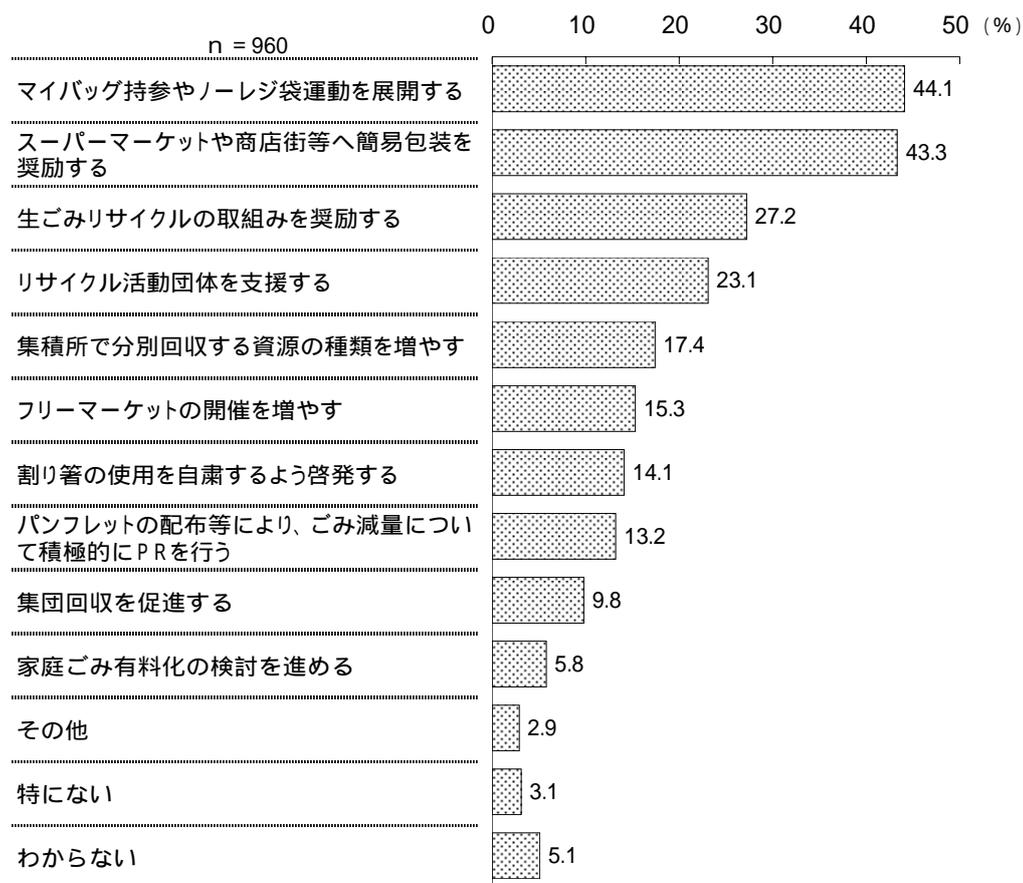
問 32 区では、3 R () の推進を図り、「循環型社会」の実現を目指しています。あなたは、ごみ減量の取組みについて、区はどのようなことを重点的に行うべきとお考えですか。3つ以内でお選びください。

3 Rとはリデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用)をいいます。

(n = 960)

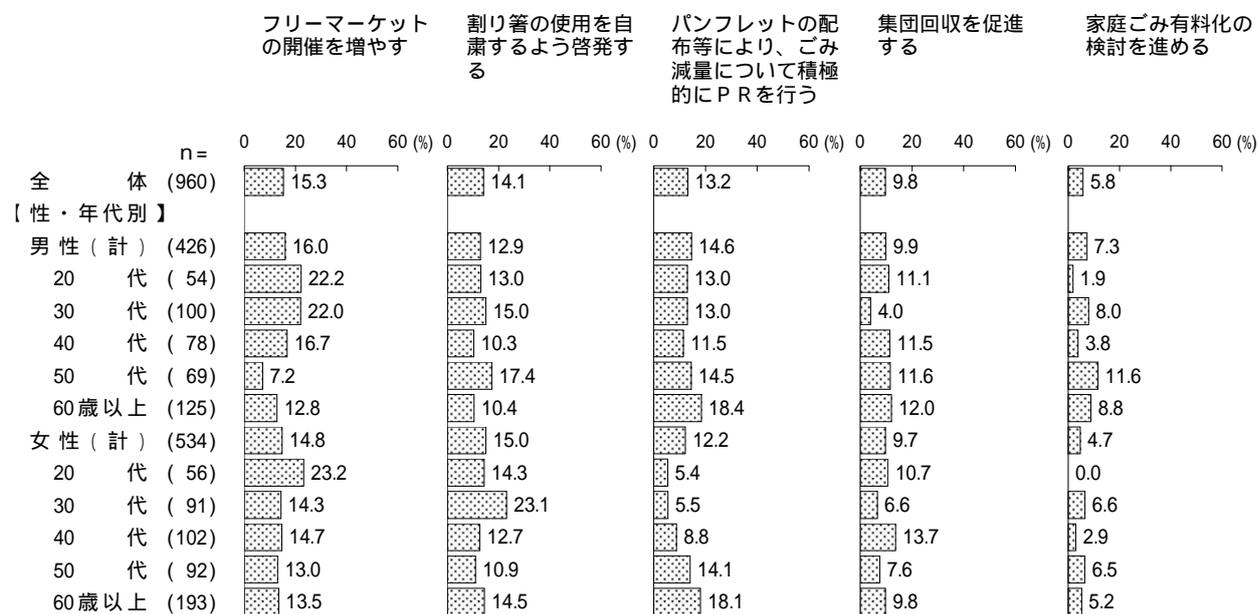
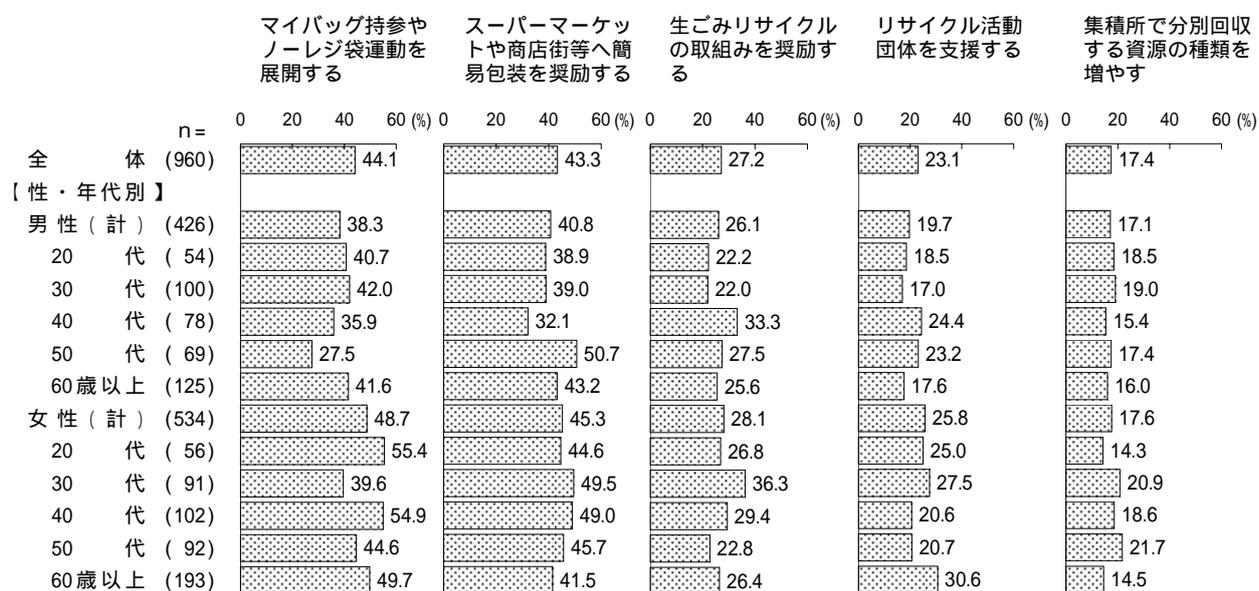
| | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. マイバッグ持参やノーレジ袋運動を展開する | 44.1% |
| 2. スーパーマーケットや商店街等へ簡易包装を奨励する | 43.3% |
| 3. 割り箸の使用を自粛するよう啓発する | 14.1% |
| 4. 生ごみリサイクルの取組みを奨励する | 27.2% |
| 5. フリーマーケットの開催を増やす | 15.3% |
| 6. リサイクル活動団体を支援する | 23.1% |
| 7. 集団回収を促進する | 9.8% |
| 8. 集積所で分別回収する資源の種類を増やす | 17.4% |
| 9. 家庭ごみ有料化の検討を進める | 5.8% |
| 10. パンフレットの配布等により、ごみ減量について積極的にPRを行う | 13.2% |
| 11. その他 | 2.9% |
| 12. 特にない | 3.1% |
| 13. わからない | 5.1% |

図 12 - 2 - 1 ごみ減量のために重点的に行うべき施策



ごみ減量のために重点的に行うべき施策について聞いたところ、「マイバッグ持参やノーレジ袋運動を展開する」(44.1%)が4割半ば、「スーパーマーケットや商店街等へ簡易包装を奨励する」(43.3%)が4割を超え、この2項目が多くなっている。次いで「生ごみリサイクルの取組みを奨励する」(27.2%)、「リサイクル活動団体を支援する」(23.1%)などの順となっている。(図 12 - 2 - 1)

図 12 - 2 - 2 ごみ減量のために重点的に行うべき施策 - 性・年代別



性別にみると、女性の方が「マイバッグ持参やノーレジ袋運動を展開する」で10.4ポイント、「リサイクル活動団体を支援する」で6.1ポイント、「スーパーマーケットや商店街等へ簡易包装を奨励する」で4.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「マイバッグ持参やノーレジ袋運動を展開する」は女性20代と女性40代で5割半ば、「割り箸の使用を自粛するよう啓発する」は女性30代で2割を超えている。

(図 12 - 2 - 2)

13 . 生涯学習

-
- 13 - 1 最近 1 年間の生涯学習活動の実施頻度
 - 13 - 2 生涯学習活動を行う場所
 - 13 - 3 生涯学習活動を行う理由
-

13. 生涯学習

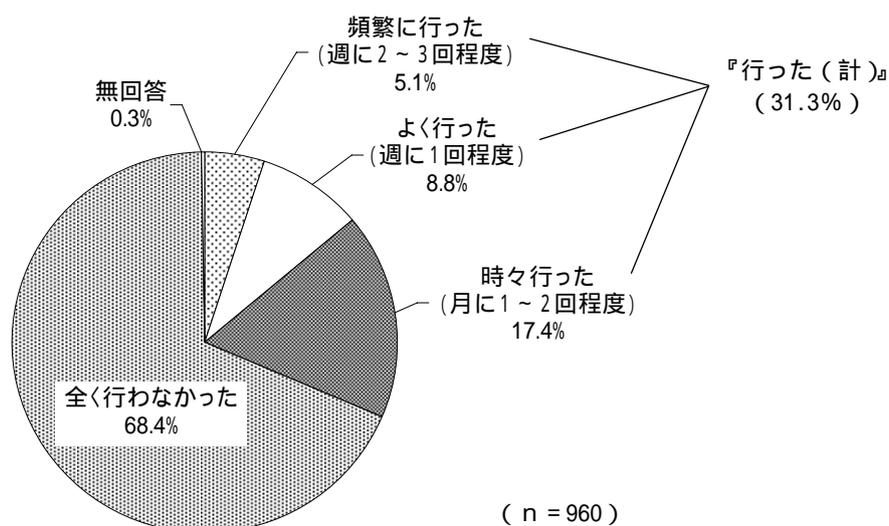
13 - 1 最近1年間の生涯学習活動の実施頻度

問 33 生涯学習は、学校の学習活動だけでなく、文化活動やスポーツ活動、趣味やレクリエーション、ボランティア活動など幅広いものですが、あなたは最近1年間に生涯学習活動をどの程度行いましたか。1つお選びください。

(n = 960)

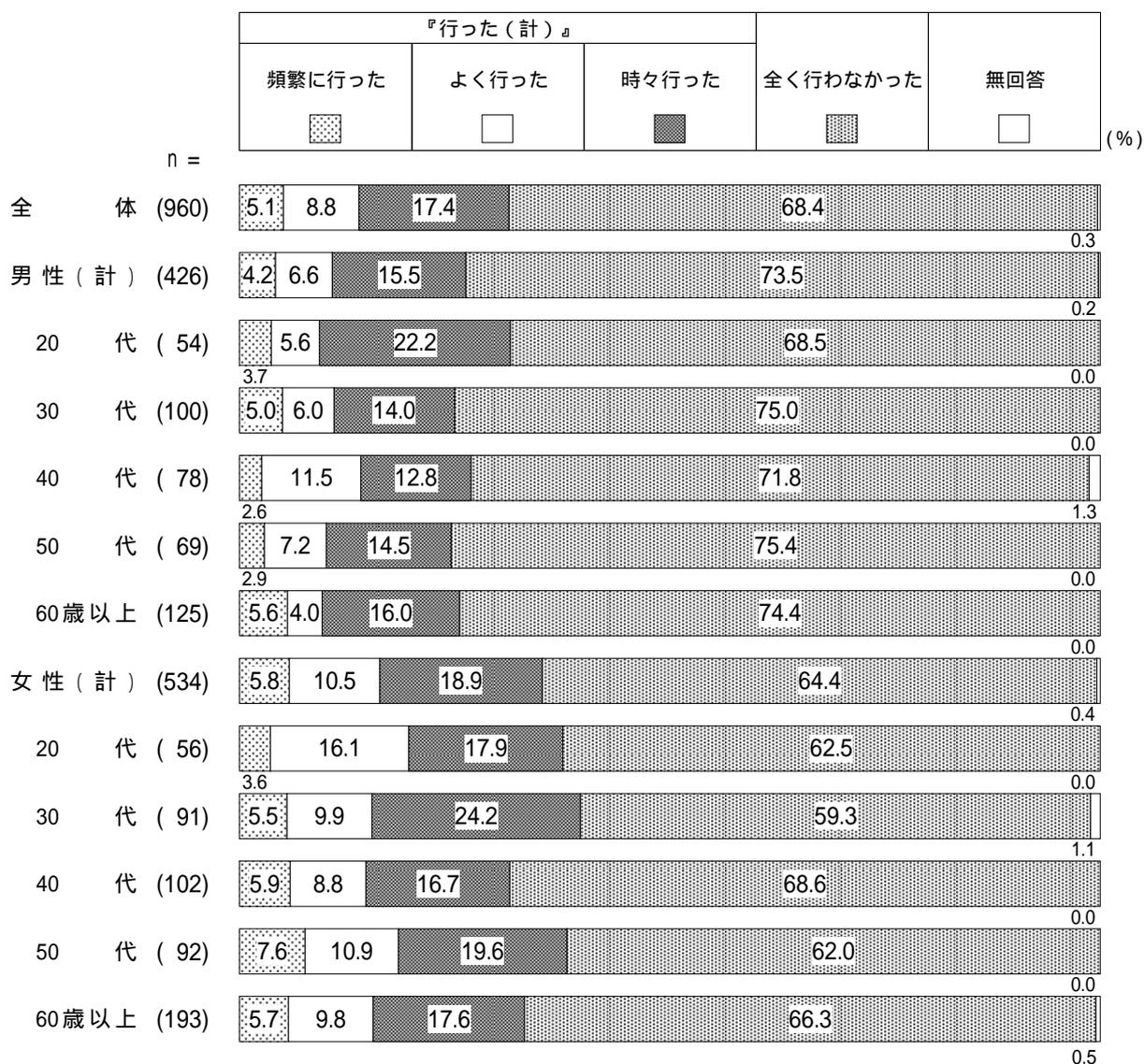
| | | | |
|---------------------|------|--------------------|-------|
| 1. 頻繁に行った(週に2~3回程度) | 5.1% | 3. 時々行った(月に1~2回程度) | 17.4% |
| 2. よく行った(週に1回程度) | 8.8% | 4. 全く行わなかった | 68.4% |
| | | 無回答 | 0.3% |

図 13 - 1 - 1 最近1年間の生涯学習活動の実施頻度



最近1年間の生涯学習活動の実施頻度について聞いたところ、「頻繁に行った(週に2~3回程度)」(5.1%)、「よく行った(週に1回程度)」(8.8%)、「時々行った(月に1~2回程度)」(17.4%)を合わせた『行った(計)』(31.3%)が3割を超えている。一方、「全く行わなかった」(68.4%)が7割近くとなっている。(図 13 - 1 - 1)

図 13 - 1 - 2 最近 1 年間の生涯学習活動の実施頻度 - 性・年代別



性別にみると、『行った(計)』は女性の方が8.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『行った(計)』は女性30代で4割、女性20代と女性50代で4割近くと多くなっている。一方、「全く行わなかった」は男性30代、男性50代、男性60歳以上で7割半ばと多くなっている。(図 13 - 1 - 2)

13 - 2 生涯学習活動を行う場所

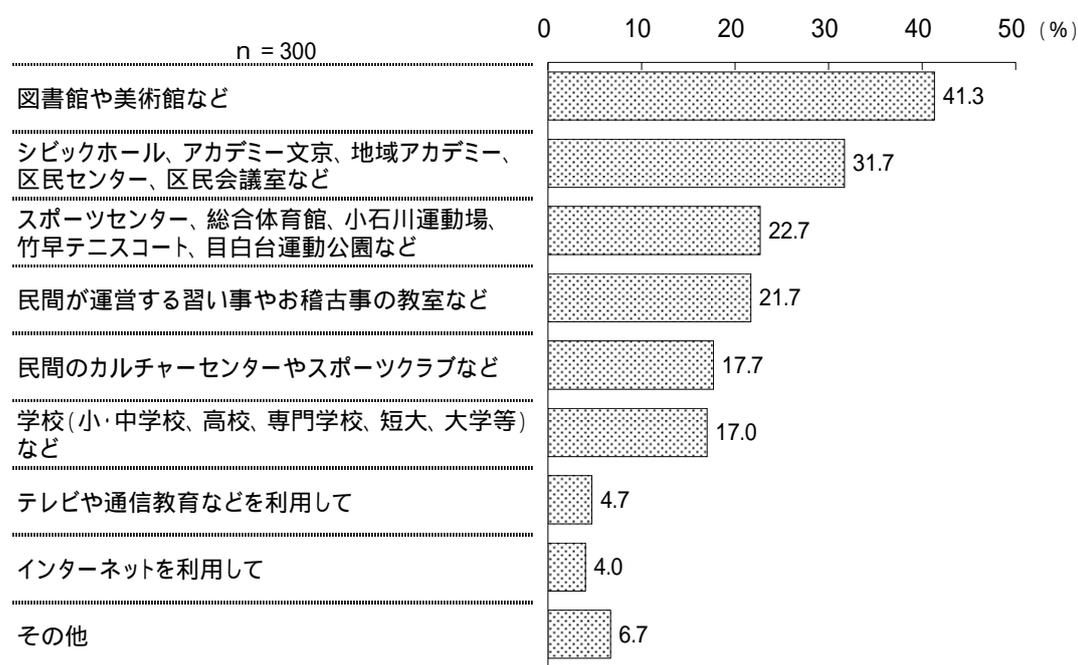
(問33で「1.頻繁に行った」「2.よく行った」「3.時々行った」とお答えの方にかがいます)

問33 - 1 あなたは、どこで生涯学習活動を行っていますか。3つ以内でお選びください。

(n = 300)

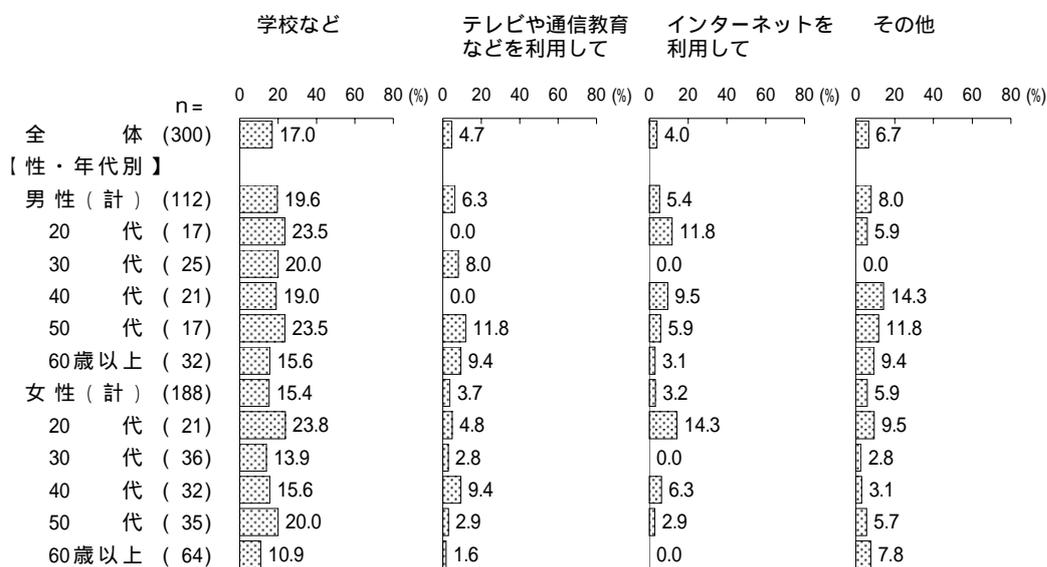
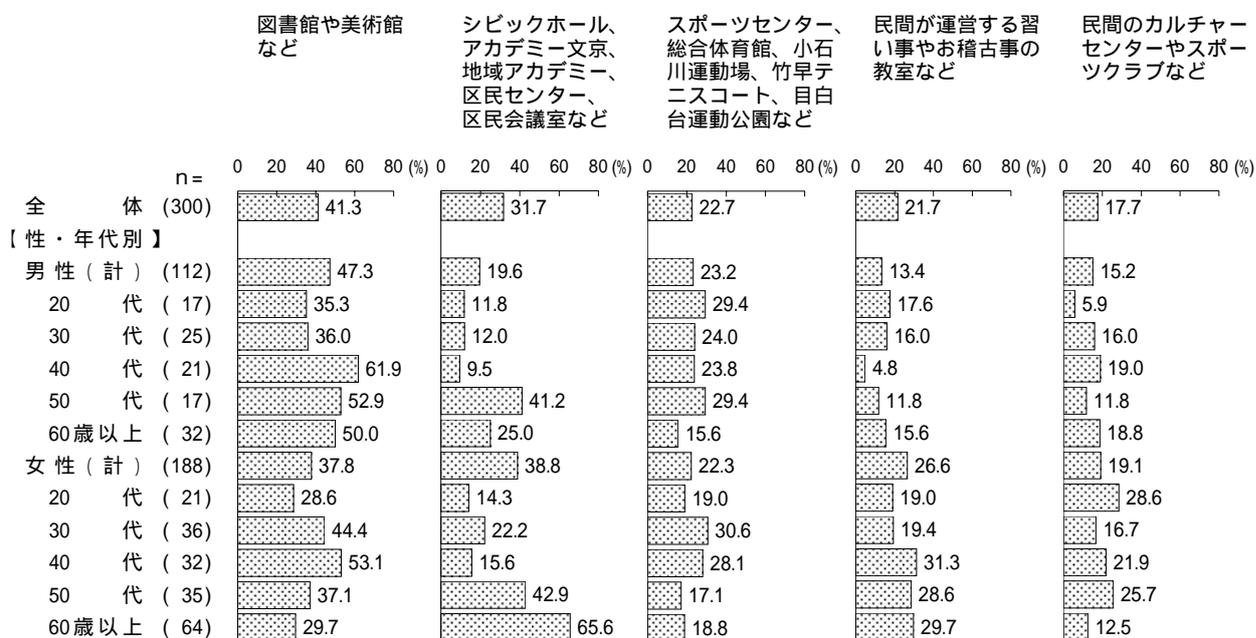
| | |
|---|-------|
| 1. シビックホール、アカデミー文京、地域アカデミー、区民センター、区民会議室など | 31.7% |
| 2. スポーツセンター、総合体育館、小石川運動場、竹早テニスコート、目白台運動公園など | 22.7% |
| 3. 学校(小・中学校、高校、専門学校、短大、大学等)など | 17.0% |
| 4. 図書館や美術館など | 41.3% |
| 5. 民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなど | 17.7% |
| 6. 民間が運営する習い事やお稽古事の教室など | 21.7% |
| 7. テレビや通信教育などを利用して | 4.7% |
| 8. インターネットを利用して | 4.0% |
| 9. その他 | 6.7% |

図 13 - 2 - 1 生涯学習活動を行う場所



最近1年間の生涯学習活動の実施頻度が「頻繁に行った」「よく行った」「時々行った」と答えた人(300人)に、生涯学習活動を行う場所について聞いたところ、「図書館や美術館など」(41.3%)が4割を超え最も多く、次いで「シビックホール、アカデミー文京、地域アカデミー、区民センター、区民会議室など」(31.7%)、「スポーツセンター、総合体育館、小石川運動場、竹早テニスコート、目白台運動公園など」(22.7%)、「民間が運営する習い事やお稽古事の教室など」(21.7%)、「民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなど」(17.7%)、「学校(小・中学校、高校、専門学校、短大、大学等)など」(17.0%)などの順となっている。(図13-2-1)

図 13 - 2 - 2 生涯学習活動を行う場所 - 性・年代別



性別にみると、女性の方が「シビックホール、アカデミー文京、地域アカデミー、区民センター、区民会議室など」で 19.2 ポイント、「民間が運営する習い事やお稽古事の教室など」で 13.2 ポイント高くなっている。一方、「図書館や美術館など」は男性の方が 9.5 ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「図書館や美術館など」は男性 40代で 6 割を超え、「シビックホール、アカデミー文京、地域アカデミー、区民センター、区民会議室など」は女性 60歳以上で 6 割半ばと多くなっている。(図 13 - 2 - 2)

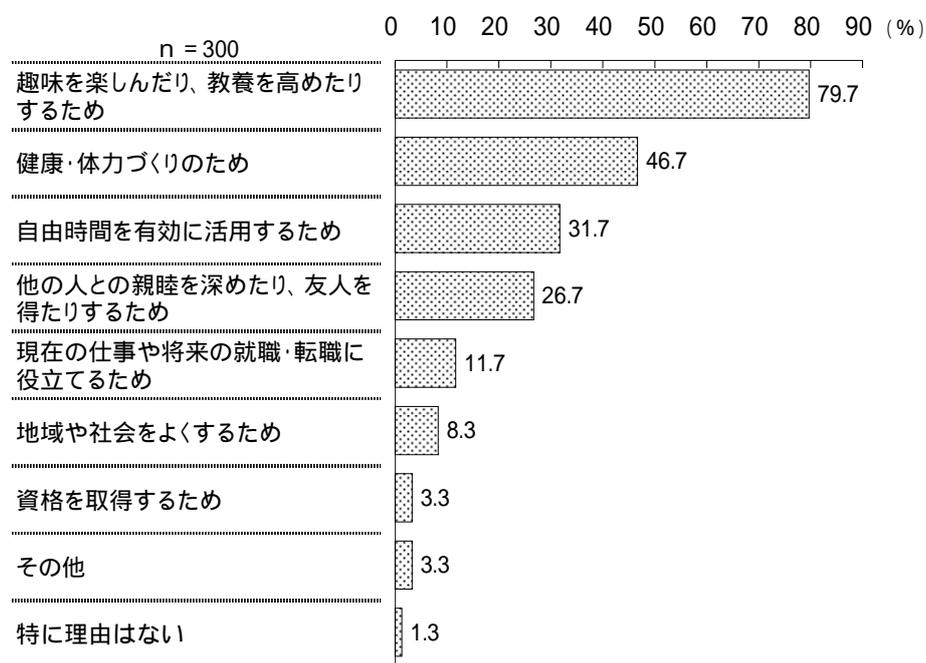
13 - 3 生涯学習活動を行う理由

(問 33 で「1 . 頻繁に行った」「2 . よく行った」「3 . 時々行った」とお答えの方にかがいます)

問 33 - 2 あなたが生涯学習活動を行う理由をあげてください。3 つ以内でお選びください。

| | (n = 300) |
|-----------------------------|-------------|
| 1 . 趣味を楽しんだり、教養を高めたりするため | 79.7% |
| 2 . 地域や社会をよくするため | 8.3% |
| 3 . 自由時間を有効に活用するため | 31.7% |
| 4 . 健康・体力づくりのため | 46.7% |
| 5 . 現在の仕事や将来の就職・転職に役立てるため | 11.7% |
| 6 . 資格を取得するため | 3.3% |
| 7 . 他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため | 26.7% |
| 8 . その他 | 3.3% |
| 9 . 特に理由はない | 1.3% |

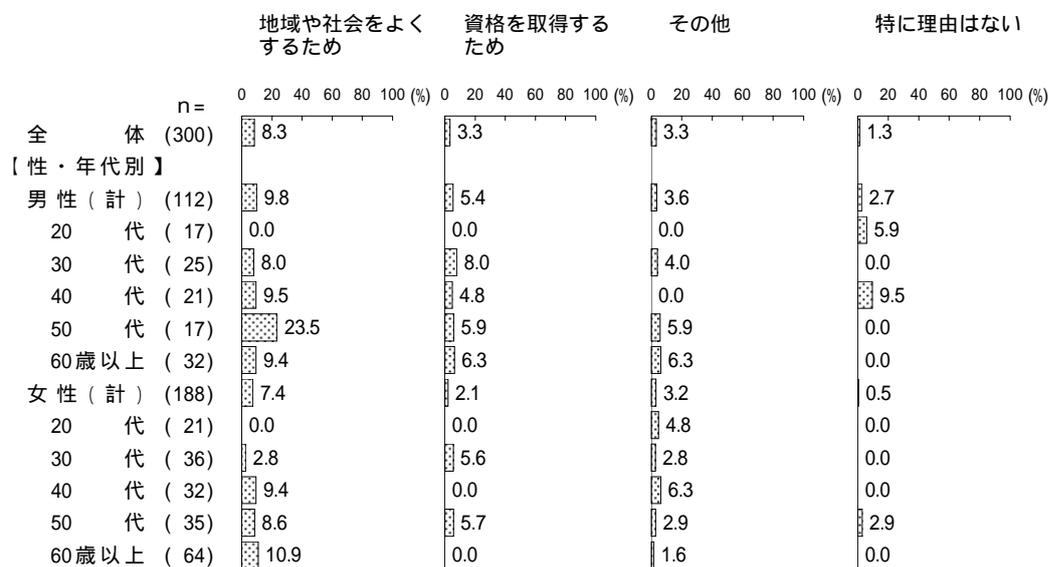
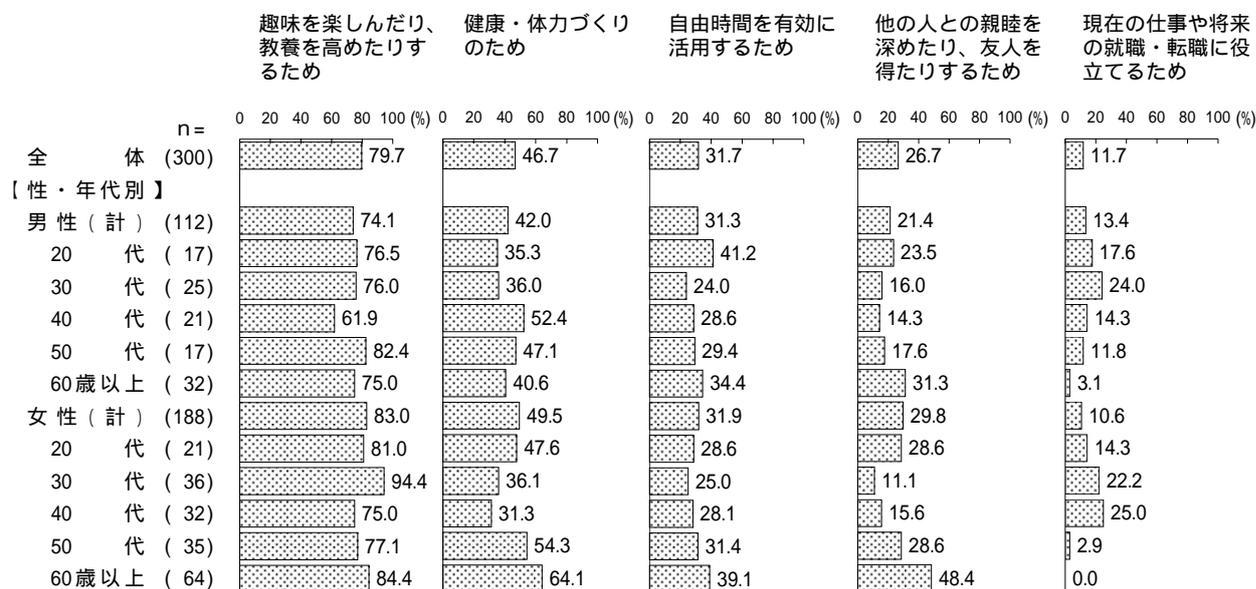
図 13 - 3 - 1 生涯学習活動を行う理由



最近 1 年間の生涯学習活動の実施頻度が「頻繁に行った」「よく行った」「時々行った」と答えた人 (300 人) に、生涯学習活動を行う理由について聞いたところ、「趣味を楽しんだり、教養を高めたりするため」(79.7%) が 8 割で最も多く、次いで「健康・体力づくりのため」(46.7%)、「自由時間を有効に活用するため」(31.7%)、「他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため」(26.7%)、「現在の仕事や将来の就職・転職に役立てるため」(11.7%) などの順となっている。

(図 13 - 3 - 1)

図 13 - 3 - 2 生涯学習活動を行う理由 - 性・年代別



性別にみると、女性の方が「趣味を楽しんだり、教養を高めたりするため」で8.9ポイント、「他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため」で8.4ポイント、「健康・体力づくりのため」で7.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「趣味を楽しんだり、教養を高めたりするため」は女性30代で9割半ば、「健康・体力づくりのため」は女性60歳以上で6割半ばと多くなっている。「他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため」は女性60歳以上で5割近く、「地域や社会をよくするため」は男性50代で2割を超え多くなっている。(図 13 - 3 - 2)

14 . 電子化

14 - 1 電子化により実現するとよい区のサービス

14 - 2 区の電子申請で利用したいサービス

14．電子化

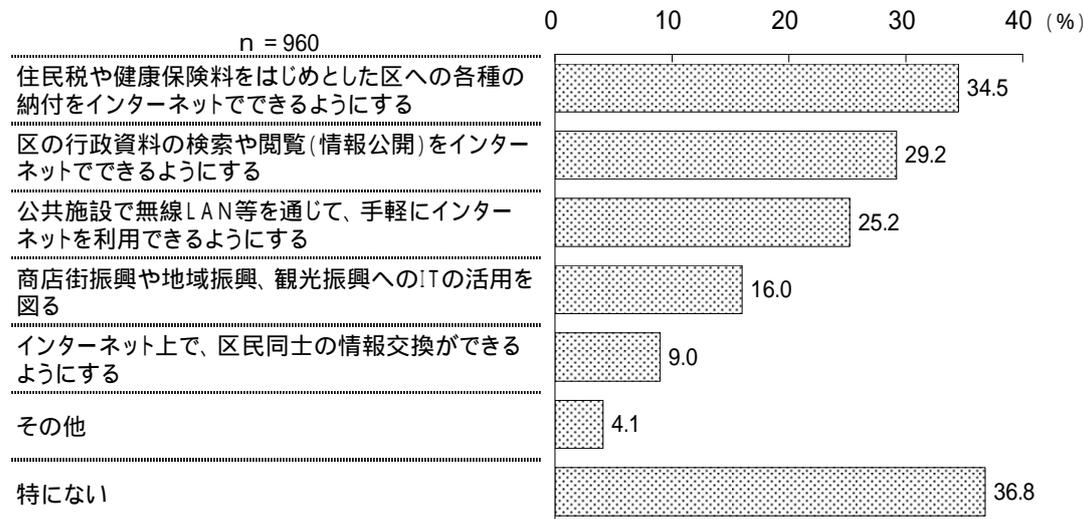
14 - 1 電子化により実現するとよい区サービス

問 34 あなたが、電子化により実現するとよいと思う区サービスは何ですか。いくつでもお選びください。

(n = 960)

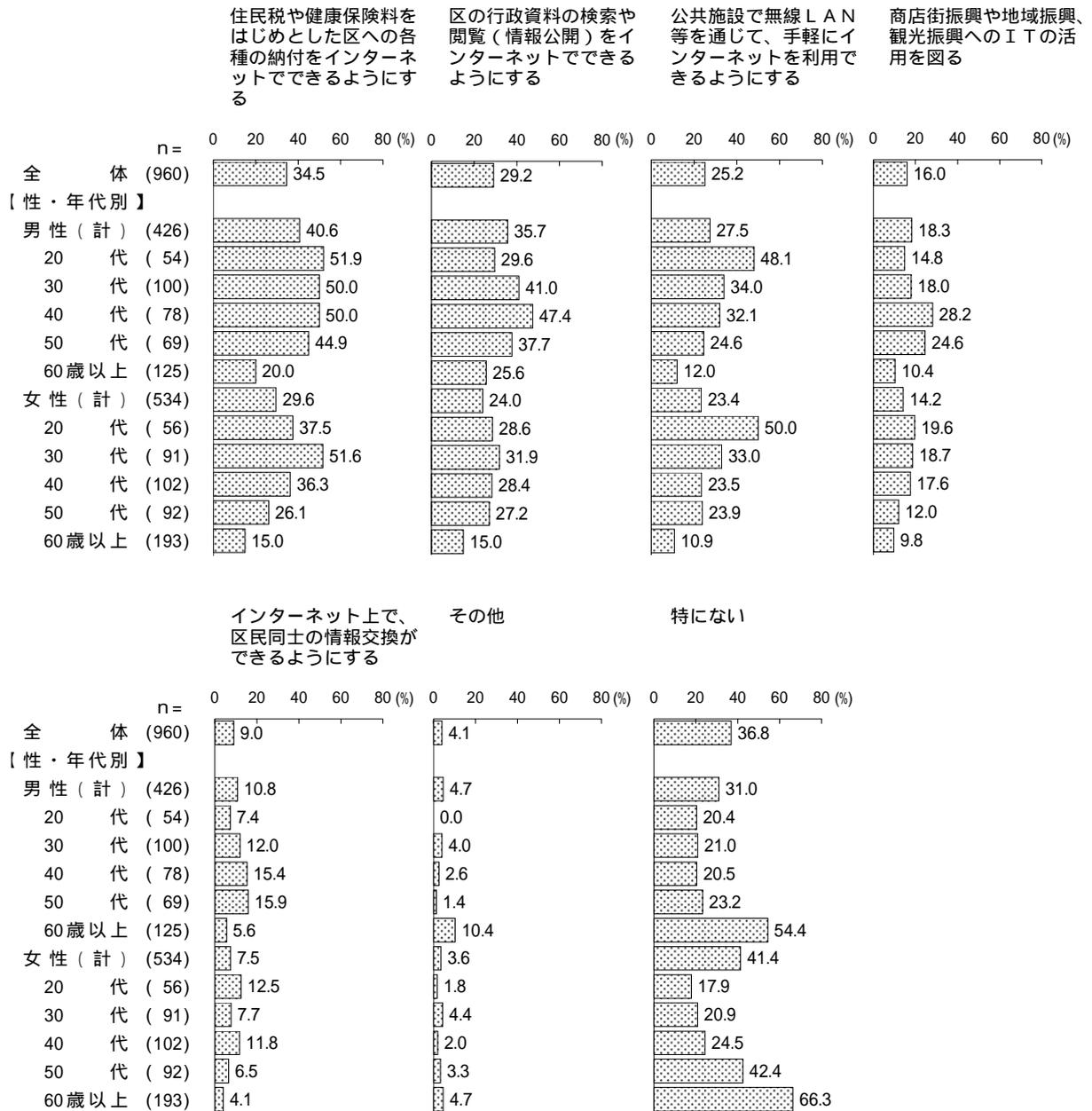
| | |
|---|-------|
| 1．住民税や健康保険料をはじめとした区への各種の納付をインターネットでできるようにする | 34.5% |
| 2．公共施設で無線LAN等を通じて、手軽にインターネットを利用できるようにする | 25.2% |
| 3．区の行政資料の検索や閲覧(情報公開)をインターネットでできるようにする | 29.2% |
| 4．商店街振興や地域振興、観光振興へのITの活用を図る | 16.0% |
| 5．インターネット上で、区民同士の情報交換ができるようにする | 9.0% |
| 6．その他 | 4.1% |
| 7．特にない | 36.8% |

図 14 - 1 - 1 電子化により実現するとよい区サービス



電子化により実現するとよい区サービスについて聞いたところ、「住民税や健康保険料をはじめとした区への各種の納付をインターネットでできるようにする」(34.5%)が3割半ばで最も多く、次いで「区の行政資料の検索や閲覧(情報公開)をインターネットでできるようにする」(29.2%)、「公共施設で無線LAN等を通じて、手軽にインターネットを利用できるようにする」(25.2%)、「商店街振興や地域振興、観光振興へのITの活用を図る」(16.0%)、「インターネット上で、区民同士の情報交換ができるようにする」(9.0%)の順となっている。また、「特にない」(36.8%)が4割近くとなっている。(図 14 - 1 - 1)

図 14 - 1 - 2 電子化により実現するとよい区のサービス - 性・年代別

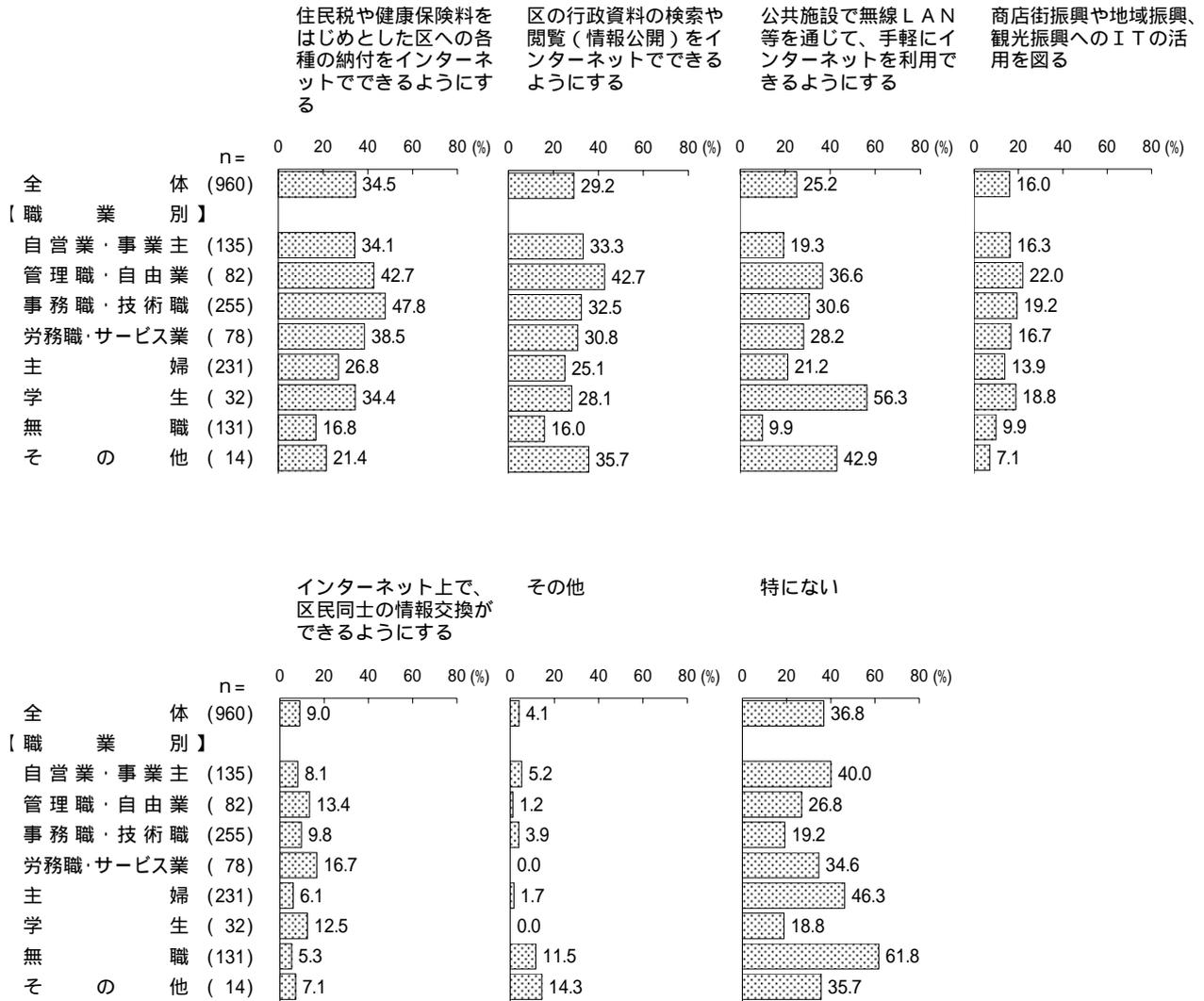


性別にみると、男性の方が「区の行政資料の検索や閲覧（情報公開）をインターネットでできるようにする」で11.7ポイント、「住民税や健康保険料をはじめとした区への各種の納付をインターネットでできるようにする」で11.0ポイント高くなっている。一方、「特にない」は女性の方が10.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「住民税や健康保険料をはじめとした区への各種の納付をインターネットでできるようにする」は男性の20代から40代の年代、女性30代で5割以上を占め、「区の行政資料の検索や閲覧（情報公開）をインターネットでできるようにする」は男性40代で5割近く、男性30代で4割を超え多くなっている。「公共施設で無線LAN等を通じて、手軽にインターネットを利用できるようにする」は男女ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、女性20代で5割、男性20代で5割近くと多くなっている。また、「特にない」は女性では高い年代ほど割合が高い傾向にあり、女性60歳以上で6割半ば、また男性60歳以上でも5割半ばと多くなっている。

(図 14 - 1 - 2)

図 14 - 1 - 3 電子化により実現するとよい区のサービス - 職業別



職業別にみると、「住民税や健康保険料をはじめとした区への各種の納付をインターネットでできるようにする」は事務職・技術職で5割近く、「区の行政資料の検索や閲覧(情報公開)をインターネットでできるようにする」は管理職・自由業で4割を超え、「公共施設で無線LAN等を通じて、手軽にインターネットを利用できるようにする」は学生で5割半ばと多くなっている。また、「特にない」は無職で6割を超え多くなっている。(図14-1-3)

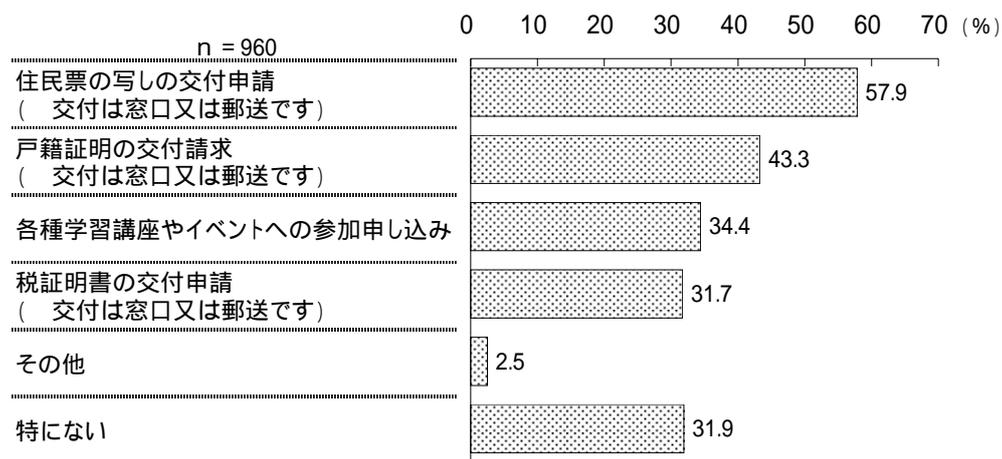
14 - 2 区の電子申請で利用したいサービス

問 35 区では、10月から電子申請を開始する予定です。今後どのような申請・届出をインターネットから行いたいですか。いくつでもお選びください。

(n = 960)

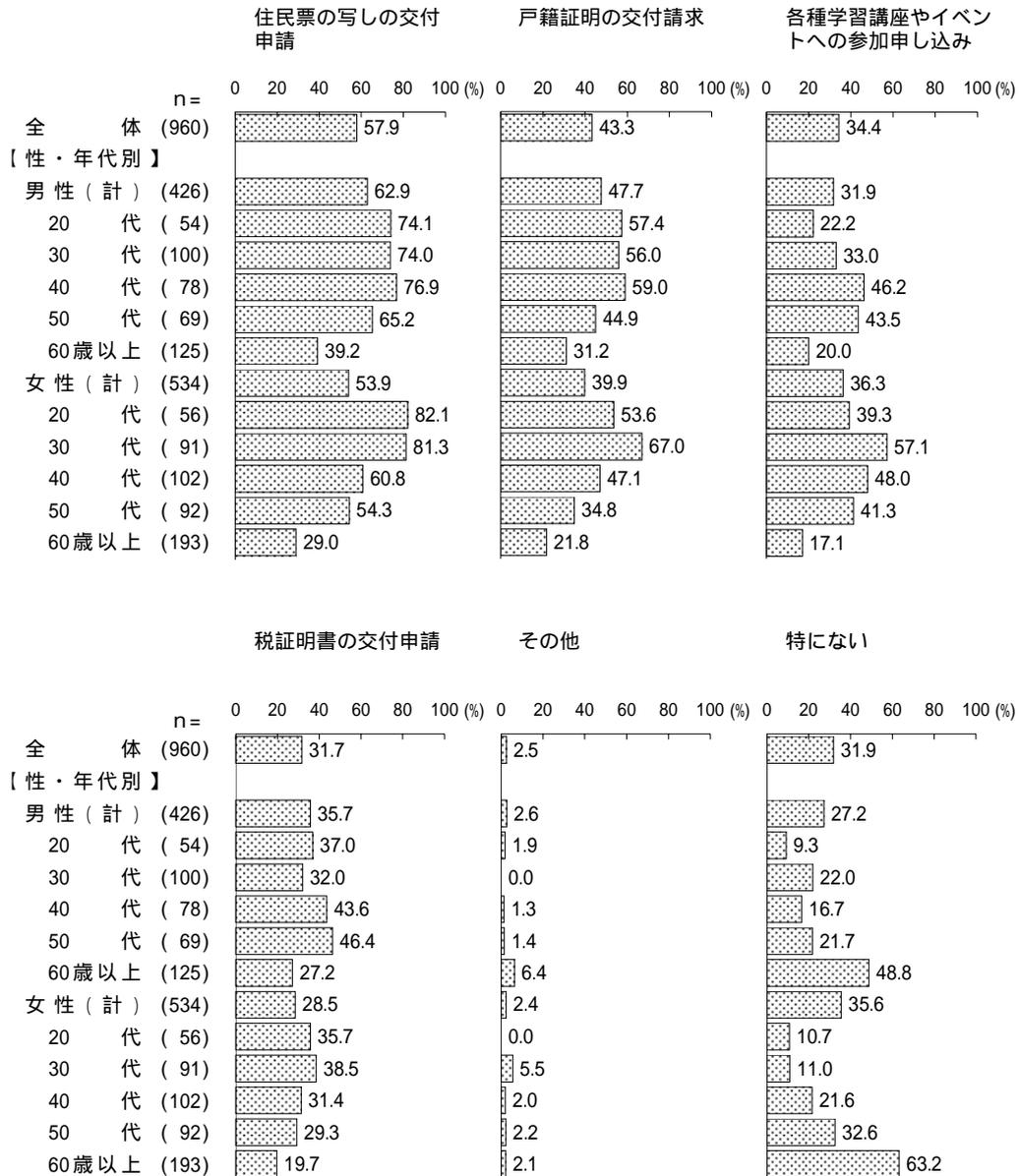
- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1. 住民票の写しの交付申請 (交付は窓口又は郵送です) | 57.9% |
| 2. 税証明書の交付申請 (交付は窓口又は郵送です) | 31.7% |
| 3. 戸籍証明の交付請求 (交付は窓口又は郵送です) | 43.3% |
| 4. 各種学習講座やイベントへの参加申し込み | 34.4% |
| 5. その他 | 2.5% |
| 6. 特にない | 31.9% |

図 14 - 2 - 1 区の電子申請で利用したいサービス



区の電子申請で利用したいサービスについて聞いたところ、「住民票の写しの交付申請」(57.9%) が6割近くと最も多く、次いで「戸籍証明の交付請求」(43.3%)、「各種学習講座やイベントへの参加申し込み」(34.4%)、「税証明書の交付申請」(31.7%)の順となっている。(図 14 - 2 - 1)

図 14 - 2 - 2 区の電子申請で利用したいサービス - 性・年代別



性別にみると、男性の方が「住民票の写しの交付申請」で9.0ポイント、「戸籍証明の交付請求」で7.8ポイント、「税証明書の交付申請」で7.2ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「住民票の写しの交付申請」は女性では低い年代ほど割合が高い傾向にあり、女性20代と女性30代で8割を超え、また男性40代で8割近く、男性20代と男性30代で7割半ばと多くなっている。「戸籍証明の交付請求」は女性30代で7割近く、男性40代でほぼ6割、「各種学習講座やイベントへの参加申し込み」は女性30代で6割近く、「税証明書の交付申請」は男性50代で4割半ば、男性40代で4割を超え多くなっている。また、「特にない」は女性60歳以上で6割を超え、男性60歳以上で5割近くと多くなっている。(図14-2-2)

15 . 議 会

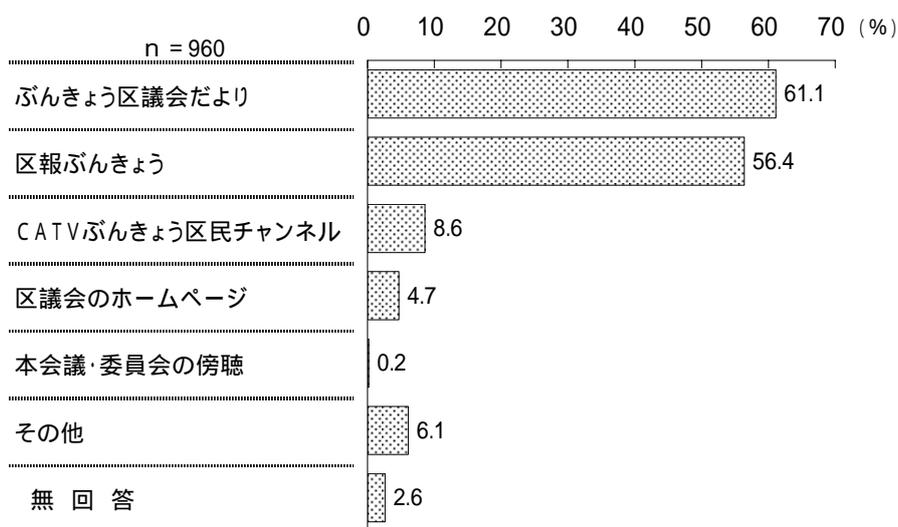
-
- 15 - 1 区議会の活動の認知媒体
 - 15 - 2 区議会の活動として期待すること
 - 15 - 3 区議会ホームページの閲覧頻度
-

15．議会

15 - 1 区議会の活動の認知媒体

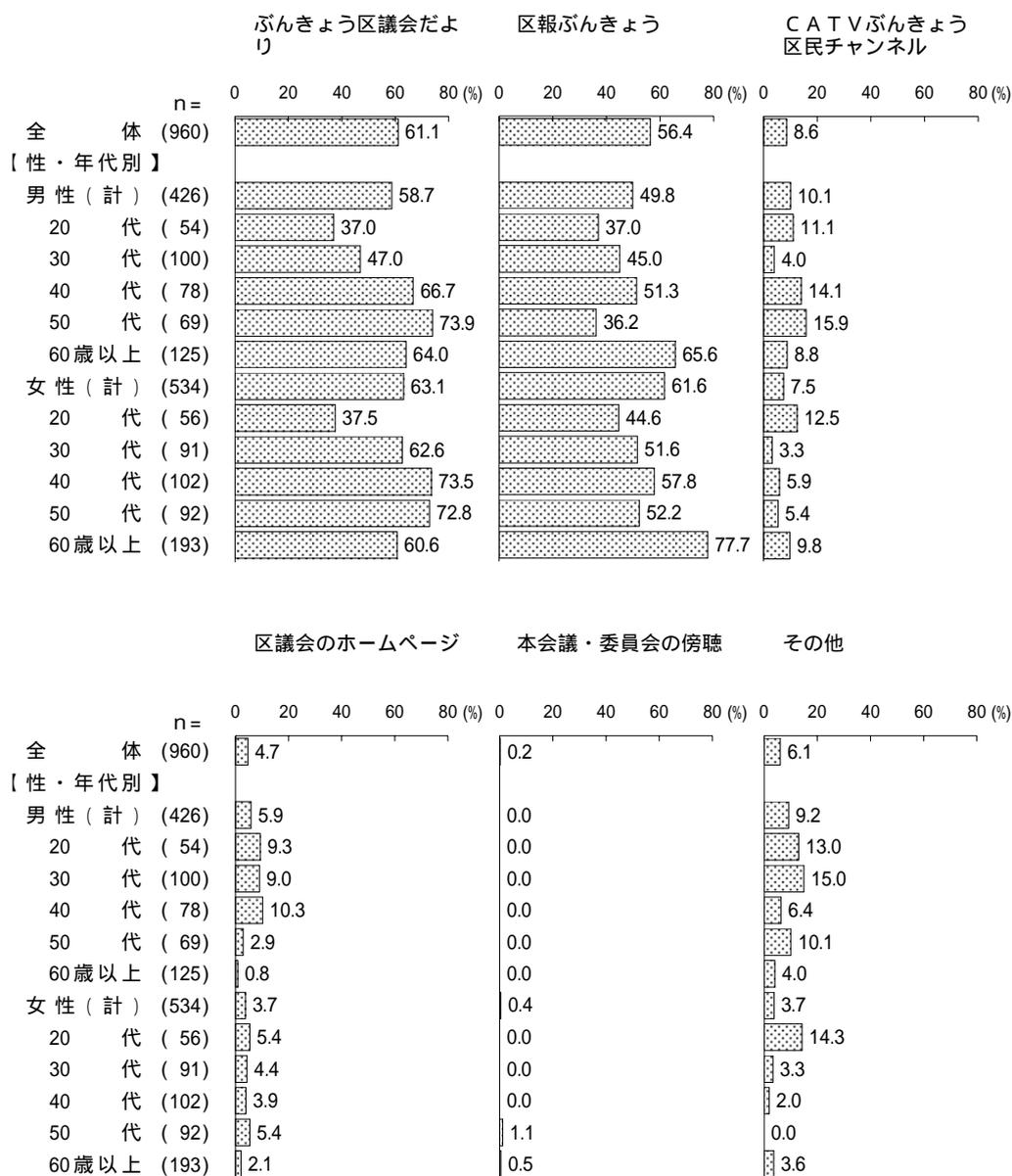
| | | | |
|--|-------|--------------------|-------|
| 問 36 あなたは、区議会の活動を、どのようにしてお知りになっていますか。いくつでもお選びください。 | | | |
| (n = 960) | | | |
| 1．ぶんきょう区議会だより | 61.1% | 4．区報ぶんきょう | 56.4% |
| 2．区議会のホームページ | 4.7% | 5．CATVぶんきょう区民チャンネル | 8.6% |
| 3．本会議・委員会の傍聴 | 0.2% | 6．その他 | 6.1% |
| | | 無回答 | 2.6% |

図 15 - 1 - 1 区議会の活動の認知媒体



区議会の活動の認知媒体について聞いたところ、「ぶんきょう区議会だより」(61.1%)が6割を超え、「区報ぶんきょう」(56.4%)が5割半ばで、この2項目が多くなっている。その他では「CATVぶんきょう区民チャンネル」(8.6%)、「区議会のホームページ」(4.7%)、「本会議・委員会の傍聴」(0.2%)がいずれも1割未満となっている。(図 15 - 1 - 1)

図 15 - 1 - 2 区議会の活動の認知媒体 - 性・年代別



性別にみると、「ぶんきょう区議会だより」及び「区報ぶんきょう」はいずれも女性の方が高く、特に「区報ぶんきょう」は11.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「ぶんきょう区議会だより」は男性50代、女性40代、女性50代で7割を超え多く、「区報ぶんきょう」は女性60歳以上で8割近くと多くなっている。(図 15 - 1 - 2)

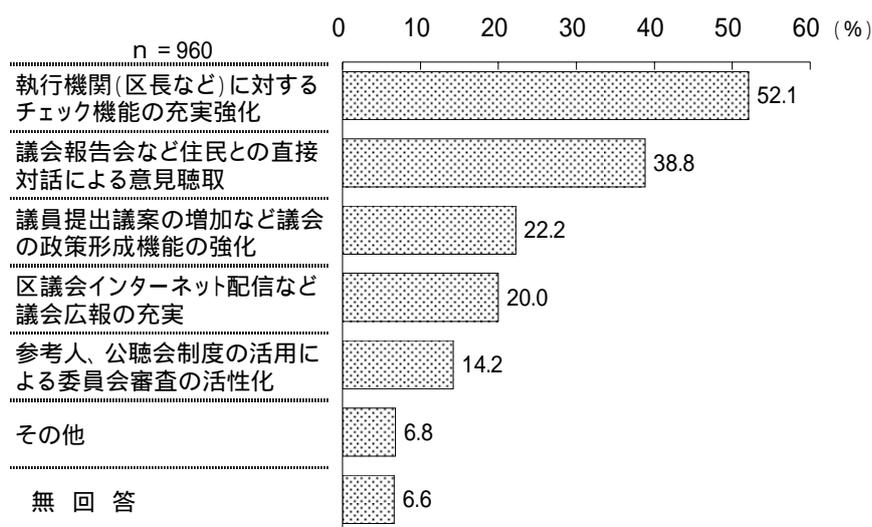
15 - 2 区議会の活動として期待すること

問 37 地方議会の活性化や議会改革が求められていますが、区議会の活動として期待することはどれですか。いくつでもお選びください。

(n = 960)

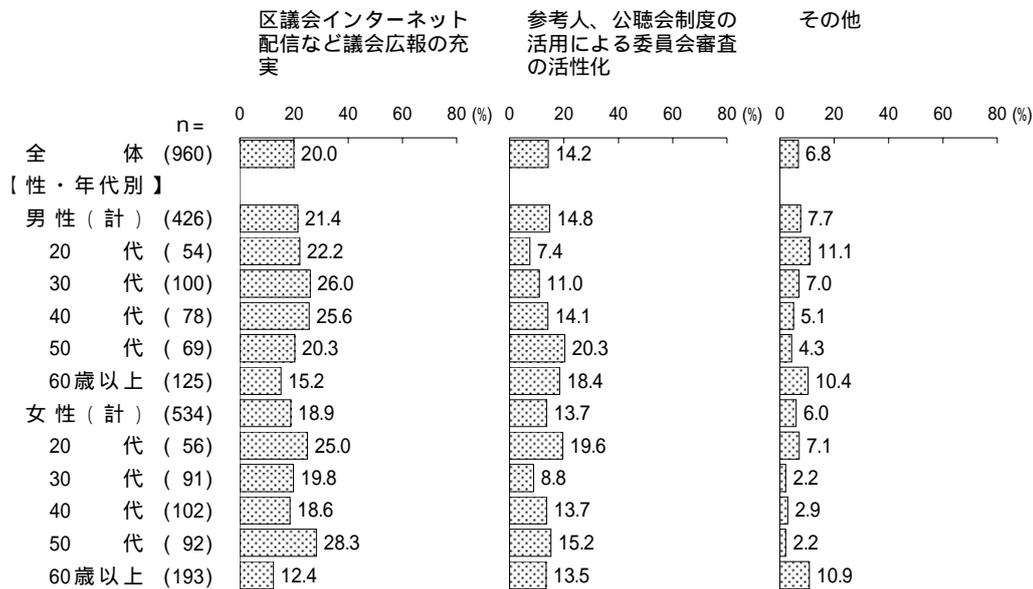
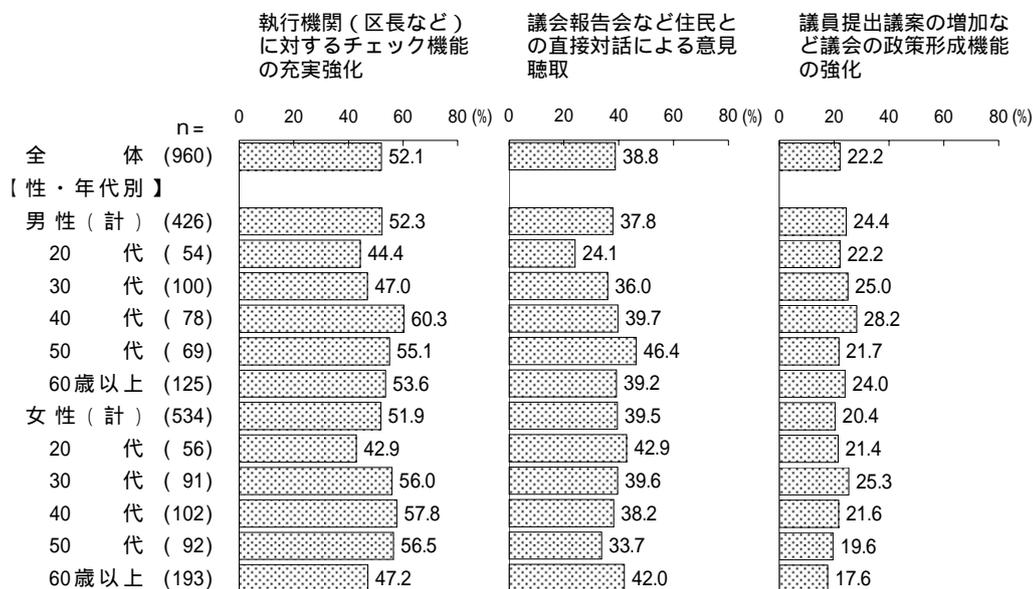
| | |
|-------------------------------|-------|
| 1 . 執行機関（区長など）に対するチェック機能の充実強化 | 52.1% |
| 2 . 議員提出議案の増加など議会の政策形成機能の強化 | 22.2% |
| 3 . 議会報告会など住民との直接対話による意見聴取 | 38.8% |
| 4 . 参考人、公聴会制度の活用による委員会審査の活性化 | 14.2% |
| 5 . 区議会インターネット配信など議会広報の充実 | 20.0% |
| 6 . その他 | 6.8% |
| 無回答 | 6.6% |

図 15 - 2 - 1 区議会の活動として期待すること



区議会の活動として期待することについて聞いたところ、「執行機関（区長など）に対するチェック機能の充実強化」（52.1%）が5割を超え最も多く、次いで「議会報告会など住民との直接対話による意見聴取」（38.8%）、「議員提出議案の増加など議会の政策形成機能の強化」（22.2%）、「区議会インターネット配信など議会広報の充実」（20.0%）、「参考人、公聴会制度の活用による委員会審査の活性化」（14.2%）の順となっている。（図 15 - 2 - 1）

図 15 - 2 - 2 区議会の活動として期待すること - 性・年代別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性・年代別にみると、「執行機関（区長など）に対するチェック機能の充実強化」は男性 40 代で 6 割、「議会報告会など住民との直接対話による意見聴取」は男性 50 代で 4 割半ばと多くなっている。

(図 15 - 2 - 2)

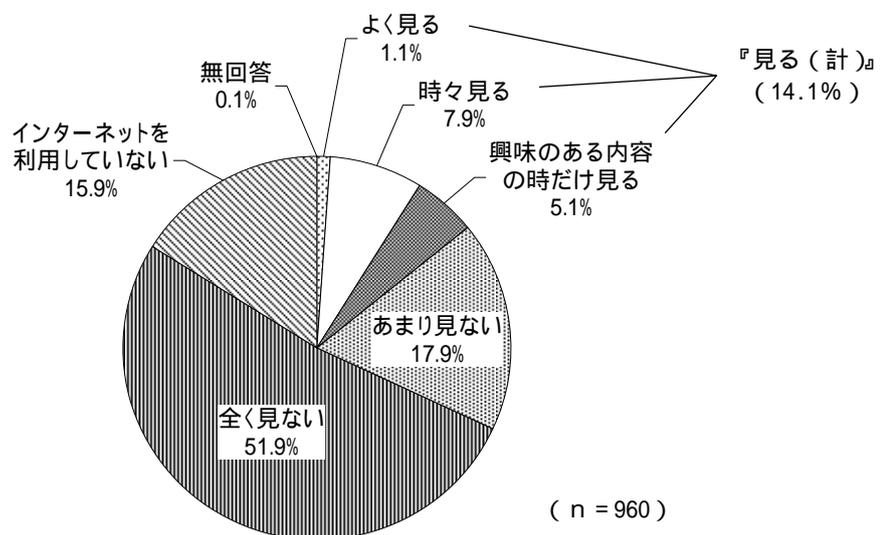
15 - 3 区議会ホームページの閲覧頻度

問 38 あなたは、区議会ホームページをどの程度閲覧されていますか。1つお選びください。

(n = 960)

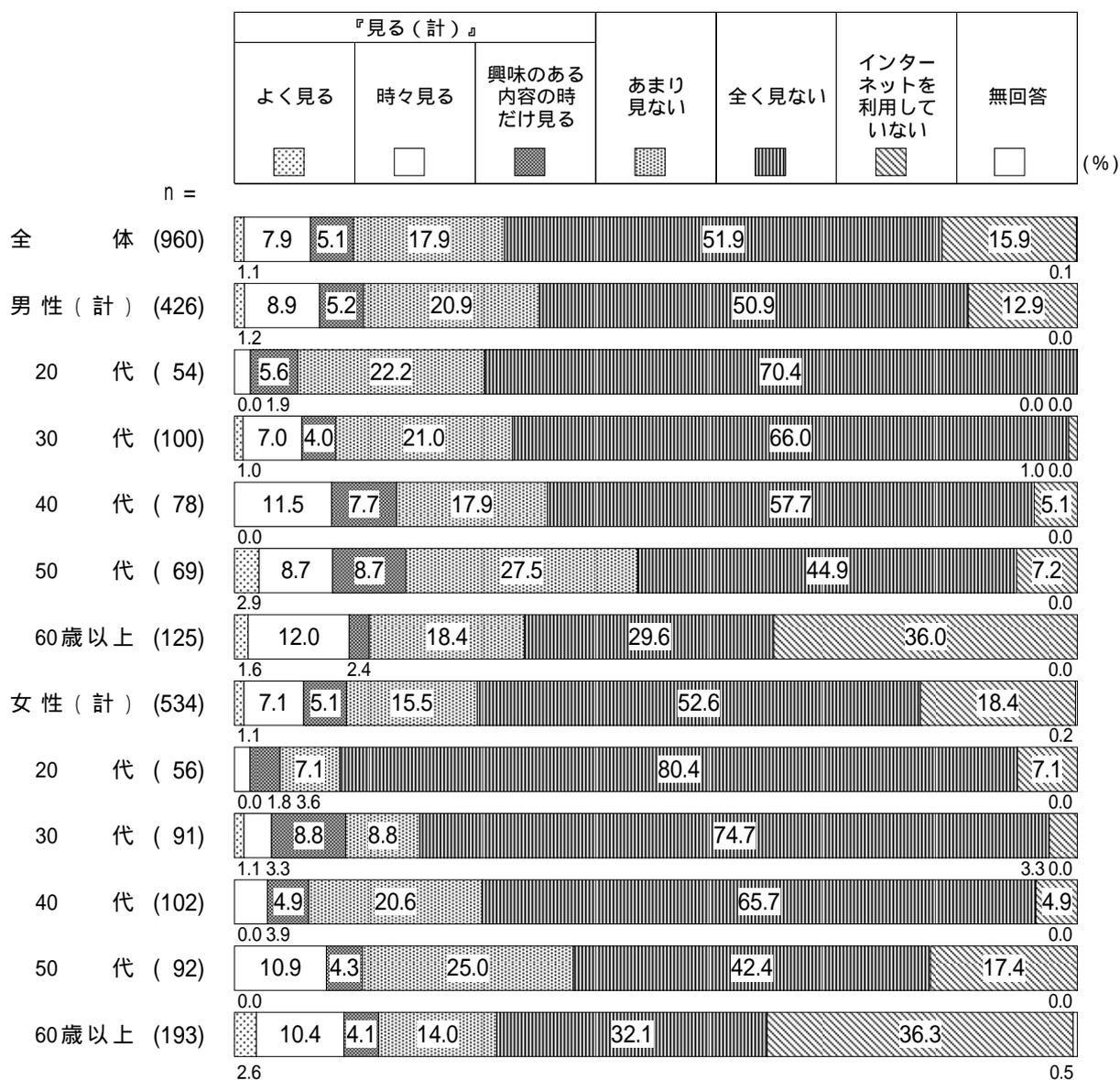
| | | | |
|-------------------|------|---------------------|-------|
| 1 . よく見る | 1.1% | 4 . あまり見ない | 17.9% |
| 2 . 時々見る | 7.9% | 5 . 全く見ない | 51.9% |
| 3 . 興味のある内容の時だけ見る | 5.1% | 6 . インターネットを利用していない | 15.9% |
| | | 無回答 | 0.1% |

図 15 - 3 - 1 区議会ホームページの閲覧頻度



区議会ホームページの閲覧頻度について聞いたところ、「よく見る」(1.1%)、「時々見る」(7.9%)、「興味のある内容の時だけ見る」(5.1%)を合わせた「見る(計)」(14.1%)が1割半ば、「あまり見ない」(17.9%)が2割近くとなっている。一方、「全く見ない」(51.9%)が5割を超え、「インターネットを利用していない」(15.9%)が1割半ばとなっている。(図 15 - 3 - 1)

図 15 - 3 - 2 区議会ホームページの閲覧頻度 - 性・年代別



性別にみると、「インターネットを利用していない」は女性の方が5.5ポイント高く、「あまり見ない」は男性の方が5.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「あまり見ない」は男性50代で3割近く、「全く見ない」は男女ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に女性20代で8割と多くなっている。「インターネットを利用していない」は男女ともに60歳以上で3割半ばと多くなっている。(図 15 - 3 - 2)

16 . 広 報 ・ 広 聴

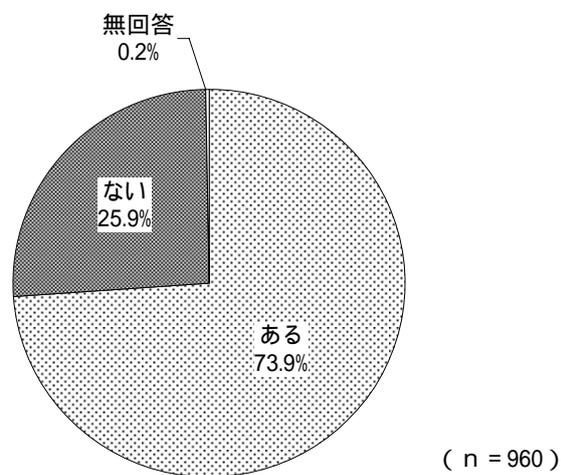
-
- 16 - 1 区役所本庁の窓口の利用状況
 - 16 - 2 区役所本庁の窓口での職員対応の印象
 - 16 - 3 職員の接遇向上のために大切なこと
-

16 . 広報・広聴

16 - 1 区役所本庁の窓口の利用状況

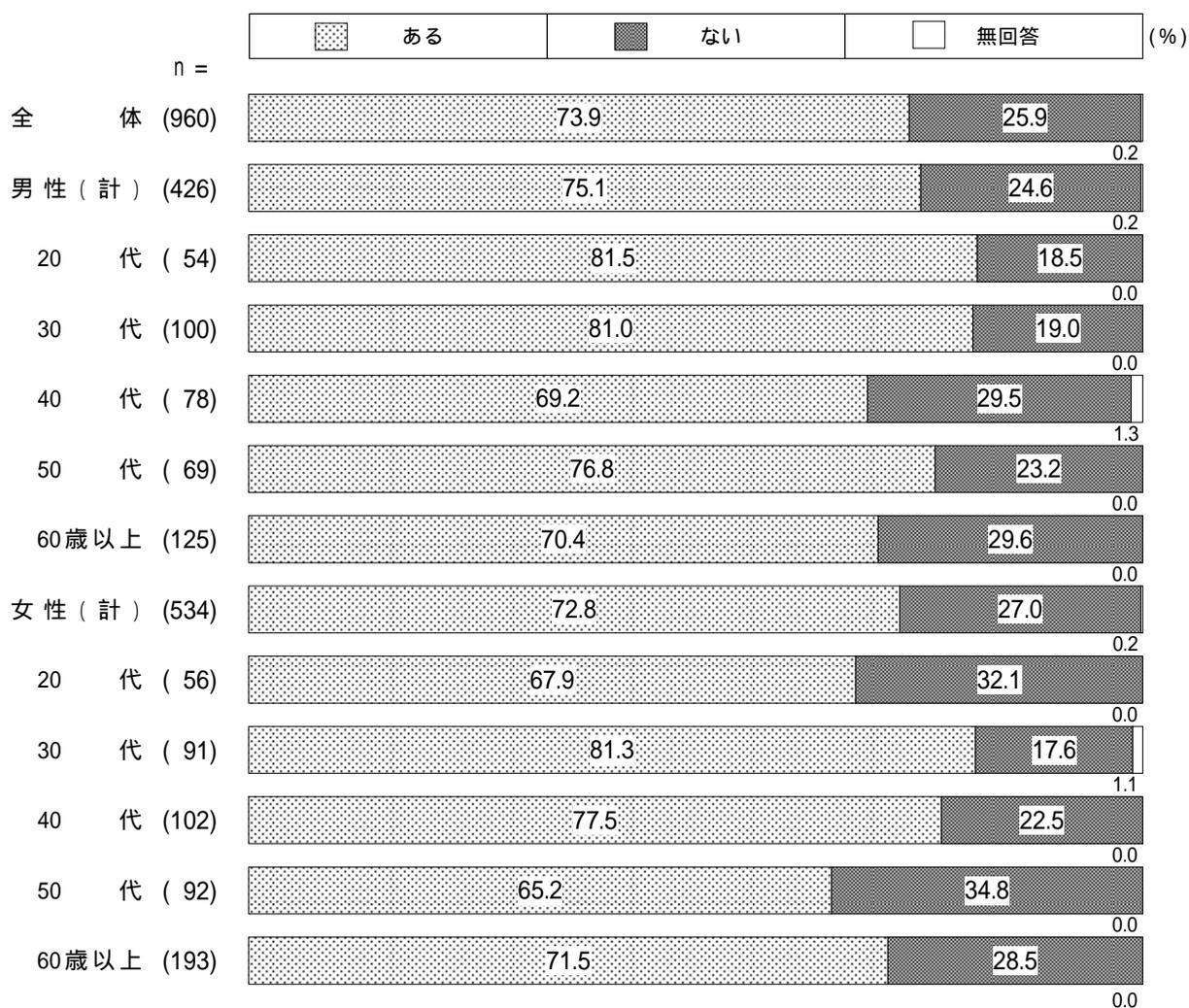
| | | | |
|---|-------|--------|-------|
| 問39 あなたは、過去2年くらいの間に区役所本庁の窓口を利用したことがありますか。 | | | |
| (n = 960) | | | |
| 1 . ある | 73.9% | 2 . ない | 25.9% |
| | | 無回答 | 0.2% |

図 16 - 1 - 1 区役所本庁の窓口の利用状況



区役所本庁の窓口の利用状況について聞いたところ、「ある」(73.9%)が7割を超え、ほぼ4人に3人が利用したことがあるといえる。(図16-1-1)

図 16 - 1 - 2 区役所本庁の窓口の利用状況 - 性・年代別



性・年代別にみると、「ある」は男性 20 代、男性 30 代、女性 30 代で 8 割を超え多くなっている。

(図 16 - 1 - 2)

16 - 2 区役所本庁の窓口での職員対応の印象

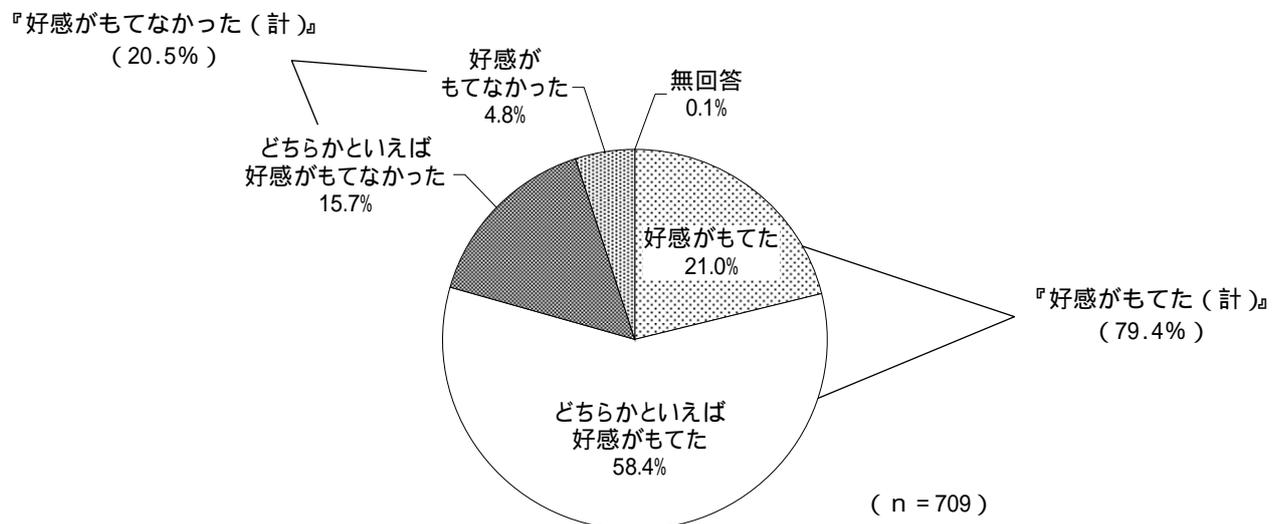
(問 39 で「1 . ある」とお答えの方にうかがいます)

問 39 - 1 その時の職員の対応はいかがでしたか。1 つお選びください。

(n = 709)

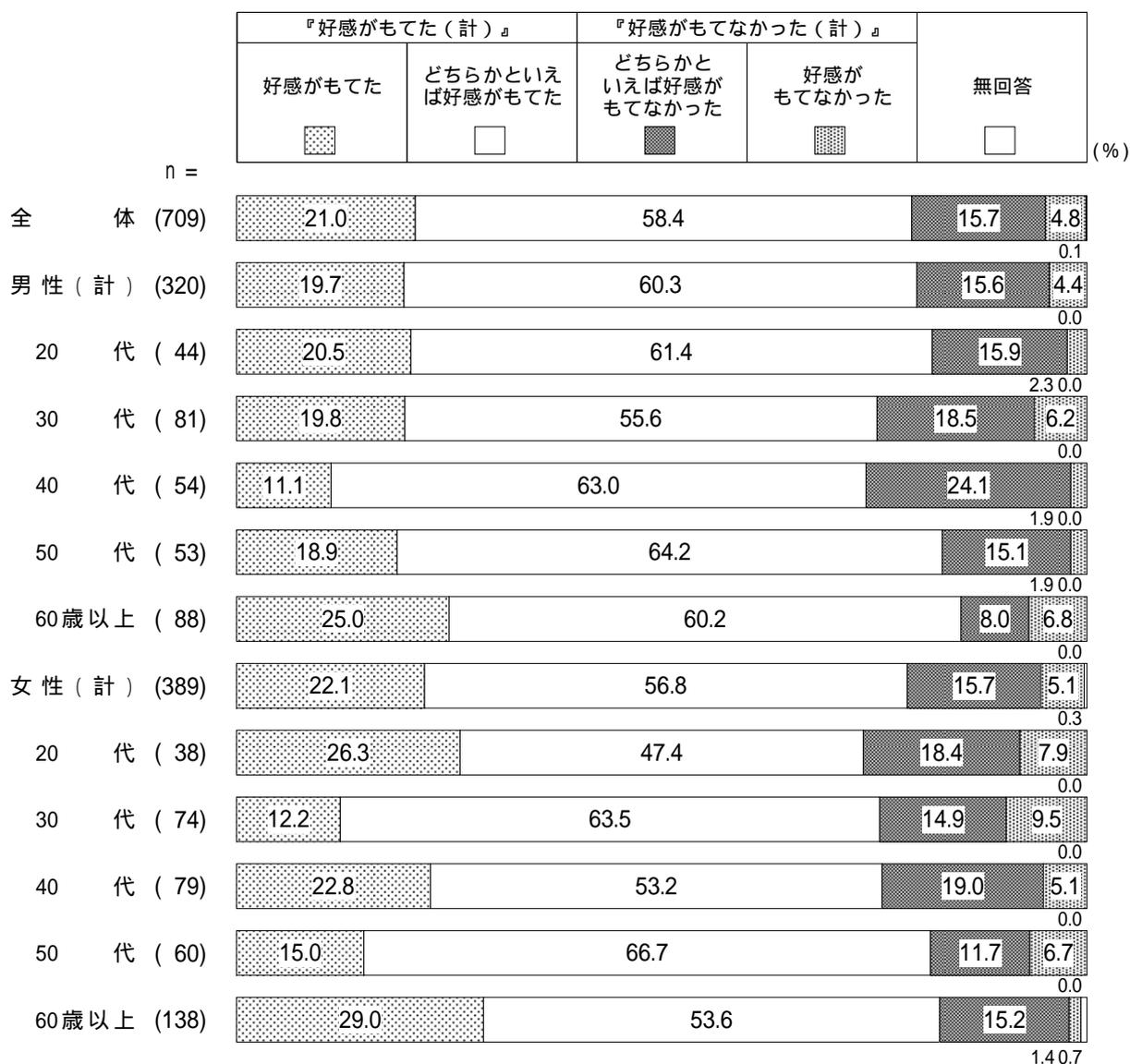
| | | | |
|--------------------|-------|-----------------------|-------|
| 1 . 好感がもてた | 21.0% | 3 . どちらかといえば好感がもてなかった | 15.7% |
| 2 . どちらかといえば好感がもてた | 58.4% | 4 . 好感がもてなかった | 4.8% |
| | | 無回答 | 0.1% |

図 16 - 2 - 1 区役所本庁の窓口での職員対応の印象



区役所本庁の窓口の利用が「ある」と答えた人(709人)に、区役所本庁の窓口での職員対応の印象について聞いたところ、「好感がもてた」(21.0%)と「どちらかといえば好感がもてた」(58.4%)を合わせた『好感がもてた(計)』(79.4%)がほぼ8割となっている。一方、「どちらかといえば好感がもてなかった」(15.7%)と「好感がもてなかった」(4.8%)を合わせた『好感がもてなかった(計)』(20.5%)がほぼ2割となっている。(図 16 - 2 - 1)

図 16 - 2 - 2 区役所本庁の窓口での職員対応の印象 - 性・年代別



性・年代別にみると、『好感がもてた(計)』は男性60歳以上で8割半ば、男性20代、男性50代、女性50代、女性60歳以上で8割を超え多くなっている。(図16-2-2)

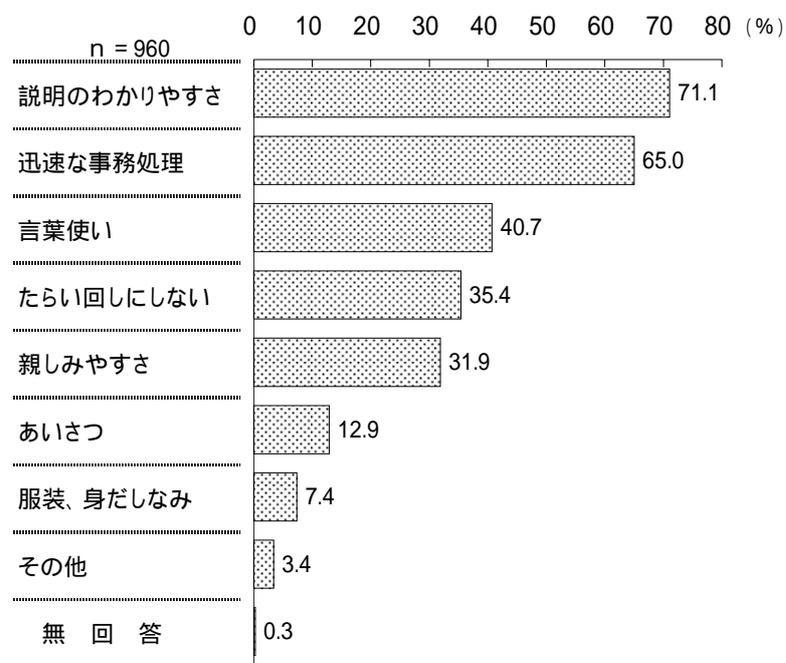
16 - 3 職員の接遇向上のために大切なこと

問 40 あなたは、誰もが気持ちよく利用できる区役所にするためには、職員の接遇で何が大切だと思いますか。3つ以内でお選びください。

(n = 960)

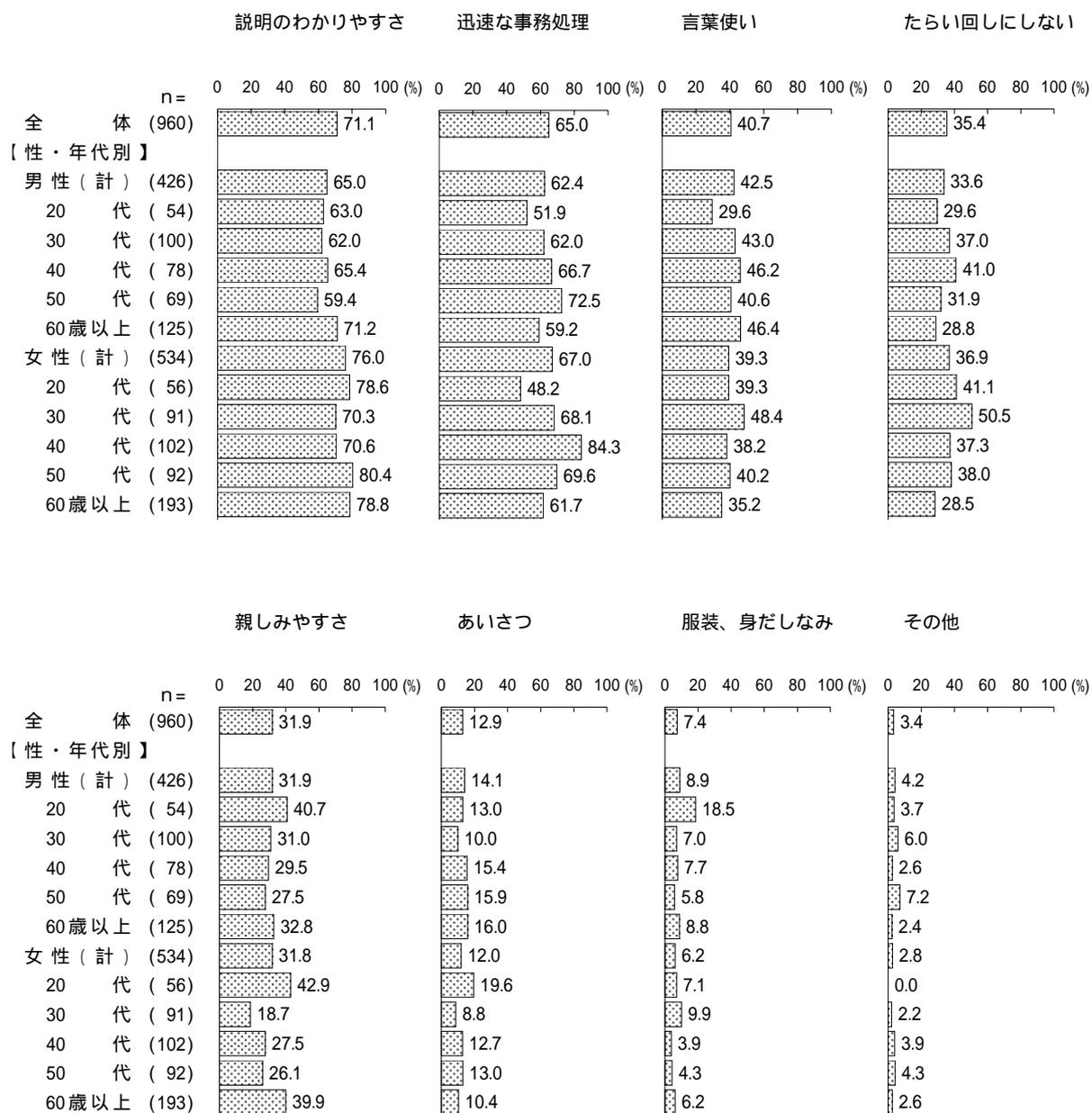
| | | | |
|--------------|-------|---------------|-------|
| 1 . 親しみやすさ | 31.9% | 5 . 説明のわかりやすさ | 71.1% |
| 2 . 服装、身だしなみ | 7.4% | 6 . 迅速な事務処理 | 65.0% |
| 3 . 言葉使い | 40.7% | 7 . たらい回しにしない | 35.4% |
| 4 . あいさつ | 12.9% | 8 . その他 | 3.4% |
| | | 無回答 | 0.3% |

図 16 - 3 - 1 職員の接遇向上のために大切なこと



職員の接遇向上のために大切なことについて聞いたところ、「説明のわかりやすさ」(71.1%)が7割を超え最も多く、次いで「迅速な事務処理」(65.0%)、「言葉使い」(40.7%)、「たらい回しにしない」(35.4%)、「親しみやすさ」(31.9%)などの順となっている。(図 16 - 3 - 1)

図 16 - 3 - 2 職員の接遇向上のために大切なこと - 性・年代別



性別にみると、女性の方が「説明のわかりやすさ」で 11.0 ポイント、「迅速な事務処理」で 4.6 ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「迅速な事務処理」は女性 40 代で 8 割半ば、「たらい回しにしない」は女性 30 代でほぼ 5 割と多くなっている。「服装、身だしなみ」は男性 20 代で 2 割近くと多くなっている。

(図 16 - 3 - 2)

. 使用した調査票

第21回文京区政に関する世論調査

ご協力のお願ひ

皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、文京区では、区政の各分野について区民の皆様が日頃感じていらっしゃることをお伺いし、今後の区政に役立てるために、「文京区政に関する世論調査」を3年ごとに実施しております。本年度は、7月25日号の区報でお知らせしましたとおり、8月中旬より実施することとなりました。

調査にあたりまして、区内にお住まいの20歳以上の方々の中から、無作為にあなた様をはじめ1,300人の方を調査対象者に選ばせていただきました。調査の結果は「こういった意見が何%」という形でしか発表いたしませんので、個人のお名前などが出ることは一切ありません。

なお、この調査票は、8月21日頃から9月上旬にかけて、下記の調査委託先（株式会社エスピー研）の調査員が受け取りにお伺いいたしますので、ご回答のほどよろしくお願ひ申し上げます。郵送による回答を希望される場合は、下記調査委託先までご連絡願ひます。また、ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

ご多忙のところ、誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成21年8月

文京区長
成澤廣修

<調査に関するお問い合わせ先>

株式会社エスピー研 調査事業部 担当 安原
東京都千代田区飯田橋3-11-20
電話 3239-0135（直通）

受付時間
月～金曜日 10:00～12:00、13:00～17:30
（上記以外の時間は留守番電話がお受けします）

文京区役所 企画政策部 広報課 広聴・相談担当
電話 5803-1129（直通）

<ご記入いただく上でのお願い>

この調査票のご記入は、これを送付させていただいた宛名のご本人様にお願ひいたします。

ご記入にあたっては、次の要領でお願ひいたします。

1. ご回答は、あてはまる項目の番号に 印をつけてください。
2. 質問によって、印は（1つ）（3つ以内）（いくつでも）といった、ことわり書きが付してありますので、ご回答にご注意ください。
3. ご回答が「その他」にあてはまる場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

プライバシーマークとは...

経済産業省の外郭団体(財)日本情報処理開発協会が個人情報についての十分な保護策を講じた企業に対して付与する認定印です。(株)エスピー研はプライバシーマークを取得しています。

お客様からの信頼のみならず、情報提供者の方からも信頼されるよう、個人情報の保護に取り組んでいます。



第10820250(03)号
JIS Q 15001:2006 準拠

【1 定住意向】

問1 あなたは、文京区にお住まいになって何年になりますか。(は1つ)

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1 . 5年未満 | 3 . 10～14年 | 5 . 20～24年 |
| 2 . 5～9年 | 4 . 15～19年 | 6 . 25年以上 |

問2 あなたは、これからも文京区に住み続けたいと思いますか。(は1つ)

- | |
|------------------|
| 1 . ずっと住み続けたい |
| 2 . 当分の間は住んでいたい |
| 3 . いずれは転出したい |
| 4 . 近いうちに転出するつもり |
| 5 . わからない |

(問2で「1」または「2」とお答えの方にうかがいます)

→ 問2 - 1 住み続けたいと思う理由を3つ以内でお選びください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 . 通勤・通学など交通の便がよい |
| 2 . 緑や街並みなどが整備されている |
| 3 . 図書館、学校、保育園など公共施設が整備されている |
| 4 . 福祉施設や医療施設が整備されている |
| 5 . 地元の商店などで生活に必要なものがそろい、便利である |
| 6 . 生まれ育った地域であり、愛着がある |
| 7 . 持ち家のため、住み続けたい |
| 8 . その他(具体的に) |

【 2 区の施策】

問3 次の区の施策のうち、あなたが満足に感じているものを、3つ以内でお選びください。

| | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 学校教育施策 | 14. 都市整備施策 |
| 2. 生涯学習施策 | 15. 清掃・リサイクル施策 |
| 3. レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 | 16. 環境施策 |
| 4. 伝統文化保存施策 | 17. 住宅・定住施策 |
| 5. 地域内外の人との交流推進施策 | 18. 公園・緑化・景観施策 |
| 6. 保健衛生施策 | 19. 防災施策 |
| 7. 子育て支援施策 | 20. コミュニティ振興施策 |
| 8. 高齢者施策 | 21. NPO・ボランティア振興施策 |
| 9. 心身障害者施策 | 22. 中小企業・商業振興施策 |
| 10. ひとり親施策 | 23. 観光施策 |
| 11. 低所得者施策 | 24. 消費者保護施策 |
| 12. 青少年施策 | 25. 地域情報化施策 |
| 13. 男女平等参画施策 | 26. その他 (具体的に) |
| | 27. 特にない |

問4 次の区の施策のうち、あなたが不満に感じているものを、3つ以内でお選びください。

| | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 学校教育施策 | 14. 都市整備施策 |
| 2. 生涯学習施策 | 15. 清掃・リサイクル施策 |
| 3. レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 | 16. 環境施策 |
| 4. 伝統文化保存施策 | 17. 住宅・定住施策 |
| 5. 地域内外の人との交流推進施策 | 18. 公園・緑化・景観施策 |
| 6. 保健衛生施策 | 19. 防災施策 |
| 7. 子育て支援施策 | 20. コミュニティ振興施策 |
| 8. 高齢者施策 | 21. NPO・ボランティア振興施策 |
| 9. 心身障害者施策 | 22. 中小企業・商業振興施策 |
| 10. ひとり親施策 | 23. 観光施策 |
| 11. 低所得者施策 | 24. 消費者保護施策 |
| 12. 青少年施策 | 25. 地域情報化施策 |
| 13. 男女平等参画施策 | 26. その他 (具体的に) |
| | 27. 特にない |

問5 次の区の施策のうち、あなたがさらに力を入れるべきだと考えるものを、順位をつけて、3つ以内で選び、下の記入欄に番号をご記入ください。

1 位

2 位

3 位

| | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 学校教育施策 | 14. 都市整備施策 |
| 2. 生涯学習施策 | 15. 清掃・リサイクル施策 |
| 3. レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 | 16. 環境施策 |
| 4. 伝統文化保存施策 | 17. 住宅・定住施策 |
| 5. 地域内外の人との交流推進施策 | 18. 公園・緑化・景観施策 |
| 6. 保健衛生施策 | 19. 防災施策 |
| 7. 子育て支援施策 | 20. コミュニティ振興施策 |
| 8. 高齢者施策 | 21. NPO・ボランティア振興施策 |
| 9. 心身障害者施策 | 22. 中小企業・商業振興施策 |
| 10. ひとり親施策 | 23. 観光施策 |
| 11. 低所得者施策 | 24. 消費者保護施策 |
| 12. 青少年施策 | 25. 地域情報化施策 |
| 13. 男女平等参画施策 | 26. その他 (具体的に) |
| | 27. 特にない |

問6 区では、社会経済状況の変化等を踏まえ、現在、新たな基本構想の策定に取り組んでいるところですが、あなたは、平成13年7月に策定した現在の基本構想(『「文の京」の明日を創る』文京区基本構想)をご存知ですか。1つお選びください。

| | |
|------------|-------------|
| 1. よく知っている | 3. 聞いたことがある |
| 2. 少し知っている | 4. 知らない |

問7 区では、現在、新たな基本構想の策定に取り組んでいるところですが、あなたが望む10年後の文京区はどのようなまちですか。順位をつけて、3つ以内で選び、下の記入欄に番号をご記入ください。

1 位

2 位

3 位

| | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 子育てのしやすいまち | 7. 賑やかな商店街があり活気のあるまち |
| 2. 教育環境の整ったまち | 8. 環境に優しいまち |
| 3. 高齢者や障害者への福祉が充実したまち | 9. 安全に暮らせるまち |
| 4. 保健・医療が整備されたまち | 10. その他(具体的に) |
| 5. 生涯学習が盛んで余暇を楽しめるまち | 11. わからない |
| 6. 多様な文化に人々が訪れるまち | |

【3 財政】

問8 あなたは、区の財政状況に関心がありますか。1つお選びください。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 大いにある | 3. あまりない |
| 2. 少しはある | 4. わからない |

(問8で「1」または「2」とお答えの方にかがいます)

→ 問8 - 1 あなたは、区の財政状況について、どのような印象をお持ちですか。1つお選びください。

- | | | |
|------------|--------------|----------|
| 1. きわめて厳しい | 3. 普通 | 5. わからない |
| 2. 厳しい | 4. まだまだ余裕がある | |

問9 区の財政状況については、これまでも冊子(「文の京の財政状況」「文京区バランスシート」)、「区報ぶんきょう」、ホームページ、ケーブルテレビ等でお知らせしていますが、よりわかりやすいものとするためには、どのような方法でお知らせすればよいと思いますか。3つ以内でお選びください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 区財政の健全性を他の自治体と比較できるような表現で説明する |
| 2. 全国共通の方式により財務書類を作成し、資産や負債の状況を説明する |
| 3. 区財政の将来的な見通しについて説明する |
| 4. グラフ、図表、イラスト、写真などをさらに活用し、見やすくする |
| 5. 見出し、説明文などの文字の大きさや内容を工夫し、読みやすくする |
| 6. その他(具体的に |
| 7. わからない |

問10 区は、これまで、効率的な財政運営を推し進めてきたことにより、歳入に見合った歳出規模を維持していますが、今後も安定的かつ健全な財政基盤を確立し、維持していくことが必要です。そこで、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。3つ以内でお選びください。

- | |
|---|
| 1. 公共施設の利用実態や中長期的な見通しなどを踏まえて、施設の運営方法や機能の見直しを進める |
| 2. 職員数の適正化などにより、人件費を抑制する |
| 3. 費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する |
| 4. 施設廃止などによる空き施設や跡施設の有効活用を図る |
| 5. 民間との役割分担を見直し、民間委託や指定管理者制度を積極的に活用する |
| 6. 区民やNPOなどとの協働を推進して公共サービスの提供を行う |
| 7. 区民の意向を踏まえて、行政サービスの水準を見直す |
| 8. その他(具体的に |
| 9. わからない |

【 4 協働・協治】

問 11 区では、平成 19 年 12 月文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」を開設しました。このサイトは区内の N P O ・ボランティア団体、町会・自治会、社会教育団体等を支援し、活動の情報を提供するものです。このサイトをご存知ですか。 1 つお選びください。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1 . アクセスしたことがある | 3 . 知らない |
| 2 . 聞いたことはあるがアクセスをしたことはない | 4 . インターネットを利用していない |

問 12 あなたが、区と協働して事業を行うとしたら、どのような事業に参加したいと思いますか。 いくつでもお選びください。

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1 . 区のイベント・行事の運営 | 11 . まちの清掃・リサイクル |
| 2 . 広報（CATV、区報など） | 12 . 放置自転車対策 |
| 3 . 防犯・地域安全活動 | 13 . 生涯学習（講座・教室の開催など） |
| 4 . 防災（災害発生時の支援ボランティアなど） | 14 . 文化・芸術活動支援 |
| 5 . 地域おこし（商店街、地域産業の活性化など） | 15 . スポーツ活動支援 |
| 6 . 青少年育成 | 16 . 外国人との交流・支援 |
| 7 . 子育て支援 | 17 . 公共施設の管理・運営 |
| 8 . 高齢者・障害者の福祉 | 18 . その他 |
| 9 . 健康づくり | （具体的に |
| 10 . 公園管理・緑化 | 19 . 特にない |

【 5 防災】

問 13 大災害が発生し、家に住める状態でない場合の避難所は、区立小・中学校等となっておりますが、どの避難所に避難するのがご存知ですか。 1 つお選びください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1 . 知っている | 2 . 知らない |
|-----------|----------|

問 14 区では、災害に強いまちづくりに向けて、様々な施策を行っています。今後、どのようなことに力を入れていくべきだとお考えですか。 3 つ以内でお選びください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 . 地域の防災力及び避難所の運営体制の強化 |
| 2 . 高齢者、障害者、乳幼児など、災害時要援護者の支援体制の強化 |
| 3 . 非常食、災害トイレなど、災害備蓄物資の整備 |
| 4 . 避難所、避難場所の案内標識の充実 |
| 5 . 災害ボランティアとの連携強化 |
| 6 . その他（具体的に |

【 6 町会・自治会】

問 15 あなたの世帯は、町会や自治会に加入していますか。 1つお選びください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない |
|-----------|------------|

問 16 あなたは、今後、町会や自治会活動に参加したいと思いますか。 1つお選びください。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 参加したい | 3. 参加したくない |
| 2. 機会があれば参加したい | 4. どちらともいえない |

問 17 町会・自治会に期待する内容はどのようなことですか。 いくつでもお選びください。

- | | |
|------------------------|---|
| 1. 防災・防犯活動 | |
| 2. 交通事故防止活動 | |
| 3. 清掃・リサイクル活動事業などの環境活動 | |
| 4. お祭などのイベント | |
| 5. 地域親睦・交流活動 | |
| 6. 高齢者・障害者・児童に対する福祉活動 | |
| 7. 行政との連携 | |
| 8. 募金活動 | |
| 9. その他（具体的に | ） |
| 10. 特にない | |

【 7 商店会、消費者相談】

問 18 あなたは、商店会にどのようなサービスがあれば買い物しやすくなると思いますか。
いくつでもお選びください。

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 宅配サービス | |
| 2. ネットショッピング | |
| 3. わかりやすいマップ(地図)の作成 | |
| 4. イベントスケジュールの告知 | |
| 5. プンブンカード(ポイントカード)の利用できる店舗の拡大 | |
| 6. 休憩スペースの設置 | |
| 7. その他（具体的に | ） |
| 8. わからない | |

問 19 あなたは、消費生活センターに消費者と事業者との間に生じたトラブルを相談するコーナーがあることを知っていますか。 1つお選びください。

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 相談したことがある | 3. 知らない |
| 2. 相談したことはないが、知っている | |

【 8 高齢者】

問 20 高齢者施策において、区がさらに充実すべきものを3つ以内でお選びください。

1. 健康の維持・増進
2. 生きがいづくりや社会参加の推進
3. 高齢者の就労支援
4. 介護予防の推進
5. 在宅福祉サービスの充実
6. 介護保険施設等（特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホームなど）の整備
7. 家族介護者への支援
8. 情報提供・相談サービスの充実
9. 高齢者向けの住まい(有料老人ホーム、ケアハウス、高齢者専用賃貸住宅など)の整備
10. 高齢者への地域支援体制の構築
11. 福祉人材の確保と育成
12. 高齢者にやさしいバリアフリーのまちづくりの推進（道路の段差解消など）
13. その他（具体的に _____)
14. 特にない
15. わからない

問 21 あなたは、地域における高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターを知っていますか。1つお選びください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 事業内容もよく知っている | 3. 名前は聞いたことがある |
| 2. 事業内容について少し知っている | 4. 知らない |

【 9 子育て支援】

問 22 最近、生まれてくる子どもの数が減っています。それはなぜだと思いますか。3つ以内でお選びください。

1. 育児の経済的負担が大きいから
2. 育児の心理的負担が大きいから
3. 家族の家事・育児への協力が得られないから
4. 自分たちの生活を大切にしたいから
5. 子どもがのびのび育つ環境ではないから
6. 少ない人数の子どもに手をかけて育てたいから
7. 教育をめぐる状況に対して不安があるから
8. 住宅事情がよくないから
9. 結婚しない人が増えたから
10. 結婚年齢が高まったから
11. 出産・子育てが女性の就労の継続を困難にしているから
12. 保育施設や保育サービスが整っていないから
13. 職場において育児休業制度などの仕事と家庭の両立支援が整っていないから
14. その他（具体的に _____)
15. わからない

問 23 少子化への対応として、区はどのような施策を実施すべきでしょうか。3つ以内でお選びください。

1. 保育園・育成室等の保育サービスの充実
2. 職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進
3. 安心して育てるための環境の整備（道路の段差解消、公園整備など）
4. 子どもを育てる親が情報交換できる場の整備
5. 子育て情報の提供や各種相談サービスの充実
6. 乳幼児等の健康の維持及び増進のための保健サービスの充実
7. 経済的な支援の充実
8. 一時預かり保育などの充実
9. 児童虐待防止対策の充実
10. 防犯等の子どもの安全対策の充実
11. 非行等の防止対策の充実
12. ボランティアなどによる地域での子育て支援体制の整備
13. その他（具体的に)
14. わからない

問 24 青少年健全育成に関して、地域の大人達ができること、またやるべきことは何だと思えますか。いくつでもお選びください。

1. 大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと
2. 子ども達に進んで「おはよう」「こんにちは」等あいさつをする
3. 地域や学校の行事に参加、協力すること
4. 子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること
5. 近所の知り合いの子どもの育成に手を貸す
6. 地域の関わりは必要だと思うが、実際に子どもの健全育成に関わるのは難しい
7. 子育ては家庭の問題だと思う
8. その他（具体的に)
9. わからない

【10 喫煙】

問 25 あなたは、日常的にたばこを吸っていますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 26 あなたが飲食店に望む受動喫煙対策は次のうちどれですか。1つお選びください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 禁煙 | 4. 喫煙を制限しない施設がよい |
| 2. 完全分煙 | 5. 特にない |
| 3. 不完全でも分煙されていればよい | |

問 27 区では、平成 21 年 4 月 1 日から「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」を施行し、区内の公共の場所（屋外に限る。）における歩きたばことポイ捨て及び駅出入口前などの重点地域での路上喫煙（指定の場所以外での喫煙）を禁止しています。このことをご存知ですか。1つお選びください。

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. よく知っている | 3. 知らない |
| 2. 聞いたことはあるが内容はよく知らない | |

（問 27 で「1」とお答えの方にうかがいます）

問 27 - 1 どのようにお知りになりましたか。いくつでもお選びください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 区報ぶんきょう | 6. 巡回している喫煙マナー指導員 |
| 2. ポスター・チラシ・ステッカー | 7. 都バスやBーぐる車内での啓発放送 |
| 3. 街頭キャンペーン・ポケットティッシュ | 8. 区ホームページ |
| 4. 回覧板 | 9. その他 |
| 5. 路面に設置されたシートや電柱看板 | （具体的に） |

【11 公園】

問 28 あなたは日頃、区立公園や児童遊園などをどの程度利用していますか。1つお選びください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日 | 5. ひと月に1回程度 |
| 2. 1週間に2～3回程度 | 6. 2～3か月に1回程度 |
| 3. 1週間に1回程度 | 7. ほとんど行かない |
| 4. ひと月に2～3回程度 | |

問 29 あなたは、どのような公園があるとよいと思いますか。3つ以内でお選びください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 緑が多く、木陰での休息や散策が楽しめる公園 |
| 2. ビオトープ()があり、自然環境とふれあえる公園 |
| 3. 四季おりおりの花や紅葉を楽しめる公園 |
| 4. 各種遊具を充実させ、子どもたちが安心して遊べる公園 |
| 5. 健康運動器具などを充実させ、大人も楽しめる公園 |
| 6. 大きな広場があり、多目的に使用できたり自由に遊ぶことができる公園 |
| 7. ネットなどで囲まれた屋外運動施設のある公園 |
| 8. 噴水や流れなどの水施設があり、水と親しめる公園 |
| 9. 樹木や植え込みを整理した見通しが良く明るい公園 |
| 10. 災害時に避難場所となる機能をもった公園 |
| 11. その他(具体的に |
| 12. 特にない |
| 13. わからない |

ビオトープとは、さまざまな野生生物が生息し、自然の生態系が機能する空間です。

問 30 公園は地域との関わりあいの深い施設です。あなたは公園と今後どのように関わっていきたいと思っていますか。3つ以内でお選びください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 公園を整備・改修する場合には、計画に参加、協力したい |
| 2. 草花の植え替えや低木の手入れなど、公園の緑を守り育ててみたい |
| 3. 公園の清掃などを自分たちでしてみたい |
| 4. 自然観察会や遊び方教室などがあれば指導やお手伝いをしてみたい |
| 5. 公園を散歩したり、緑や花を觀賞するなど景色や雰囲気を楽しみたい |
| 6. ジョギングや体操など軽い運動をしてみたい |
| 7. 子どもを遊ばせたり、家族でくつろぎたい |
| 8. 地域の人とのふれあいの場としたい |
| 9. その他(具体的に |
| 10. 特にない |
| 11. わからない |

【12 地域環境】

問 31 あなたが、地域生活での環境に関して最も関心のある事項は次のうちどれですか。3つ以内でお選びください。

1. 大気、水質、土壌、騒音、振動、悪臭
2. 緑の育成、保護
3. 化学物質、環境ホルモン
4. 動物（ペットを含む）・鳥・虫などによる衛生被害
5. 電気、ガス等の節約
6. 自動車排ガス規制
7. グリーン購入（環境への影響ができるだけ小さいものを優先して購入する）
8. 生ごみの堆肥化
9. 温室効果ガスの削減に対する取組み（地球温暖化対策）
10. その他（具体的に)
11. 特にない

問 32 区では、3 R () の推進を図り、「循環型社会」の実現を目指しています。

あなたは、ごみ減量の取組みについて、区はどのようなことを重点的に行うべきとお考えですか。3つ以内でお選びください。

3 Rとはリデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）をいいます。

1. マイバッグ持参やノーレジ袋運動を展開する
2. スーパーマーケットや商店街等へ簡易包装を奨励する
3. 割り箸の使用を自粛するよう啓発する
4. 生ごみリサイクルの取組みを奨励する
5. フリーマーケットの開催を増やす
6. リサイクル活動団体を支援する
7. 集団回収を促進する
8. 集積所で分別回収する資源の種類を増やす
9. 家庭ごみ有料化の検討を進める
10. パンフレットの配布等により、ごみ減量について積極的にPRを行う
11. その他（具体的に)
12. 特にない
13. わからない

【13 生涯学習】

問 33 生涯学習は、学校の学習活動だけでなく、文化活動やスポーツ活動、趣味やレクリエーション、ボランティア活動など幅広いものですが、あなたは最近 1 年間に生涯学習活動をどの程度行いましたか。1 つお選びください。

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 頻繁に行った (週に 2 ~ 3 回程度) | 3. 時々行った (月に 1 ~ 2 回程度) |
| 2. よく行った (週に 1 回程度) | 4. 全く行わなかった |

→ (問 33 で「1」~「3」とお答えの方に向かいます)

問 33 - 1 あなたは、どこで生涯学習活動を行っていますか。3 つ以内でお選びください。

- | |
|---|
| 1. シビックホール、アカデミー文京、地域アカデミー、区民センター、区民会議室など |
| 2. スポーツセンター、総合体育館、小石川運動場、竹早テニスコート、目白台運動公園など |
| 3. 学校 (小・中学校、高校、専門学校、短大、大学等) など |
| 4. 図書館や美術館など |
| 5. 民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなど |
| 6. 民間が運営する習い事やお稽古事の教室など |
| 7. テレビや通信教育などを利用して |
| 8. インターネットを利用して |
| 9. その他 (具体的に) |

→ 問 33 - 2 あなたが生涯学習活動を行う理由をあげてください。3 つ以内でお選びください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 趣味を楽しんだり、教養を高めたりするため |
| 2. 地域や社会をよくするため |
| 3. 自由時間を有効に活用するため |
| 4. 健康・体力づくりのため |
| 5. 現在の仕事や将来の就職・転職に役立てるため |
| 6. 資格を取得するため |
| 7. 他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため |
| 8. その他 (具体的に) |
| 9. 特に理由はない |

【14 電子化】

問 34 あなたが、電子化により実現するとよいと思う区のサービスは何ですか。 いくつでもお選びください。

1. 住民税や健康保険料をはじめとした区への各種の納付をインターネットでできるようにする
2. 公共施設で無線LAN等を通じて、手軽にインターネットを利用できるようにする
3. 区の行政資料の検索や閲覧（情報公開）をインターネットでできるようにする
4. 商店街振興や地域振興、観光振興へのITの活用を図る
5. インターネット上で、区民同士の情報交換ができるようにする
6. その他（具体的に _____）
7. 特にない

問 35 区では、10月から電子申請を開始する予定です。今後どのような申請・届出をインターネットから行いたいですか。 いくつでもお選びください。

1. 住民票の写しの交付申請（ 交付は窓口又は郵送です）
2. 税証明書の交付申請（ 交付は窓口又は郵送です）
3. 戸籍証明の交付請求（ 交付は窓口又は郵送です）
4. 各種学習講座やイベントへの参加申し込み
5. その他（具体的に _____）
6. 特にない

【15 議会】

問 36 あなたは、区議会の活動を、どのようにしてお知りになっていますか。 いくつでもお選びください。

1. ぶんきょう区議会だより
2. 区議会のホームページ
3. 本会議・委員会の傍聴
4. 区報ぶんきょう
5. CATVぶんきょう区民チャンネル
6. その他（具体的に _____）

問 37 地方議会の活性化や議会改革が求められていますが、区議会の活動として期待することはどれですか。 いくつでもお選びください。

1. 執行機関（区長など）に対するチェック機能の充実強化
2. 議員提出議案の増加など議会の政策形成機能の強化
3. 議会報告会など住民との直接対話による意見聴取
4. 参考人、公聴会制度の活用による委員会審査の活性化
5. 区議会インターネット配信など議会広報の充実
6. その他（具体的に _____）

問 38 あなたは、区議会ホームページをどの程度閲覧されていますか。1つお選びください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. よく見る | 4. あまり見ない |
| 2. 時々見る | 5. 全く見ない |
| 3. 興味のある内容の時だけ見る | 6. インターネットを利用していない |

【16 広報・広聴】

問 39 あなたは、過去2年くらいの中に区役所本庁の窓口を利用したことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

(問39で「1」とお答えの方に向かいます)

→ 問 39 - 1 その時の職員の対応はいかがでしたか。1つお選びください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 好感がもてた | 3. どちらかといえば好感がもてなかった |
| 2. どちらかといえば好感がもてた | 4. 好感がもてなかった |

問 40 あなたは、誰もが気持ちよく利用できる区役所にするためには、職員の接遇で何が大切だと思いますか。3つ以内でお選びください。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 親しみやすさ | 5. 説明のわかりやすさ |
| 2. 服装、身だしなみ | 6. 迅速な事務処理 |
| 3. 言葉使い | 7. たらい回しにしない |
| 4. あいさつ | 8. その他(具体的に) |

【フェイスシート】 最後に、あなたとご家族のことについてお尋ねします。

F 1 あなたの性別は。

| | |
|-------|-------|
| 1 . 男 | 2 . 女 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢は、満何歳ですか。

| | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1 . 20 ~ 29 歳 | 3 . 40 ~ 49 歳 | 5 . 60 ~ 64 歳 |
| 2 . 30 ~ 39 歳 | 4 . 50 ~ 59 歳 | 6 . 65 歳以上 |

F 3 あなたのご職業は次のどれですか。 1つお選びください。

| | |
|---------------|----------------|
| 1 . 自営業・事業主 | 5 . 主婦 |
| 2 . 管理職・自由業 | 6 . 学生 |
| 3 . 事務職・技術職 | 7 . 無職 |
| 4 . 労務職・サービス業 | 8 . その他（具体的に) |

F 4 一緒に住んでいるご家族は、あなたを含めて何人ですか。

| | | |
|---------|---------|-----------|
| 1 . 1 人 | 3 . 3 人 | 5 . 5 人 |
| 2 . 2 人 | 4 . 4 人 | 6 . 6 人以上 |

F 5 あなたの現在のお住まいは、次のどれにあたりますか。

| | |
|-------------|------------------|
| 1 . 一戸建て持ち家 | 4 . 賃貸マンション、アパート |
| 2 . 一戸建て借家 | 5 . 社宅、寮など |
| 3 . 分譲マンション | 6 . その他（具体的に) |

F 6 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。

| | |
|-----------|---|
| 独 身 | 1 . 20 ~ 39 歳 2 . 40 ~ 64 歳 3 . 65 歳以上 |
| 子どもがいない夫婦 | 4 . 本人 20 ~ 39 歳 5 . 本人 40 ~ 64 歳 6 . 本人 65 歳以上 |
| 子どもがいる夫婦 | 7 . 一番上の子どもが小学校入学前 8 . 一番上の子どもが小・中学生 9 . 一番上の子どもが高校・大学生 10 . 本人が 64 歳以下で、一番上の子どもが学校卒業 11 . 本人が 65 歳以上で、一番上の子どもが学校卒業 |

第 21 回 文京区政に関する世論調査

| | | |
|--------|------------------------------------|----------------|
| 発 行 | 平成 21 年 12 月発行 | 印刷物番号 A0509006 |
| | 文京区企画政策部広報課 | |
| 実 施 | 文京区春日 1 - 1 6 - 2 1 | |
| | 電話 0 3 - 5 8 0 3 - 1 1 2 9 (直 通) | |
| | 株式会社エスピー研 調査事業部 | |
| | 千代田区飯田橋 3 - 1 1 - 2 0 | |
| | 電話 0 3 - 3 2 3 9 - 0 0 7 1 (代 表) | |
